



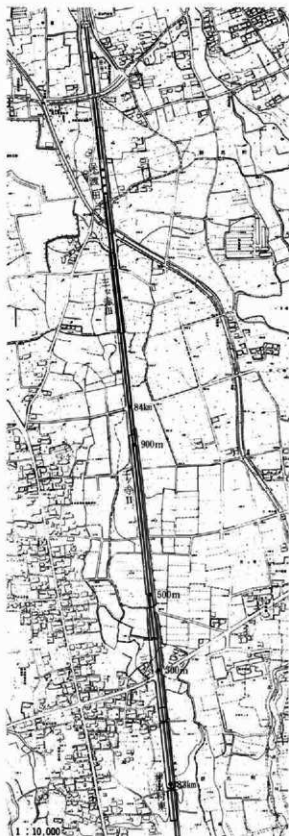




昭和63年 平成元年  
3月 11月 9月

1 : 2,500 国土地理院

2-1図 上越新幹線関係  
高崎北部～群馬町の遺跡



原図：昭和63年群馬町都市計画図  
(1 : 2,500)





新編文報告第93集、上越新幹線関係第13集 三ッヶ字 II 3階跡 『資料編2』 正誤表  
19910117調0119

	誤	正
423頁	第377図4区65号住居跡 右下図土坑番号 135号	153号
501頁	4区147号住居跡 住居表に追加	カマドは東向き、住居プランは調査区外の西へ広がる。 カマド対称軸方位 N90度前後E
615頁	第600図5区45号住居跡遺物出土状態(西から)	住居中央床面の割れた礎の遺物番号=1102
681頁	第687図4区1号住居跡出土遺物 左上遺物番号	1099
694頁	第700図4区63・65・66・70号住居跡出土遺物0712	0721
782頁	4区81号住居跡 0807重さ15.2kg	重さ1.52kg
782頁	4区81号住居跡 0808重さ15.1kg	重さ1.51kg





(助)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告 第93集

上越新幹線関係  
埋蔵文化財発掘調査報告

第13集

# 三ツ寺Ⅱ遺跡

資料編 2

1990

群馬県教育委員会  
(助)群馬県埋蔵文化財調査事業団  
東日本旅客鉄道株式会社



# 凡 例

- 本書は全4分冊(『本文編』『資料編1』『資料編2』『写真図版編』)で構成する。三つ等日道路の発掘調査報告書『資料編2』である。
- 『資料編1』は1～6区発見の遺構・遺物の個別報告である。『資料編1』には1・2・3区、『資料編2』には4・5・6区の遺構・遺物を掲載した。なお、1区1号井戸(木簡出土地点)については、『本文編』で報告する。
- 『資料編2』の掲載順序は4→5→6区とし、各区ごとに概要、住居跡、その他の順である。また、個別の遺構種ごとに番号順に掲載しており、時代別の掲載ではない。
- 大宮起点のキロ程と各区の範囲は、次の通りである。
 

1区: 83km455m～83km500m	2区: 83km500m～83km600m	3区: 83km600m～83km700m
4区: 83km700m～83km800m	5区: 83km800m～83km900m	6区: 83km900m～83km939m
- 遺構及び遺構間の方位は磁北を基準としている。グリッド設定の基準とした新幹線中軸線(直線)と磁北とのなす角度は、N1度21分40秒Eである。
- 住居跡の個別の説明はすべて表の中に納めた。個別住居の図は、原則として全形の判別したものを掲載し、半掘状態で調査を終了したものは『本文編』全体図で示した。遺物出土状態を示す図は原則として掲載せず、遺物出土状態写真に遺物番号を記入して図に代えた。住居中の屋内施設のうち、「壁溝」は住居壁際の床面に張り込まれた壁に沿った溝を指す。「床溝」は従来「間仕切り溝」等と呼ばれたもので、主として壁溝に直角な方向に延びる長さ50～100cmほどの床面・床下検出の溝状遺構を指す。
- 住居跡の計測値については、下の原則による。すべて $\frac{1}{100}$ 原図から起こした数値である。
  - ①平面形は方形・長方形・台形・その他に分けた。向かい合う辺の距離が $\frac{1}{100}$ 図で10cm以上の差があるとき、長方形と呼ぶ
  - ②長軸の方位を住居の主軸とする。南北に長い(=主軸を南北方向にとる)住居で、東辺にカマドを設置しているときはN●度E、西辺にカマドを設置しているときはN●度Wと表現した。
  - ③壁高は床面からの現存高さを示す。
  - ④支柱穴間の距離は、支柱穴が認定できたときに、下 $\frac{1}{100}$ 中心距離で示した。
  - ⑤規模は各辺の長さ、または向かい合う辺の距離で示した。
  - ⑥面積は長軸×短軸で計算した。
  - ⑦計測値・形状等に推定復元を伴うときは、かっこ( )でくくった。
- 掘立建物跡の計測値は、すべて $\frac{1}{100}$ 原図から起こした数値である。
- 文中または一覧表中で、標名山・浅間山を給源とする軽石・火山灰(テフラ)を下の記号で表現したのものがある。それぞれの降下年代は、次の年代観をとっている。
 

浅間A軽石: 天明3年(1783年)
浅間B軽石: 天仁元年(1108年)
FP : 6世紀中頃(標名山二ツ岳)
FA : 6世紀初頃(標名山二ツ岳)
浅間C軽石: 4世紀中頃
- 遺物の計測値等は、原則として巻末に掲載した。
- 遺物の整理番号は4桁の通番とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真の遺物番号・実測図の遺物番号・計測値表の遺物番号・写真図版編の遺物番号は同じ遺物を指す。整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号が連続しない場合がある。掲載した遺物は、出土位置(水平・垂直)が図と割合可能なものを原則とし、遺物と図との同定ができなかったものは、特別な場合を除き、新装した。掲載遺物は主として床面出土、カマド出土、貯蔵穴出土、壁際出土の遺物であり、住居の商業時期に比較的近いものと推定した。
- 住居表及び遺構集計表での時代区分の用語は、おおむね下記のように使用した(実年代観は主として炭14編年による\*)。縄文時代～弥生時代では土器型式名・時期区分(前期、後期等)で示し、西暦表現はしなかった。また、浅間Bテフラを遺構直面に隣層に近い状態で含む遺構と、浅間Bテフラを含む土層よりも上位で検出した遺構について「中世以降」とした。
 

古墳時代前期: 4世紀(古墳前期と略記する。以下同様)	古墳時代中期: 5世紀
古墳時代後期: 6～7世紀*	奈良時代 : 8世紀
平安時代 : 9～11世紀*	

\* 1 坂口「群馬県における古墳時代中期の土器の編年」『研究紀要-4-』群馬県埋蔵文化財調査事業団、1987年。なお、表中の「5世紀末」は「5世紀後半」に広がる可能性がある。

\* 2 ここでは7世紀代を「古墳時代後期」に含めた。なお、7世紀代の土器には、いわゆる「真円式土器」の一部を含んでいる。

\* 3 12世紀以降とみられる竪穴式住居は検出していない。



# 目 次

## 資料編 2

4 区	概 要	344
	住 居 跡	345
	畠 跡	514
	掘立柱建物跡	516
	溝	519
	土 坑	522
	縄文時代土坑群	522
5 区	概 要	543
	住 居 跡	544
	ピット群	658
	溝	660
	土 坑	668
6 区	概 要	673
	住 居 跡	675
	出土遺物図	681
	遺物計測値表	745

〈資料編1〉

1区	概 要 .....	3
	住 居 跡 .....	4
	水 田 跡 .....	48
	溝 .....	48
	土 坑 .....	52
2区	概 要 .....	57
	住 居 跡 .....	58
	畚 跡 .....	114
	溝 .....	117
	土 坑 .....	118
3区	概 要 .....	121
	住 居 跡 .....	122
	竪穴遺構 .....	208
	掘立柱建物跡 .....	209
	井 戸 .....	210
	溝 .....	212
	土 坑 .....	214
	出土遺物図 .....	221
	遺物計測値表 .....	283



# 挿 図 目 次

第282図	変貌する道路（4）	341
第283図	4区遺構配置図（1）	342
第284図	4区遺構配置図（2）	343
第285図	4区1号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）	345
第286図	4区1号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（2）	346
第287図	4区1号住居跡遺物出土状態・写真（3）	346
第288図	4区1号住居跡（1）	347
第289図	4区1号住居跡（2）カマド	348
第290図	4区2号住居跡遺物出土状態（西から）	349
第291図	4区3号住居跡遺物出土状態（西から）・写真	350
第292図	4区3号住居跡	351
第293図	4区4号住居跡遺物出土状態（西から）・写真	351
第294図	4区4号住居跡	352
第295図	4区5号住居跡	353
第296図	4区6号住居跡	353
第297図	4区6号住居跡遺物出土状態（西から）・写真	354
第298図	4区7号住居跡遺物出土状態（西から）・写真	355
第299図	4区8号住居跡カマド（西から）・写真	356
第300図	4区8号住居跡	357
第301図	4区9号住居跡遺物出土状態（西から）・写真	358
第302図	4区9号住居跡	359
第303図	4区10号住居跡	360
第304図	4区11号住居跡	361
第305図	4区11号住居跡遺物出土状態（北から）・写真	361
第306図	4区12号住居跡	362
第307図	4区13号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）	363
第308図	4区13号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）	364
第309図	4区13号住居跡貯蔵穴付近遺物（東から）・写真（3）	364
第310図	4区14・49・50号住居跡遺物出土状態（東から）・写真	365
第311図	4区14・49・50号住居跡（1）	366
第312図	4区14・49・50号住居跡（2） 断面	367
第313図	4区14・49・50号住居跡（3） 平面	368
第314図	4区15号住居跡遺物出土状態（西から）・写真	369
第315図	4区16号住居跡遺物出土状態（西から）・写真	370
第316図	4区17号住居跡遺物出土状態・写真	371
第317図	4区17・18号住居跡	372
第318図	4区18号住居跡（西から）・写真	373
第319図	4区19号住居跡遺物出土状態（北から）・写真	374
第320図	4区21号住居跡カマド遺物（西から）・写真	375
第321図	4区21・22号住居跡	376
第322図	4区23号住居跡遺物出土状態（西から）・写真	377
第323図	4区24号住居跡（1）	378
第324図	4区24号住居跡カマド（西から）・写真（1）	379
第325図	4区24号住居跡下層（西から）・写真（2）	379
第326図	4区24号住居跡（2）	380
第327図	4区26号住居跡（西から）・写真	381
第328図	4区27号住居跡カマド遺物（西から）・写真	382
第329図	4区28・29号住居跡	383
第330図	4区30号住居跡遺物出土状態（南から）・写真	384
第331図	4区30号住居跡（1）	385
第332図	4区30号住居跡（2）カマド	386
第333図	4区31号住居跡カマド遺物（西から）・写真	387
第334図	4区32号住居跡カマド	388
第335図	4区32号住居跡カマド遺物（西から）・写真	388
第336図	4区33号住居跡カマド（西から）・写真	389
第337図	4区33号住居跡	390
第338図	4区34号住居跡	390

第339回	4区34号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	391
第340回	4区35号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真	392
第341回	4区35号住居跡	393
第342回	4区36号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	394
第343回	4区37号住居跡カマド	395
第344回	4区37号住居跡カマド遺物 (東から)・写真	395
第345回	4区38号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	396
第346回	4区40・42号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真	397
第347回	4区40・42号住居跡	398
第348回	4区41号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	399
第349回	4区41号住居跡	400
第350回	4区43号住居跡遺物出土状態・写真	401
第351回	4区44号住居跡遺物出土状態・写真	402
第352回	4区46号住居跡 (東から)・写真	403
第353回	4区46号住居跡	404
第354回	4区48号住居跡	405
第355回	4区48号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	405
第356回	4区53号住居跡	407
第357回	4区53号住居跡遺物出土状態・写真	407
第358回	4区54号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	408
第359回	4区54号住居跡	409
第360回	4区55号住居跡遺物出土状態 (北から)・写真 (1)	410
第361回	4区55号住居跡カマド遺物 (西から)・写真 (2)	411
第362回	4区55号住居跡遺物出土状態 (北西から)・写真 (3)	411
第363回	4区55号住居跡	412
第364回	4区55号住居跡カマド (西から)・写真 (4)	412
第365回	4区56号住居跡カマド遺物 (南から)・写真	413
第366回	4区56・57号住居跡	414
第367回	4区57号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	415
第368回	4区58号住居跡土層断面	416
第369回	4区58号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	416
第370回	4区59号住居跡カマド付近遺物 (西から)・写真 (1)	417
第371回	4区59・61・62号住居跡 掘形	418
第372回	4区58・59・61・62号住居跡遺物出土状態 (北から)・写真 (2)	418
第373回	4区60号住居跡遺物出土状態 (北から)・写真	419
第374回	4区60号住居跡	420
第375回	4区63・65・66号住居跡遺物出土状態 (北から)・写真	421
第376回	4区65号住居跡遺物出土状態 (北から)・写真	422
第377回	4区65号住居跡	423
第378回	4区66号住居跡	424
第379回	4区68号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	425
第380回	4区69号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	426
第381回	4区70号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	427
第382回	4区70号住居跡	428
第383回	4区68・69・70・71・73・74号住居跡掘形 (南から)・写真	429
第384回	4区68・69・70・71・73号住居跡 掘形	430
第385回	4区72号住居跡	431
第386回	4区72号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	431
第387回	4区73号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真 (1)	432
第388回	4区73号住居跡	433
第389回	4区73号住居跡貯蔵穴付近遺物 (西から)・写真 (2)	433
第390回	4区74号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真 (1)	434
第391回	4区74号住居跡 (1)	435
第392回	4区74号住居跡 (2) 掘形	436
第393回	4区74号住居跡付近掘形 (北から)・写真 (2)	436
第394回	4区75号住居跡カマド遺物 (南から)・写真	437
第395回	4区76号住居跡カマド (西から)・写真	438
第396回	4区76号住居跡	439
第397回	4区77号住居跡土層断面 (西から)・写真	440
第398回	4区78号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	441



第459図	4区145号住居跡遺物出土状態(東から)・写真(3)	495
第460図	4区145号住居跡	496
第461図	4区145号住居跡(西から)・写真(4)	496
第462図	4区146号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	497
第463図	4区146号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(2)	498
第464図	4区146号住居跡カマド遺物(西から)・写真(3)	498
第465図	4区146号住居跡(1)	499
第466図	4区146号住居跡(2)	500
第467図	4区147号住居跡カマド遺物(南から)・写真	501
第468図	4区149号住居跡掘形(西から)・写真	502
第469図	4区150号住居跡遺物出土状態・写真	503
第470図	4区151号住居跡(西から)・写真	504
第471図	4区152号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	504
第472図	4区153号住居跡掘形(東から)・写真(1)	505
第473図	4区153号住居跡遺物出土状態(北西から)・写真(2)	505
第474図	4区153号住居跡	506
第475図	4区154号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	507
第476図	4区154号住居跡	508
第477図	4区155号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	509
第478図	4区155号住居跡カマド遺物(西から)・写真(2)	510
第479図	4区155号住居跡カマド遺物(西から)・写真(3)	510
第480図	4区155号住居跡(1)	511
第481図	4区155号住居跡(2)	512
第482図	4区154・155号住居跡 掘形	513
第483図	4区畠跡1、畠跡2	514
第484図	4区畠跡3(西から)・写真(1)	515
第485図	4区畠跡3(北西から)・写真(2)	515
第486図	4区1号獨立柱建物跡	516
第487図	4区2・101号獨立柱建物跡	518
第488図	4区溝 断面	521
第489図	4区土坑	523
第490図	3～4区縄文時代土坑分布図	524
第491図	4区125号土坑(北から)・写真	525
第492図	4区134号土坑(北から)・写真	525
第493図	4区135号土坑(西から)・写真	526
第494図	4区138号土坑(東から)・写真	526
第495図	4区139号土坑(北から)・写真	527
第496図	4区140号土坑(東から)・写真	527
第497図	4区141号土坑(北から)・写真	528
第498図	4区144号土坑遺物出土状態(西から)・写真	528
第499図	4区217号土坑遺物出土状態(北から)・写真	529
第500図	4区224号土坑遺物出土状態(西から)・写真	529
第501図	安較する鉛線(5)	(541)
第502図	5区遺構配置図	(542)
第503図	5区1号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	544
第504図	5区2号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	545
第505図	5区2号住居跡	546
第506図	5区3号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	547
第507図	5区3号住居跡	548
第508図	5区4号住居跡	549
第509図	5区4号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	549
第510図	5区5号住居跡	550
第511図	5区5号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	550
第512図	5区6号住居跡	551
第513図	5区6号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	551
第514図	5区7号住居跡	552
第515図	5区7号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	552
第516図	5区8号住居跡(1)	553
第517図	5区8号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	553
第518図	5区8号住居跡(2)	554

第519図	5区9号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	555
第520図	5区10号住居跡カマド遺物 (西から)・写真(1)	556
第521図	5区10号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(2)	556
第522図	5区10号住居跡	557
第523図	5区11号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(1)	558
第524図	5区11号住居跡カマド掘形 (西から)・写真(2)	558
第525図	5区12号住居跡 掘形	559
第526図	5区12号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	559
第527図	5区13号住居跡 掘形	560
第528図	5区13号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	560
第529図	5区14号住居跡 掘形	561
第530図	5区14号住居跡遺物出土状態 (南から)・写真	561
第531図	5区15号住居跡	562
第532図	5区15号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	562
第533図	5区16号住居跡 掘形	563
第534図	5区16号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	563
第535図	5区17号住居跡	564
第536図	5区17号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真	564
第537図	5区19号住居跡 カマド	565
第538図	5区19号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	565
第539図	5区19・20号住居跡	566
第540図	5区20号住居跡	567
第541図	5区20号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	567
第542図	5区21号住居跡	568
第543図	5区21号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	568
第544図	5区22号住居跡	569
第545図	5区22号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	569
第546図	5区23号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	570
第547図	5区24号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	571
第548図	5区24号住居跡	572
第549図	5区25号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	573
第550図	5区26号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	574
第551図	5区26号住居跡	575
第552図	5区27号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(1)	576
第553図	5区27号住居跡カマド一貯蔵穴遺物 (西から)・写真(2)	577
第554図	5区27号住居跡貯蔵穴遺物 (南から)・写真(3)	577
第555図	5区27号住居跡	578
第556図	5区28号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	579
第557図	5区28号住居跡	580
第558図	5区29号住居跡	581
第559図	5区29号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	581
第560図	5区30号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	582
第561図	5区31号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	583
第562図	5区31号住居跡	584
第563図	5区32号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真	585
第564図	5区33号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(1)	586
第565図	5区33号住居跡カマド遺物 (西から)・写真(2)	587
第566図	5区33号住居跡貯蔵穴遺物 (南から)・写真(3)	587
第567図	5区33号住居跡	588
第568図	5区34号住居跡遺物出土状態 (南から)・写真	589
第569図	5区34・35号住居跡 掘形	590
第570図	5区35号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真	590
第571図	5区36号住居跡遺物出土状態 (南から)・写真(1)	591
第572図	5区36号住居跡(1)カマド	592
第573図	5区36号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	592
第574図	5区36号住居跡(2)	593
第575図	5区37号住居跡遺物出土状態 (南から)・写真	594
第576図	5区38号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(1)	595
第577図	5区38号住居跡(1)カマド	596
第578図	5区38号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(2)	596

第579回	5区38号住居跡(2)	-----	597
第580回	5区39号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	-----	598
第581回	5区39号住居跡(1)	-----	599
第582回	5区39号住居跡(2) カマド・掘形	-----	600
第583回	5区40号住居跡	-----	601
第584回	5区40号住居跡カマド遺物(南西から)・写真	-----	601
第585回	5区41号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	-----	602
第586回	5区41号住居跡カマド遺物(西から)・写真(2)	-----	603
第587回	5区41号住居跡掘出部遺物(南から)・写真(3)	-----	603
第588回	5区41号住居跡(1)	-----	604
第589回	5区41号住居跡(2) カマド・掘形	-----	605
第590回	5区42号住居跡遺物出土状態(北から)・写真	-----	606
第591回	5区42号住居跡	-----	607
第592回	5区43号住居跡カマド付近遺物(西から)・写真	-----	608
第593回	5区43号住居跡	-----	609
第594回	5区44号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	-----	610
第595回	5区44号住居跡カマド遺物(西から)・写真(2)	-----	611
第596回	5区44号住居跡土層断面(北から)・写真(3)	-----	611
第597回	5区44号住居跡	-----	612
第598回	5区45号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	-----	613
第599回	5区45号住居跡	-----	614
第600回	5区46号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	-----	615
第601回	5区46号住居跡カマド遺物(西から)・写真(2)	-----	616
第602回	5区46号住居跡貯蔵穴付近(西から)・写真(3)	-----	616
第603回	5区47号住居跡遺物出土状態(東から)・写真	-----	617
第604回	5区47号住居跡	-----	618
第605回	5区48号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(1)	-----	619
第606回	5区48号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(2)	-----	620
第607回	5区48号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(3)	-----	620
第608回	5区48号住居跡カマド	-----	621
第609回	5区48号住居跡カマド遺物(西から)・写真(4)	-----	621
第610回	5区49号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(1)	-----	622
第611回	5区49号住居跡	-----	623
第612回	5区49号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(2)	-----	623
第613回	5区50号住居跡カマド遺物(西から)・写真	-----	624
第614回	5区50号住居跡	-----	625
第615回	5区51号住居跡 掘形	-----	626
第616回	5区51号住居跡(西から)・写真	-----	626
第617回	5区52号住居跡 掘形	-----	627
第618回	5区52号住居跡遺物出土状態(北から)・写真	-----	627
第619回	5区53号住居跡	-----	628
第620回	5区53号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	-----	628
第621回	5区54号住居跡 掘形	-----	629
第622回	5区54号住居跡遺物出土状態(南から)・写真	-----	629
第623回	5区55号住居跡 掘形	-----	630
第624回	5区55号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	-----	630
第625回	5区56号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	-----	631
第626回	5区56号住居跡カマド遺物(西から)・写真(2)	-----	632
第627回	5区56号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(3)	-----	632
第628回	5区56号住居跡(1)	-----	633
第629回	5区56号住居跡(2) カマド	-----	634
第630回	5区56号住居跡カマド遺物(西から)・写真(4)	-----	634
第631回	5区57号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(1)	-----	635
第632回	5区57号住居跡	-----	636
第633回	5区57号住居跡カマド遺物(北西から)・写真(2)	-----	636
第634回	5区58号住居跡カマド遺物(西から)・写真(1)	-----	637
第635回	5区58号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(2)	-----	637
第636回	5区58号住居跡	-----	638
第637回	5区59号住居跡(東から)・写真(1)	-----	639
第638回	5区59号住居跡(1)	-----	640

第639図	5区59号住居跡(2)	641
第640図	5区59号住居跡カマド(東から)・写真(2)	641
第641図	5区60号住居跡遺物出土状態(北から)・写真	642
第642図	5区60号住居跡	643
第643図	5区60・61・63号住居の推定	644
第644図	5区60号住居跡下層の推定(北から)・写真	644
第645図	5区61・63号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(1)	645
第646図	5区61号住居跡カマド断面(西から)・写真(2)	645
第647図	5区61・63号住居跡	646
第648図	5区62号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	647
第649図	5区63号住居跡野藪穴付近遺物(東から)・写真	648
第650図	5区64号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	649
第651図	5区64・65号住居跡	650
第652図	5区64号住居跡カマド遺物(西から)・写真	650
第653図	5区65号住居跡遺物出土状態・写真(1)	651
第654図	5区65号住居跡カマド断面(西から)・写真(2)	651
第655図	5区66号住居跡	652
第656図	5区66号住居跡遺物出土状態(北から)・写真	652
第657図	5区67号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(1)	653
第658図	5区67号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(2)	654
第659図	5区67号住居跡カマド遺物(西から)・写真(3)	654
第660図	5区67号住居跡	655
第661図	5区68号住居跡	656
第662図	5区68号住居跡遺物出土状態(南東から)・写真	656
第663図	5区69号住居跡	657
第664図	5区69号住居跡(南から)・写真	657
第665図	5区ビット群2(南から)・写真	658
第666図	5区ビット群1(南から)・写真	659
第667図	5区A類溝、C1号溝(南から)・写真	660
第668図	5区A類溝群北半(北から)・写真	661
第669図	5区A・B・C類溝群	662
第670図	5区101・102号溝 断面	663
第671図	5区B2号溝(南から)・写真(1)	664
第672図	5区B2号溝遺物出土状態(西から)・写真(2)	664
第673図	5区B2号溝	665
第674図	5区C1号溝(北から)・写真(1)	666
第675図	5区C1号溝 イ区遺物出土状態(北から)・写真(2)	666
第676図	5区C1号溝 ロ区遺物出土状態(北から)・写真(3)	667
第677図	5区C1号溝 ハ区遺物出土状態(東から)・写真(4)	667
第678図	変装する沼線(6)	(671)
第679図	6区遺構配置図	(672)
第680図	6区B類石面全景(南から)・写真	674
第681図	6区1号住居跡カマド(西から)・写真	675
第682図	6区1号住居跡	676
第683図	6区1号土坑、B1号溝	676
第684図	6区水田跡(1)	677
第685図	6区水田跡(2)	678
第686図	5-6区東側道(北から)・写真	678
第687図	4区1号住居跡出土遺物	681
第688図	4区1・2号住居跡出土遺物	682
第689図	4区3・4・6・7・8・9号住居跡出土遺物	683
第690図	4区11・12・13・14号住居跡出土遺物	684
第691図	4区15・16・17・18・19号住居跡出土遺物	685
第692図	4区21・22・23・24・29号住居跡出土遺物	686
第693図	4区30・32・33号住居跡出土遺物	687
第694図	4区34・35・36・37号住居跡出土遺物	688
第695図	4区38・40・41・43・44号住居跡出土遺物	689
第696図	4区45・54・55号住居跡出土遺物	690
第697図	4区55号住居跡出土遺物	691
第698図	4区56・57・58号住居跡出土遺物	692

第699区	4区59·60·62号住居跡出土遺物	693
第700区	4区63·65·68·70号住居跡出土遺物	694
第701区	4区71·72·73·75号住居跡出土遺物	695
第702区	4区74·76·77号住居跡出土遺物	696
第703区	4区78号住居跡出土遺物	697
第704区	4区80·81·84·85号住居跡出土遺物	698
第705区	4区86号住居跡出土遺物(1)	699
第706区	4区89号住居跡出土遺物(2)	700
第707区	4区101·102·103号住居跡出土遺物	701
第708区	4区104·105·106号住居跡出土遺物	702
第709区	4区107·109·110·111·112·113号住居跡出土遺物	703
第710区	4区114·117·119·120号住居跡出土遺物	704
第711区	4区121·122·127号住居跡出土遺物	705
第712区	4区128·129号住居跡出土遺物	706
第713区	4区130号住居跡出土遺物	707
第714区	4区130·135·137·138·141·142号住居跡出土遺物	708
第715区	4区145·146号住居跡出土遺物	709
第716区	4区146·147号住居跡出土遺物	710
第717区	4区147·149·150·152号住居跡出土遺物	711
第718区	4区153号住居跡出土遺物	712
第719区	4区154·155号住居跡出土遺物	713
第720区	4区155号住居跡出土遺物	714
第721区	4区34·88·144·223·224号土坑出土遺物	715
第722区	5区1·2·3·4·6·8·9·10号住居跡出土遺物	716
第723区	5区11·12·17·19·20·21号住居跡出土遺物	717
第724区	5区22·23·24号住居跡出土遺物	718
第725区	5区25·26·27号住居跡出土遺物	719
第726区	5区27号住居跡出土遺物(1)	720
第727区	5区27号住居跡出土遺物(2)	721
第728区	5区28·29·30·31号住居跡出土遺物	722
第729区	5区31·32·33·34·35号住居跡出土遺物	723
第730区	5区36号住居跡出土遺物	724
第731区	5区36·37·38号住居跡出土遺物	725
第732区	5区38·39·41·42·43号住居跡出土遺物	726
第733区	5区44·45·46号住居跡出土遺物	727
第734区	5区46·47·48号住居跡出土遺物	728
第735区	5区48·49号住居跡出土遺物	729
第736区	5区49·50·52·53·54·56号住居跡出土遺物	730
第737区	5区56·57·58号住居跡出土遺物	731
第738区	5区59·60·61·62号住居跡出土遺物	732
第739区	5区62·63号住居跡出土遺物	733
第740区	5区64·65·66·67号住居跡出土遺物	734
第741区	5区67·68号住居跡、101·B2号溝出土遺物	735
第742区	5区C1号溝、23·43号土坑出土遺物	736
第743区	5区遺構外出土遺物	737
第744区	6区1号住居跡、6区1号土坑出土遺物	737
第745区	遺構外出土縄文時代遺物(1)	738
第746区	遺構外出土縄文時代遺物(2)	739
第747区	遺構外出土縄文時代遺物(3)	740
第748区	遺構外出土縄文時代遺物(4)	741
第749区	遺構外出土縄文時代遺物(5)	742



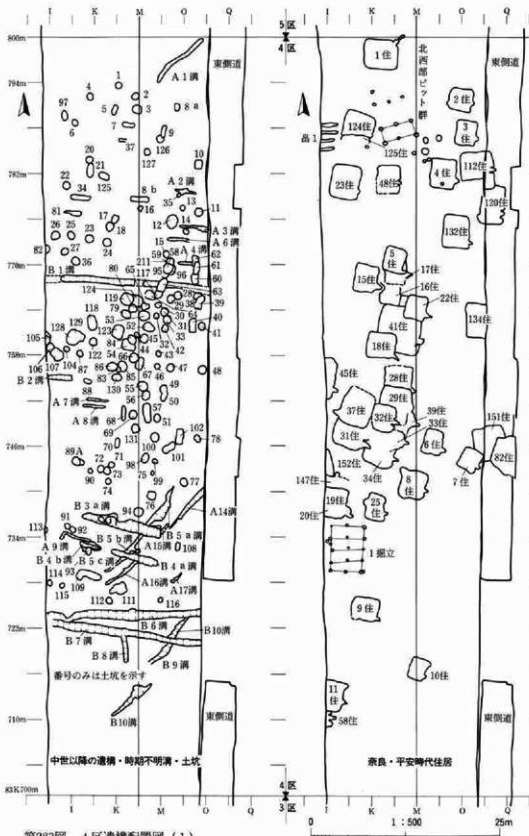
## 4 区 の 遺 構



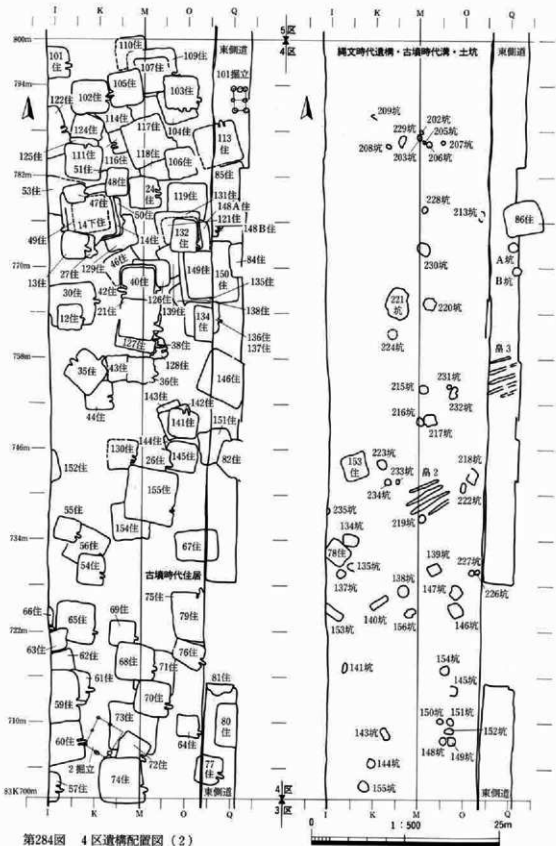
第282図 変貌する沿線(4)群馬町三ッ寺から北西を望む

三ッ寺II遺跡地の東側には水田・畠が広がる。  
西側では住宅開発が進む。後方は榛名山。

1990年4月撮影



第283図 4区遺構配置図(1)



第284図 4区遺構配置図(2)

## 4 区 の 概 要

大宮を起点とする4区のキロ程は、83km700mから83km800mの範囲である。キロ程715mから728mの東側道部は、側道調査着手時点で生活道路が完成・利用されていたため、調査不可能であった。本区南端のキロ程700m付近、および北端の800m付近では、遺構の分布が連続的であり、それぞれの線上の遺構は調整して便宜的に3区・4区・5区に帰属させた。3区に帰属する遺構は「資料編1」に、4・5区に帰属する遺構は「資料編2」に掲載した。

4区では下表の遺構を検出した。本区は他の区に比べてやや高く、遺構の重複がもっとも激しい調査区であった。とくにキロ程750m～800mの間は、1軒の住居を拡張的に建て替えるケースがみられ、さらにより新しい時期の住居が重なるという状態であった。ある時期には継続的に集落が営まれたことを示している。

キロ程750m付近から3区にかけて、地割れを伴う遺構を検出した。一部に、噴砂痕跡とみられるものもあり、遺構同士の前後関係、および地割れ等と住居との前後関係から、地割れを生じた時期が限定できる可能性が高い。遺構と地割れとの関係は「本文編」で詳細に報告する。

本区では古墳時代住居跡の上に作られた畝跡とみられる溝群を2カ所で検出しており、これらの畝跡には榛名山二ツ岳を給源とする火山灰（FA）が認められた。

本区も、遺構検出状態からみて、さらに新幹線用地外に遺構が広がることが確実である。

表4 4区検出遺構

遺 構	時		古 墳					代			欠 番	小 計
	縄 文	弥 生	前 期	中 期	後 期	(古)**	奈良	平 安	不 明			
住 居	3	0	0	11	58	22	13**	28**	1**	21**	157	
掘立柱建物						2		1			3	
ビット群									1		1	
井											0	
溝									22+6	8	36	
土 坑	19						32		140	43+3	237	
水 田											0	
畝						2		1			3	

\*1 時期分離できない

\*2 古墳～奈良と推定したもの8軒を含む

\*3 奈良～平安と推定したもの1軒を含む

\*4 152住＝古墳～平安

\*5 52住＝111住、83住＝欠番、87～100住＝欠番、108住＝24住、115住＝109住、123住＝欠番、133住＝欠番、140住＝欠番

三ツ寺II 4区 1号住居跡 (第285・687図, 図版206・479)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 472×383, 面積 (18.1㎡), 壁高 18~38, 長軸方位 N96度E
壁 溝	幅 5~13, 深さ 2~5
主柱穴	不明
カマド	位置 北東隅, 対称軸方位 N51度E, 構築材 粘土・石・円筒形土製品? 支脚 円筒形土製品の半蔵
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上ノ60×51, 下ノ35×23, 深さ 48
その他 (状況の記録)	
確 認 面	暗褐色土, 5層, 検出位置: K~Lライン・797m付近
重 複 関 係	: 110住→1住
覆 土	: 灰褐色系の土, 上位に軽石含む, 壁 : 直に近い
床 面	: 西辺・南辺の内側で幅約1mの範囲が軟弱, その他は堅く締まる
主 柱 穴	: - 壁 溝 : 北辺カマド寄り・西辺中央~東辺中央で検出
カ マ ド	: 両袖の芯に石を据えて粘土で固める, 焚口天井部に50cm長の細長い石を架ける, 燃焼部中央やや右寄りに円筒形土製品の半蔵を起てる, 煙道部との境に段がある, 煙道部長約100・対角線方向, カマド右袖端から円筒形土製品出土, 東辺中央壁際から円筒形土製品出土
貯 蔵 穴	: 底面は楕円形
掘 形	: 西辺中央壁際やや南寄りで55×40・深さ15の掘り込み検出, 北辺中央部で不整形掘り込み検出
そ の 他	: 穴のあいた棒状炭化物・ワラ状炭化物・棒状炭化物が床面から出土, 火災を受けたか?, 棒状炭化物は壁と直角方向に延びるもの多い, ワラ状炭化物はその上に乗る, 建築部材か?
遺 物	: 土器306片・石13cm大2個 (炭化物付着), 床面の全面に炭化物分布, 覆土から灰輪陶器高台付碗・土師質高台付碗出土, 0681 (鉄製鏝)・1000 (円筒形土製品)・1001 (円筒形土製品)・1002 (円筒形土製品)・1003 (円筒形土製品)・1004 (円筒形土製品)・1005 (土師質瓶)
時 期	: 平安, 10世紀後半~11世紀



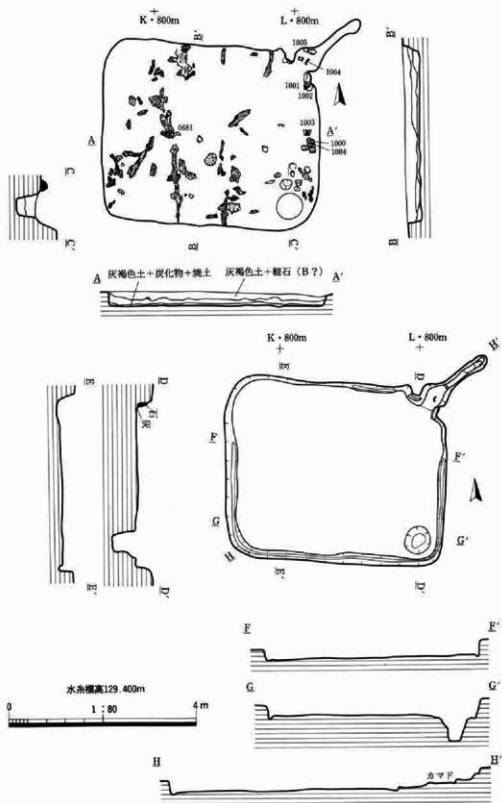
第285図 4区1号住居跡遺物出土状態 (西から)



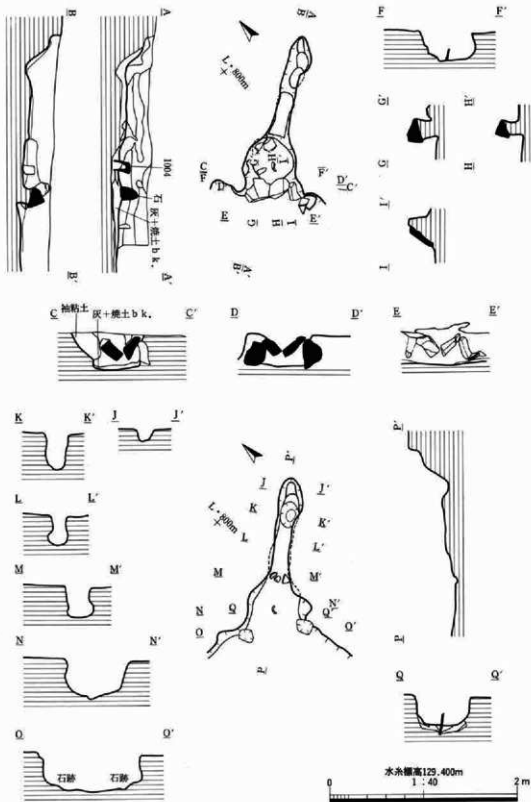
第286図 4区1号住居跡遺物出土状態（西から）



第287図 4区1号住居跡遺物出土状態



第288図 4区1号住居跡(1)



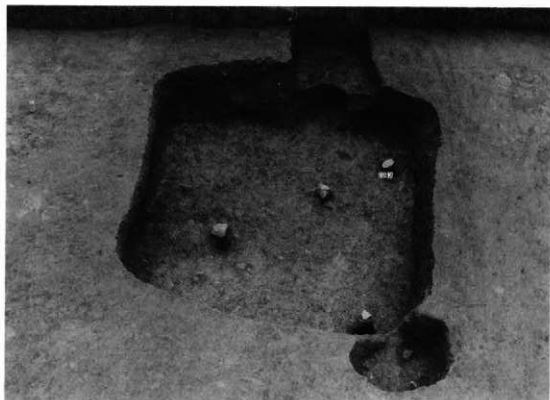
第289图 4区1号住居跡(2) カマド



三ツ寺II 4区 2号住居跡 (第290・688図, 図版207・480)

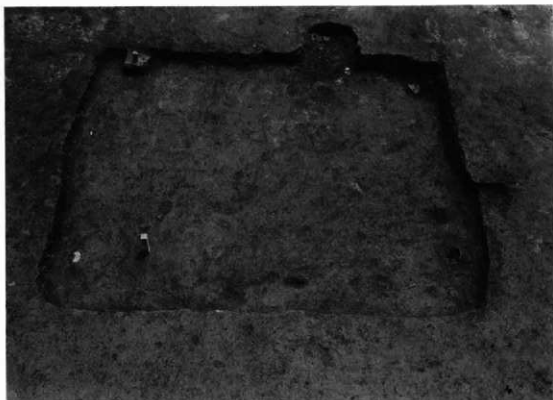
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 331×298, 面積 9.9㎡, 壁高 46~70, 長軸方位 N106度E
壁 調	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
礎 礎 面	褐色土, 5層, 検出位置: Oライン・792m付近
重 複 間 隔	2住→8坑, 103住→2住, 覆 土: 黄褐色土bk, を含む褐色系の土
壁	: 直に近い, 床 面: 粘床
主 柱 穴	-, 壁 溝: -
カ マ ド	: 袖部未検出, 壁基部奥壁は東辺ラインから突出する
貯 蔵 穴	:-
堀 形	: 底面凹凸著しい, 西半は下層遺構のため軟弱
そ の 他	: やや深い, 東側掘り込みはカマド調査のため
遺 物	: 土器111片, 覆土から須恵器カエリのある蓋・平瓶頸部片・台付き甕蓋部片・ 頸部に段のある土師器壺出土, 1042 (須恵器蓋)
時 期	: 奈良, 7世紀後半~8世紀前半

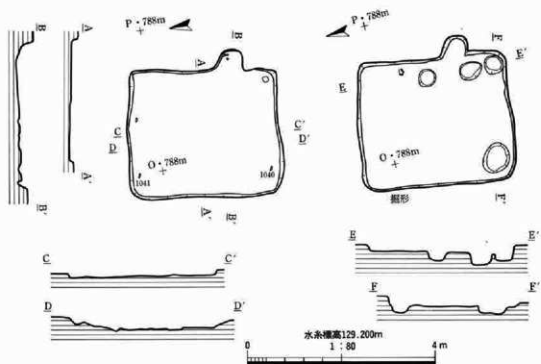


第290図 4区2号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	長方形、規模 324×266、面積 8.6㎡、壁高 5~14、長軸方位 N8度E	
壁 溝	不明	
主柱穴	不明	
カマド	位置 東辺中央南寄り、対称軸方位 N101度E、構築材 粘土?、支脚 不明	
貯蔵穴	不明	
その他(状況の記録)		
確認面	褐色土、5層	検出位置：O~Pライン・787m付近
重複関係	113住→3住、106住→3住	
覆土	軽石を含む褐色系の土	壁 溝：浅い
床面	平坦、粘床	
主柱穴	-	
カマド	痕跡未検出、燃焼部から羽釜破片出土	
貯蔵穴	不明、床下から4基の円形土坑検出	
掘形	北西寄りに凹凸著しい	
その他	カマド前~南東隅・南西隅に円形土坑検出、径40~50・深さ15~24、いずれも貯蔵穴ではない?	
遺物	土器126片、羽釜破片出土、 1040・1041	
時期	平安、10世紀後半	



第291図 4区3号住居跡遺物出土状態(西から)

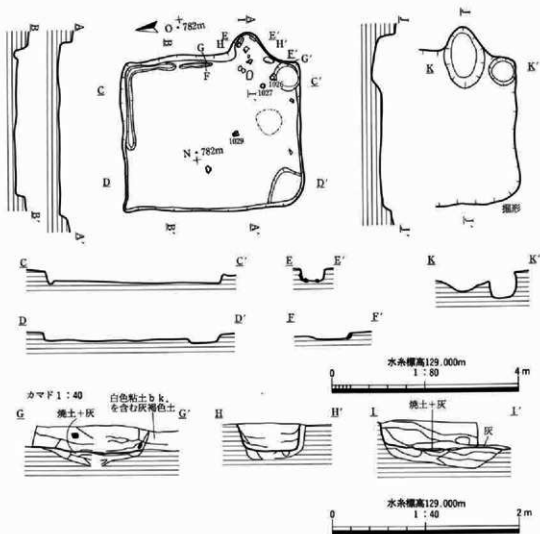


第292図 4区3号住居跡



第293図 4区4号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	長方形, 規模 377×325, 面積 12.3㎡, 壁高 6~25, 長軸方位 N7度E
壁 溝 幅	8~17, 深さ 2~5
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺南寄り, 対称軸方位 N92度E, 構築材 粘土・石, 支脚 石?
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 円形, 上 $\phi$ 60×51, 下 $\phi$ 42×45, 深さ 37
その他(状況の記録)	
確認 面	褐色土, 5層
検出位置	N~Oライン・781m付近
重複関係	1066住→4住, 24住→4住
覆 土	褐色系の土
壁 溝	直に近い
床 面	平坦, 細かい凹凸あり, 貼床
主 柱 穴	-
壁 溝	東辺北半~北辺東半で検出, その他不明
カ マ ド	袖部不明, 燃焼部奥壁は略三角形に突出する, 奥壁に沿って細長い石2個出土, 右袖基部に石を 掘入る, 燃焼部前に凝灰岩出土, 土器小片出土
貯 蔵 穴	底面から土器片出土
掘 形	カマド燃焼部は楕円形に掘り込む, 凹凸あり
そ の 他	中央床面南寄りに径50~60の範囲で焼土分布, 浅い掘り込み, 南西隅は下層住居の一部?
遺 物	土器186片, 灰釉陶器壺・土師御高台付椀・還元焼成小皿・カマド内羽釜出土, 1026・1027・1028・1029
時 期	平安, 11世紀前半

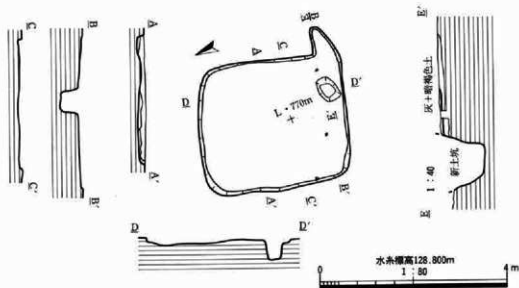


第294図 4区4号住居跡

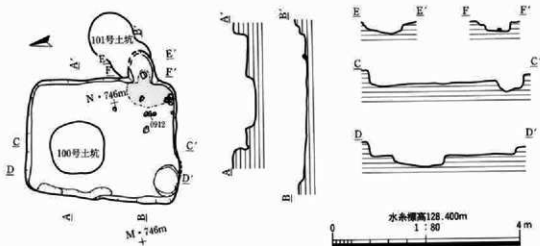
三ツ寺II 4区 5号住居跡 (第295図, 図版210)

計測値単位cm, - : 計画不可・不明

平面形	長方形、規模 315×278、面積 8.8㎡、壁高 5~15、長軸方位 N18度E		
壁溝	不明		
カマド	位置 南東隅、対称軸方位 -, 構築材 不明、支脚 不明		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
礎石面	褐色土、5層	検出位置	Lライン・769m付近
重複関係	周辺の住居より新しい、17住→5住	覆土	軽石を含む黄褐色系の土
壁	浅い	床面	平坦
支柱穴	-	壁溝	-
カマド	南東隅の東辺側で東辺に対して直角方向へ煙道がのびる、削平されて焼土・灰の遺存少ない		
貯蔵穴	-	掘形	-
その他: カマド前の掘り込みは灰層を切っているのが本住居より新しい			
遺物	土器120片・石1個、覆土から羽釜口縁部出土、掲載遺物なし		
時期	重複関係・出土遺物から平安?		



第295図 4区5号住居跡



第296図 4区6号住居跡

平面形	長方形, 規模 312×255, 面積 8.0㎡, 壁高 16~33, 長軸方位 N15度E
壁 溝 幅	10~15, 深さ 1~5
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N99度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 石
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 楕円形, 上ノ径7×53, 下ノ径25×18, 深さ 22
その他(状況の記録)	
確認面	褐色土, 5層, 検出位置: Nライン・747m付近
重複関係	周辺住居→6住→100・101坑, 26住→6住
覆土	灰褐色系の土, 壁: 直に近い
床面	平坦, 粘床, カマド前は灰・炭化物分布
主柱穴	-
カマド	袖部未検出, 燃焼部奥壁の半分は101土坑により破壊, 燃焼部やや右寄りに石支脚出土, カマド前から石9個出土, カマド構築材か?, 燃焼部は壁外へ突出する
貯蔵穴	当初99土坑, 底面中央くぼむ, 南側は住居壁下奥へ入る
照形	カマド圓形調査で土師器小原壺出土, 東側下層住居のもの
その他	中央やや北の円形100号土坑は上層からの掘り込み, 101号土坑も同様
遺物	覆土から須恵器高杯頸部・高台付椀底部・土師器壺体部片出土, カマド下層から略完形の土師器小型壺出土, 0912(土師質高台付椀)
時期	平安, 10世紀後半



第297図 4区6号住居跡遺物出土状態(西から)

三ツ寺II 4区 7号住居跡(第258・689図, 図版212・481)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 305×253, 面積 7.7㎡, 壁高 5~13, 長軸方位 N33度E
壁溝幅	10~14, 深さ 1~3
主柱穴	不明
カマド	位置 南東辺中央寄り, 対称軸方位 N126度E, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 西隅, 平面形 円形, 上ノ径80, 下ノ径43×36, 深さ 26
その他(状況の記録)	
確認面	: 褐色土, 5層, 検出位置: O~Pライン・744m付近
重複関係	: 周辺住居より新しい, ビット1Aとの関係は不明, 15住→7住, 145住→7住
覆土	: 黄褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる
床面	: 遺物は浮いて検出, 掘り過ぎか?, 平坦, 貼床
主柱穴	: - , 壁溝: 北西辺中央部のみ検出
カマド	: 袖部不明確, 燃焼部は壁外へ突出する, 床下は深く掘り込む
貯蔵穴	: 覆土から土器片出土
掘形	: カマド前から中央部にかけて溝状に深く掘り込む, 凹凸著しい
その他	: 南西辺中央で浅い掘り込み2カ所検出, ビット1: 50×35・深さ6, ビット2: 30×14・深さ8・壁に接する
遺物	: 土器139片・石1個, 遺物は全体に床面から浮いている, 覆土から土器高台付碗・黒色土器高台付碗・無台杯出土, 0837(高台付碗, 片口状割れ)・0838(灰釉陶器高台付碗, 内底平滑)・0839
時期	: 平安, 11世紀前半



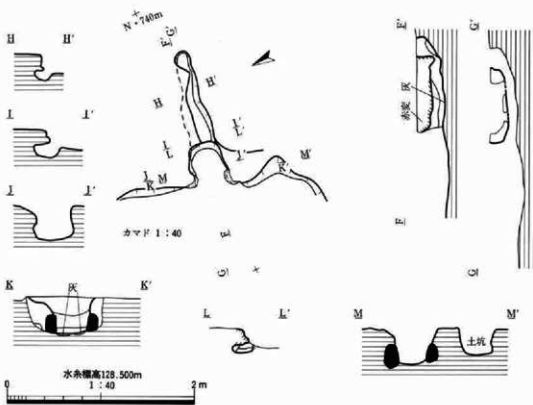
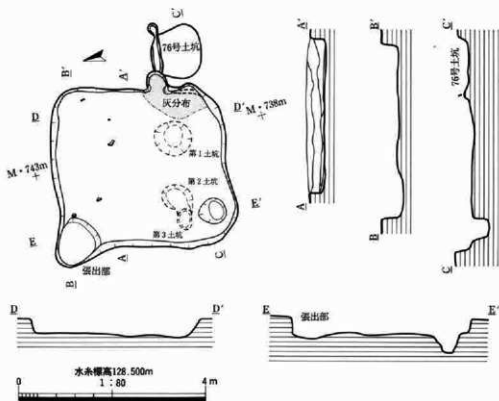
第298図 4区7号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	長方形, 規模 372×331, 面積 12.3㎡, 壁高 29~41, 長軸方位 N16度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺南寄り, 対称軸方位 N102度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明
貯蔵穴 位置	南西隅, 平面形 不整形, 上ノ径55×50, 下ノ径42×32, 深さ 32
その他 (状況の記録)	
確認面	面: 褐色土, 5層, 検出位置: Mライン・740m付近
重層関係	: 8住→76坑, 155住→8住, 覆土: 軽石を含む灰褐色系の土
壁	: 直に近い, 床面: 平組, カマド前ややくぼむ, 粘床
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 四袖部に石を据える, 燃焼部は壁外へ突出する, 煙道部約100cm検出, 燃焼部と煙道部との境に段をもつ, 燃焼部奥壁近くから土器片出土, カマド前に灰分布
貯蔵穴	: 西面は楕円形を呈する
掘形	: 土坑3基検出, 第1土坑: 81×72・深さ8, 第2土坑: 70×50・深さ11・中から石出土, 第3土坑: 42×31・深さ17
その他	: 北西隅に略三角形の突出部をもつ, 突出部は床面から12cm低い土坑状
遺物	: 土器382片・石1個, 覆土から須恵器すり鉢底部・土師器高杯出土, その他須恵器壺体部片・高台付杯底部・土師器内黒横紋高杯出土, 0682 (鉄鍔)・0683 (鉄鍔)・0836 (土師器杯, 小型)
時期	: 平安, 11世紀



第299図 4区8号住居跡カマド (西から)



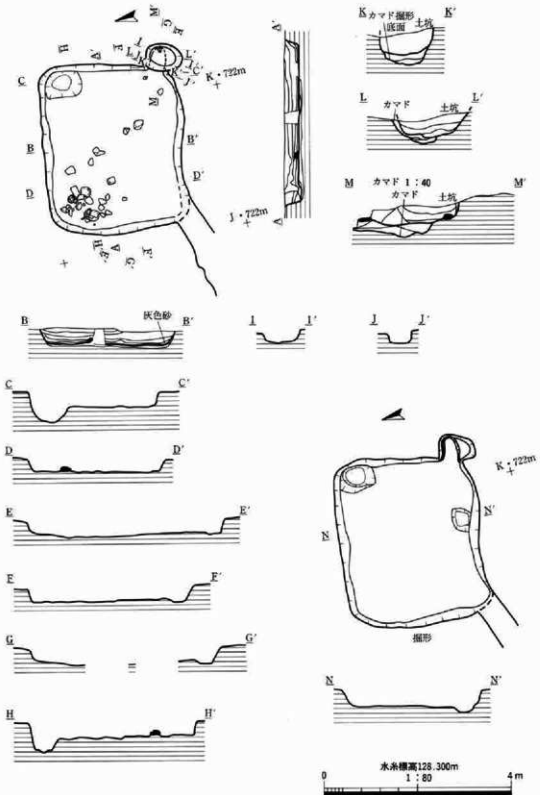


第300図 4区8号住居跡

平面形	長方形, 規模 358×297, 面積 10.6㎡, 壁高 23~33, 長軸方位 N102度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 南東隅, 対称軸方位 -, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 北東隅, 平面形 長方形, 上×78×55, 下×41×30, 深さ 27
その他(状況の記録)	
確認面	褐色土, 5層
検出位置	J~Kライン・724m付近
重複関係	6・5住・140坑→9住→B6溝
覆土	軽石を含む灰褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる
床面	平坦, 粘床
主柱穴	-
壁溝	-
カマド	大半を土坑によって破壊されている, 燃焼部は東辺と直角方向に突出する, カマド掘形調査で底面検出
貯蔵穴	底面は楕円形を呈する, 北東隅の壁に接して設置する
掘形	南辺中央の壁に接して50×40・深さ8の不整形土坑検出, 西側に小ピット多い
その他	南西隅はB6溝により破壊
遺物	土器224片・石1個・鉄滓1個, 火を受けた10cm大の丸石出土, 0690・0691・0692・0693
時期	平安, 10世紀前半

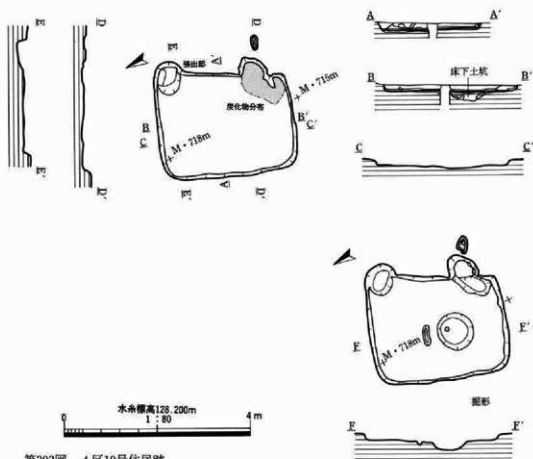


第301図 4区9号住居跡遺物出土状態(西から)



第302図 4区9号住居跡

平面形	長方形, 規模 291×223, 面積 6.5㎡, 壁高 7~14, 長軸方位 N25度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確 認 面	褐色土, 5層
検 出 位 置	Mライン・717m付近
重 複 関 係	B 9溝→10住, 6 8住→10住
覆 土	軽石を含む灰褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる, 浅い
床 面	平坦, 貼床, 西側は低い
主 柱 穴	-
壁 溝	-
カ マ ド	遺存不良, 周辺に炭化物分布, 燃焼部奥壁は住居壁と平行にならない, 奥壁は角張る
貯 蔵 穴	張出部か?
掘 形	中央部に長さ42・幅13・深さ8の溝状掘り込み, 中央部やや南寄りに径75・深さ18前後の掘り込み
そ の 他	北東隅に楕円形・深さ10の土坑状張出部検出
遺 物	土器60片, カマドから須恵器大甕体部片・羽釜底部出土, 覆土から高台付椀底部出土, 遺物図掲載なし
時 期	平安

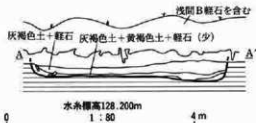


第303図 4区10号住居跡

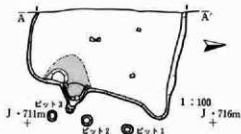
三ツ寺II 4区 11号住居跡 (第304・690図, 図版216)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	南北409, 面積 -	壁高	24~38	長軸方位	-
壁溝	不明						
主柱穴	不明						
カマド	位置	東辺南寄り, 対称軸方位	N104度E, 構築材	粘土・石, 支脚	不明		
貯蔵穴	不明						
その他 (状況の記録)							
確認面	暗褐色土, 5層	検出位置	I~Jライン・712m付近				
重複関係	周辺住居より新しい, 58住→11住	覆土	軽石を含む灰褐色系の土				
壁	斜めに立ち上がる	床面	平坦, 貼床				
主柱穴	-	壁溝	-				
カマド	燃焼部奥壁は角張る, 燃焼部は東辺から突出する, 煙道の一部検出, 両袖部相当位置で径10・深さ4~5の小ピット検出 (袖石抜跡か?), 右袖部相当位置に高まりあり, カマド前の床面に炭化物分布, カマド前から土器片出土						
貯蔵穴	-	掘形	-				
その他: 東辺に平行してピット3基検出, 本住居との関係不明, ピット1: 29×23・深さ16, ピット2: 径27・深さ24, ピット3: 21×28・深さ9, 西半は調査区外にある							
遺物	土器389片, カマド内から羽釜口縁部出土, 覆土から土師貫高台付検出土, 0913 (土師貫羽釜)						
時期	平安, 10世紀後半						

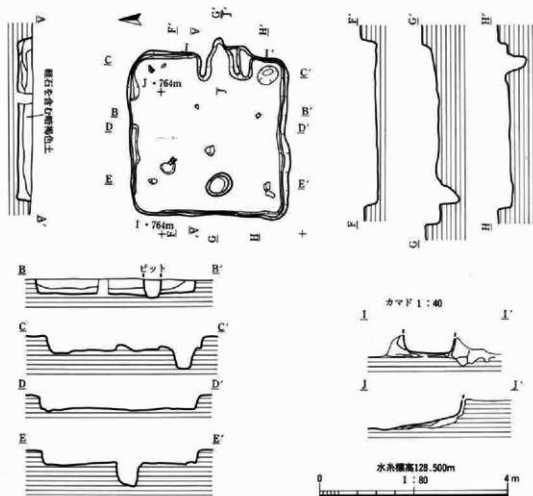


第304図 4区11号住居跡



第305図 4区11号住居跡遺物出土状態 (北から)

平面形	方形～長方形, 規模 345×327, 面積 11.3㎡, 壁高 24～41, 長軸方位 N91度E
壁 調	幅 7～16, 深さ 1～4
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N90度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ43×36, 下ノ21×10, 深さ 46
その他 (状況の記録)	
確 認 面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: I～Jライン・763m付近
重 複 関 係	3 0 住→1 2 住, 覆 土: 軽石を含む褐色系土
壁	: 直に近い, 床 面: 平坦, 中央ややくぼむ, 貼床
主 柱 穴	: 西辺寄り中央ピットは3 0 号住居主柱穴
壁 調	: 北西隅・北辺中央を除き全周, カマド左袖端まで壁溝検出
カ マ ド	: 燃焼部東壁は住居壁の外に突出する, 煙道一部遺存
貯 蔵 穴	: 上ノの縁にやや高まりがある, 平面形の長軸は住居の対角線方向
掘 形	: カマド前に不整形の掘り込み, 西辺中央壁溝内に小ピット検出, 北辺中央やや南寄りに楕円形の掘り込み, 凹凸著しい, 黄褐色土の面に達する
そ の 他	: 石・土器片は全面に散布
遺 物	: 土器44片, 土師器壺口縁部出土 (海蔵なし), 18cm大の細長い石出土 (南西隅), 覆土から土師器内銅杯・横依杯・多孔式甕底部 (11孔以上)・灰釉陶器出土, 0914 (土師器杯)
時 期	: 古墳後期, ?世紀前半



第306図 4区12号住居跡

三ツ寺II 4区 13号住居跡 (第307・690図, 図版218・481)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	台形、規模 東西352×南北345、面積 12.1㎡、壁高 14~24、長軸方位 N98度E
壁 溝 幅	14~28、深さ 1~4
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺中央、対称軸方位 N103度E、構築材 粘土・石、支脚 土器?
貯蔵穴 位置	南東隅、平面形 円形、上ノ45×40、下ノ25×20、深さ 34
その他 (状況の記録)	
礎 石 面	暗褐色土、5層下位
検出位置	Jライン・772m付近
重複関係	14・49住→27住→13住→36坑、25・26・27坑との関係不明
覆 土	軽石を含む褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる
床 面	貼床、カマド前壁く締まる、西側はやや低い、北側は下層住居のためか軟弱
主 柱 穴	-
壁 溝	南辺~西辺で検出
カ マ ド	右軸部に細長い石を据える、焚口~煙道部は段がない、燃焼部の半分は壁外へ突出する
貯 蔵 穴	上ノの周縁がやや高くなる、西側は二段に掘り込む、南西側の床面から土器出土
掘 形	黄褐色土の面に達する、凹凸著しい
そ の 他	東辺290・北辺335・西辺340・南辺287、下層・周辺住居の影響で一部掘り通ぎている
遺 物	土器533片、南辺東寄り壁際から径13cmの土師器杯・カマド燃焼部から径10cmの土師器杯出土、 覆土から滑石製紡錘車小片・須恵器杯底部・須恵器高杯脚部出土、甕類の出土なし、 丸高期の杯多い、 1045 (須恵器杯)・1046・1047・1048 (カマド出土破片接合、外面炭化物)・1049・1050
時 期	古墳後期、7世紀後半



第307図 4区13号住居跡遺物出土状態 (西から)



第308図 4区13号住居跡カマド遺物（西から）



第309図 4区13号住居跡貯蔵穴付近遺物（東から）



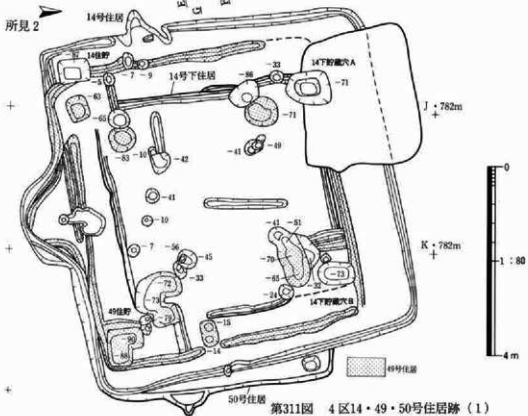
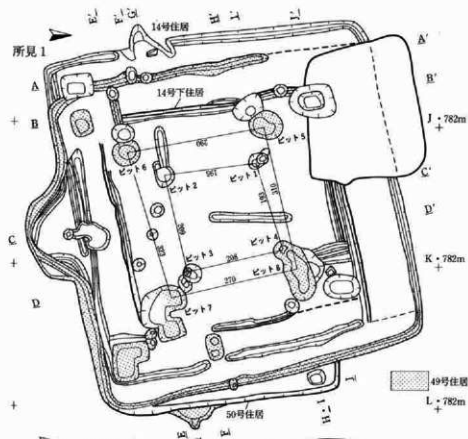
三ツ寺II 4区 14号住居跡 (第310・690図, 図版218・482)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

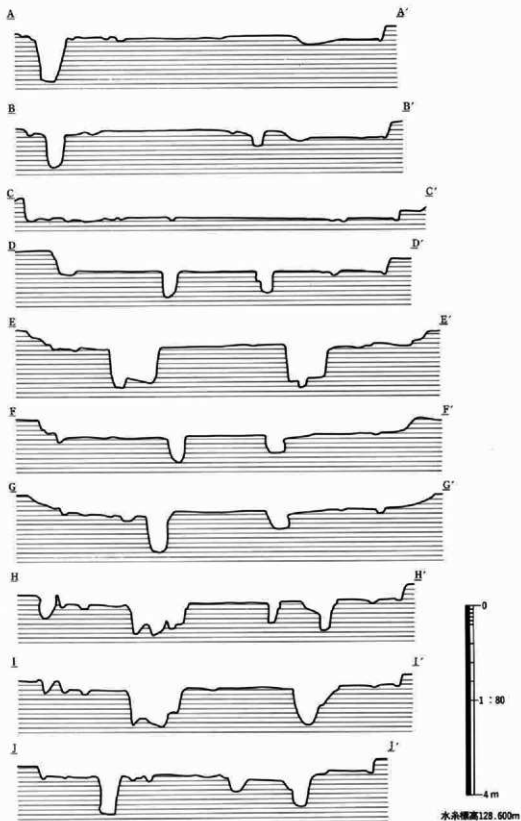
平面形	略方形, 規模 694×東西691 (742), 面積 48.0 (51.5) $m^2$ , 壁高 19~30, 長軸方位 N101度W
壁 構 造	幅 11~15, 深さ 5前後
主柱穴	確定せず
カマド	位置 西辺中央南寄り, 対称軸方位 N105度W, 構築材 粘土, 支脚 石?
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 長方形, 上×67×50, 下×35×28, 深さ 87
その他 (状況の記録)	<p>確認 面: 黒色土, 6層, 検出位置: 1~Lライン・777m付近</p> <p>重複関係: 14号下住→14・49住→47住, 14住→51住→23・48住</p> <p>覆土: 浅層C粒石を含む黒褐色系の土</p> <p>壁: 直に近い, 床面: 平坦, 薄い貼床</p> <p>主柱穴: 重複のため不確定, 所見図参照, 壁溝: 検出内全周</p> <p>カマド: 燃焼部は住居壁ラインの内側にある, 加工痕のある紡錘形の石が燃焼部やや右寄り出土, 左軸部遺存不良, カマド前の床下から小穴検出</p> <p>貯蔵穴: 底面も長方形, 直線的に掘り込む, 形状: 14号下住居壁溝を模倣</p> <p>その他: 14・14下・49・50号住居が重複, 土層観察用アゼを押し掘り下げた, 所見1・2の事, 所見1: 49号 (東側) → 14号 (西側) の東西方向建て替え, 所見2: 49号 (内側) → 14号 (外側) の同心円的拡張建て替え, 中央部で南北方向の溝状遺構検出 (不明), 南辺中央部で張出部検出 (出入口), 東側の50号住居壁にかかるのはカマド痕跡</p> <p>遺物: 土器875片・石1個, 重複が著しいため混入の可能性大, 破片多い, 土師器高杯脚部 (短脚)・大型壺出土, 1051・1052・1053・1054・1055・1056・1057 (石製支脚?)・1058 (滑石製紡錘車, 圓形)</p> <p>時期: 古墳後期, 6世紀後半</p>



第310図 4区14・49・50号住居跡遺物出土状態 (東から)

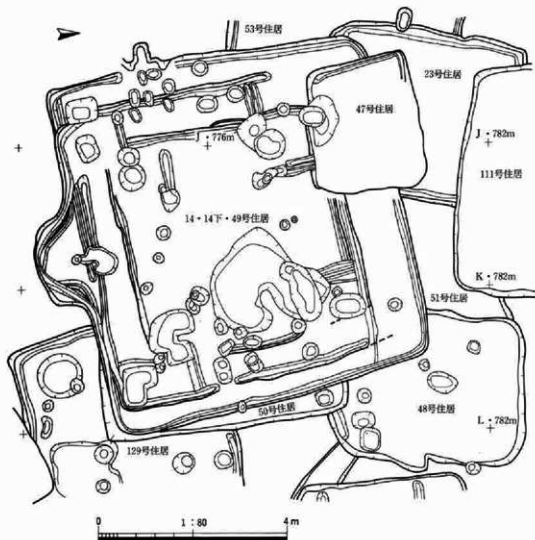


第311図 4区14・49・50号住居跡(1)



第312図 4区14・49・50号住居跡(2)断面

平面形	長方形?				規模	東西480×南北463 (488)		面積	22.2 (23.4) m <sup>2</sup>		壁高	-	長軸方位	N101度W	
壁溝幅	15~23、深さ5前後														
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)										
上バ径	42×30	48	38	38	1-2 : 195		2-3 : 209								
下バ径	15	27	10	15	3-4 : 208		4-1 : 193								
深さ	41	42	56	41											
カマド	不明														
貯蔵穴	A : 位置 北西隅, 平面形 長方形, 上バ98×70, 下バ35×24, 深さ 71														
	B : 位置 北東隅, 平面形 楕円形, 上バ75×50, 下バ48×26, 深さ 73														
その他 (状況の記録)															
確認面	14号住居下						検出位置 : 1~Lライン・777m付近								
重複関係	14号下住→14・49住→47住						覆土 : -								
壁	-						床面 : -								
主柱穴	1~2回の建て替えか?						壁溝 : 北辺~北東隅不確定								
カマド	F : -						貯蔵穴 : 北辺の東西隅の掘り込みを推定								
掘形	-						その他 : 北辺は壁溝2本検出, 外側は別住居所属か?								
遺物	14号住居所属の1058 (滑石製紡錘車) は本住居のものか?, 遺物図掲載なし														
時期	重複関係・相互の位置関係から古墳後期														



第313図 4区14・49・50号住居跡 (3) 掘形

三ツ寺II 4区 15号住居跡 (第314・691図, 図版219)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	台形, 規模 346×322, 面積 11.1㎡, 壁高 4~24, 長軸方位 N14度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N112度E, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確 認 面	暗褐色土, 5層下位 検出位置: Kライン・768m付近
重複関係	30住→15住→B1溝, 16住→15住
覆 土	浅間B軽石を含む黒褐色系の土, 壁 : 斜めに立ち上がる, 浅い
床 面	北側に凹凸あり, カマド前を除き床下か?
主 柱 穴	- 壁 溝: -
カ マ ド	袖部未検出, 燃焼部は壁外へ突出する
貯 蔵 穴	ピット3か? 掘 形: 凹凸著しい
そ の 他: 中央部をB1溝により破壊, 東辺322・北辺300・西辺359・南辺255,	
	ピット1: 径43・深さ7, ピット2: 80×52・深さ19, ピット3: 径70・深さ15,
	ピット4: 43×34・深さ12, ピット5: 径36・深さ15, ピット6: 37×33・深さ16,
	いずれも主柱穴とはみられない
遺 物	土器235片・石2個, カマド内から土釜破片・中央やや北寄りから円筒埴輪片出土,
	0921 (土師質壁)
時 期	平安, 11世紀



第314図 4区15号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	長方形, 規模 東西255×南北400以上, 面積 - , 壁高 2~19, 長軸方位 N6度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: K~Lライン・766m付近
重複関係	221坑→40住→16住→15住→B1溝・119坑
覆土	軽石を含む灰褐色系の土, 壁 : 浅い, 斜めに立ち上がる
床面	平坦
主柱穴	- 壁 溝: -
カマド	東辺119坑付近の土層断面で焼土を検出, 119坑により破壊か?
貯蔵穴	- 掘 影: -
その他	南東隅・南西隅検出, B1溝北側で西辺延長部検出, 東辺265・南辺247・西辺105+22, 西辺中央は15住カマドにより破壊, 北辺末検出
遺物	土器155片・石2個, 覆土から須恵器無台杯・羽釜口縁部・灰釉陶器焼口縁部出土, 0924(土師質高台付椀)
時期	平安, 11世紀



第315図 4区16号住居跡遺物出土状態(西から)

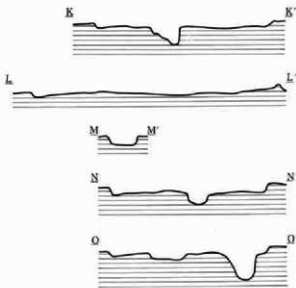
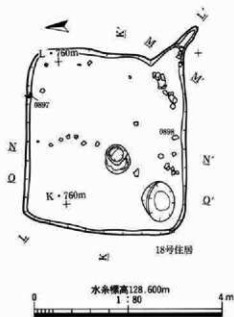
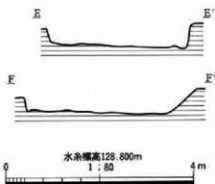
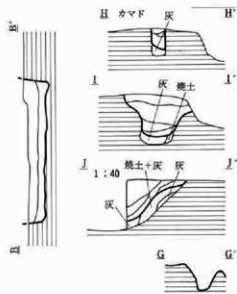
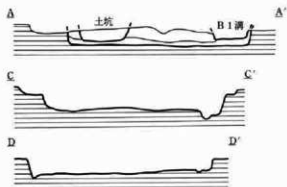
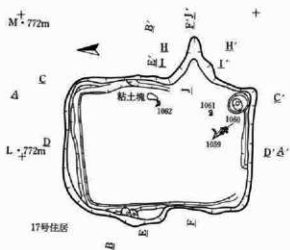
三ツ寺II 4区 17号住居跡 (第316・691図, 図版220・482)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 399×276, 面積 11.0㎡, 壁高 22~49, 長軸方位 N2度E
壁溝	幅 8~23, 深さ 1~5
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N94度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ径48×40, 下ノ径8, 深さ 20
その他 (状況の記録)	
礎	礎面: 暗褐色土, 5層下位 検出位置: L~Mライン・769m付近
重複関係	: 17住→5住, 46住→40住→17住→B1溝
覆土	: 軽石を含む黒褐色系の土 壁 : 直に近い
床面	: 平坦, 貼床, カマド前軟弱 (下層住居のためか)
主柱穴	: - 壁溝 : 南辺西端を除き全周
カマド	: 袖部未検出, 燃焼部は三角形を呈する
貯蔵穴	: 二段に掘り込む, 長軸は住居対角線方向
掘形	: -
その他	: 北辺~西辺北半の上ノ縁は不明確, 掘り過ぎか?, 西辺北半に突出部あり (張出部?)
遺物	: 土器409片, 覆土から須恵器カエリのある蓋・高杯脚部 (透かし)・壺口縁部出土, 南東壁外から須恵器無台杯 (完形) 出土, 粘土塊 (東辺中央壁脚部) 出土, 1059 (須恵器杯, 外底右回転糸切・ヘラ調整)・1060 (須恵器高台付杯)・1061 (土師器杯)・ 1062 (土師器壺口縁部)
時期	: 奈良, 8世紀後半



第316図 4区17号住居跡遺物出土状態



第317图 4区17・18号住居跡



三ツ寺II 4区 18号住居跡 (第317・691図, 図版221・483)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 375×340, 面積 12.8㎡, 壁高 9~22, 長軸方位 N98度E
壁	溝 不明
カマド	位置 南東隅, 対称軸方位 N135度E, 構築材 粘土, 支脚 土器?または円筒形土製品?
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 楕円形, 上ノ83×68, 下ノ40×31, 深さ 51
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: K~Lライン・758m付近
重複関係	周辺住居より新しい, 土坑との関係は不明, 41住→18住
覆土	軽石を含む黒褐色系の土, 壁: 直に近い
床面	平坦, 貼床
主柱穴	-
カマド	燃焼部・煙道部は住居対角線方向に延びる, 燃焼部・煙道部との境は滑らか, 袖部未検出, 燃焼部・カマド前から土器出土, いずれも破片のみ
貯蔵穴	北側は二段に掘り込む, 内部からの出土遺物なし
総形	-
その他	住居中央部でピット1: 61×51・深さ36検出, 内部は二段に掘り込む
遺物	土器241片・石9個, 覆土から羽釜または燗破片出土, カマドから埴輪または円筒形土製品出土, 0897 (土師質杯)・0898 (円筒形土製品)
時期	平安, 10世紀前半



第318図 4区18号住居跡 (西から)

平面形	方形～長方形, 東横 南北410×東西300以上, 面積 - , 壁高 22~35, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N116度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層, 検出位置: 1~Jライン・738m付近
重複関係	5 5住→1 9住→2 0住, 覆土: 軽石を含む灰褐色系の土
壁	: 直に近い, 床面: 平坦, 貼床
主柱穴	: - , 壁溝: -
カマド	: 右袖部に石を据える, カマド前に散布する石はカマド構築材か?, 左袖部付近は半円形の土坑状に掘り込む, 上層からの土坑掘り込みか?
貯蔵穴	: - , 掘形: -
その他	: 西辺未検出, 西平は調査区外にある, 北辺300・東辺358・南辺261
遺物	: 土器256片, 灰釉陶器小片 (輪花?, 緑輪?), 覆土から須恵器高台付椀・壺体部片・土師器壺体部片出土, 0829 (土師質料)・0830 (灰釉陶器椀)・0831 (須恵器壺破片)
時期	: 平安, 11世紀前半

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺?, 対称軸方位 -, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層, 検出位置: Iライン・737m付近, 壁中
重複関係	1 9住→2 0住, 覆土: -
壁	: - , 床面: -
主柱穴	: - , 壁溝: -
カマド	: 焼土混じりの煙道立ち上がりを検出, 貯蔵穴: -
掘形	: - , その他: 住居本体は西側調査区外にある
遺物	: 土器12片, 小片のみ, 遺物同梱載なし
時期	: 平安



第319図 4区19号住居跡遺物出土状態 (北から)

三ツ寺II 4区 21号住居跡 (第320・692図, 図版222・483)

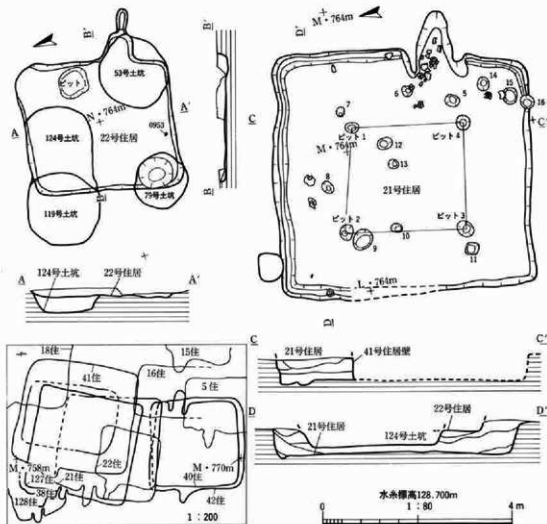
計測値単位cm, - : 計画不可・不明

平面形	長方形, 面積 550×524, 面積 28.8㎡, 壁高 4~20, 長軸方位 N9度E				
壁溝	幅 10~20, 深さ 1~5				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ中心)
上ノ径	27×22	27×33	37×30	径31	1-2 : 224
下ノ径	17×15	径12	径15	12×16	2-3 : 260
深さ	90	50	48	40	3-4 : 225
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N101度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明				
貯蔵穴	不明, 北東隅壁溝外の長方形掘り込みか? (隣接40号住居のものか?)				
その他 (状況の記録)					
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Mライン・763m付近, 2.2住床下				
重複関係	40住→21住→22住, 128住→38住→127住→21住→41住→18住				
覆土	黄褐色土b k, を含む暗灰色系の土, 壁 : 直に近い				
床面	黄褐色土面に達する, 堅い, 細かい凹凸あり				
主柱穴	4本検出, その他小径ながら比較的深いピット多い				
壁溝	南西部 (未検出) はやや浅い高さにあったか?				
カマド	燃焼部は住居壁ライン位置, 奥壁は滑らかに煙道部に移行する, 左袖部前で小石出土				
貯蔵穴	南東隅ピット15中から略方形土器 (土師器杯) 出土, 他に比較して小さい				
題形	-				
その他	両袖前に小ピット (5・6) 検出, 主柱穴脇・住居中央からもピット検出, ピット5 : 28×30・深さ32, ピット6 : 24×19・深さ53, ピット7 : 20×15・深さ55, ピット8 : 25×20・深さ26, ピット9 : 44×39・深さ27, ピット10 : 23×18・深さ37, ピット11 : 方形26×24・深さ19, ピット12 : 30×23・深さ19, ピット13 : 径20・深さ8, ピット14 : 25×28・深さ36, ピット15 : 径30・深さ89, ピット16 : 径30・深さ49				
遺物	土器790片・石6個・滑石削片2, 須志器壺口縁部・ケズリ壺底部・土師器壺体部片多数出土, 覆土から瓶底部・外椀杯・横椀杯・須志器大型壺口縁部出土, 0929・0930・0931・0932・0933 (須志器蓋, 覆土)				
時期	古墳後期, 7世紀後半				



第320図 4区21号住居跡カマド遺物 (西から)

平面形	長方形, 規模 316×272, 面積 8.6㎡, 壁高 6~20, 長軸方位 N14度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 楕円形, 上ノコ70×63, 下ノコ37×27, 深さ 37
その他 (状況の記録)	
確認面	端褐色土, 5層, 検出位置: Mライン・765m付近
重複関係	124坑→22住→53・79・119坑, 21・41住→22住
覆土	浅間日輝石を含む茶褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる
床面	平坦, 粘床
主柱穴	-
壁溝	-
カマド	カマド付近を53土坑により破壊, 奥壁左側のみ検出, 奥壁は角張る, 煙道部との境に段あり, 煙道部長さ45
貯蔵穴	79土坑下位で検出, 形状:-
その他	東辺やや北寄りでピット1検出, ピット1: 61×63・深さ13
遺物	土器104片, 覆土から須恵器壁口縁部・土師質大型壁口縁部・ケズリ壁体部片出土, 0953 (灰軸陶器高台付皿)
時期	平安, 10世紀後半

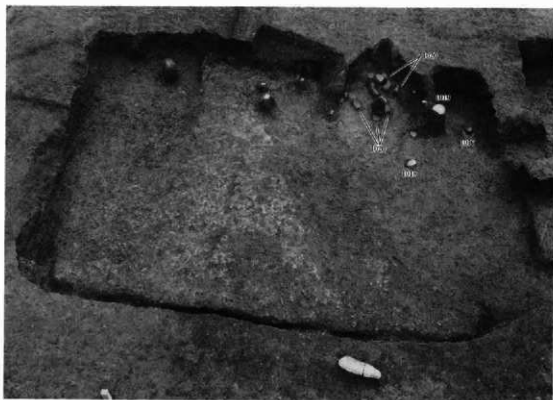


第321図 4区21・22号住居跡

三ツ寺II 4区 23号住居跡 (第322・692図, 図版223・483)

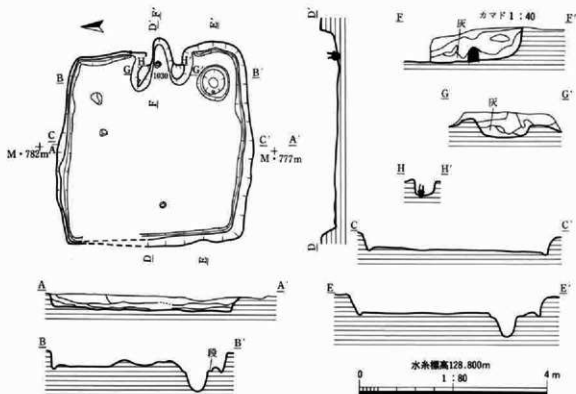
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北 (450)×364, 面積 (16.4) m <sup>2</sup> , 壁高 13~32, 長軸方位 (N11度E)
壁溝幅	11~16, 深さ 2~10
主柱穴	不明
カマド位置	東辺南寄り, 対称軸方位 N105度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 石
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
礎 礎 面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Jライン・781m付近
重複関係	53住→14住→47住→111住→23住, 14住→51住→23・48住
層 土	浅間C軽石を含む暗褐色系の土, 壁 : 直に近い
床 面	平地, 粘土, 一部軟弱, 主柱穴: -
壁 溝	南辺未検出, 北東部は111号住居により破壊
カマド	右袖部やや短い, 燃焼部中央に10cm大の浮いた石出土, 奥壁は略三角形を呈する, 住居壁ラインの位置に(燃焼部南寄り)石を据える, 石周囲に土師器燹破片分布, 焚口~燃焼部は浅くぼむ
貯蔵穴	-
その他	北東隅未検出, 南辺は重複関係確認作業中に破壊, 南東隅・南西隅検出
遺 物	土器1049片, 覆土から須恵器長頸甕・無台杯・ケズリ甕体部片出土, 1016・1017・1018・1019・1020 (土師器広口甕, 鉢形)
時 期	奈良, 8世紀後半



第322図 4区23号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形 方形, 規模 419×417, 面積 17.5m <sup>2</sup> , 壁高 13~37, 長軸方位 N90度E					
壁溝 幅 7~15, 深さ 1~9					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ中心)
上ノ径	23×20	16×21	36×30	22×34	1-2 : 157
下ノ径	16×11	9×13	18×12	16×13	3-4 : 148
深さ	29	36	45	34	4-1 : 192
カマド 位置 東辺中央, 対称軸方位 N88度E, 構築材 粘土, 支脚 石・土器					
貯蔵穴 位置 南東隅, 平面形 円形, 上ノ径72×68, 下ノ径20, 深さ 55					
その他 (状況の記録)					
確認 開: 暗褐色土, 5層下位			検出位置: Mライン・780m付近		
重複関係: 118住→24 (=108)住→4住			覆土: 黄褐色土 b k, を含む灰褐色系の土		
壁: 直に近い			床面: 平坦, 貼床, 下層あり		
主柱穴: 上位で不明, 下層で検出			壁溝: 全周する, 距形ではカマド袖下でも検出		
カマド: 燃焼部奥壁は直に近く立ち上がる, 支脚は石の上に高杯を逆位に置く, 支脚は燃焼部やや左寄り					
貯蔵穴: 二段に掘り込む, 上段浅い, 周囲の中央部寄りはやや高い					
掘形: 下層でピット1~3検出, ピット4はその下で検出, 床溝・別住居掘形検出					
その他: 下層は108号住居, ピット5: 30×26・深さ11,					
床溝: 北側: 長さ130・幅20前後・深さ4, 南側: 長さ105・幅25前後・深さ8,					
下層 (108住) カマドでは燃焼部中央で石2個出土, 上層 (24住) と異なる,					
プランは殆ど同じ, 24住床面確認か?, 下層住居廃棄後やや時間をおいて再建されたか?					
遺物: 土器284片, 覆土から小型壺・半球内黒杯・甕・不明土器片 (径0.6cmの穴あり, 蓋?)・					
須恵器壺体部片出土,					
1030 (土器高杯, 内外面炭化物)・1031					
時期: 古墳後期, 6世紀前半					



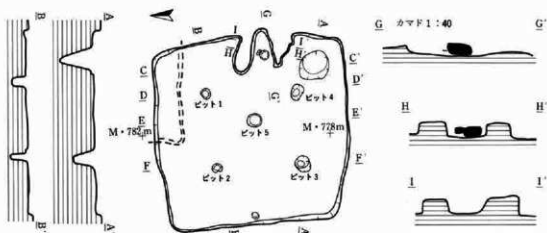
第323図 4区24号住居跡 (1)



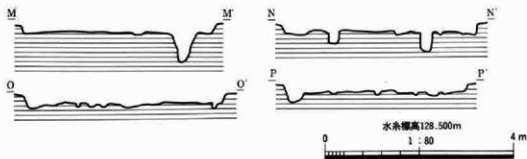
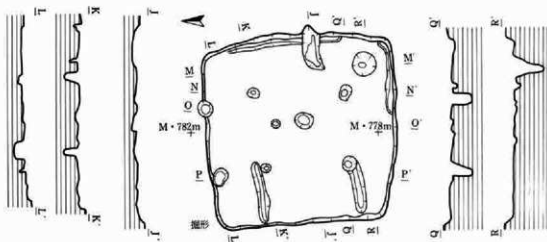
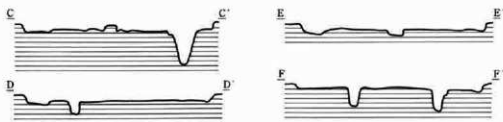
第324図 4区24号住居跡カマド (西から)



第325図 4区24号住居跡下層 (西から)



24号住居下層 (=108号住居)



第326図 4区24号住居跡(2)



三ツ寺II 4区 25号住居跡 (第283図, 図版224)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	(長方形), 規模 南北 (343)×234, 面積 (8.0) m <sup>2</sup> , 壁高 1~2, 長軸方位 (N10度E)	
壁溝	不明	
支柱穴	不明	
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 (N90度E), 構築材 不明, 支脚 不明	
貯蔵穴	不明	
その他 (状況の記録)		
確認面	暗褐色土, 5層	検出位置: Kライン・738m付近
重複関係	154住→25住→B3溝	覆土: -
壁	: -	床面: -
支柱穴	: -	壁溝: -
カマド	: 焼土を含む浅い掘り込みを検出, 痕跡のみ	
貯蔵穴	: -	器形: -
その他: 床下近くまで削平して詳細不明, 北半部で重複する番号なし土坑は本住居より新しい		
遺物: 土器3片, 覆土から須恵器高台付椀 (内面炭化物)・土器器小部壺破片出土, 遺物図掲載なし		
時期: 平安		

三ツ寺II 4区 26号住居跡 (第327図, 図版182)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形~長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -	
壁溝	不明	
支柱穴	不明	
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明	
貯蔵穴	不明	
その他 (状況の記録)		
確認面	暗褐色土, 5層	検出位置: M~Nライン・745m付近
重複関係	26住→6住, 26住→75・89B・99坑	
覆土	: -	壁: -
床面	: -	支柱穴: -
壁溝	: -	カマド: 焼土を含む浅い掘り込みを検出, 痕跡のみ
貯蔵穴	: -	器形: -
その他: 床下近くまで削平して詳細不明		
遺物: 土器75片, 覆土から内斜口鉢杯・模抜杯 (内黒)・壺破片出土, 遺物図掲載なし		
時期: 古墳		



第327図 4区26号住居跡 (西から)

平面形	方形, 規模 南北298×(290), 面積 (8.6) m <sup>2</sup> , 壁高 23~39, 長軸方位 N9度E
壁 溝	幅 12~14, 深さ 1~4
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N105度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確 認 面	暗褐色土, 5層下位, 13住床下, 検出位置: Jライン・772m付近
重 複 関 係	14・49住→27住→13住, 27住→23坑
覆 土	: - 壁 溝 : 直に近い
床 面	細かい凹凸あり, 北半軟弱, 粘床
主 柱 穴	: - 壁 溝 : 南辺のみ検出
カ マ ド	燃焼部奥壁は住居壁ラインより外側にある, 燃焼部底面からやや浮いて奥底部出土 (所在不明)
貯 蔵 穴	: - 掘 形 : 北半は下層住居あり
そ の 他	北西隅検出, 北西隅未検出
遺 物	土器126片, カマド中央出土土器器壁底部所在不明, カマド内から土器器杯・壺口縁部・須恵器杯小片出土, 遺物図掲載なし
時 期	重複関係から古墳

平面形	方形~長方形, 規模 東西369×南北280以上, 面積 -, 壁高 25~34, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N100度E, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確 認 面	暗褐色土, 5層, 検出位置: L~Mライン・754m付近
重 複 関 係	28住→29住→34住→32住→31住, 28住→85・86・130坑
覆 土	: 浅間B軽石を含む黒褐色系の土 壁 溝 : 直に近い
床 面	平肌, 粘床
主 柱 穴	: - 壁 溝 : -
カ マ ド	燃焼部の大半を29号住居により破壊, 燃焼部と煙道部との境に段をもつ
貯 蔵 穴	: - 掘 形 : -
そ の 他	北西隅未検出, 南半は29号住居により破壊
遺 物	土器118片・石1個, 中央床面から須恵器杯底部片出土, 覆土から土器器ケズリ底部部片・土器破片・羽釜破片出土, 遺物図掲載なし
時 期	重複関係・遺物から平安

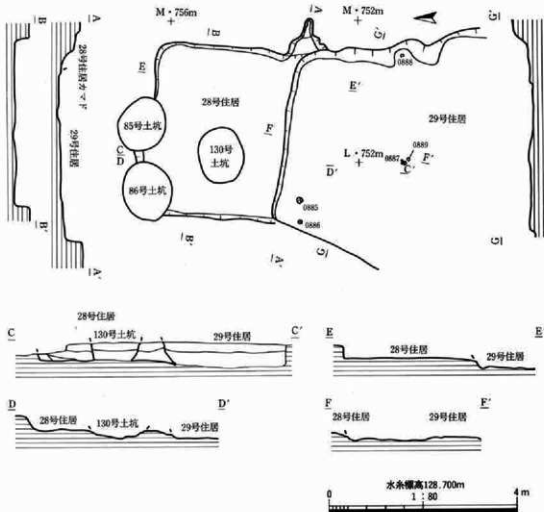


第328図 4区27号住居跡カマド遺物 (西から)

三ツ寺II 4区 29号住居跡 (第329・692図, 図版226・484)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 東西(421)×南北400以上, 面積 - , 壁高 11~38, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 -, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
礎 礎 面	暗褐色土, 5層, 検出位置: L-Mライン・751m付近
重複関係	28住→29住→34住→32住→31住, 39住→29住
覆 土	浅間B軽石を含む黒褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる
床 面	凹凸あり, 貼床, 主柱穴: -
壁 溝	- , カマド: 東辺で痕跡検出, 詳細不明
貯蔵穴	- , 壺形: -
その他: 北東隅・北西隅検出, 南辺は32号住居により破壊	
遺 物: 土器15片, 覆土から羽釜破片出土, 床面から小皿出土, 黒色土器多い, 0885 (黒色土器高台付椀)・0886 (黒色土器高台付椀)・0887 (黒色土器高台付椀)・ 0888 (土師器小皿)・0889 (土師器小皿)	
時 期	平安, 11世紀

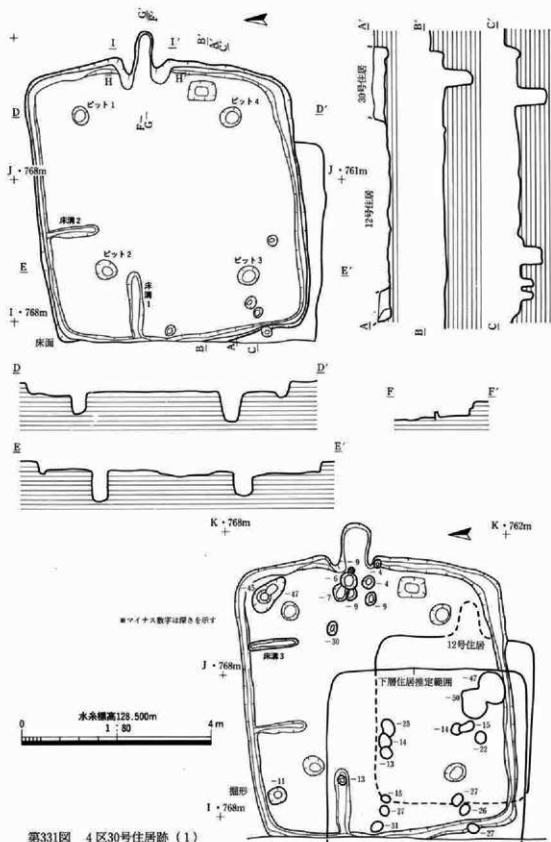


第329図 4区28・29号住居跡

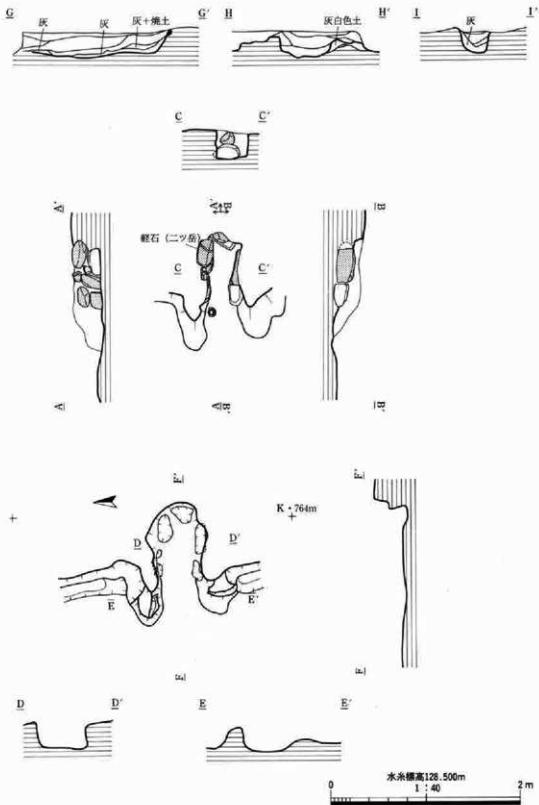
平面形 長方形, 規模 596×567, 面積 33.8㎡, 壁高 8~29, 長軸方位 N85度E						
壁 溝 幅 10~32, 深さ 1~13						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノバ中心)	
上ノバ径	40×35	42	40×45	48×40	1-2 : 333	2-3 : 303
下ノバ径	24×27	23×18	22×30	26	3-4 : 336	4-1 : 327
深さ	41	63	31	68		
カマド 位置 東辺中央, 対称軸方位 N94度E, 構築材 粘土・石, 支脚 土師器高杯脚部						
貯蔵穴 位置 東辺カマド右脇, 平面形 長方形, 上ノバ58×40, 下ノバ28×17, 深さ 58						
その他 (状況の記録)						
確認面 : 浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置 : I~Jライン・765m付近						
重複関係 : 30住→12・15住, 覆土 : 浅間C軽石を含む暗茶褐色系の土						
壁 : 直に近い, 床面 : 平坦, 堅く締まる, 貼床						
主柱穴 : 4本を筋ぶと菱形, 壁溝 : カマド下を除き全周						
カマド : 袖部は粘土で形成, 袖部中から燧破片出土, 燃焼部壁~奥壁は人頭大の石で形成 (一部は二段積み), 燃焼部中央やや左寄りに高杯脚部 (正立) を踏える, 燃焼部は住居壁ラインにのる, 燃焼部掘形は楕円形を呈する						
貯蔵穴 : 住居壁と長辺を平行に作る, 北側床面に10cm大の石3個が並ぶ, 底面も長方形を呈する						
掘形 : 床溝3 (長さ106・幅18・深さ15) 検出, カマド前で小ピット6個検出,						
貯蔵穴・小ピット (3個1組)×4組を検出, 30住下層に1軒あったか?, 中央南東寄り検出のL字状溝は上層12住の壁溝						
その他 : 西辺北寄りの壁立ち上がりは未検出, 床溝1 : 長さ137・幅20・深さ8, 床溝2 : 長さ110・幅22・深さ7						
遺物 : 土器245片, 覆土から模造杯・半球杯・須恵器産出土, 東南柱穴から須恵器産出土, 0684 (鉄鏃?)・0915・0916・0917・0918・0919・0920・0959 (土師器高杯脚部, カマド燃焼部)・0960						
時期 : 古墳後期, 6世紀後半						



第330図 4区30号住居跡遺物出土状態 (南から)



第331図 4区30号住居跡(1)



第332図 4区30号住居跡(2)カマド

三ツ寺II 4区 31号住居跡 (第333図, 図版227)

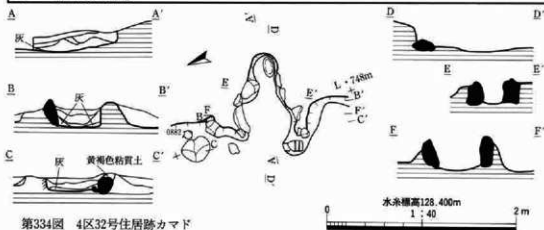
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 縦横 東西 (465)×南北340以上, 面積 -, 壁高 18~29, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺南寄り, 対称軸方位 N127度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 石?
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
産 露 面	: 暗褐色土, 5層下位, 検出位置: J~Kライン・746m付近
重 複 関 係	: 34住→31住, 37住との関係不明, 覆 土: 軽石を多く含む褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる, 床 面: 平坦, 貼床
主 柱 穴	: -, 壁 溝: -
カ マ ド	: 燃焼部奥壁は住居壁外に突出する, 右袖部は遺存不良, 燃焼部中央底面からやや浮いて石出土, 燃焼部は浅く掘り込む
貯 蔵 穴	: -, 掘 形: -
そ の 他	: 南東隅不明確, 南西隅検出, 東辺カマド北側の住居壁は推定, 南辺393・西辺315
遺 物	: 土器227片, カマド跡から土釜口縁部出土, 覆土から滑石剥片2個・土師貫高台付椀底部・土師貫瓶底部・土師貫内外面ミガキ高台付椀出土, 遺物図掲載なし
時 期	: 重複関係・出土遺物から平安



第333図 4区31号住居跡カマド遺物 (西から)

平面形	方形～長方形, 規模 東西(313)×南北290以上, 面積 -, 壁高 40前後, 長軸方位 -
壁	溝 幅 20前後, 深さ 7
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N110度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	軽石を含む暗褐色土, 5層下位, 検出位置: K～Lライン・749m付近
重複関係	33住→34住→32住→31住, 32住→37住
覆土	軽石を多量に含む黒褐色系の土, 壁: 直に近い
床面	平坦, 粘床, 範囲確認
主柱穴	- 壁 調: 北辺中央部のみ検出
カマド	燃焼部を石で囲み粘土で固める, 奥壁にも石を据える, 煙道部へ通る部分は丸く突出する
貯蔵穴	- 掘形: -
その他	重複関係確認のため壁を取り払って調査, 北辺・西辺は土層観察用アゼで確認, 床面範囲検出, 南辺320・北辺287・東辺270, ビット1; 58×41・深さ15, 重複多い
遺物	土器311片・石2個, カマド周辺の床面から浮いた状態で土釜口縁部・羽釜口縁部・須恵器大型壺体部片出土, 覆土から脚を軸に貼り付けた羽釜口縁部出土, 0882 (小皿)・0883 (小皿)・0884 (剣形滑石製品, 覆土)
時期	平安, 11世紀



第334図 4区32号住居跡カマド



第335図 4区32号住居跡カマド遺物 (西から)



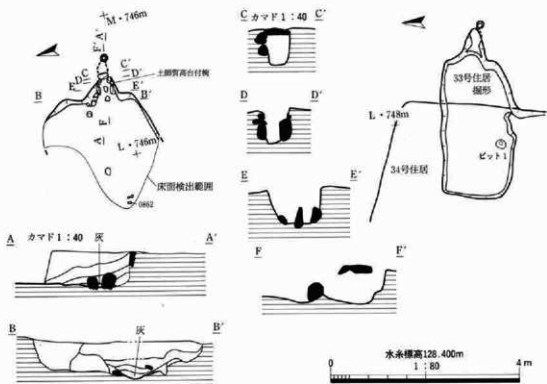
三ツ寺II 4区 33号住居跡 (第336・693図, 図版228)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

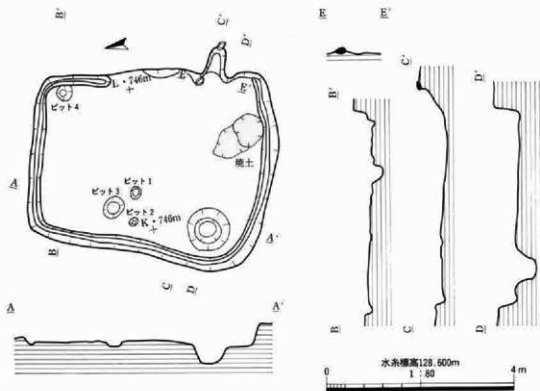
平面形	長方形 (楕形), 規模 (楕形291×160), 面積 (楕形4.7㎡), 壁高 9~30, 長軸方位 (楕形N94度E)
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N104度E, 構築材 粘土・石・瓦・土器?, 支脚 石
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確 認 面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: L~Mライン・746m付近
重複関係	33住→34住, 130住→33住, 覆 土: -
壁	斜めに立ち上がる, 床 面: カマド前のみ検出, 貼床
主柱穴	- , 壁 溝: -
カマド	燃焼部を人頭大の石で囲み粘土で固める, 煙道部との境の天井に細長い石を据える, 軸部不明確, 燃焼部中央に前後2個の石を据えて支脚とする, 煙り出しは小ビット
貯蔵穴	-
掘 形	東西に細長く浅い (10cm前後) 掘り込みを検出, 住居の一部を検出したか?, これが本住居のプランとすれば本遺跡では他に例がない
そ の 他	壁の立ち上がりは南東隅のみ検出, 検出南辺の延長線下に長方形形を検出, 重複関係確認のため土層観察用アゼを残して掘り下げた, 北西部にプランが広がる可能性あり, ビット1; 径20・深さ28
遺 物	土器164片・炭化物サンプル, カマド石の間から土師質高台付楕出土, 覆土から羽釜口縁部・梨形から土釜高部出土, 0862 (灰釉陶器類)・0863 (滑石製片, カマド)
時 期	平安, 10世紀後半



第336図 4区33号住居跡カマド (西から)



第337図 4区33号住居跡



第338図 4区34号住居跡

三ツ寺II 4区 34号住居跡 (第338・694図, 図版229・485)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	台形, 規模 523×392, 面積 [20.5] m <sup>2</sup> , 壁高 24~50, 長軸方位 N17度E
壁 溝 幅	11~18, 深さ 2~7
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N115度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 円形, 上ノ径90×86, 下ノ径35×32, 深さ 44
その他(状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層, 検出位置: K~Lライン・745m付近
重複関係	28住→29住→34住→32住→31住, 33住→34住
埋土	軽石を含む黒褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上る
床面	平坦, 粘床
主柱穴	- , 壁溝: 東辺を除き全周
カマド	左袖部に石を据える, 燃焼部奥壁上端から石出土, 燃焼部を浅く掘り込む, 奥壁は住居壁外へ突出する
貯蔵穴	内部は二段に掘り込む, 掘形: 黄褐色土層に達する, 聚い
その他	南辺に比べ北辺が短い, ビット1: 25×21・深さ13, ビット2: 径15・深さ11, ビット3: 47×40・深さ10, ビット4: 径34・深さ24, ビット3・4は32号住居のものか?, 南辺東寄り壁際の浅い掘り込みに粘土分布
遺物	土器156片, 覆土から足高台付椀・灰粘陶器椀・大型蓮口縁部出土, 小皿の出土多い, 0857・0858・0859・0860・0861
時期	平安, 11世紀

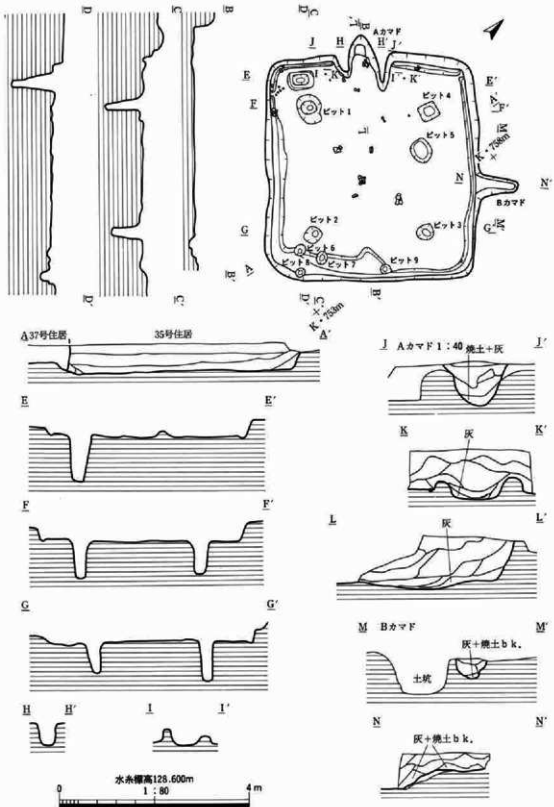


第339図 4区34号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形 長方形。規模 485×452、面積 21.9㎡。壁高 7~45。長軸方位 N47度W					
壁 溝 幅 10~30、深さ 2~7					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下ノ中心)
上ノ径	59×52	32×35	32	39×34	1-2:265
下ノ径	10×12	12	15×13	20	3-4:255
深さ	78	60	82	73	4-1:254
Aカマド:位置 北西辺中央、対称軸方位 N49度W。構築材 粘土。支脚 不明					
Bカマド:位置 北東辺中央、対称軸方位 N48度E。構築材 不明。支脚 不明					
貯蔵穴 位置 西隅。平面形 長方形。上ノ径7×39、下ノ径9×9、深さ 93					
その他(状況の記録)					
確認面:黒色土。6層		検出位置:J~Kライン・756m付近			
重複関係:43・44住→35住→37住		覆土:浅間C軽石を含む黒褐色系の土			
壁:斜めに立ち上がる		床面:平坦。細かい凹凸あり。粘床			
主柱穴:4本検出。北隅柱穴の平面は長方形		壁溝:南隅付近は幅が広い			
カマド:Aカマド:左袖部はやや短い。燃焼部裏壁は角張る。 Bカマド:煙道部長さ80前後検出。袖部未検出					
貯蔵穴:内部は二段に廻り込む。照形:黄褐色土面に達する					
その他:カマド作り替え(Bカマド→Aカマド)、南東辺に小ピット4本。 ピット5:48×41・深さ15、ピット6:径26・深さ10、ピット7:径25・深さ7。 ピット8:径20・深さ15、ピット9:径24・深さ9、南西隅付近の壁溝は不整形					
遺物:土器230片、覆土から模倣杯・小型埴土。 0894(横俵杯、内面黒色)・0895(瓶口縁部、内面ミガキ、Aカマド)・0896(丸胴壺、中央床面)					
時期:古墳後期、6世紀後半~7世紀					



第340図 4区35号住居跡遺物出土状態(東から)



第341図 4区35号住居跡

平面形	長方形, 規模 371×318, 面積 (11.8) m <sup>2</sup> , 壁高 47~55, 長軸方位 N94度E
壁溝幅	5~13, 深さ 1~3
主柱穴	不明
カマド位置	東辺中央やや南, 対称軸方位 N95度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴位置	南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ77×56, 下ノ58×39, 深さ 8
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層
検出位置	Mライン・757m付近
重複関係	43・128住→36住→28・41住
覆土	浅間C磁石を含む黒褐色系の土
壁	直に近い
床面	平坦, 貼床
主柱穴	-
壁溝	南辺未検出
カマド	軸部遺存不良, 燃焼部は住居壁にかかる
貯蔵穴	浅い, 北西部の掘り込みは上層土坑か?
形	黄褐色土面に達する, 堅い
その他	南辺中央は外側に凸, 出入口痕跡?
遺物	土器122片, 覆土から須恵器口縁部・土師器高杯・小型埴口縁部出土, 0903 (甕, 中央床面)・0904
時期	古墳後期, 6世紀前半

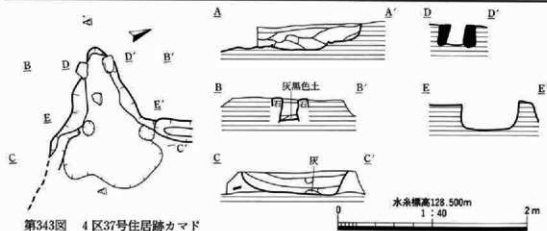


第342図 4区36号住居跡カマド遺物 (西から)

三ツ寺II 4区 37号住居跡 (第343・694図, 図版231・485)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形 (長方形?)、規模 南北 (470)×(450)、面積 -、壁高 7前後、長軸方位 -
壁 溝 幅 15~20、深さ 2前後
主柱穴 不明
カマド 位置 西辺南寄り、対称軸方位 N84度W、構築材 粘土・石、支脚 石?
貯蔵穴 位置 南東隅、平面形 円形、上径85×80、下径38、深さ 27
その他 (状況の記録)
地 面 : 暗褐色土、5層下位、検出位置 : I~Jライン・751m付近
重複関係 : 44住→35住→37住、33住→34住→32住→31住→37住
覆 土 : 黒褐色系の土、壁 : 斜めに立ち上がる
床 面 : 平坦、貼床
主 柱 穴 : -、壁 溝 : 西辺のみ検出
カマド : 基部不明確、燃焼部奥壁近くの両側に細長い石を据える、両袖基部下層で小ピット検出
貯 蔵 穴 : ピット1も貯蔵穴か?、厨 形 : 小穴多数検出、凹凸著しい
そ の 他 : 床面プランはカマドに対して横長・矩形は縦長、重複関係調査のため土層観察用アゼを残して掘りあげてしまった、西辺と南辺の一部を除き壁立ち上がり不明、住居プラン不明瞭
遺 物 : 土器96片、覆土から灰軸陶器段皿・すり鉢・土師器壊口縁部出土、カマド左脇から円筒埴輪破片出土、床下から外椀杯出土。
0852・0853・0854・0855
時 期 : 平安、11世紀後半



第343図 4区37号住居跡カマド



第344図 4区37号住居跡カマド遺物 (東から)

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N101度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 5層, 検出位置: M~Nライン・759m付近
重複関係	128住→38住→127住, 覆土: -
壁	: - 床面: -
主柱穴	: - 壁溝: -
カマド	: 袖の一部と燃焼部~煙道部を検出したのみ, 煙道部幅50・長さ70・深さ10前後
貯蔵穴	: - 掘形: -
その他: カマドの一部を検出, 重複住居により破壊され詳細不明	
遺物	: 土器14片, カマド内から内風機燵杯小片出土, その他小片, 0954 (土師器杯, カマド)
時期	: 古墳後期, 6世紀後半~7世紀

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 24~33, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N111度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Mライン・749m付近
重複関係	39住→29住→34住→32住, 覆土: 礫石を含む黒褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる, 床面: カマド前のみ検出, 貼床
主柱穴	: - 壁溝: -
カマド	: 袖部未検出, 燃焼部の一部・煙道部を検出, 焼土少ない, 詳細不明
貯蔵穴	: - 掘形: -
その他: 重複住居により破壊され詳細不明	
遺物	: 土器79片, 覆土から投石部 (灰釉陶器?)・羽釜口縁部・土師器壁 (外面ハケ目), 遺物図掲載なし
時期	: 平安



第345図 4区38号住居跡遺物出土状態 (西から)



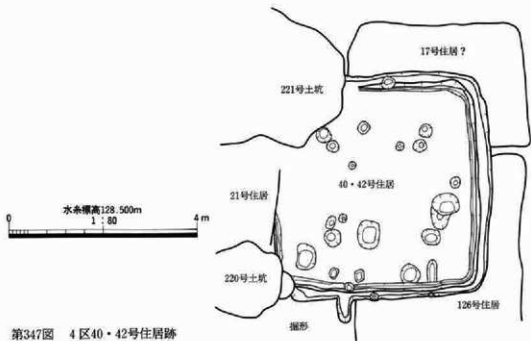
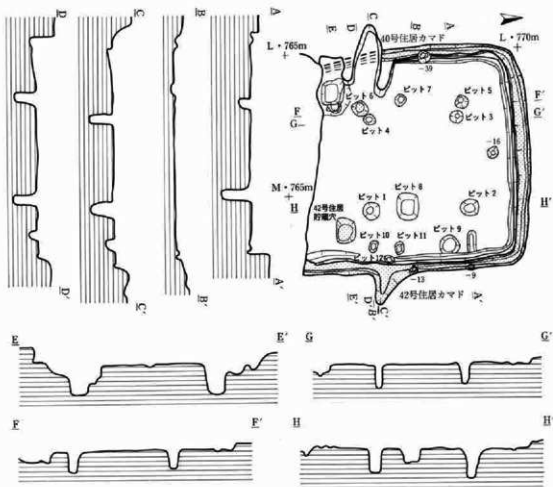
三ツ寺II 4区 40号住居跡(第346・695図, B0版187)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 東西438×南北448以上, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 N1度E				
壁溝	幅 7~28, 深さ 2~11				
主柱穴	1	2	3	4(床下)	主柱穴間の距離(下バ中心)
上バ径	34×37	40×33	28×25	24	1-2:212 2-3:199
下バ径	17	23×18	10	12	3-4:187 4-1:193
深さ	47	57	42	48	
カマド	位置 西辺南寄り, 対称軸方位 N80度W, 構築材 粘土, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南西部, 平面形 長方形, 上バ52×46, 下バ37×29, 深さ 51				
その他(状況の記録)					
露 面	黒色土, 6層, 21住北側上層, 検出位置:Mライン・768m付近				
重複関係	1 2 6住→4 2住→4 0住→2 1住, 4 0住→1 7住→5住				
覆 土	黒褐色系の土, 壁 :-				
床 面	平坦, 粘床				
主 柱 穴	ピット4は掘形調査で検出, 壁 溝:検出内全周				
カ マ ド	左袖部は貯蔵穴にかかり右袖部より短い, 燃焼部は細長く住居堂ラインにかかると, 下層42号住居壁溝を切って構築する				
貯 蔵 穴	南辺の上部は21号住居により破壊, 底面も長方形を呈する				
掘 形	カマド前で下層42号住居柱穴を検出				
そ の 他	42号住居を建て替えて40号住居を作る, ピット8は別住居の貯蔵穴か?, ピット7:24×24・方形・深さ8, ピット8:59×45・長方形・深さ31, ピット9:径40・深さ4, 床溝:長さ45・幅18・深さ2				
遺 物	土器206片・石2個, 全面に散布, 床上から壺口縁部・壺底部出土, 覆土から模倣杯・壺底部・鉄滓(磁石の反応あり)出土, 0909・0910・0911				
時 期	古墳後期, 6世紀後半				



第346図 4区40・42号住居跡遺物出土状態(東から)



第347図 4区40・42号住居跡

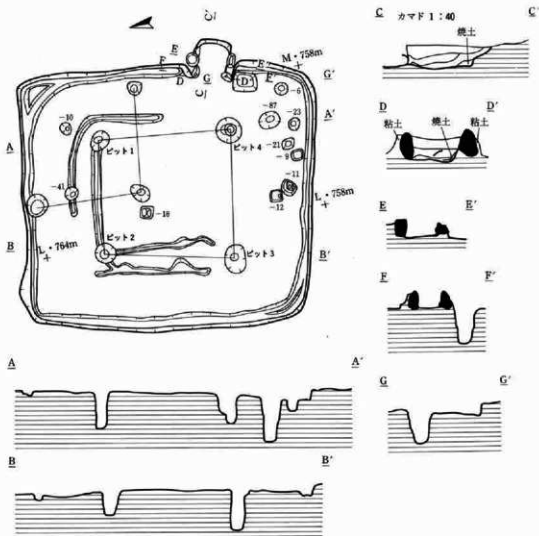
三ツ寺Ⅱ 4区 41号住居跡 (第348・695図, 図版187・485)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 619×563, 面積 34.8㎡, 壁高 2~59, 長軸方位 N13度E					
壁溝幅	10~24, 深さ 2~9					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ心)	
上バ径	35×43	42	58×43	53	1-2:245	2-3:277
下バ径	18×13	18	14×16	13	3-4:270	4-1:283
深さ	73	47	83	69		
カマド位置	東辺中央南寄り, 対称軸方位 N111度E, 構築材 粘土・石, 支脚 石?					
貯蔵穴位置	東辺カマド右脇, 平面形 長方形, 上バ48×41, 下バ39×25, 深さ 46					
その他 (状況の記録)						
確認面	暗褐色土~黒色土, 5~6層				検出位置	K~Mライン・760m付近, 21号住居南側
重複関係	21・36住→41住→18・22住				覆土	軽石を含む黒褐色系の土
壁	直に近い, 西辺~南辺遺存良好				床面	細かい凹凸あり, わずかに貼床
主柱穴	重複住居の柱穴も検出したか?					
壁溝	検出内全周, 北東隅・南西隅は二重, ビット1の北東部でL字状溝検出, ビット1-2-3を踏ぶ溝・ビット2-3の外側にも溝検出, 壁溝とすれば拡張・建て替えか?, 床溝の一部か?, 底面幅一杯に幅2~3cm・平円形の線多数を検出 (工具痕か?)					
カマド	燃焼部を略方形に作る, 燃焼部と煙道部との境に段をもつ, 両側部には石を1~2段積み上げる, カマド周辺から土師器燻燻片出土					
貯蔵穴	カマド右脇に接して設置, 中から土師器燻燻片出土, 壁は直線的に囲り込む					
強形	南辺内側に壁溝2本検出, ビット1・2・3外側の溝と合わせて内部をほぼ全周する					
その他	出入口は南側か?					
遺物	土器800片・石1個, 中央床面から土師器燻燻片多数出土, 土師器片類は覆土出土のみ, 覆土から須恵郡カエリ付き蓋・短頸壺・鉄滓 (磁石反応あり) 出土, 0905 (須恵郡蓋ツマミ)・0906・0907・0908					
時期	奈良, 8世紀前半					



第348図 4区41号住居跡遺物出土状態 (西から)



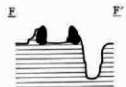
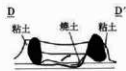
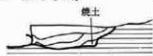
A



B



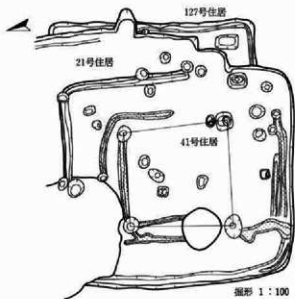
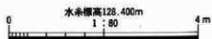
C カマド 1:40



A'



B'



第349図 4区41号住居跡

三ツ寺II 4区 42号住居跡 (第346図, 図版234)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 東西478×南北472以上, 面積 -, 壁高 11~17, 長軸方位 -					
壁溝	幅 5~20, 深さ 2~4					
主柱穴	1	2	5	6	主柱穴間の距離 (下バ中心)	
上バ径	34×37	40×33	27	35×30	1-2:212	2-5:232
下バ径	17	23×18	10	18	5-6:216	6-1:222
深さ	47	57	39	43		
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N102度E, 構築材 粘土, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 東南部, 平面形 長方形, 上バ32×41, 下バ35×29, 深さ 39					
その他 (状況の記録)						
礎	礎面:黒色土, 6層, 21往北側上層			検出位置:Mライン・768m付近		
重複関係	126往→42往→40往→21往			覆土:黒褐色系の土		
壁	直に近い, 浅い			床面:-		
主柱穴	ピット1・2は上層40号住居と同じ			壁溝:検出内全周		
カマド	燃焼部～煙道部の一部検出, 袖部未検出					
貯蔵穴	40住床面で検出, 細形:細かい凹凸あり					
その他	カマド前でピット10・11・12検出, 袖石抜き跡か? ピット10:24×16・深さ18, ピット11:24×18・深さ17, ピット12:径20・深さ11					
遺物	土器22片, 覆土から土師器杯口縁部・小型壺出土, 遺物同層記載なし					
時期	古墳					

三ツ寺II 4区 43号住居跡 (第350・695図, 図版235・486)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北334×290以上, 面積 -, 壁高 9~16, 長軸方位 -					
壁溝	幅 15~30, 深さ 4~11					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)	
上バ径	17	15×18	20×16	15	1-2:171	2-3:160
下バ径	9	7	7	7	3-4:160	4-1:159
深さ	28	47	39	36		
カマド	不明 (東辺?)					
貯蔵穴	不明					
その他 (状況の記録)						
礎	礎面:黒色土, 6層			検出位置:K~Lライン・756m付近		
重複関係	43往→36往, 43往→35往			覆土:浅間C軽石を含む黒色土		
壁	直に近い			床面:平坦, 薄い結床		
主柱穴	4本とも細い			壁溝:検出内全周		
カマド	-					
貯蔵穴	-					
その他	北辺256・西辺313・南辺250, 東半部は36号住居により破壊					
遺物	土器11片・石1個, 覆土から壺体部片出土, 石製片出土, 滑石製品は北辺壁溝際出土, 0899・0900 (滑石製品)・0901 (滑石製品)・0902 (土師器甕口縁部, 口唇部下)					
時期	古墳中期, 5世紀末					



第350図 4区43号住居跡遺物出土状態

平面形	方形, 規模 375×374, 面積 (14.0) m <sup>2</sup> , 壁高 7~16, 長軸方位 N86度E
壁溝	幅 15~23, 深さ 1~9
主柱穴	1 : 2 : 3 主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	30×22 : 24×20 : 20 1 - 2 : 187 : 2 - 3 : 139
下バ径	10 : 10 : 10
深さ	28 : 30 : 28
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N71度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バ70×49, 下バ41×20, 深さ 60
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層 検出位置 : Kライン・753m付近
重複関係	4 4住→3 5住→3 7住 覆土 : 黒褐色系の土
壁	: 直に近い 床面 : 薄い粘床, 堅く締まる
主柱穴	: 南東部の主柱穴不明 壁溝 : 検出内全周
カマド	: 燃焼部は住居壁ラインの内側にある, 袖部遺存不良
貯蔵穴	: 壁を直に覆り込む 掘形 : -
その他	: 北西隅未検出, 3 5号住居より北東部は破壊, ビット4 : 径28・深さ33, ビット5 : 径18・深さ2, ビット6 : 径24・深さ9, ビット7 : 50×31・深さ8, 床溝 : 長さ135・幅10~17・深さ6前後
遺物	: 土器71片, 覆土から須恵器実体部片出土, 0890・0891・0892・0893
時期	: 古墳後期, 6世紀後半

平面形	方形~長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 8~27, 長軸方位 -
壁溝	幅 8~15, 深さ 2~4
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N106度E, 構築材 粘土・石, 支脚 石?
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層 検出位置 : Iライン・754m付近
重複関係	:- 覆土 : 残間B層石を含む黒褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる 床面 : 細かい凹凸あり
主柱穴	:- 壁溝 : 東辺250前後検出
カマド	: 燃焼部南側に石を置える, その他石数個検出, 遺存不良
貯蔵穴	:- 掘形 : -
その他	: 北東隅は丸みが強い, 大半は東側調査区外にあり詳細不明
遺物	: 土器60片, 土師器埴土底片・円筒状土製品・高台付椀底部出土, 鉄製鏝または鋤先出土 (細片のため掲載なし), 0922 (土師器杯, 椀の高台か?)・0923
時期	: 平安, 11世紀後半



第351図 4区44号住居跡遺物出土状態

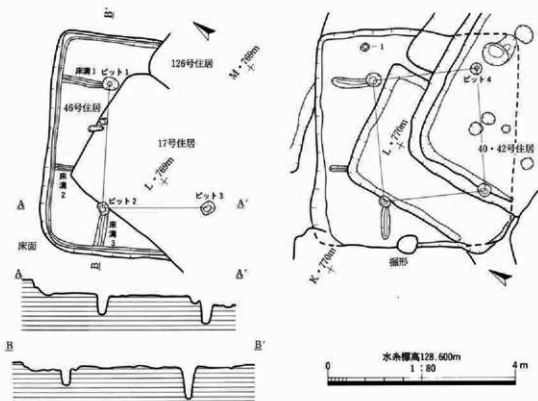
三ツ寺II 4区 46号住居跡 (第352図, 図版236)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 東西456×南北 (430), 面積 (19.6) m <sup>2</sup> , 壁高 10~28, 長軸方位 N58度E				
壁溝	幅 7~15, 深さ 3~7				
主柱穴	1	2	3	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下ノ中心)
上ノ径	33×28	27×21	29×24	23	1-2:255
下ノ径	8	14×10	15×9	10	2-3:215
深さ	63	35	38	34	3-4:259
カマド	不明 (北東辺?)				
貯蔵穴	位置 東隅付近, 平面形 不整形, 上ノ径57×43, 下ノ径32×21, 深さ 30				
その他 (状況の記録)					
礎 礎 面	黒色土, 6層		検出位置: K~Mライン・770m付近		
重複関係	46住→126住→42住→40住→21住→41住→18住, 46住→17住→5住, 129住→46住				
覆 土	浅間C 凝石を含む黒褐色系の土				壁 : 斜めに立ち上がる
床 面	細かい凹凸あり, 薄い貼床				
主 柱 穴	ピット3は40号住居の調査で検出 (西辺壁溝内), ピット4は42住掘形調査で検出				
壁 溝	北東辺~南西辺で検出, 全周か?				
カマド	貯蔵穴の位置から北東辺か (40・126号住居により破壊)				
貯蔵穴	40・42号住居の掘形調査で検出, 一部は北側へ広がる				
掘 形	-				
そ の 他	床溝3本 (床面検出), 北隅・西隅検出, 重複住居により破壊され詳細不明, 床溝1: 長さ88・幅15・深さ3, 床溝2: 長さ43・幅11・深さ6, 床溝3: 長さ66・幅20・深さ7				
遺 物	土器74片, 覆土から土器器高杯口縁部・黒色模倣杯・手づくお椀・須恵器蓋天井部出土, 遺物図掲載なし				
時 期	古墳				



第352図 4区46号住居跡 (東から)



第353図 4区46号住居跡

三ツ寺II 4区 47号住居跡 (第284図, 図版237)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

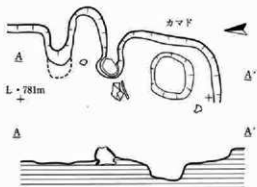
平面形	台形, 規模 東西281×南北238, 面積 6.7㎡, 壁高 11~34, 長軸方位 N82度E
壁溝	幅 7~15, 深さ 4
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N87度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上ノ<40×22, 下ノ<20×13, 深さ 23
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 23住下層
重複関係	14・49住→47住→23住
壁	斜めに立ち上がる
主柱穴	-
カマド	燃焼部は住居壁ラインにかかる
掘形	黄褐色土面に達する, 堅い
遺物	土器52片, カマドから模倣杯小片・内黒杯小片出土, 覆土から内斜口鉢杯・丸胴壺出土, カマド前の床面で人頭大の石2個出土, 遺物因埋藏なし
時期	古墳



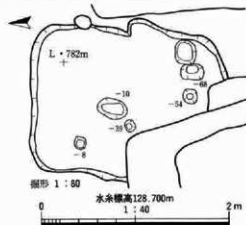
三ツ寺II 4区 48号住居跡 (第354図, 図版237)

計測単位cm, - : 計画不可・不明

平面形	長方形、規模 380×318、面積 12.1㎡、壁高 9~20、長軸方位 N4度E
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央南寄り、対称軸方位 N93度E、構築材 粘土・土器、支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅、平面形 方形、上バ49×43、下バ37×32、深さ 17
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土、6層、検出位置: K~Lライン・781m付近
重複関係	14・49住→48住、14住→51住→23・48住
覆土	黒褐色系の土、壁: 高に近い、南西部は14住調査と平行
床面	面: 細かい凹凸あり、南西部軟弱、黄褐色土面に達する
主柱穴	-、壁調: -
カマド	右袖部に土器(壁)を据える、粘土で固める、燃焼部は半円形
貯蔵穴	底面平坦、掘形: -
その他	浅い掘り込み5カ所検出、柱穴?
遺物	土器22片・土壇サンプル1袋、土器器ケズリ壘体部片出土、カマド右袖先端部壘出土 (遺物不明)、遺物図掲載なし
時期	古墳~奈良



第354図 4区48号住居跡



撮影 1:80

水準標高128.700m

0 1:40 2m



第355図 4区48号住居跡カマド遺物 (西から)

平面形	略方形。規模 東西628 (677)、面積 -、壁高 -、長軸方位 -				
壁溝	幅 15~30、深さ 5前後				
主柱穴	5	6	7	8	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	65	56	52	56	5-6 : 290
下バ径	45×32	30	34	32	7-8 : 270
深さ	71	83	72	76	8-5 : 310
カマド	位置 東辺?、対称軸方位 -、構築材 不明、支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南東隅、平面形 L字形、上バ東西81×南北76、下バ東西62×南北54、深さ 88				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土、6層、14住と同時調査			検出位置 : 1~Lライン・777m付近	
重複関係	14下住→14・49住→47住			覆土 : -	
壁	-			床面 : -	
主柱穴	建て替えあり			壁溝 : 南見図参照	
カマド	東辺カマド痕跡は50号住居所属か?				
貯蔵穴	東西長方形・南北長方形の重複か?、上バ西側に浅い段あり				
掘形	-				
その他	所見1図では北辺東側の壁溝を14・49住居が共有し不自然、所見2図では南辺西側壁溝を共有し不自然、南辺中央部の張出部 (出入口口) は重複があり2軒 (14・49住) 相当				
遺物	土器56片、覆土から土師器模倣杯・須恵器蓋・灰口緑部出土、遺物図掲載なし				
時期	重複関係から古墳				

平面形	方形~長方形。規模 -、面積 -、壁高 18~29、長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	北側	南側	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	30	25×20	北-南 : 298
下バ径	14	10×7	
深さ	24	42	
カマド	不明 (東辺?)		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	黒色土、6層		検出位置 : Lライン・778m付近
重複関係	14下住・50住→14・49住		覆土 : 浅間C層石を含む黒色系の土
壁	直に近い		床面 : 凹凸あり
主柱穴	2本は14住居内で認定		壁溝 : -
カマド	-		
掘形	南辺185検出、南東隅は角張る		
その他	北東隅・南東隅検出、東辺470、北東隅ピット : 33×35・深さ47、14号住居等により破壊、詳細不明		
遺物	出土遺物なし、時期 : 重複関係から古墳		

平面形	不明。規模 -、面積 -、壁高 12、長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	黒色土、6層		検出位置 : Kライン・781m付近
重複関係	14住→51住→23・48住		覆土 : 浅間C層石を含む黒褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる		床面 : 平坦、粘床、100×200程の範囲
主柱穴	-		壁溝 : -
カマド	-		貯蔵穴 : -
掘形	-		
その他	南北170・東西220の範囲を検出、北辺50、周辺の遺構により破壊され詳細不明		
遺物	出土遺物なし、時期 : 重複関係から古墳		

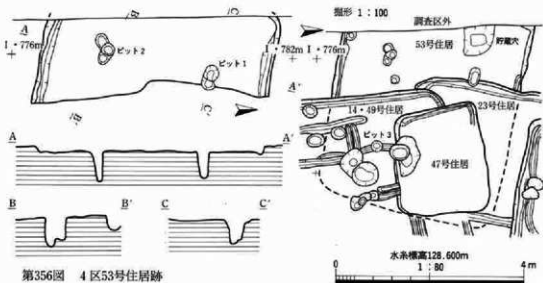
## 三ツ寺II 4区 52号住居跡

欠番, 111号住居と同じ

## 三ツ寺II 4区 53号住居跡 (第356図, 図版238)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形〜長方形, 規模 南北495, 面積 - , 壁高 10~15, 長軸方位 -		
壁 溝 幅	13~20, 深さ 3前後		
主柱穴	1 (西)	2 (西)	3 (14柱内)
上ノ径	30	28×22	28
下ノ径	12	20×15	15
深 さ	55	59	33
カマド	不明		
貯蔵穴	位置 北西部, 平面形 不整形, 上ノ80×80以上, 下ノ41×27, 深さ 27		
その他 (状況の記録)	壁 溝 面: 黒色土, 6層 検出位置: 1ライン・776m付近 重複関係: 53住→14住→47住→23住 覆 土: 軽石を含む黒褐色系の土 壁 : 浅く斜めに立ち上がる 床 面: 薄い貼床, 細かい凹凸あり 主 柱 穴: 露面の高さはほぼ同じ, ビット1・2とも西側の掘り込みが深い, 北東部柱穴未検出 貯蔵 穴: 南辺・北辺検出 カマド: 西側か? 貯蔵 穴: 床下検出, 長方形? 掘 形: 重複住居の掘り込みが深く壁溝延長分未検出 その他: 北西隅付近検出, 北辺180・南辺180, 東半は重複住居により破壊, 西側は調査区外にある 遺 物: 土陶63片・石製片1, 覆土から内斜口縁杯・横腹杯・円筒状土製品出土, 遺物同場載なし 時 期: 重複関係から古墳		



第356図 4区53号住居跡

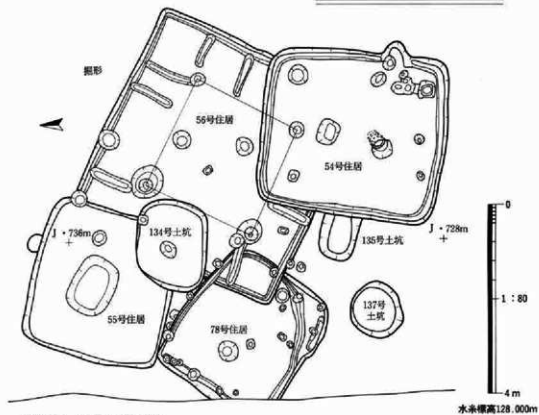
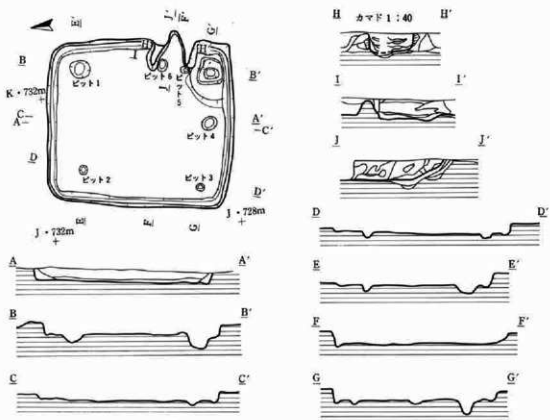


第357図 4区53号住居跡遺物出土状態

平面形	長方形. 規模 397×355. 面積 14.1㎡. 壁高 5~35. 長軸方位 N7度E
壁溝幅	10~18. 深さ 1~5
支柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り. 対称軸方位 N100度E. 構築材 粘土. 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅. 平面形 台形. 上バ56×50. 下バ18×19. 深さ 31
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土. 6層
検出位置	J-Kライン・730m付近
重複関係	5 6住→5 4住→1掘
覆土	浅間C軽石を含む灰褐色系の土
壁	直に近い
床面	平坦. 薄い粘土. 黄褐色土面に塗する
支柱穴	床面検出ピットはいずれも浅く小さい
壁溝	全周. カマド燃焼部下未検出
カマド	両袖端先端の内面に小ピット検出. 燃焼部は住居壁ラインの内側にある. 奥壁は三角形を呈する
貯蔵穴	上バの周囲が高さ5cmほどの土手状をなす. 内部は二段に掘り込む. 底面は略円形を呈する
掘形	カマド前で小ピット検出. 重複する5 6号住居の支柱穴・貯蔵穴を検出.
	中央部で南西に傾くピット検出
その他	掘り込みのしっかりした支柱穴未検出. ビット1: 40×36・深さ15. ビット2: 径18・深さ13. ビット3: 径17・深さ8. ビット4: 35×26・深さ9. ビット5: 18×13・深さ1. ビット6: 26×19・深さ6
遺物	土器165片. 中央部に多い. 全体にやや浮いた状態で出土. 覆土から内斜口羅杯出土. 接合しない 壺破片あり.
	0685 (刀子, 木質遺存)・0809・0810・0811・0813・0814・0815
時期	古墳後期. 6世紀後半



第358図 4区54号住居跡遺物出土状態 (西から)



第359図 4区54号住居跡

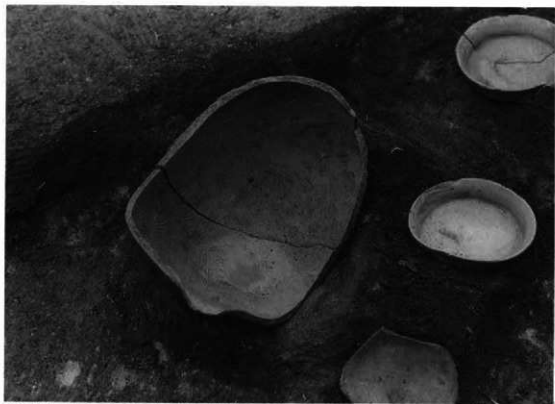
平面形	長方形, 規模 318×300, 面積 9.5㎡, 壁高 10~25, 長軸方位 N108度E
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N115度E, 構築材 粘土・石, 支脚 石
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上バ径35, 下バ径10, 深さ 27
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: Jライン・735m付近
重複関係	5 6住→1 3 4坑→5 5住→1 9住, 覆土: 黄褐色土 b k, を含む褐色系の土
壁	: 直に近い, 床面: 平坦, 薄い貼床, 黄褐色土面に連する
主柱穴	: - , 壁溝: -
カマド	: 両端先端部に石を据えて淡褐色粘土で固める, 燃焼部は住居壁ラインにかかると、燃焼部中央やや左寄りに細長い石を据えて支脚とする, カマド北側から完形に近い土器出土, カマド前に散乱した石はカマド構築材か?
貯蔵穴	: 上バ周縁は他の床面よりわずかに高い
掘形	: 中央床面で楕円形・125×93・深さ20の掘り込み検出, 南東隅を中心に1 3 4号土坑検出
その他	: 主柱穴見当たらず, 遺物豊富
遺物	: 土器145片, 全面に散布, 遺存良好, やや床面から浮き気味, 根拠杯・接合しない甕底部片出土, 0816・0817・0818・0819・0820 (須恵系酸化気味, 台付蓋)・0821・0822 (提瓶)・0823・0824・0825・0826・0827・0828 (金属板のある石)
時期	: 古墳後期, 6世紀後半~7世紀前半



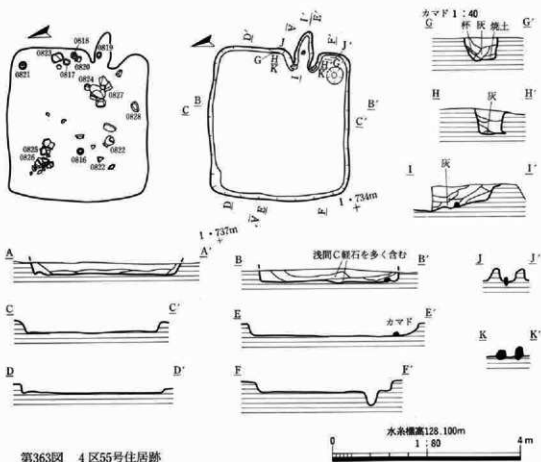
第360図 4区55号住居跡遺物出土状態 (北から)



第361図 4区55号住居跡カマド遺物（西から）



第362図 4区55号住居跡遺物出土状態（北西から）



第364図 4区55号住居跡カマド (西から)



三ツ寺II 4区 56号住居跡 (第365・688区, 図版241・488)

計測値単位cm. - ; 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北482×東西(500), 面積 (24.1) m <sup>2</sup> , 壁高 16~21, 長軸方位 N116度E				
壁 溝	幅 10~18, 深さ 1~5				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下/バ心)
上バ径	35×29	55	52×42	28	1-2:250 2-3:244
下バ径	10	17	18	17	3-4:242 4-1:245
深さ	85	83	88	61	
カマド	位置 南東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 一, 構築材 粘土・石?・土器?, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南隅, 平面形 楕円形, 上バ53×45, 下バ34×23, 深さ 100				
その他(状況の記録)					
地 面	面:黒色土, 6層 検出位置:J~Kライン・733m付近				
重複関係	56住→134坑→55住, 56住→54住→1掘				
覆 土	黄褐色土b k, 浅間C軽石を含む黒色土				
壁	斜めに立ち上がる 床 面:細かい凹凸あり, 貼床				
主 柱 穴	ピット4は54号住居内で検出 壁 溝:検出内全周, 他遺構との重複部分は破壊				
カ マ ド	左袖の一部のみ遺存, 燃焼部・右袖部は54号住居により破壊, 左袖先端部で土器器臺出土(口縁部を住居内側に向けた状態, 袖部の芯か?), 左袖前の床面で長さ35cmの細長い石出土(カマド焚口天井石か?)				
貯 蔵 穴	54号住居中央部で検出, 本住居の方が床面が高いため上面は削平されている, 壁は直線的に廻り込む				
掘 形	床溝6本追加検出				
そ の 他	床溝1~7, 中央部のピットは独立柱建物のものか?, 床溝1:長さ105・幅22・深さ11, 床溝2:長さ98・幅23・深さ10, 床溝3:長さ93・幅18・深さ6, 床溝4:長さ75・幅16・深さ7, 床溝5:長さ110・幅18・深さ7, 床溝6:長さ96・幅17・深さ5, 床溝7:長さ96・幅24・深さ7, 小ピット2か所検出, 北隅・南東辺延長線上(54住検出)のピットは本住居のものか? 遺 物:土器211片, カマド周辺からの出土が多い, 覆土から内斜口鉢杯・横張杯・丸胴器体部片出土, 0812(須恵器蓋)・0832・0833・0834・0835(土器器高杯)				
時 期	古墳中期, 5世紀末				



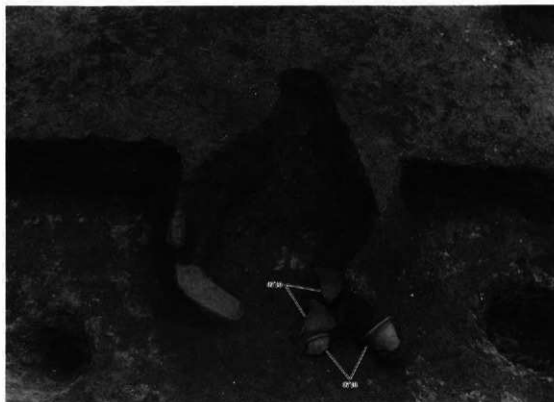
第365図 4区56号住居跡カマド遺物(南から)



三ツ寺II 4区 57号住居跡 (第366・698図, 図版242)

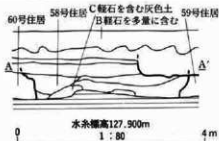
計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形、規模 南北401、面積 -、壁高 17～37、長軸方位 -		
壁 溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	位置 東辺中央、対称軸方位 N101度E、構築材 粘土・石、支脚 不明		
貯蔵穴	位置 南東隅、平面形 不整形、上ノ径3×62、下ノ径18、深さ 43		
その他 (状況の記録)			
溝 認 面	: 黒色土、6層	検出位置	: Iライン・701m付近 (3-4区境界線上)
重複関係	: -	覆 土	: 軽石を含む褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる	床 面	: 薄い粘床、黄褐色土面に達する
主柱穴	: ビット1か?	壁 溝	: -
カマド	: 袖先端部に石を据えて粘土で固める、燃焼部は住居壁の内側にある。奥壁は斜めに立ち上がり煙道につながる。右袖先端部で土器燻破片出土		
貯蔵穴	: 二段に掘り込む。二段目は横円形を呈する		
掘 形	: カマド両袖基部に小ビット検出、ビット1西側・貯蔵穴北西側でビット検出、柱穴の一部か?		
その他	: 3区55号住居と接する、北東隅・南西隅検出、北辺137・南辺100		
遺 物	: 土器61片、覆土から杯破片出土、遺物少ない。		
	0710		
時 期	: 古墳後期、7世紀		

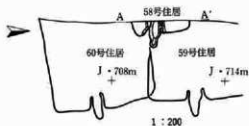


第367図 4区57号住居跡カマド遺物 (西から)

平面形	方形～長方形, 規模 南北 (300), 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N100度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認 面	黒色土, 6層, 検出位置: Iライン・711m付近
重複関係	59・60住→58住→11住, 覆土: 浅間C軽石を含む灰褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる, 床面: 一部検出
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 両端部検出, 燃焼部は住居壁ラインにかかる, 煙道の一部検出
貯蔵穴	: -, 撮影: -
その他: カマドを検出したのみ, 南東隅・北東隅不明確, 床面の範囲でプランを推定, 大半は西側調査区外にあり詳細不明	
遺物	: 土器53片, カマド内から土師器大型壺口縁部・杯小片出土, 南側覆土 (調査区壁中) から杯出土, 0708・0709
時期	: 奈良, 8世紀後半



第368図 4区58号住居跡 土層断面



第369図 4区58号住居跡カマド遺物 (西から)

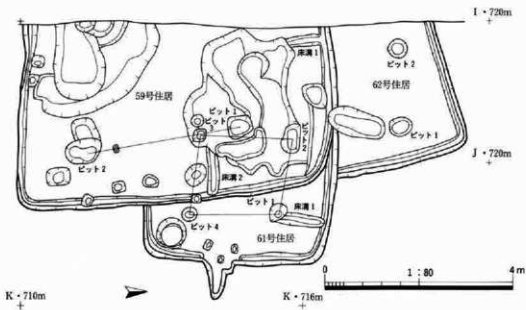
三ツ寺II 4区 59号住居跡(第370・699図, 図版243・488)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北679×東西400以上, 面積 - , 壁高 33～50, 長軸方位 -		
壁溝	幅 7～15, 深さ 2～10		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下ババ心)
上ババ径	80×60	100×64	1-2:341
下ババ径	41×21	35	
深さ	82	88	
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N89度E, 構築材 粘土, 支脚 不明		
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バ31×37, 下バ27×21, 深さ 78		
その他(状況の記録)			
礎	礎面:黒色土, 6割		検出位置:I～Jライン・712m付近
重複関係	61・62住→59住→58住		覆土:浅間C軽石を含む灰褐色系の土
壁	:直に近い		床面:平埴, 粘床
主柱穴	:2本検出, ビット2箇所は浅い		壁溝:検出内全周
カマド	:燃焼部は住居壁ラインの内側にある, 表壁は滑らかに煙道部に連なる		
貯蔵穴	:南北に長い長方形, 底面から土師器杯出土, 壁は直線的に掘り込む		
掘形	:黄褐色土面に達する, 東辺で床溝2検出, 北東部・南西部で不整形の掘り込み検出		
その他	:南東隅・北東隅検出, 北辺305・南辺385, 西半は西側調査区外にある,		
遺物	:土器316片・石1個, 南半からの出土が多い, 貯蔵穴底面から土師器完形杯出土(遺物不明), 加工痕のある20cm大の石・細長い15cm大の石出土, 0699・0700・0701・0702・0703・0704・0705・0706・0707		
時期	:古墳後期, 6世紀後半		



第370図 4区59号住居跡カマド付近遺物(西から)



第371図 4区59・61・62号住居跡 掘形



第372図 4区58・59・61・62号住居跡遺物出土状態（北から）

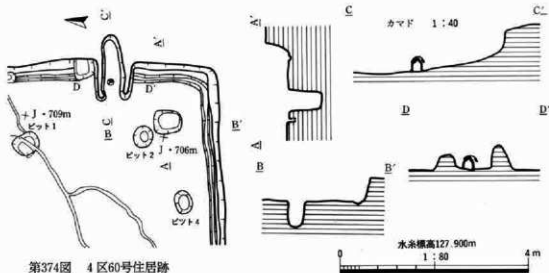
三ツ寺II 4区 60号住居跡 (第373・699区, 図版243・489)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北546×東西470以上, 面積 - , 壁高 44~53, 長軸方位 -		
壁溝幅	10~18, 深さ 3~6		
主柱穴	1	2	3
上バ徑	54×43	45×41	45×42
下バ徑	38×35	20×15	28×25
深さ	56	53	79
主柱穴間の距離(下バ中心)	1-2:254, 2-3:266		
カマド位置	東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N80度E, 構築材 粘土, 支脚 土器(台付壺・杯)		
貯蔵穴位置	南東隅, 平面形 長方形, 上バφ60×46, 下バφ38×34, 深さ 70		
その他(状況の記録)			
確認面	黒色土, 6層		検出位置: 1~Kライン・707m付近
重複関係	60住→59住→58住→11住		覆土: 暗灰色系の土
壁	直に近い		床面: 平坦, 粘灰, 亀裂あり
主柱穴	ピット1径は亀裂による移動分含む		壁溝: 北辺は59号住居床下から検出
カマド	燃焼部奥は滑らかに埴道に連なる, 燃焼部中央に台付壺・杯(両者とも底部上)を据える		
貯蔵穴	壁は直線的に掘り込む		細形: 細かい凹凸あり, 小穴多数検出, 床溝検出
その他	北東隅・南東隅検出, 北辺340・南辺475, 床溝1~5検出		
遺物	土器517片・石7個, 覆土から黒色模倣杯・丸胴壺口縁部出土, 中央西寄り床面から10~20cm大の石7個集めて出土		
時期	0694・0695(カマド, 口縁部下)・0696(台付壺, カマド, 口縁部下)・0697(鉢形壺)・0698		
時期	古墳中期, 5世紀末		



第373図 4区60号住居跡遺物出土状態(北から)



三ツ寺II 4区 61号住居跡 (第371図, 図版243)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形→長方形, 規模 南北401, 面積 - , 壁高 13~40, 長軸方位 -				
壁溝	幅 8~20, 深さ 1~4				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ中心)
上ノ径	35	54×35	30	30×25	1-2 : 161
下ノ径	20	37×23	18×11	19×12	3-4 : 168
深さ	67	62	44	41	2-3 : 195 4-1 : 191
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N93度E, 構築材 粘土, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上ノφ61×59, 下ノφ30×30, 深さ 87				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層		検出位置: J~Kライン・714m付近		
重複関係	61住→59住→58住→11住		覆土: 浅間C凝石を含む灰褐色系の土		
壁	直に近い		床面: 平坦, 薄い粘床		
主柱穴	ピット2・3は59号住居内検出		壁溝: 検出内全周, 59号住居内は破壊されている		
カマド	燃焼部から煙道部へ滑らかに通なる		貯蔵穴: 壁の中位は丸く膨らむ		
掘形	細かい凹凸あり, 小穴多数検出				
その他	北東隅・南東隅検出, 北辺285・南辺293, ピット3西側; 径25・深さ33, ピット4西側; 径25・深さ34, 床溝1: 長さ95・幅18・深さ8				
遺物	61~63号住居出土分と同時に取り上げ, 本遺構分なし, 遺物同層載なし				
時期	重複関係から古墳				

三ツ寺II 4区 62号住居跡 (第371・699図, 図版243)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形→長方形, 規模 - , 面積 - , 壁高 4~19, 長軸方位 -			
壁溝	幅 10~15, 深さ 1~5			
主柱穴	不明			
カマド	不明			
貯蔵穴	不明			
その他 (状況の記録)				
確認面	黒色土, 6層		検出位置: I~Jライン・718m付近	
重複関係	62住→59住→58住→11住		覆土: 黒褐色系の土	
壁	直に近い		床面: 細かい凹凸あり, 薄い粘床	
主柱穴	ピット1~3は浅い		壁溝: 検出内全周	
カマド	-			
掘形	小穴多数検出			
その他	ピット1: 51×45・深さ13, ピット2: 43×39・深さ11, ピット3: 33×33・深さ18			
遺物	土器184片 (61・62・63住出土), 内面に放射状暗文を施す土器群出土, 0796・0797・0798			
時期	古墳後期, 6世紀後半			



三ツ寺II 4区 63号住居跡 (第375・700図, 図版246・489)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北287×東西225以上, 面積 -	壁高	3~12, 長軸方位 -
壁溝	幅 8~13, 深さ 1~3		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	黒色土, 6層	検出位置	1~Jライン・721m付近
重複関係	65・66住→63住→B7溝	覆土	黒褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる	床面	凹凸あり
主柱穴	-	壁溝	北東隅は65号住居調査のため掘り下げた
カマド	-	貯蔵穴	-
備考	影: 小穴多数横出, 南東隅方形ピット: 44×47・深さ14, 南辺寄長方形ピット: 35×28・深さ17		
その他	南西部壁直下で焼土検出, プラン不整形		
遺物	土器15片, 覆土から横微杯・外縁のある鉢・甕底部片出土,		
	0799・0800		
時期	古墳後期, 7世紀前半		

三ツ寺II 4区 64号住居跡 (第284図, 図版247)

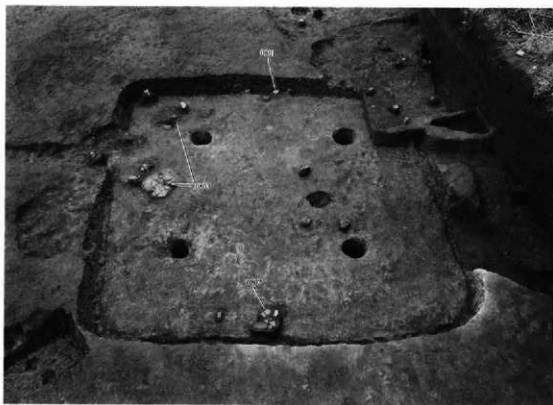
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形, 規模 南北282×東西291, 面積 8.2㎡, 壁高 37~55, 長軸方位 N97度E		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N96度E, 構築材 粘土, 支脚 不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	暗褐色土, 5層下位	検出位置	O~Pライン・710m付近
重複関係	-	覆土	黄褐色土, 暗褐色土
壁	直に近い, やや深い	床面	平坦, 貼床
主柱穴	-	壁溝	-
カマド	燃焼部は住居壁ラインから突出する, 両袖部粘土は一部遺存, 奥壁未検出		
貯蔵穴	-	掘形	凹凸著しい, 黄褐色土面に塗する
その他	カマド燃焼部奥壁は調査区外にある		
遺物	土器26片, 覆土から横微杯口縁部・須恵器瓶口縁部・蓋 (カエリ) 出土, 遺物図掲載なし		
時期	古墳		

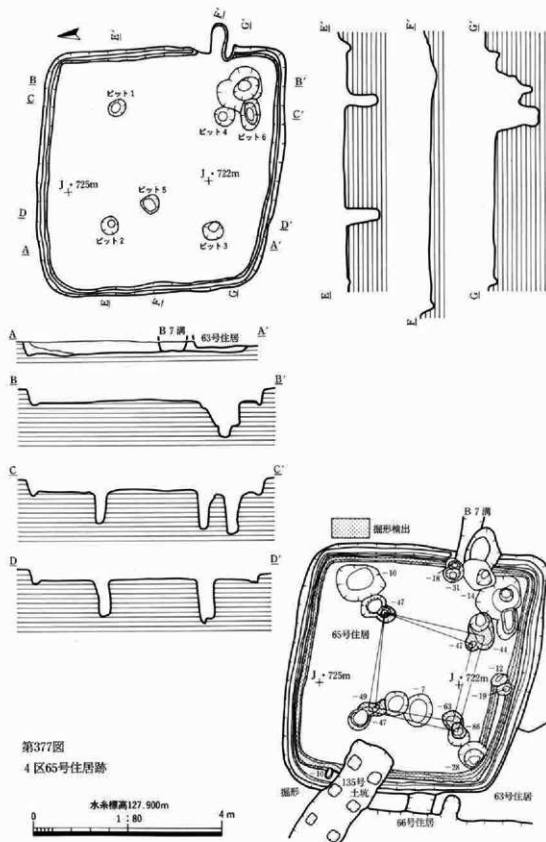


第375区 4区63・65・66号住居跡遺物出土状況 (北から)

平面形	方形(矩形), 規模 南北523×東西519, 面積 27.1㎡, 壁高 13~29, 長軸方位 N3度E				
壁溝	幅 10~17, 深さ 3~7				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下ノ中心)
上ノ径	35×33	35×40	42×38	42×39	1-2 : 242
下ノ径	18×22	15	26	17	2-3 : 218
深さ	65	73	80	78	3-4 : 232
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N10度E, 構築材 粘土, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上ノ径×94, 下ノ径×26, 深さ 76				
その他(状況の記録)					
確認	面: 暗褐色土, 5層下位			検出位置: Jライン・722m付近	
重複関係	: 65住→63住→B7溝			覆土: C軽石を含む黒褐色系の土	
壁	: 直に近い			床面: 平坦, 薄い貼床	
主柱穴	: 4本検出, 柱間は東西方向がやや長い, 壁溝: 検出内全周				
カマド	: 溝により大半を破壊, 遺存不良				
貯蔵穴	: 中に50×25cm大の細長い石を検出, 隣接するピット6も貯蔵穴の一部か?				
掘形	: 内接する壁溝(ほぼ全周)を検出, 南辺西側ではその内側にも長さ120cm分検出, 2回建て替えか?, 北東主柱穴を除き柱穴3セット, 同心円的拡張か?				
その他	: ピット5 : 37×35・深さ16, ピット6 : 62×43・深さ90, 床下検出分は断面図で示す				
遺物	: 土器388片・石1個, 覆土から脚部の膨らむ高杯・須恵器瓶体部片・丸い軽石出土, 0801・0802・0803				
時期	: 古墳後期, 6世紀後半~7世紀				



第376図 4区65号住居跡遺物出土状態(北から)

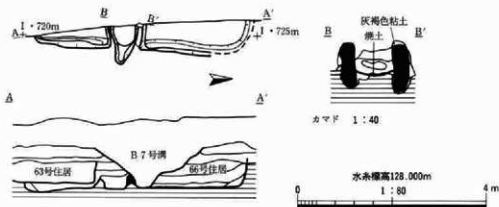


第377図

4区65号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 10~29, 長軸方位 -
壁溝	幅 10~18, 深さ 2~5
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N88度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層
検出位置	1ライン・723m付近
重複関係	1 5 3 坑→6 6 住→6 3 住→B 7 溝
覆土	灰褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる
床面	粘土
主柱穴	-
壁溝	東辺南寄りで見出す
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある, 袖石の一部検出, 袖部が調査区壁にかかる
貯蔵穴	-
形状	-
その他	東辺380 (450前後か?), 南東隅付近を検出, 北東隅未検出 (推定), 大半は西側調査区外にある
遺物	土器17片, カマドから横紋杯小片出土, 覆土から裏口縁部出土, 遺物図掲載なし
時期	重複関係から古墳

平面形	長方形, 規模 543×418, 面積 22.7㎡, 壁高 10~26, 長軸方位 N89度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層
検出位置	O~Pライン・733m付近, 一部は東側道検出
重複関係	-
覆土	浅間C軽石を多く含む褐色系の土
壁	直に近い
床面	平出, 細かい凹凸あり
主柱穴	-
壁溝	-
カマド	-
貯蔵穴	-
形状	-
その他	いずれのピットも浅い, ピットの組み合わせ不良, 中央部に小穴検出, 弥生の可能性あり
遺物	小片のみ, 裏底部片・横紋杯・須恵器瓶体部片出土, 遺物図掲載なし
時期	不明, 古墳?



第378図 4区66号住居跡

三ツ寺II 4区 68号住居跡 (第379・700図, 図版251・489)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 520×478, 面積 24.9㎡, 壁高 8~39, 長軸方位 N101度E				
壁溝幅	12~18, 深さ 1~8				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下バ心心)
上バ径	33	42	28	30×36	1-2:261
下バ径	22	26×20	16×20	18×21	2-3:232
深さ	60	50	55	50	3-4:252
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N101度E, 構築材 粘土, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バ65×42, 下バ42×30, 深さ 60				
その他(状況の記録)					
礎	礎面:黒色土, 6層			検出位置:Mライン・718m付近	
重複関係	69・70・71住→68住→10住			覆土:軽石を含む黒褐色系の土	
壁	直に近い			床面:細かい凹凸あり, 粘床	
主柱穴	4本検出, 深さが揃っている			壁溝:検出内全周	
カマド	袖部遺存不良, 燃焼部は住居壁のラインにかかろ				
貯蔵穴	北東部に帯状の高まりがある				
型	形:床面壁溝に内接する壁溝検出, 北東隅で方形・55×58・深さ60の貯蔵穴検出, 南西部ピット3から西辺に延びる床溝・北辺中央部で南へ延びる床溝検出, 南辺中央部で小ピット2カ所検出, 建て替え				
その他	中央部に掘り込まれた円形の土坑は住居細形の低位(遺物出土なし)				
遺物	土器216片, 覆土から模倣杯・斐口縁部小片出土, 68~71住土器13片, 北辺中央壁際に15cm大の石12個がまとまって出土, その西側に30cm大のやや大きい石出土, 0711・0712・0713・0714				
時期	古墳後期, 7世紀前半				



第379図 4区68号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	長方形, 規模 328×(340), 面積 11.2㎡, 壁高 9~18, 長軸方位 N95度E		
壁 測 幅	10~13, 深さ 2~4		
主柱穴	1	2	3
上バ径	40	50×44	46×40
下バ径	28	20	34×28
深 さ	6	17	6
主柱穴間の距離 (下バ中心)	1-2:155		2-3:142
カマド 位置	東辺中央南寄り, 対称軸方位 N100度E, 構築材 粘土, 支脚 石?		
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 長方形, 上バ42×33, 下バ20×14, 深さ 62		
その他 (状況の記録)	<p>確認 跡: 黒色土, 6層, 検出位置: L~Mライン・722m付近</p> <p>重複関係: 69住→68住→10住, 覆土: 浅間C軽石を含む黒褐色系の土</p> <p>壁: 斜めに立ち上がる, 浅い, 床面: 細かい凹凸あり, 貼床</p> <p>主柱穴: いずれも浅い, 南東ピット相当 (カマド右側, 径20・深さ11) は掘形調査で検出, 組合せ・深さ不良</p> <p>壁 溝: カマド部分を除き検出内全周, カマド: 燃焼部は住居壁から突出する</p> <p>貯蔵穴: 大きい・深さ・形状からピット4とした, 掘形調査では二段に掘り込む</p> <p>掘形: 中央部ピット: 径20・深さ7, 中央北寄りピット: 径40・深さ5, 南西部長方形ピット: 76×39・深さ7, 凹凸著しい</p> <p>その他: 南東隅未検出,</p> <p>遺物: 土器90片・石1個, カマド左袖脇から3~5cm大の石を多量に含む壁基部出土, 遺物同層蔵なし, カマドからケズリ塵破片出土, 覆土から樽飲杯出土, 遺物同層蔵なし</p> <p>時期: 古墳</p>		



第380図 4区69号住居跡遺物出土状態 (西から)

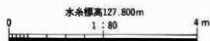
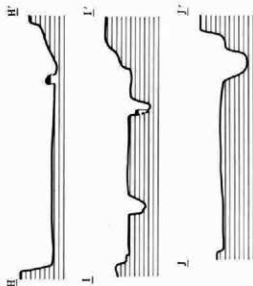
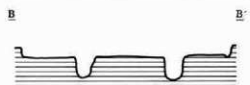
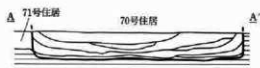
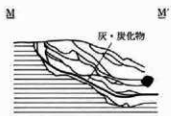
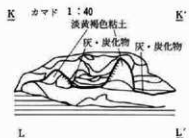
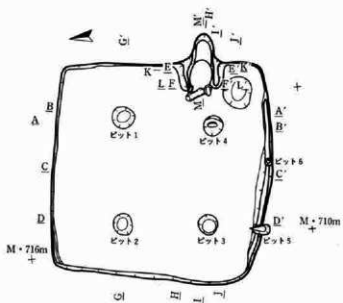
三ツ寺II 4区 70号住居跡 (第381・700図, 図説252・490)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形 長方形, 規模 463×450, 面積 20.8㎡, 壁高 15~73, 長軸方位 N102度E						
壁 溝 不明						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ中心)	
上ノ径	50×44	38×43	40×43	40×41	1-2 : 228	2-3 : 185
下ノ径	29×19	22×27	30×26	20×12	3-4 : 213	4-1 : 192
深 さ	44	27	37	49		
カマド 位置	東辺南寄り, 対称軸方位 N103度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明					
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 不整形, 上ノ径65×58, 下ノ径45×30, 深さ 42					
その他 (状況の記録)						
壁 跡 面	黒色土, 6層			検出位置: M~Nライン・713m付近		
重複関係	71住→70住, 73住→70住			覆 土: 浅間C軽石を含む黒褐色系の土		
壁	直に近い			床 面: 中央南北方向に高さ5~6の段あり, 貼床		
主柱穴	4本検出			壁 溝: 北西隅?		
カマド	両袖先端部に長さ25cm大の石を据える, 焚口天井部に長さ45cm大の石を架ける. 天井石はズリ落ちた状態で検出, 右袖石は北側へ傾いて検出, 燃焼部は住居壁内側にある. 奥壁は円く斜めに立ち上がる					
貯蔵穴	底面は楕円形を呈する					
掘 形	中央部がくぼむ, 小穴多数検出, 北辺寄りに浅い掘り込み検出, 南辺に幅10~20・長さ300ほどのテラス検出, 北辺~西辺の直下もテラス状を呈する, 地山亀裂不明確					
その他	南辺中央部にピット2カ所検出, ピット5: 40×20・深さ3, ピット6: 径15・深さ2					
遺 物	土器671片, 床面から横紋杯2個体出土, カマド右脇から丸胴甕体部片出土, 覆土から土師器高杯脚部 (タケズリ)・小型壺・須恵器高杯 (短脚長方形1段透かし)・亀小片出土. 0715・0716・0717・0718 (須恵器蓋)・0719 (須恵器杯, 蓋受け)・0720・0721					
時 期	古墳後期, 6世紀後半					



第381図 4区70号住居跡遺物出土状態 (西から)



第382図 4区70号住居跡



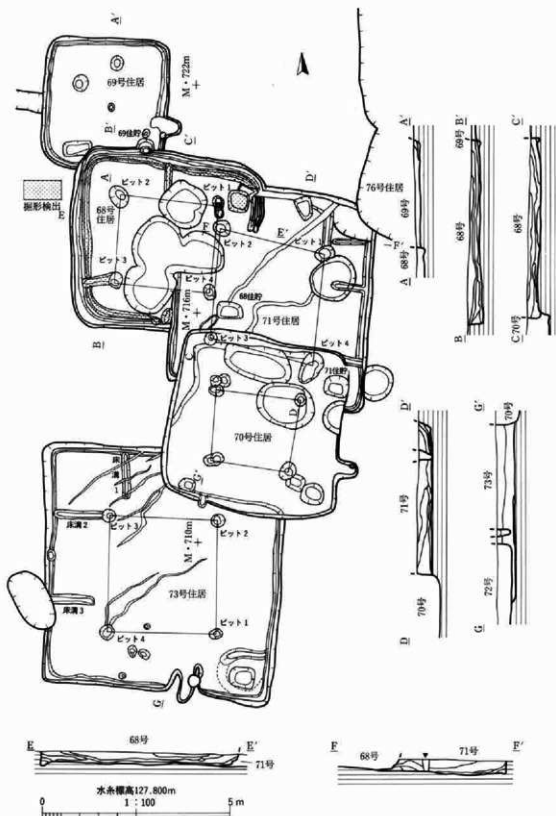
三ッ寺II 4区 71号住居跡(第383・701図, 図版253・490)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形〜長方形, 規模 東西533×南北534以上, 面積 -, 壁高 30前後, 長軸方位 N7度E				
壁溝幅	8~15, 深さ 1~10				
主柱穴	1	2	3 (70住)	4 (70住)	主柱穴間の距離(下ババ心)
上ババ径	46×34	43×42	24×27	54	1-2 : 295 2-3 : 291
下ババ径	34×23	13	14	23	3-4 : (278) 4-1 : (293)
深さ	36	49	59 (32)	51 (27)	71住床面からの深さ, ( )内は70住掘形の深さ
カマド	位置 不明				
貯蔵穴	位置 南東隅(70住掘形内), 平面形 長方形, 上バ63×53, 下バ36×25, 深さ 63 (46)				
その他	(状況の記録)				
床	面: 黒色土, 6層, 検出位置: Nライン・717m付近				
重複関係	71住→70住, 71住→68住, 71住→76住				
覆土	土: 浅間C軽石を含む黒褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる				
床	面: 平直, 貼床, 北東〜南西方向に亀裂あり(地震?)				
主柱穴	穴: ビット3・4は70号住掘形調査で検出(深さは本住居床面から計測)				
壁溝	検出内全周, カマド: 南辺または西辺か?, 東辺では未検出				
貯蔵穴	穴: 70号住掘形調査で検出				
掘形	形: 凹凸著しい, 小穴多数検出, 東辺寄りで径120・深さ30の円形土坑検出(掘形下位), 床溝3本追加検出				
その他	周辺は重複住居により破壊				
遺物	土器101片, 覆土から土師器杯・高杆脚部・須恵器壺胴部小片出土, 0722(管玉)・0952				
時期	期: 古墳後期, 6世紀後半				



第383図 4区68・69・70・71・73・74号住居跡掘形(南から)

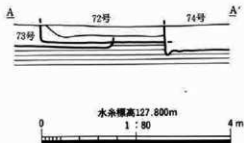
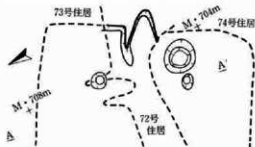


第384図 4区68・69・70・71・73号住居跡 掘形

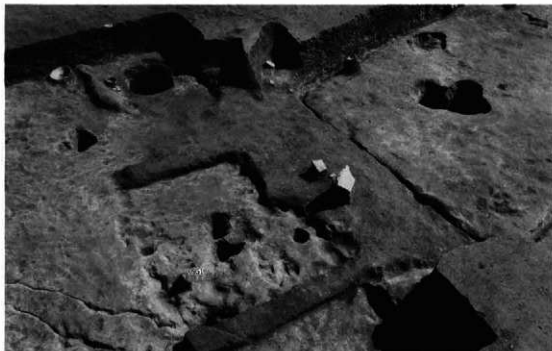
三ツ寺II 4区 72号住居跡 (第385・701区, 図版254・490)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形 (長方形)。規模 推定南北450×東西400、面積 -、壁高 30前後、長軸方位 -					
壁 溝 不明					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノバ中心)
上ノバ径	31×35	25	30×25	30×24	1-2:189
下ノバ径	16	17	13	14	3-4:160
深さ	31	32	30	30	4-1:186
カマド 位置 南東辺中央、対称軸方位 N124度E、構築材 粘土、支脚 不明					
貯蔵穴 位置 カマド右脇、平面形 楕円形、上ノバ73×65、下ノバ30×30、深さ 40					
その他 (状況の記録)					
遺 跡 面:黒色土、5層			検出位置:Mライン・705m付近		
重複関係:73住→72住→74住			覆 土:浅間C軽石を含む黒褐色系の土		
壁 溝:斜めに立ち上がる			床 面:範囲確認のみ、粘床		
主 柱 穴:4本検出、兩個2本は74号住居内検出			壁 溝:-		
カマド:右袖部は74号住居により破壊			貯 蔵 穴:底面は方形、74号住居貼床下で検出		
掘 形:-					
その他:72~74号住居は同時調査のため本住居プランは不明確、床面範囲で推定した					
遺 物:土器22片・石1個、覆土からケズリ甕・外椀杯出土、カマドから模倣杯・12cm大の石出土、0950・0951 (滑石製紡錘車)					
時 期:古墳後期、6世紀後半					



第385図 4区72号住居跡土層断面

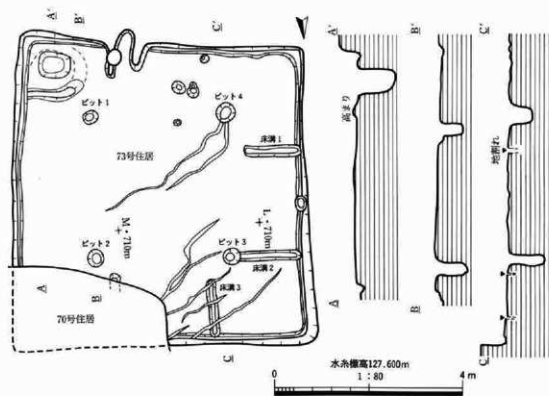


第386図 4区72号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	方形, 規模 628×634, 面積 39.8㎡, 壁高 35~56, 長軸方位 N4度E					
壁溝	幅 9~15, 深さ 1~10					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下ババ心)	
上ババ	32×26	35	35	40	1-2:297	2-3:283
下ババ	17×13	18×22	16	20×26	3-4:304	4-1:250
深さ	49	58	80	47		
カマド	位置 南辺中央やや東寄り, 対称軸方位 N153度E, 構築材 粘土?, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上ババ66×54, 下ババ44×33, 深さ 85					
その他(状況の記録)						
確認	面:黒色土, 6層			検出位置:Mライン・709m付近		
重複関係	73住→72住→74住, 73住→70住→68住					
覆土	土:浅間C軽石を含む黒褐色系の土, 壁:直に立ち上がる					
床	面:平坦, 貼床, 黄褐色土面に塗する, 地割れあり					
主柱穴	4本検出, 北西部ビットのみ特に深い, 壁溝:検出内全周					
カマド	72号住居床下で検出, 遺存不良					
貯蔵穴	北側周縁を高さ10cm前後の土手状の高まりが囲む					
掘形	凹凸あり, 小穴多数検出					
その他	北東隅は70号住居により破壊され未検出, 床溝3本検出, 床溝1:長さ122・幅20・深さ16, 床溝2:長さ130・幅21・深さ10, 床溝3:長さ123・幅24・ 深さ15, 北東部のビット状掘り込みも床溝の可能性あり					
遺物	土器289片, 覆土から模張杯2個体以上・瓶?・須恵器大型壺頸部出土, 0723・0724・0725・0726・0727・0728・0729					
時期	古墳後期, 6世紀前半					



第387図 4区73号住居跡遺物出土状態(西から)



第388図 4区73号住居跡

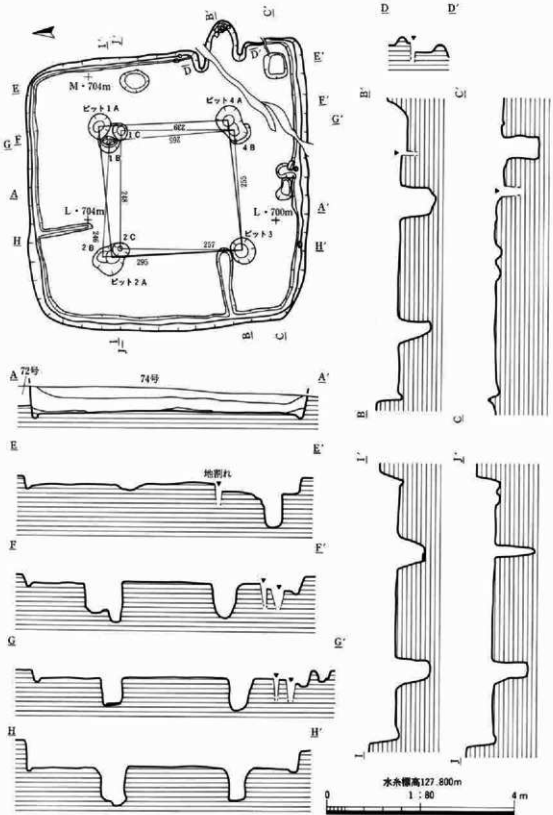


第389図 4区73号住居跡貯蔵穴付近遺物(西から)

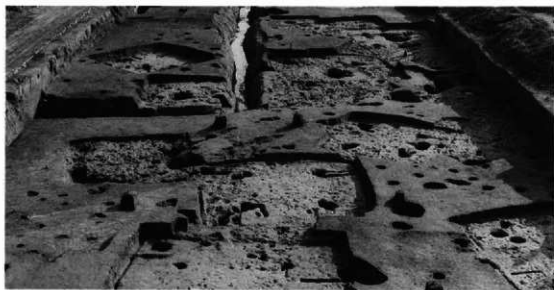
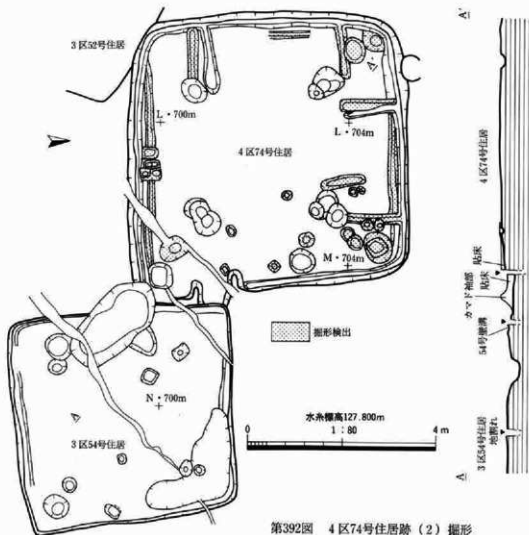
平面形	長方形, 規模 南北594×東西581, 面積 34.5㎡, 壁高 17~63, 長軸方位 N0度					
壁溝	幅 8~18, 深さ 3~8					
主柱穴	1 A	2 A	3	4 A	主柱穴間の距離 (下/上/中心)	
上/下径	47×53	50	54×56	54	1 A - 2 A : 276	2 A - 3 : 274
下/上径	21×26	28	29×27	22	3 - 4 A : 274	4 A - 1 A : 276
深さ	72	70	67	72		
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N93度E, 構築材 粘土, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上/下径52×48, 下/上径40×32, 深さ 66					
その他 (状況の記録)						
確認面	黒色土, 6層			検出位置	L~Mライン・702m付近, 3-4区の間	
重複関係	3区54住→74住, 72住→74住			覆土	浅間C軽石を含む黒褐色系の土	
壁	直に近い			床面	平坦, 薄い粘土, 南東隅に地割れ	
主柱穴	北側は3本の重複, 南東部は2~3本の重複, 南西部は1本のみ検出, 南北方向に拡張したか? ピット1Bの底面には扁平な石を据える					
壁溝	検出内全周					
カマド	燃焼部は住居壁の外に突出する, 奥壁は丸みをもつ, 袖部遺存不良					
貯蔵穴	上/下周囲に浅い段あり					
掘形	壁直下に内接する壁溝を検出, 小ピット多数検出, 重複する床溝検出					
その他	床面で床溝2本・掘形で5本追加検出, 南辺中央部の床面で小ピット2個検出, 同位置で2本追加検出 (出入口か?), 南東部の地割れで南東側が低く落ちる (10~17cmの落差)					
遺物	土器328片・炭化物サンプル1袋, カマドから壁口縁部出土, 覆土から土師器外椀4個体・高杯・横椀・須恵器提瓶・瓶口縁部出土, 0934・0935・0936・0937					
時期	古墳後期, 7世紀前半					



第390図 4区74号住居跡遺物出土状態 (西から)



第391図 4区74号住居跡(1)





三ツ寺II 4区 75号住居跡 (第394・701図, 図版257)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 縦横 南北646, 面積 - , 壁高 38~68, 長軸方位 -	
壁溝幅	7~20, 深さ 3~11	
主柱穴	1 : 2	主柱穴間の距離 (下バ心)
上バ径	41×49 : 30×35	1-2 : 365
下バ径	30×32 : 21	
深さ	27 : 20	
カマド位置	北辺, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明	
貯蔵穴	不明	
その他 (状況の記録)		
壁面	黒色土, 6層	検出位置 : O~Pライン・72m付近
重複関係	79住→75住, 76住→75住	覆土 : 暗褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる	床面 : 平坦, 粘床
主柱穴	西側2本検出	壁調 : 検出内全周
カマド	左袖部・燃焼部検出, 右袖部は調査区壁中, 右袖寄りで壁底部出土	
貯蔵穴	-	掘形 : 下層で79号住居検出
その他	76住との重複関係は不明, 南辺365, 東半は調査区外にある, 東側道調査のとき道路下のため未調査, 79号住居の拡張か?	
遺物	土器78片, 中央部床面から須恵器壘体部片出土, カマド内から内斜口椀杯出土, 南辺中央部壁際から炭化物出土, 0730	
時期	古墳後期, 7世紀前半	

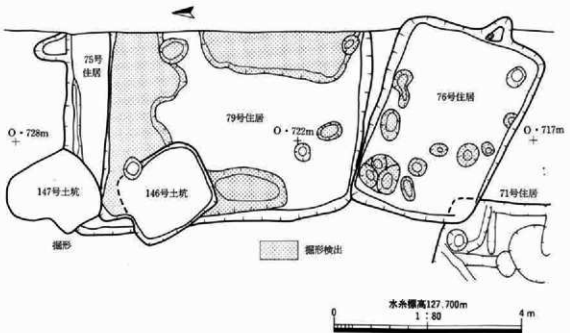
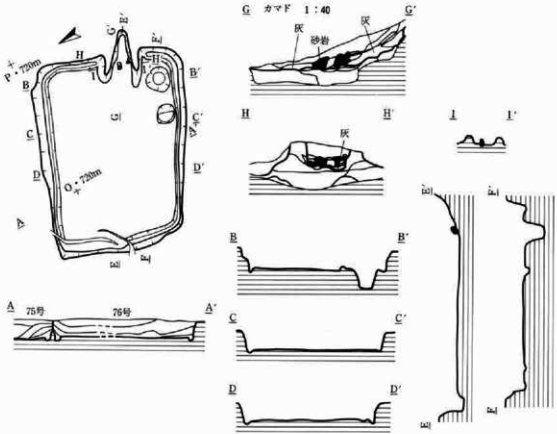


第394図 4区75号住居跡カマド遺物 (南から)

平面形	台形, 規模 南北307×東西407, 面積 12.5㎡, 壁高 28~45, 長軸方位 N116度E
壁 調 幅	10~15, 深さ 3~7
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺中央, 対称軸方位 N120度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 石?
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 円形, 上バ49×46, 下バ24, 深さ 42
その他 (状況の記録)	
地 誌 面	: 黒色土, 6期, 検出位置 : O~Pライン・718m付近
重 複 関 係	: 71住→76住→75住, 覆 土 : 褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる, 床 面 : 平坦, 粘床
主 柱 穴	: -, 壁 溝 : 西辺北側未検出
カマド	: 燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部内から15cm大の石8個出土, 燃焼部中央やや左から石出土, 燃焼部奥壁は斜めに立ち上がる
貯 蔵 穴	: 周縁がわずかに高い, 掘 形 : 凹凸著しい, 中央部がやや高い
そ の 他	: カマド煙道部は調査区壁にかかる, 西辺~北西隅に地割れがある, 貯蔵穴西側の掘り込みは浅い
遺 物	: 土器27片, 北東寄り床面から土師器甕体部片出土, 覆土から須恵器短頸青磁片出土,
時 期	: 0731・0732 (須恵器産地), 古墳後期, 6世紀後半



第395図 4区76号住居跡カマド (西から)



第396図 4区76号住居跡

平面形	不整形, 規模 南北385×東西350, 面積 -, 壁高 17~53, 長軸方位 N14度E		
壁 調	不明		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離 (下ノ心)
上ノ径	34×30	33×34	1-2 : 229
下ノ径	20	21	
深 さ	22	22	
カマド 位置	東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N114度E, 構築材 粘土, 支脚 不明		
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 円形, 上ノ径56×58, 下ノ径12×17, 深さ 53		
その他 (状況の記録)			
礎 礎 面	: 黒色土, 6期		検 出 位 置
重 複 関 係	: -		: Pライン・703m付近, 本線敷+東側道
壁	: 斜めに立ち上がる		覆 土
主 柱 穴	: 東側道部で2本検出		: 褐色系の土
カ マ ド	: 燃焼部は住居壁の内側にある		床 面
掘 形	: 北辺寄りに浅く広い掘り込み		: 平坦, 粘床
貯 蔵 穴	: 内部は二段に掘り込む		壁 溝
そ の 他	: 南東隅丸い, 本線敷と東側道部との実測図は一致しない		
遺 物	: 土器76片, 覆土から土師器壘体部片・白釉のかかる陶器出土,		
	0804		
時 期	: 古墳後期, 6世紀後半		



第397図 4区77号住居跡土層断面 (西から)

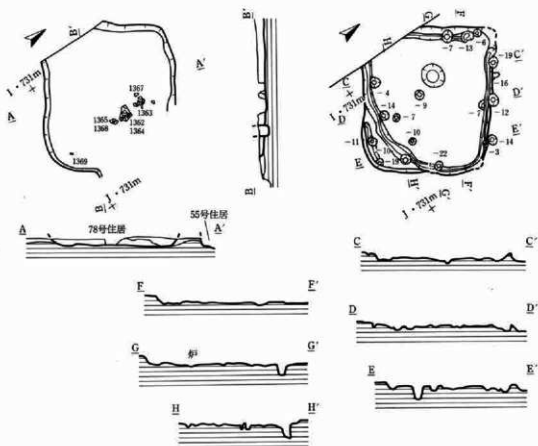
三ツ寺II 4区 78号住居跡(第398・703図, 図版260・491)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 306×227, 面積 - , 壁高 6~18, 長軸方位 N50度W		
壁 溝	幅 16~20, 深さ 3前後		
主柱穴	不明		
炉 位置	中央北西寄り, 対称軸方位 -, 構築材 -, 支脚 -		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
礎 礎 面	: 黒色土, 6層下位	検 出 位 置	: 1~Jライン・732m付近
重 築 関 係	: 78住→56住	覆 土	: 黄褐色土粒子を含む黒色土
壁	: 斜めに立ち上がる	床 面	: 凹凸あり, 黄褐色土面に達する
主 柱 穴	: -	壁 溝	: 南隅は半円形に回り壁直下にならない
炉	: 楕円形・45×55・深さ3の浅い掘り込みで焼土検出, 地床炉	貯 蔵 穴	: -
貯 蔵 穴	: -	形	: -
そ の 他 : 伊の南側に小ピット検出, 壁・壁溝に沿って小ピットが不規則に巡る。 西隅未検出, 北西辺160・北東辺290・南東辺226・南西辺217			
遺 物 : 東側から集出して出土, 床面からやや浮いた状態が多い, 1369は本住居所屬, 土器は深鉢のみ, 1370は本住居所屬の可能性あり, 1362・1363・1364・1365・1366・1367・1368・1369 (石器)			
時 期 : 黒浜式, 縄文前期			



第398図 4区78号住居跡遺物出土状態(西から)



第399图 4区78号住居跡

三ツ寺II 4区 79号住居跡 (第284図, 図版261)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北537, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁	溝 幅 10~20, 深さ 3~10
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: 75号住居床下, 検出位置: O~Pライン・724m付近
重複関係	: 79住→75住, 覆土: 褐色土+黒色土+黄褐色土
壁	: -, 床面: 中央部は堅く締まる, 貼床
主柱穴	: -, 壁溝: 北辺～西辺北側で検出, その他不明
カマド	: -, 貯蔵穴: -
掘形	: 北辺沿いに不整形の掘り込み, 調査区壁下に半円形の掘り込み, 北西部に146号土坑検出
その他	: 北西側の円形二段の掘り込みは貯蔵穴か?, 75号住居内部に西辺・南辺を共有して納まる。本住居を拡張して75号住居になったか?
遺物	: 土器5片, 掘形から土師器壁口縁部・高杯脚部出土, 遺物図掲載なし
時期	: 不明, 重複関係から古墳?

三ツ寺II 4区 80号住居跡 (第400・704図, 図版261)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北588×東西290以上, 面積 -, 壁高 62~75, 長軸方位 -
壁	溝 幅 10~18, 深さ 5~10
主柱穴	1, 2, 主柱穴間の距離 (下バ心)
上バ径	36, 43, 1-2: 285
下バ径	15, 24
深さ	28, 30
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: 黒色土, 6層, 検出位置: P~Qライン・709m付近, 東側道
重複関係	: -, 覆土: 軽石を多く含む黒褐色系の土
壁	: 直に近い, 床面: 平坦, 黄褐色土の薄い貼床
主柱穴	: 2本検出, 壁溝: 検出内全周
カマド	: -, 貯蔵穴: -
掘形	: 細かい凹凸あり
その他	: 床溝2本検出, 床溝1: 長さ104・幅34・深さ9, 床溝2: 長さ85・幅41・深さ12, 北辺240・西辺544・南辺273, 東半は調査区外にある
遺物	: 土器120片, 覆土から内斜口縁杯・丸胴壺体部片出土, 北西部床面から15cm大の石13個が集中して出土, 南側では軽石出土, 土器の実例図掲載なし, 1044 (片面が平滑で偏平な石)
時期	: 古墳

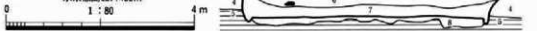
- 1 FPを含む明褐色砂質土
- 2 FPを含む黒色土
- 3 CPを含む黒色土
- 4 黒色土
- 5 黄褐色土 (ローム)
- 6 黒褐色土+多量の軽石+ローム小b k.
- 7 黒褐色土+多量の軽石+ロームb k.
- 8 ロームb k. と黒色土b k. の混合  
堅く締まる (床面を形成する)

## 第400図

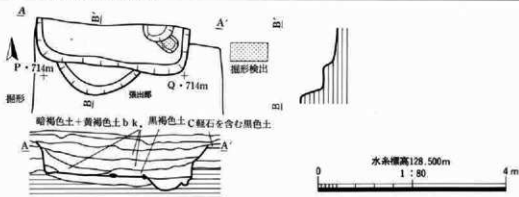
## 4区80号住居跡

水糸標高127.400m

1:80



平面形	方形～長方形, 規模 東西360, 面積 - , 壁高 54~75, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
支柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上ノ457×50, 下ノ445×40, 深さ 20		
その他 (状況の記録)			
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	P~Qライン・714m付近, 東側道
重複関係	-	覆土	暗褐色系の土
壁	直に近い	床面	平坦, 粘床
支柱穴	-	壁溝	-
カマド	-	貯蔵穴	周辺から遺物出土
掘形	南東隅に長方形・深さ18のピット検出		
その他: 南辺西寄りに半円形の張り部をもつ, 床面まで比高13・検出面まで比高43の段を呈する。 大半は北側の未調査部 (道路のため調査不可) にあり詳細不明			
遺物: 土器16片, 石は火熱を受けている。 0805・0806・0807 (軽石, キズ4本)・0808 (軽石, 金属キズ多数)			
時期: 古墳後期, 6世紀後半			



第401図 4区81号住居跡



第402図 4区81号住居跡遺物出土状態 (南から)



三ツ寺II 4区 82号住居跡 (第403図, 図版263)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

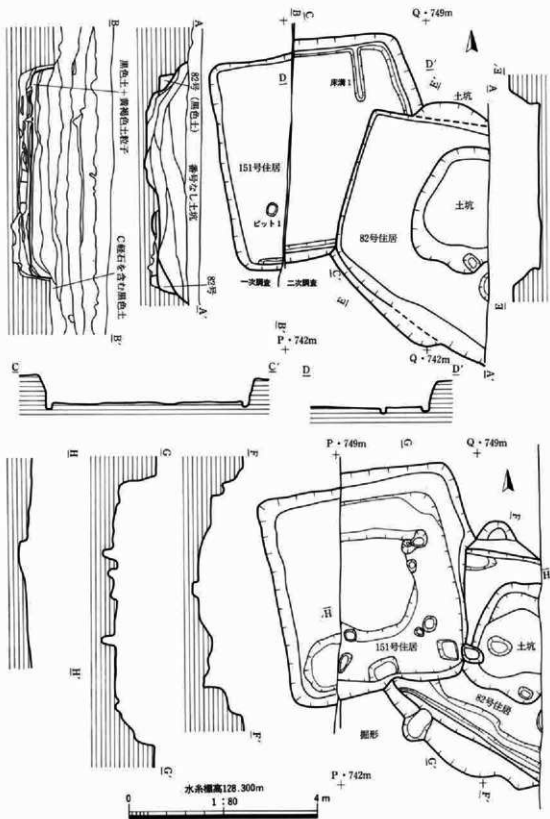
平面形	台形, 規模 南北(下ノ) 375×東西(下ノ) 310以上, 面積 -, 壁高 60前後, 長軸方位 -
壁溝 (掘形) 幅	10~20, 深さ 10前後
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
礎 礎 面	: C粒石を含む黒色土, 6層, 検出位置: P-Qライン・745m付近, 東側道
重 複 関 係	: 1 5 1 住→8 2 住→番号なし土坑, 覆 土: 黄褐色土小b k, を含む黒色系の土
壁	: 直に近い, 床 面: 平坦, 薄い貼床
主 柱 穴	: -
壁 溝	: 掘形の南辺で検出, 壁溝底面に連続した工具痕を検出, これに沿って小穴が多数並ぶ
カ マ ド	: -, 貯 蔵 穴: -
掘 形	: 凹凸あり, 中央部は土坑底面の凹凸
そ の 他	: 番号なしの土坑が住居中央部に掘り込まれて住居を破壊, 南北壁の湾曲は土坑の上バか?, 東半は調査区外にあり詳細不明, 南側の壁湾曲部付近を83号住居としたが欠番とする
遺 物	: 土器411片・石1個, 覆土から横徳杯・外椀杯・高杯脚部出土, 掘形からケズリ変底部出土, 遺物回収痕なし
時 期	: 古墳~奈良

三ツ寺II 4区 83号住居跡

82号住居南辺の一部を83号として認定, 番号なし土坑の上バか?, 欠番とする



第403図 4区82号住居跡掘形 (西から)



第404图 4区82・151号住居跡

三ツ寺II 4区 84号住居跡 (第405・704図, 図版264)

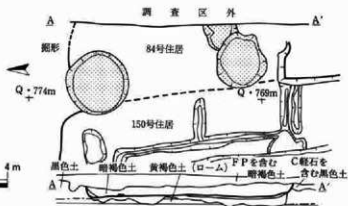
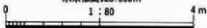
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北431×東西170以上, 面積 - , 壁高 26～31, 長軸方位 -	
壁	調 不明	
主柱穴	1 : 2	主柱穴間の距離 (下ババ心)
上ババ径	40 : 50×47	1-2 : 253
下ババ径	25 : 25×28	
深さ	12 : 22	
カマド	不明	
貯蔵穴	不明	
その他 (状況の記録)		
壁	面 : C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置 : Q～Rライン・771m付近, 東側道
重複関係	係 : 150住→84住	覆土 : 軽石を含む暗褐色系の土
壁	傾 : 斜めに立ち上がる	床面 : 平坦, 貼床
主柱穴	2本検出, 浅い	壁溝 : -
カマド	-	貯蔵穴 : -
掘形	形 : 凹凸著しい, 小穴多数検出, 径140・径100の円形土坑検出	
その他	他 : 東半は調査区外にある, 北辺175・西辺402・南辺140, 土層断面出土の横楕円杯は本住居所属か? , 詳細不明	
遺物	土器91片, 覆土から土師器横楕円杯 (完形)・高杯 (胴部欠)・半球杯出土, 1523・1524	
時期	古墳後期, 6世紀後半～7世紀	

第405図

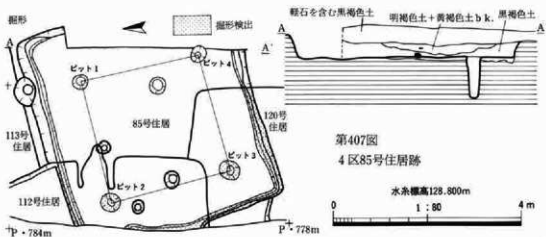
4区84号住居跡

水準標高128.500m



第406図 4区84号住居跡土層断面 (西から)

平面形	長方形, 規模 南北461×東西(490前後), 面積 - , 壁高 40~49, 長軸方位 (N74度E)				
壁溝	幅 13~16, 深さ 2~8				
主柱穴	1 (掘形)	2 (掘形)	3 (掘形)	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (掘形計測, 下の中心)
上ノ径	31	40	44×39	31×33	1-2 : 263
下ノ径	18	17×12	20×15	12	3-4 : 252
深さ	42	62	71	80	4-1 : 256
カマド	不明, 東辺?				
貯蔵穴	不明, 南東隅?				
その他 (状況の記録)					
確認面	C 軽石を含む黒色土, 6層			検出位置	Qライン・781m付近, 東側道
重複関係	85住→112・120住			覆土	土: 黄褐色土 b k, を含む黒褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる			床面	面: 細かい凹凸あり, 薄い貼床
主柱穴	ピット 2・3 は掘形検出			壁溝	西半は掘形検出
カマド	-				
掘形	南西隅付近の壁溝検出, 北辺延長分検出, 東西規模は掘形検出プランで推定, 西半は112・120号住居床下で検出				
その他	北西隅・南東隅未検出, 西側調査区壁直下の溝は不明確				
遺物	土器58片, 中央部付近で遺物出土, やや浮いた状態, 覆土から内斜口縁杯出土, 床面から粘土接合痕を残す礎石部出土, 1068・1069・1070				
時期	古墳後期, 6世紀前半				



第408図 4区85号住居跡遺物出土状態 (北から)

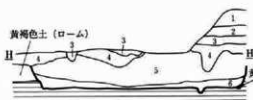
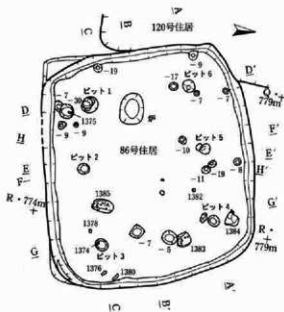
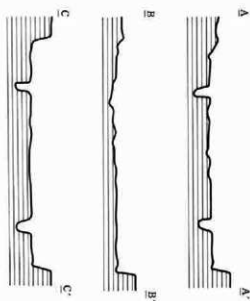
三ツ寺II 4区 86号住居跡(第409・705図, 図版266・494)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

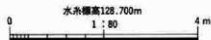
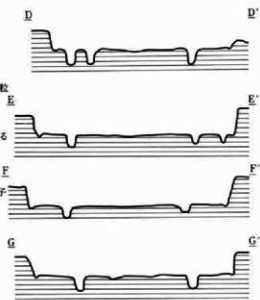
平面形	隅丸方形, 規模 東西496×南北445, 面積 (22.1) m <sup>2</sup> , 壁高 36~55, 長軸方位 N103度W						
壁 溝 幅	11~25, 深さ 2~6						
主柱穴	1	2	3	4	5	6	主柱穴間の距離(下バ中心)
上バ径	33	25×22	27×22	24×22	22×20	27×24	1-2:136, 2-3:165, 3-4:240
下バ径	14×10	15	20×15	14×12	13×5	9	4-5:155, 5-6:131, 6-1:218
深さ	30	23	28	27	18	32	1-3:298, 4-6:286, 2-5:256
炉 位置	中央西寄り, 楕円形, 64×50・深さ9, 焼けている						
その他(状況の記録)							
確認面	黒色土(オレンジ色の軽石含む), 7層			検出位置: Q~Rライン・776m付近, 東側道			
重複関係	86住→120住			覆土: 黒色土			
壁	斜めに立ち上がる			床面: 黄褐色土面に達する, 堅く締まる			
主柱穴	6本			壁溝: 検出内全周, 断面三角形			
炉	底面は良く焼けている			堀形: -			
その他: 北辺から南西隅にかけて壁際の小穴検出, 南東隅・南西隅は角張る, 東側へ拡張して調査, 北西隅は120号住居により上位を破壊							
遺物: 土器32片・黒曜石3片, 覆土から出土の遺物も同様, 東半に遺物多い, 1371・1372・1373・1374(打製石片)・1375(打製石片)・1376(打製石片)・1377(石匙)・ 1378(刮片石器)・1379(刮片石器)・1380(すり石)・1381(すり石)・1382(すり石)・ 1383(多孔石)・1384(多孔石)・1385(多孔石)							
時期: 踏礎a・b式, 縄文前期							



第409図 4区86号住居跡遺物出土状態(東から)



- 1 褐色土 (表土) 浅間A・B軽石を多量に含み強く締まっている
- 2 明褐色土 F Pの二次堆積 (粘質土)
- 3 褐色土 2層のb k, と浅間C軽石の混土
- 4 暗褐色土 全体に浅間C軽石を多量に含む
- 5 黒色土 オレンジ色の軽石 (1~3mm) を少量含む, 全体に粒子が細かい
- 6 暗褐色土 5層に黄褐色土 (ローム) 粒子・b k, を多く含む, 強く締まっている



第410図 4区86号住居跡

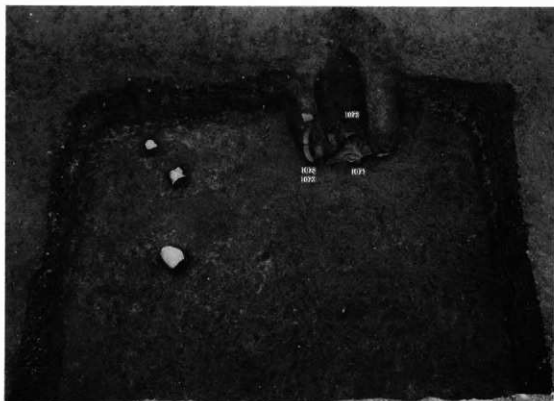
三ッ寺II 4区 87~100号住居跡

欠番

三ツ寺II 4区101号住居跡 (第411・707回, 図版267・496)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北406×東西290以上, 面積 - , 壁高 24～38, 長軸方位 -
壁 溝 幅	7～19, 深さ 1～6
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N91度E, 構築材 粘土・石・土器?, 支脚 不明
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ68×57, 下ノ27×17, 深さ 53
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層
検出位置	1～Jライン・797m付近, 4区北西端
重複関係	-
覆土	礫石を含む黒褐色系の土
壁	-
直に近い	-
床面	平坦, 薄い貼床
主柱穴	-
壁調	検出内全周
カマド	両袖先端部に石を据え粘土で固める, 両袖にかかる状態で竪3個体分出土, 竪は竪口天井部か?, 竪焼部は住居壁の内側にある, 掘形で竪焼部中央に小穴検出, 掘形奥壁は住居外に突出する
貯蔵穴	南北にやや長い, 底面は二段に掘り込む
掘形	黄褐色土面に達する, 細かい凹凸あり, 貯蔵穴脇に浅い掘り込み検出
その他	西半は調査区外にある, ビット1は柱穴か?, 北辺260・東辺380・南辺280, ビット1:55×53・深さ48
遺物	土器182片, 覆土から須恵器類?出土, カマドから土器器臺出土, 杯類不明, 1071・1072・1073
時期	古墳後期, 7世紀前半



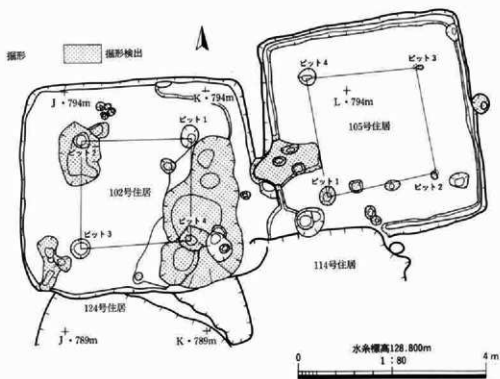
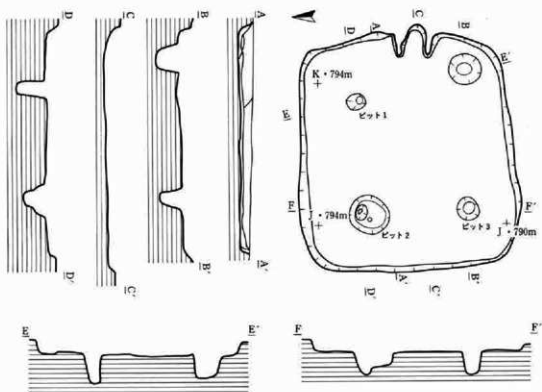
第411回 4区101号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	長方形, 規模 495×452, 面積 22.4㎡, 壁高 10~27, 長軸方位 N89度E				
壁 溝	不明				
主柱穴	1	2	3	4 (掘形)	主柱穴間の距離(下バ中心)
上バ径	40×33	87×82	45	50	1-2:233, 2-3:231
下バ径	14	7	22	21×25	3-4:234(掘形), 4-1:213(掘形)
深 さ	60	41	46	43	
カマド 位置	東辺中央, 対称軸方位 N97度E, 構築材 粘土, 支脚 不明				
野竈穴 位置	南東隅, 平面形 円形, 上バ66×63, 下バ33×25, 深さ 49				
その他 (状況の記録)	<p>確 認 面: 黒色土, 6層, 検出位置: J~Kライン・792m付近</p> <p>重 複 関 係: 124住→102住, 116住→114住→105住→102住</p> <p>覆 土: 軽石を含む黒褐色系の土, 壁 : 斜めに立ち上がる</p> <p>床 面: 平坦, 粘床, 一部黄褐色土面に達する, 主 柱 穴: ビット4は掘形検出</p> <p>壁 溝: 北辺沿いに不明瞭な細い溝検出, カマド: 粘土で形成する, 東壁は住居壁にかかる</p> <p>貯 蔵 穴: 底面は楕円形, 南東隅壁直下はやや高い</p> <p>掘 形: 南東隅を中心に略三角形の深い掘り込み検出, 北西部はビット2を中心に掘り込み検出, 小穴多数検出, 東辺沿いに北辺壁溝につながる細い溝検出, 南東隅の掘り込みは東辺溝の内側に納まる</p> <p>そ の 他: 周辺の重複住居より新しい, 105号住居カマドの上から本住居カマドを形成</p> <p>遺 物: 土器209片, カマド脇床面からケズリ溝口縁部出土, カマド内から外椀杯出土, カマド掘形から破片出土(105号住居所属か?)</p> <p>0995</p> <p>時 期: 古墳後期</p>				



第412図 4区102号住居跡遺物出土状態(西から)



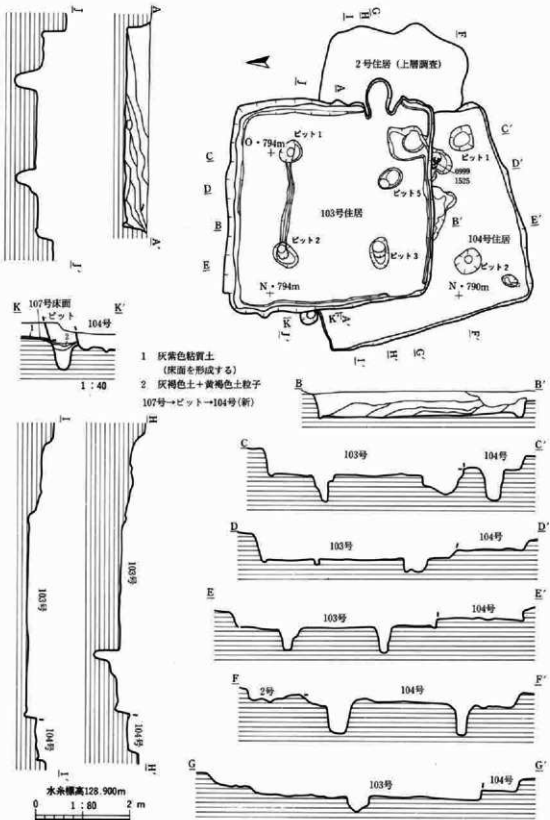


第413図 4区102号住居跡

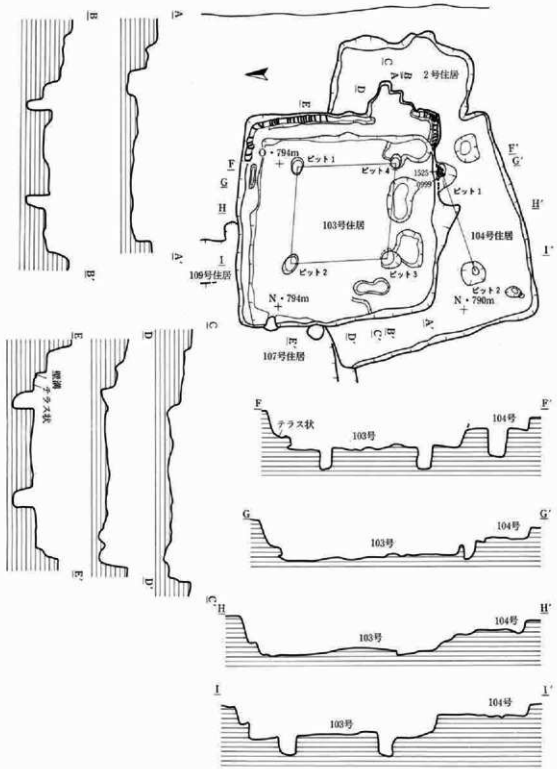
平面形	長方形, 縦横 458×435, 面積 19.9㎡, 壁高 36~57, 長軸方位 N91度E				
壁 調	幅 10~20, 深さ 3~6				
主柱穴	1	2	3	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下バク心)
上バク径	44×48	58×42	40×65	22×30	1-2 : 207, 2-3 : 204
下バク径	18	17	25	19×25	3-4 : 199 (掘形), 4-1 : 212 (掘形)
深 さ	50	44	53	46 (床面から69)	
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N89度E, 構築材 粘土, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バク107×70, 下バク50×40, 深さ 37				
その他 (状況の記録)					
確 認	面 : 黒色土, 6層下位, 検出位置 : N-Oライン・793m付近				
重 複	関 係 : 104住→103住→2住, 107・109住→103住				
覆	土 : 軽石・黄褐色土b k, を含む黒褐色系の土				
壁	: 直に近い, 一部に先端部半円形の工具痕を残す				
床	面 : 平坦, 厚い粘土, 主柱穴 : ビット4は掘形検出				
壁	溝 : 幅12~13の先端部が半円形の工具で掘り込む, 水平でなく住居内側が低く傾く, 東半壁溝のみ工具痕が残る				
カマド	: 上位を2号住居により破壊, 袖部遺存不良, 燃焼部は住居壁外に突出する, カマド前床面で小型竈出土				
貯 蔵 穴	: 底面は円形を呈する				
掘	形 : 東辺~北辺の内側に沿って幅15~25cmのテラス状遺構検出, テラス内側直下は深く凹凸著しい, テラスと掘形底面との比高は30cm前後 (掘り残しか?), カマド右奥壁は階段状の平面をなす, 南辺中央部に不整形の突出部検出 (住居壁は斜めに立ちあがる, カマド痕跡?)				
そ の 他	: ビット1~2間の床面で固着を直線的につなぐ溝検出, 幅10~18・深さ10前後				
遺 物	: 土器236片, 104号住居遺物と混入, カマド前床面から小型竈体部~底部出土, 0996・0997・0988				
時 期	: 古墳後期, 6世紀				



第414図 4区103号住居跡遺物出土状態 (西から)



第415図 4区103・104号住居跡(1)



第416図 4区103・104号住居跡(2)

三ツ寺Ⅱ 4区104号住居跡 (第415・708図, 図版270)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 (466×434), 面積 (20.2) m <sup>2</sup> , 壁高 19~32, 長軸方位 N163度E	
壁 溝	不明	
主柱穴	1	2 主柱穴間の距離 (下バ心)
上ノ径	55	55×45 1-2:225
下ノ径	22	16
深 さ	47	60
カマド	不明	
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上ノ径50×48, 下ノ径34×26, 深さ 113	
その他 (状況の記録)		
確 認 面	黒色土, 6層	検出位置: N~Oライン・790m付近
重 複 関 係	107住→104住→103住→2住	覆 土: 軽石を含む黒褐色系の土
壁	: 直に近い, 北辺狭い	床 面: 細かい凹凸あり, 黄褐色土面に塗する
主 柱 穴	: 2本検出, 103号住居内不明	壁 溝: -
カ マ ド	-	
貯 蔵 穴	: 東壁は直線的に掘り下げる, 西側に土手状の高まり	
掘 形	: 貯蔵穴付近凹凸著しい	
そ の 他	: 北東部は103号住居の掘形が深く本住居を破壊, 北辺付近ピットは本住居より古い, 107住→ピット→104住, 南西隅ピットは凹凸の大きなもの	
遺 物	: 土器2片, 南東柱穴内から土器出土 (重なった状態), 0999 (上, 鉢形甕)・1525 (下, 砲弾形)	
時 期	: 古墳後期, 6世紀前半	



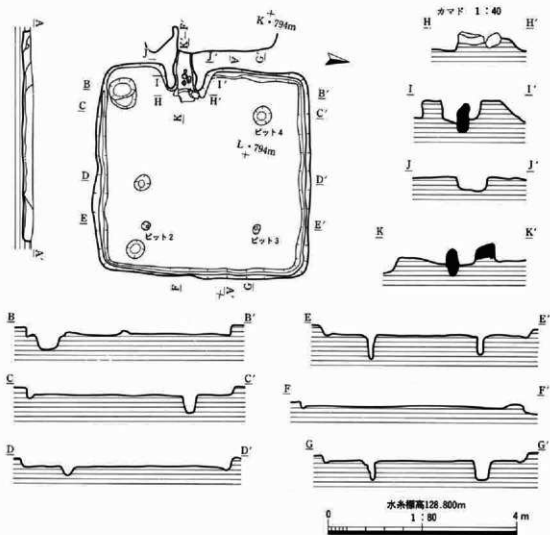
第417図 4区104号住居跡柱穴内遺物出土状態 (北から)

平面形	長方形, 規模 457×442, 面積 20.2㎡, 壁高 30前後, 長軸方位 N8度W				
壁 溝	幅 10~15, 深さ 3~6				
主柱穴	1 (掘形)	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	40×35	17	14×20	36×39	1-2 : 236 (掘形)
下バ径	16	5	6	18	3-4 : 236
深さ	47	53	41	41	4-1 : 245 (掘形)
カマド	位置 西辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N98度W, 構築材 粘土・石, 支脚 石				
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 円形, 上径58×65, 下径35×27, 深さ 33				
その他 (状況の記録)					
掘 認 面	黒色土, 6層, 検出位置 : L~Mライン・794m付近				
重 複 関 係	107・114住→105住→102住				
覆 土	軽石を含む黒褐色系の土, 壁 : 斜めに立ち上がる				
床 面	平坦, 薄い貼床				
主 柱 穴	ビット1は掘形検出, ビット2・3は細く深い				
壁 溝	西辺南半を除き全周				
カ マ ド	燃焼部は住居壁ラインにかかる, 契口天井部の石 (直方体に加工) が割れた状態で出土, 燃焼部中央に石を据えて支脚とする, 小石散点出土, 袖部は粘土で形成するが石を据えたか?				
貯 蔵 穴	内部は二段に掘り込む, 底面は楕円形				
掘 形	ビット4検出, カマド床下で小ビット3カ所検出 (うち2カ所は石抜き跡か?), 南辺中央壁際で小ビット2カ所検出 (出入口痕跡か?), 西辺南半部の壁溝検出				
そ の 他	掘形調査ではビット3・4は傾く				
遺 物	土器67片, 覆土から内斜口織杯・高杯杯部 (外縁)・磨石製白玉 (完形, 位置不明) 出土, 南辺寄り床面から石・土器片・炭化物出土,				
	0991				
時 期	古墳後期, 6世紀後半~7世紀				



第418図 4区105号住居跡遺物出土状態 (東から)

4区の遺構

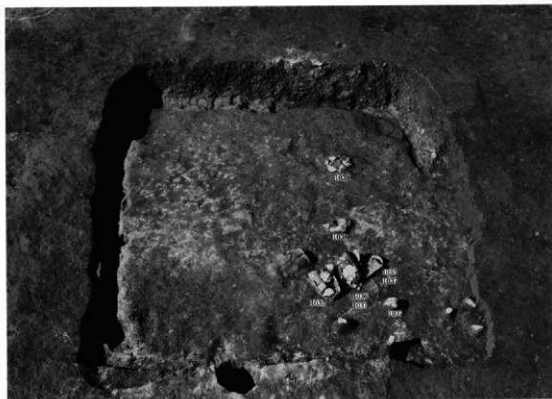


第419図 4区105号住居跡



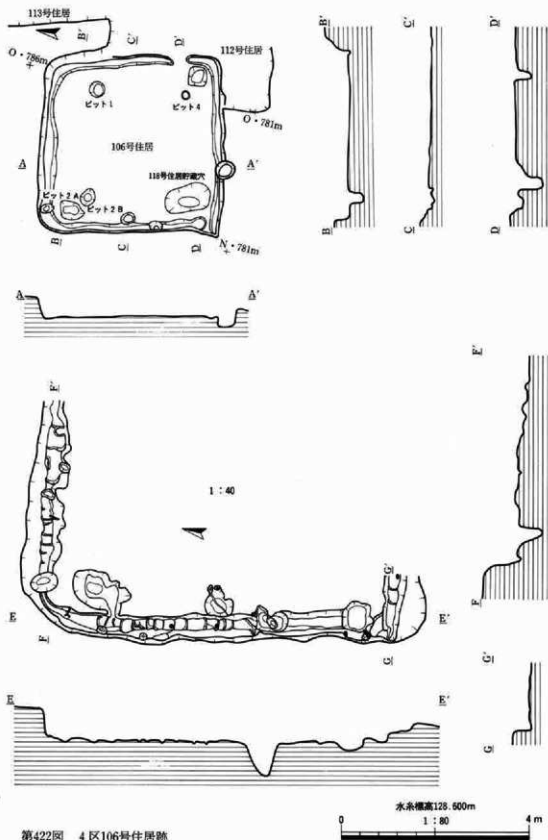
第420図 4区105号住居跡カマド

平面形 長方形, 規模 南北395×東西390, 面積 15.4㎡, 壁高 14~59, 長軸方位 N170度E			
壁 溝 幅 15~23, 深さ 2~11			
主柱穴 1	2A	2B(掘形): 4	主柱穴間の距離(下バ心)
上バ径 32×30	50×34	31×37	1-2A: 258
下バ径 20×24	15	14×17	1-2B: 228
深さ 26	28	14(掘形): 27	4-1: 190
カマド 位置 東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明			
貯蔵穴 位置 南東隅(掘形), 平面形 方形, 上バ38×40, 下バ23×27, 深さ 20			
その他(状況の記録)			
確 認 面: 黒色土, 6層			
検出位置: N~Oライン・784m付近			
重複関係: 116住→114住→117住→106住→4住, 106住→112住, 106住→3住			
覆 土: 黄褐色土b k, を含む黒褐色系の土			
壁 溝: 斜めに立ち上がる, 東辺南半は壁溝による			
床 面: 細かい凹凸あり, 貼床			
主 柱 穴: ビット3相当(南西柱穴)は下層住居(118号)の貯蔵穴と重なるため掘り広げたか?			
ビット2Bは掘形検出, 礎で替え(2B→2A)の可能性あり			
壁 溝: 東辺南半を除き全周, 北辺~西辺に先端部丸みのある工具痕多数検出, 硬い黄褐色土を工具で連続的に掘り込む			
カ マ ド: 東辺南半部で焼土検出, 袖部等112号住居により破壊, 詳細不明			
貯 蔵 穴: 南東隅掘形調査で検出, 南西隅貯蔵穴は118号住居所属			
掘 形: 北東隅付近に不整形掘り込み検出, 東辺カマド下で壁溝検出, 118号住居南東隅壁溝・南東柱穴(106号住居壁溝中)検出			
そ の 他: 南辺壁脚小穴(掘形検出)は出入口痕跡か?, カマド袖部未検出・焼土少量検出から106住→112住居とした			
遺 物: 土器430片, 覆土から土師器埴口縁部・外椀杯出土, 埴口の出土が多い, 東半部から出土, 1035・1036・1037・1038・1039			
時 期: 古墳後期, 7世紀前半			



第421図 4区106号住居跡遺物出土状態(南から)

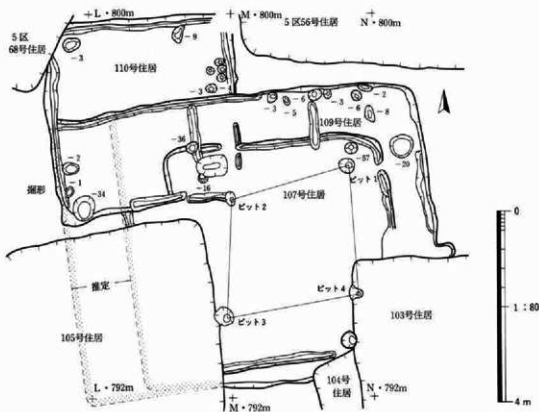




第422図 4区106号住居跡

平面形	方形, 規模	南北466×東西461, 面積	-	壁高	20前後, 長軸方位	N170度E
壁	幅	10-18, 深さ	4前後			
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ心心)	
上バ径	30	26×20	34×32	30	1-2 : 257	2-3 : 244
下バ径	12×15	10	17	9	3-4 : 279 (掘形)	4-1 : 271 (掘形)
深さ	55	43	76	66		
カマド	位置	東辺中央, 対称軸方位	-	構築材	不明, 支脚	不明
貯蔵穴	不明					
その他 (状況の記録)	<p>礎 礎 面 : 黒色土, 6層, 検出位置 : M~Nライン・796m付近</p> <p>重複関係 : 110住→109住 (115住?) →107住, [107住→109住 (拡張) の可能性あり]</p> <p>覆 土 : 黒褐色系の土, 壁 : 斜めに立ち上がる</p> <p>床 面 : 薄い粘床, 黄褐色土面に達する, 主柱穴 : ビット2は110号住居貯蔵穴内か?</p> <p>壁 溝 : 検出内はほぼ全周</p> <p>カマド : 東辺南寄りで焼土検出, 遺存不良, 109号住居により破壊か? (107住→109住の可能性)</p> <p>貯蔵穴 : 103号住居の掘形が深いため破壊されたか?</p> <p>掘 形 : -</p> <p>その他 : 西辺は105号住居により破壊, 南東部は103号住居により破壊, ビット2は内側に寄るため主柱穴のバランス不良</p> <p>遺 物 : 土器24片, 壺体断片出土, カマド周辺から壺または高杯脚部出土, 1008 (杯または高杯)</p> <p>時 期 : 古墳後期, 6世紀</p>					

24号住居と同じ (378頁参照)



第423図 4区107・109・110号住居跡 掘形

三ツ寺II 4区109号住居跡(第423・709図, 図版276)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北609×東西648 (787), 面積 -, 壁高 20前後, 長軸方位 N85度E
壁溝	幅 10~20, 深さ 5前後
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 石?
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
礎石	面:黒色土, 6層, 検出位置:M~Nライン・796m付近
重複関係	:110住→109住(115住?)→107住, [107住→109住の可能性あり]
覆土	:黒褐色系の土, 壁:斜めに立ち上がる
床	面:細かい凹凸あり, 薄い粘床, 主柱穴:107号住居と同じか?
壁溝	:東辺・北辺の一部で検出, 北辺西端は掘り過ぎか?
カマド	:南半を103号住居により破壊, 奥壁まで粘土で覆う
貯蔵穴	:103号住居により破壊か?, 掘形:110号住居南東部を検出
その他	:115号住居は床溝1~2間に付けた番号, 北辺沿いに小ピット検出
遺物	:土器45片, 覆土から土師器高杯杯部片・内斜口縁内馬杯・壺口縁部・壁(内外面ハケ目)出土, 1074(小原壺,カマド左脇)
時期	:古墳

三ツ寺II 4区110号住居跡(第423・709図, 図版276・497)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形, 規模 南北392×東西407, 面積 (16.0) m <sup>2</sup> , 壁高 11~24, 長軸方位 N86度E
壁溝	幅 8~18, 深さ 6前後
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バ42×61, 下バ12×36, 深さ 78
その他(状況の記録)	
礎石	面:黒色土, 6層, 検出位置:L~Mライン・798m付近, 4区中央北端
重複関係	:110住→(109住→107住), 110住→5区68住, 110住→1住
覆土	:黒褐色系の土, 壁:斜めに立ち上がる
床	面:細かい凹凸あり, 薄い粘床, 主柱穴:浅いピットが多い
壁溝	:断続してほぼ全周, カマド:南東部か?, 109号住居により破壊
貯蔵穴	:底面は細長い, 掘形:黄褐色土面に達する
その他	:南西部凹凸著しい, 北西隅未検出
遺物	:土器5片, 覆土から内斜口縁杯・内外面赤彩の杯(弥生?)出土, 1006(壺)・1007(滑石製曲玉, 中央溝内, 109号住居所属か?)
時期	:古墳後期, 6世紀前半

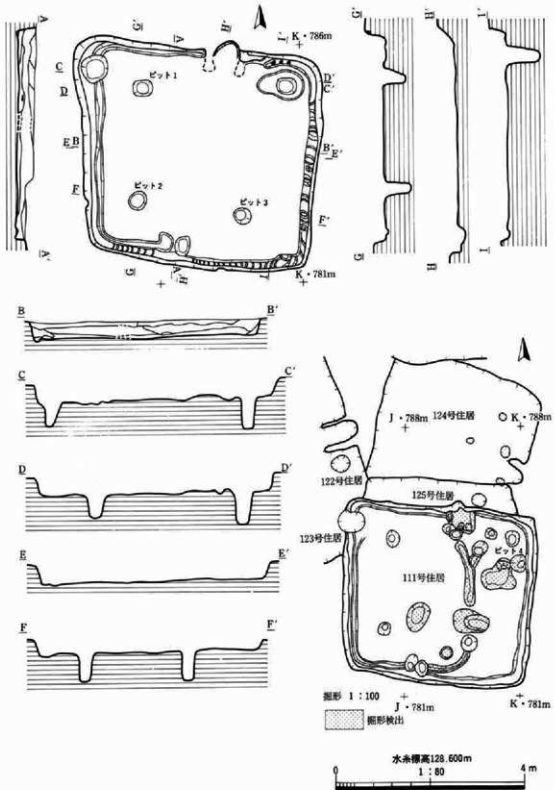


第424図 4区109号住居跡カマド(西から)

平面形	台形	規模	南北450×東西499	面積	22.5m <sup>2</sup>	壁高	15~40	長軸方位	N97度E	
壁溝	幅	10~18	深さ	1~4						
主柱穴	1	2	3	4 (楕形)	主柱穴間の距離 (下/バ中心)					
上/バ径	39×34	37	35	35×40	1-2	233	2-3	220		
下/バ径	25×22	28	20	23×18	3-4	236	4-1	231		
深さ	49	59	61	71						
カマド	位置	北辺中央	対称軸方位	N11度E	構築材	粘土	支脚	不明		
貯蔵穴	位置	北東隅	平面形	長方形	上/バ径	32×40	下/バ径	23×30	深さ	75
その他 (状況の記録)										
確認面	黒色土, 6層			検出位置: J-Kライン・784m付近						
重複関係	14・49住→47住, 111住→23住, 125住→111住, 122住→111住									
覆土	黒褐色系の土, 壁: 直に近い									
床面	平坦, 粘床, 壁に締まる, 主柱穴: ビット4は楕形検出									
壁溝	全周, 東辺~南辺の底面に半円形の工具痕を残す, 西辺は壁の内側にある									
カマド	袖部遺存不良, 燃焼部は住居壁にかかると見られる, 奥壁は丸い									
貯蔵穴	上/バの周辺が高くスリ鉢状にくぼんで長方形の上/バに至る									
掘形	ビット3を通る溝を検出, 別住居の壁溝か?, 東側で不整形の掘り込み検出, カマド付近で小ビット検出									
その他	東半部は52号の住居番号を付けたが本住居1軒で報告, 北西隅がやや突出するのは重複する122号住居の貯蔵穴を掘り下げたことによる, 西辺壁溝が壁直下でないのも同じ理由, 南辺中央やや西寄りの壁際ビットは出入口痕跡か?									
遺物	土器1059片・石7個, 覆土から外椀杯・小形壺・燧石土, 6686 (鉄鍔茎, 覆土)・1009・1010・1011・1012・1013・1014・1015									
時期	古墳後期, 7世紀後半									



第425図 4区111号住居跡遺物出土状態 (南から)



第426図 4区111号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 東西 (450), 而積 -, 壁高 10~49, 長軸方位 -		
壁 溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N63度E, 構築材 粘土, 支脚 不明		
貯蔵穴	位置 不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	黒色土, 6層	検出位置	O~Pライン・782m付近, 本線+東側道
重複関係	106・113・119住→112住	覆土	黒褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる	床面	細かい凹凸あり, 薄い粘床
主柱穴	カマド右隣ピットは柱穴か?	壁溝	-
カマド	東側道調査で検出, 燃焼部は住居壁の内側にある, 奥壁は丸みをもつ, 煙道部と奥壁との境に段		
貯蔵穴	東側道南東隅のピットか?	掘形	黄褐色土面に連する
その他: 本線調査と東側道調査とのプランが一致しない, 南辺の立ち上がりは130cmほどの差がある, 本線の南北 (350)・側道の南北 (483), 北西隅・南西隅未検出, 南東隅も不明確, 床面標高一致			
遺物	土器317片, カマドからケズリ壁底部出土, 覆土から丸胴罐底部・外縁杯・鉢?出土,		
	1024・1025		
時期	奈良, 8世紀前半		



第427図 4区112号住居跡遺物出土状態 (西から)



第428図 4区112号住居跡遺物出土状態 (西から)

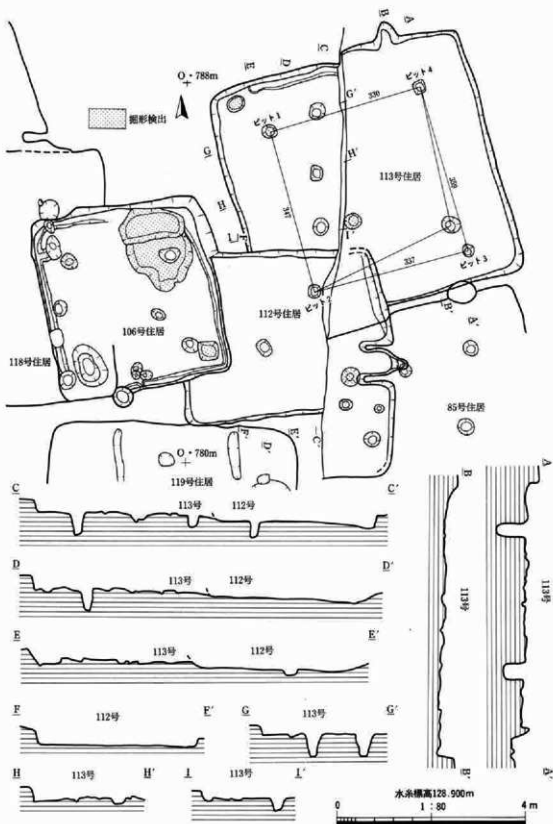
三ツ寺II 4区113号住居跡 (第429・709図, 図版277・497)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 東西554×南北540, 面積 (29.9) m <sup>2</sup> , 壁高 20前後, 長軸方位 N77度E				
壁溝	幅 15~20, 深さ 2~4				
主柱穴	1 (掘形)	2	3	4	主柱穴間の距離 (下/中心)
上/径	30×28	25×25	40×45	46×44	1-2 : 347 (掘形)
下/径	18×15	18×16	26	10×13	3-4 : 297
深さ	47	70	47	78	4-1 : 337 (掘形)
カマド	位置 北辺東寄り, 対称軸方位 N14度W, 構築材 粘土, 支脚 土器				
貯蔵穴	不明				
その他 (状況の記録)					
確認	面: 黒色土, 6層		検出位置: O~Qライン・787m付近, 本線+東側道		
重複関係	113住→112住, 113住→3住		覆土: 黒褐色系の土		
壁	斜めに立ち上がる, 床面: 細かい凹凸あり, 薄い粘土				
主柱穴	ピット1は掘形検出, ピット2は112号住居内, ピット4の内部は二段に掘り込む				
壁溝	東辺・北辺 (本線掘形) で検出				
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部中央から土器器高杯・杯出土 (支脚に利用)				
貯蔵穴	-				
その他	南西隅未検出, 2回調査のため住居プランに多少のズレがある, 床面の層高は一致				
遺物	土器203片, 覆土から内斜口縁杯・内外面黒色の横楕円杯出土, 1075・1076・1077				
時期	古墳後期, 6世紀前半				



第429図 4区113号住居跡カマド遺物 (南から)



第430図 4区106・112・113号住居跡 掘形



三ツ寺II 4区114号住居跡 (第431・710図, 図版279)

計測値単位cm, -:計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 東西399, 面積 -, 壁高 25前後, 長軸方位 -				
壁 溝	不明				
主柱穴	1 (掘形)	2 (掘形)	3	4	主柱穴間の距離 (下へ中心)
上ノ径	-	-	35	31×34	1-2:205 (掘形)      2-3:219 (掘形)
下ノ径	(20)	13	17×20	14	3-4:185 (掘形)      4-1:223 (掘形)
深 さ	(1)	68 (床面)	26	67	
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N71度E, 構築材 粘土, 支脚 石				
貯蔵穴	位置 南東部 (カマド右脇), 平面形 長方形, 上ノ径64×54, 下ノ径28×22, 深さ 76				
その他 (状況の記録)					
壁 部	面:黒色土, 6層, 検出位置:K~Lライン・790m付近				
重複関係	116住→114住→117住→106住→4住, 114住→102・105住				
覆 土	土:黒褐色系の土, 壁:斜めに立ち上がる				
床 面	薄い粘床, 黄褐色土面に達する				
主 柱 穴	ピット1・2は掘形検出, ピット1は西接するピットか (105号住居貯蔵穴掘形)?, 周辺住居の床下に土坑があり不明確				
壁 溝	-				
カ マ ド	燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部中央左寄りに角柱形の石を起てて支脚とする				
貯 蔵 穴	底面も長方形, 壁は直線的に掘り込む, 掘 形:小ピット多数検出				
そ の 他	重複住居により破壊されプラン不明, カマドに続く東辺・西辺の一部のみ検出				
遺 物	土器106片, カマド覆土から内面黒色燐灰杯出土, カマド右脇から半球杯出土, 0992・0993・0994				
時 期	古墳中期, 5世紀末				

三ツ寺II 4区115号住居跡

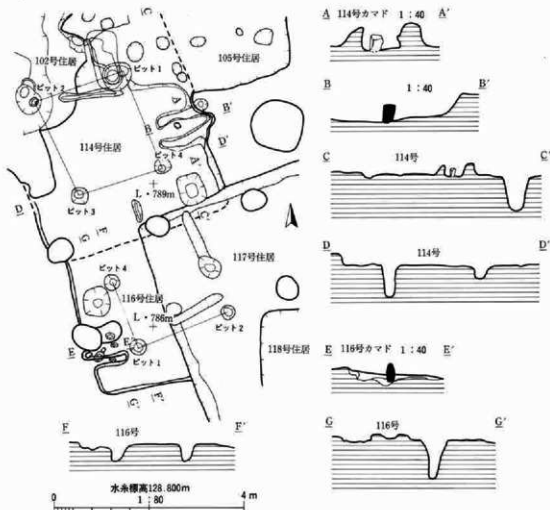
109号住居北西部に付けた住居番号, 109号とは別住居の可能性あり,

ここでは115=109号としておく (463頁参照)



第431図 4区114号住居跡遺物出土状態 (南から)

平面形	方形→長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 10前後, 長軸方位 -				
壁 溝	不明				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	35	30	-	34	1-2 : 203
下バ径	20×17	21×16	-	15×13	4-1 : 147
深 さ	25	26 (床面)	-	35	
カマド 位置	西辺南寄り, 対称軸方位 N108度W, 構築材 粘土, 支脚 石				
貯蔵穴 位置	カマド右脇, 平面形 円形, 上バ60×57, 下バ17×20, 深さ 81				
その他 (状況の記録)					
礎 石	面 : 黒色土, 6層		検出位置 : Lライン・786m付近		
重複関係	116住→114住→117住→106住, 116住→208坑				
覆 土	黒褐色系の土		壁 : 斜めに立ち上がる		
床 面	凹凸あり, 薄い粘土		主 柱 穴 : ビット3相当未検出		
壁 溝	-				
カマド	右袖基部に208号土坑が重複, 燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部中央に石を配てる				
貯蔵穴	深く掘り込む, 掘 形 : 黄褐色土面に達する				
その他	南西側検出, 南辺190・西辺287, 北東部は重複する住居により破壊				
遺 物	土器25片, 覆土から土師器壁底部出土, 遺物区掲載なし				
時 期	不明, 古墳?				



第432図 4区114・116号住居跡 カマド・掘形

三ッ寺II 4区117号住居跡 (第433・710図, 図版280)

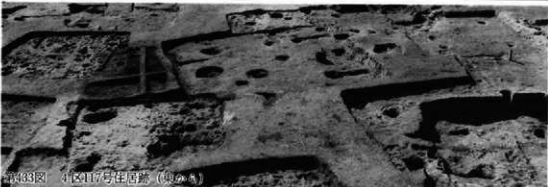
計測値単位cm. - ; 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 355×607, 面積 33.7㎡, 壁高 16~36, 長軸方位 N160度E					
壁 溝 幅	10~18, 深さ 3~8					
主柱穴	1	2	3	4 (掘形) 主柱穴間の距離 (下バ心)		
上バ径	56	40×50	38×33	26	1-2 : 312	2-3 : 322
下バ径	31×22	16×23	7	14	3-4 : 325	4-1 : 303
深 さ	70	53	67	80		
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N78度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上バ43×44, 下バ18×13, 深さ 82					
その他 (状況の記録)						
確 認 面	黒色土, 6層			検出位置	Mライン・787m付近	
重複関係	116住→114住→117住→106住→4住, 118住→117住					
覆 土	黒褐色系の土 壁 : 直に近い					
床 面	平組, 粘床					
主 柱 穴	ピット4は掘形検出, ピット3は浅い土坑と重複					
壁 溝	南辺・西辺北半は未検出					
カ マ ド	燃焼部に126号土坑が重複して破壊, 両脇床面に石が散乱, 掘形調査で検出端部内側に小ピット検出 (石灰き跡か?), 中央奥は細長くなり埋込に連なる					
貯 蔵 穴	106号住居にかかる, 不整形円形を呈するのは一部遺存か?, 周囲に石・土器片が散布					
掘 形	南半で118号住居北西部を検出, 黄褐色土面に達する					
そ の 他	略等間隔で並ぶピットが重複 (ピット→住居), 床溝4本検出, 東隅未検出					
遺 物	土器65片, 覆土から土器器杯破片 (1078と同一個体), カマド右脇から丸胴甕底部出土, 1078					
時 期	古墳後期, 7世紀前半					

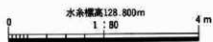
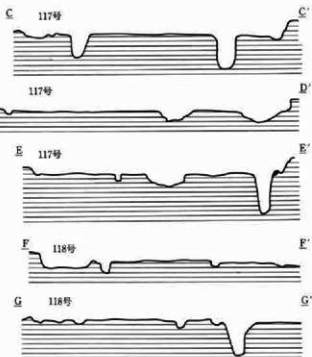
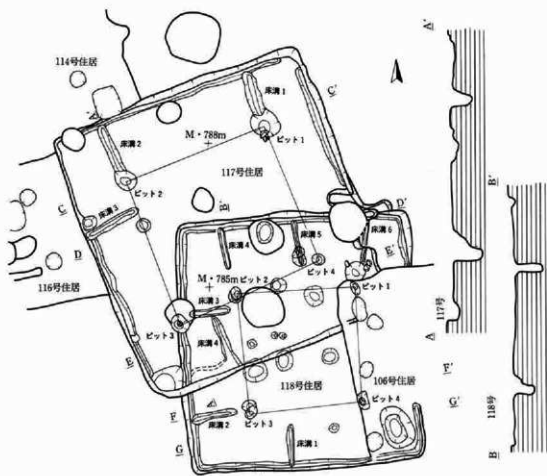
三ッ寺II 4区118号住居跡 (第434図, 図版281)

計測値単位cm. - ; 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 538×496, 面積 26.7㎡, 壁高 3~33, 長軸方位 N177度E					
壁 溝 幅	8~15, 深さ 1~8					
主柱穴	1	2	3	4 主柱穴間の距離 (下バ心)		
上バ径	31×16	33×28	30×22	37	1-2 : 250	2-3 : 251
下バ径	13×7	12×10	10	12×8	3-4 : 239	4-1 : 241
深 さ	45	16	45	52		
カマド	不明, 東辺か?					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上バ90×60, 下バ38×22, 深さ 77					
その他 (状況の記録)						
確 認 面	黒色土, 6層下位, 117号住居下層			検出位置	M~Nライン・784m付近	
重複関係	118住→117住, 118住→24住					
覆 土	黒褐色系の土					
壁 溝	直に近い 床 面 : 細かい凹凸あり, 不明ピット多数検出					
主 柱 穴	ピット1・4は106号住居壁溝内 壁 溝 : 東辺中央は106号住居により破壊					
カ マ ド	北辺・西辺・南辺で痕跡確認できず					
貯 蔵 穴	106号住居南西部で検出, 内部は二段に掘り込む					
掘 形	凹凸著しい, 小ピット多数検出, 床溝検出, 不明ピット検出					
そ の 他	106・117号住居により上位を破壊, 東辺寄り中央部は106号住居掘形により破壊					
遺 物	土器141片, 覆土から土器器杯 (外底に蓄状圧痕)・甕・横紋杯出土, 遺物図掲載なし					
時 期	古墳後期					



第434図 4区117号住居跡 (奥の奥)

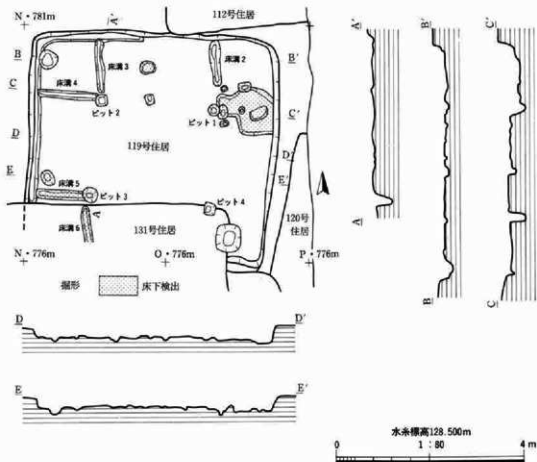


第434図 4区117・118号住居跡

三ツ寺II 4区119号住居跡 (第435・710図, 図版282・498)

計測値単位cm, —:計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北481×東西514, 面積 (24.7) m <sup>2</sup> , 壁高 12~20, 長軸方位 N93度E				
壁	溝幅 10~25, 深さ 2~11				
支柱穴	1 (掘形)	2	3 (掘形)	4	支柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	24	27×24	32	27×29	1-2:235 (掘形) 2-3:202 (掘形)
下バ径	14	13×12	11×14	11×14	3-4:249 (掘形) 4-1:211 (掘形)
深さ	22	36	41	55	
カマド	不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バ57×52, 下バ29×23, 深さ 38				
その他 (状況の記録)	確認面:黒色土, 6層 検出位置:Oライン・778m付近 重複関係:119住→112住, 119住→131住 覆土:黒褐色系の土 壁:斜めに立ち上がる 床面:細かい凹凸あり, 貼床 支柱穴:ピット1・3は掘形検出 壁溝:検出内全周 カマド:南辺か? 貯蔵穴:底面も長方形, 壁は直線的に掘り込む 掘形:凹凸著しい, 小穴多数検出, 床溝5・6検出, 北東部に不整形掘り込み検出 その他:南西隅未検出, 西辺35・南辺70 遺物:土器146片, 貯蔵穴内から模倣杯または高杯出土, ビット内 (位置未確定) から小型壺出土, 掲載遺物の近くから雙底部・模倣杯出土, 1079・1080・1081 時期:古墳後期, 6世紀前半				



第435図 4区119号住居跡 掘形

平面形	長方形, 規模 南北512×東西324, 面積 (16.6) m <sup>2</sup> , 壁高 8~41, 長軸方位 N7度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺南寄り, 対称軸方位 N101度E, 構築材 粘土・石・土器?, 支脚 石と土器?
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 不整形, 上×46×25, 下×10×10, 深さ 22
その他(状況の記録)	
確認 面	黒色土, 6層, 検出位置: P~Qライン・778m付近, 本線+東側道
重複関係	周辺の重複住居より新しい, 85・86・112・148住→120住
覆 土	- 壁 : 直に近い
床 面	平坦, 貼床, 主 柱 穴: -
壁 溝	-
カマド	左袖先端部は細長い石を据え粘土で固める, 右袖先端部から土器器底破片が出土(構築材か?), 燃焼部~カマド前にかけて底面に敷き並べたような状態で石が出土(カマド上部の構築材か?), 須恵器杯は石の直上で出土(支脚に転用か?), 楕形奥壁は丸い
貯蔵 穴	深・浅のビット2個を合わせたような状態, 西側が深い
掘 形	凹凸著しい, 北寄りに溝状の掘り込み検出
その他	西辺の一部と南西隅は本線敷き(一次)調査で検出, 立ち上がりは浅い, 南西隅は148A号住居の北東隅と接する
遺 物	土器286片, カマド掘形からケズリ壺口縁部出土, 覆土から須恵器杯出土, 1032・1033・1034
時 期	奈良~平安, 8世紀後半~9世紀

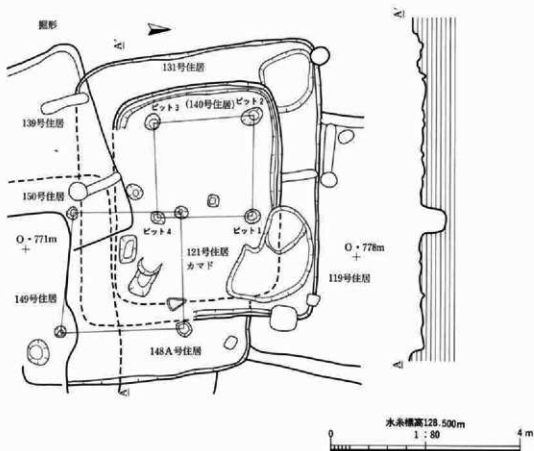


第436図 4区120号住居跡カマド遺物(西から)

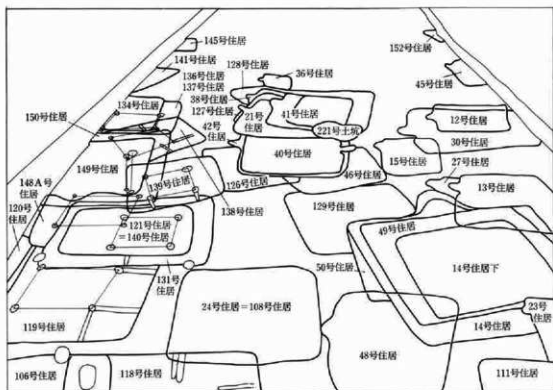
三ツ寺II 4区121号住居跡 (第437・711図, 図版199)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 東西(450)×南北(350), 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 N89度E				
壁 溝 幅	13~18, 深さ 2~4				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下/ハ中心)
上バ径	35×29	45×33	32	29×23	1-2:209
下バ径	19×18	29	19	16×14	2-3:214
深さ	20	26	20	23	3-4:196
カマド 位置	東辺?, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明				
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 長方形, 上バ径56×38, 下バ径33×17, 深さ 53				
その他 (状況の記録)					
礎 部 面	黒色土, 6層			検出位置: O~Pライン・775m付近	
重複関係	121・140住→131住→132住				
覆 土	黒褐色系の土				
床 面	不明確				
壁 溝	北辺~西辺~南辺で検出				
カマド	推定位置で焼土検出, 外側131号住居所属か?				
貯蔵穴	底面は菱形				
掘 形	中央部で深いピット2個検出, 所属不明				
その他	140号住居と同一認定, 焼土位置をカマド痕跡とすれば主柱穴位置とのバランスを欠く,				
	貯蔵穴北東部に接して床面で不整形削り込み検出(カマド痕跡か?), 140号と時期矛盾なし,				
	北西隅・南西隅検出(140号相当), 床面でのプラン認定できず				
遺 物	土器436片, 覆土から土師器短脚高杯・小型壺口縁部・大型壺口縁部出土,				
	1043(土師器杯, カマド, 高杯?)				
時 期	古墳後期, 6世紀前半				



第437図 4区121 (=140)・131・148A号住居跡 掘形



第438図 4区121号住居跡付近



第439図 4区121号住居跡付近（北から）



三ツ寺II 4区122号住居跡 (第440・711図, 図版284・498)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

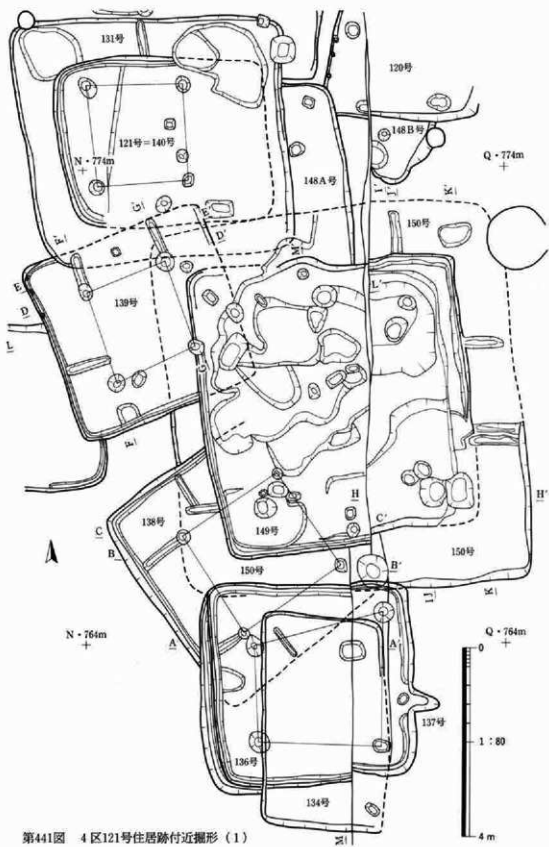
平面形	方形～長方形, 規模 南北642×東西350以上, 面積 - , 壁高 21～28, 長軸方位 -	
壁 溝	幅 8～18, 深さ 1～4	
主柱穴	1 : 2	主柱穴間の距離 (下の中心)
上ノ径	20 : 28×24	1-2 : 316
下ノ径	14 : 12×15	
深 さ	26 : 20	
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N69度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明	
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ径33×66, 下ノ径30, 深さ 75	
その他 (状況の記録)		
壁 面	黒色土, 6層	出土位置 : 1～Jライン・788m付近
重複関係	122住→111住, 122住→125住	覆 土 : 黒褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる	床 面 : 中央部やや軟弱, 周辺堅く締まる, 貼床
主 柱 穴	2本検出, 浅い	壁 溝 : カマド南側未検出
カ マ ド	左袖先端部に石を据え粘土で固める	貯 蔵 穴 : 底面は円形を呈する, 111号住居内検出
形 状	黄褐色土面に露する, 凹凸著しい	
そ の 他 : 西半部は調査区外にある, 南東隅は111号住居により破壊, 北辺110・東辺 (455)・南辺2230, 南辺西寄りで床溝検出, カマド右脇・南辺寄りで浅いピット検出, 南辺沿いの帯状に浅い部分を当初123号住居としたが122号住居の内部施設と認定, ベッド状遺構か?		
遺 物	土器143片, カマド前からの出土が多い, カマド内から燧石片出土, カマド前壁上位から土師器高杯出土.	
	1082 (須恵製蓋)・1083・1084・1085・1086・1087・1088	
時 期	古墳中期, 5世紀末	

三ツ寺II 4区123号住居跡 (第284図, 図版284)

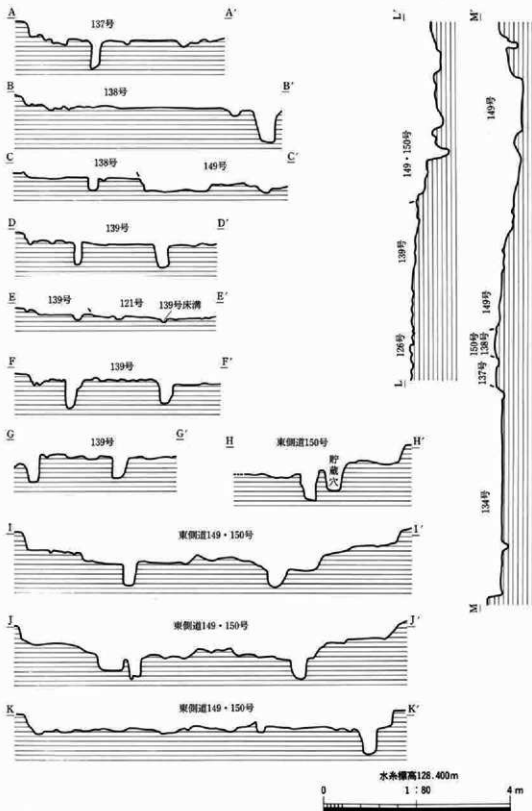
122号住居の南辺沿いの一部と認定



第440図 4区122・123号住居跡遺物出土状態 (南から)



第441图 4区121号住居跡付近掘形(1)



第442図 4区121号住居跡付近掘形(2)

平面形	方形～長方形, 規模 東西410×南北320以上, 面積 -, 壁高 6~16, 長軸方位 -
壁溝	幅 13~17, 深さ 1~4
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N113度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位~6層, 検出位置: J~Kライン・788m付近
重複関係	124住→102住, 124住→125住→111住
覆土	黒褐色系の土, 壁: 浅い, 斜めに立ち上がる
床面	面: 細かい凹凸あり, 西平やや軟弱, 主柱穴: -
壁溝	検出内全周, 南西部は122号住居へ向かう (同時着手のため延長部不明)
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある, 東壁はやや突出する, 左袖部は125号住居により破壊
貯蔵穴	-
その他	西辺壁溝は西側へ曲がる (張出部か?), 南半部は125・111号住居により破壊, 北西隅未検出 (102号住居により破壊)
遺物	土器58片, カマド周辺から土器小片出土, 覆土から外椀杯・ケズリ破片出土, 遺物同陶製なし
時期	不明, 古墳~奈良?

平面形	方形～長方形, 規模 東西402以上, 面積 -, 壁高 20~30, 長軸方位 -
壁溝	幅 12~17, 深さ 1~4
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位~6層, 検出位置: J~Kライン・786m付近
重複関係	122住→125住, 124住→125住→111住
覆土	黒褐色系の土, 壁: 直に近い
床面	面: 一部検出, 粘土, 主柱穴: -
壁溝	検出内全周, カマド: -
貯蔵穴	-
その他	大半を南側111号住居により破壊され詳細不明
遺物	出土遺物なし, 時期: 不明, 古墳~奈良?

平面形	長方形, 規模 南北341×東西(480, 矩形), 面積 (16.4) m <sup>2</sup> , 壁高 2~17, 長軸方位 N0度
壁溝	幅 10前後, 深さ 4
主柱穴	1 : 2 (楕円形) 主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	40×33 : 45 : 1-2 : 214 (矩形)
下バ径	29×23 : 10
深さ	27 : 21
カマド	不明
貯蔵穴	位置 (南辺中央やや西寄り), 平面形 長方形, 上バ46×58, 下バ25×32, 深さ 41 (本住居から)
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: M~Nライン・769m付近
重複関係	139住→126住→42住→40住, 129住→46住→126住
覆土	黒褐色系の土, 壁: 浅い, 斜めに立ち上がる
床面	面: 凹凸あり, 主柱穴: 2本柱か?
壁溝	南東隅のみ検出 (矩形), カマド: 南辺またはカマドのないタイプか?
貯蔵穴	40・42号住居内 (ビット8に相当) で検出
掘形	北西隅検出, 床面で検出したのは認定間違い, ビット1の南西部に接して浅いビット検出
その他	北東隅・東辺中央部で浅いビット検出, 南西隅未検出, 重複のため柱穴不明
遺物	土器27片, 覆土から土器器身部片・内外面黒色椀盤杯・短頸高杯脚部・外椀杯出土, 遺物同陶製なし
時期	重複関係から古墳後期

三ツ寺Ⅱ 4区127号住居跡(第443・711図, 図版285・499)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北545, 面積 -, 壁高 5~26, 長軸方位 -		
壁 溝	幅 10~15, 深さ 1~4		
主柱穴	2 (楕形)	3 (楕形)	4 (楕形)
主柱穴間の距離(下/中心)			
上/径	21	22×27	22
2-3: 212 (矩形)		3-4: 229 (楕形)	
下/径	12×10	11×18	12
深 さ	33	33	46
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N100度E, 構築材 粘土, 支脚 不明		
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上/径62×38, 下/径46×21, 深さ 48		
その他(状況の記録)			
礎 石	面: 黒色土, 6層, 検出位置: M~Nライン・761m付近		
重複関係	1 2 8住→3 8住→1 2 7住→2 1住→4 1住→1 8住		
覆 土	黒褐色系の土, 壁: 直に近い		
床 面	東辺直下でわずかに検出のみ, 主 柱 穴: 4 1号住居内で3本検出, 組み合わせ不安定		
壁 溝	検出内全周		
カ マ ド	袖先端部は重複住居により破壊, 燃焼部は住居壁の内側にある, 煙道部へ通なる部分はやや狭く なつて角張る, 土器小片出土		
貯 蔵 穴	壁を直線的に掘り込む, 中から完形に近い土器出土, 底面は丸みをもつ		
掘 形	北東隅不明確		
そ の 他	大半は重複住居により破壊, 北辺40・南辺120検出		
遺 物	土器16片, 貯蔵穴内から燗飯杯・内黒土器出土, 0955・0956・0957・0958		
時 期	古墳後期, 7世紀前半		



第443図 4区127号住居跡貯蔵穴遺物(西から)

平面形	長方形, 規模 南北280以上×東西350以上, 面積 - , 壁高 10~22, 長軸方位 -
壁 溝	幅 11~16, 深さ 2~4
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N77度E, 構築材 粘土・石, 支脚 土器高杯 (倒立)
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形~楕円形, 上443×57, 下423×20, 深さ 83
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: M~Nライン・759m付近
重複関係	128住→38住→127住→21住→41住→18住
覆土	黒褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる, 浅い
床面	カマド前のみ検出, 貼床, 主柱穴: -
壁溝	楕円形検出, カマド~貯蔵穴を除く
カマド	左袖先端部から30cm大の石が横になって出土, 左右袖中央部から石出土, 周辺からも構築材とみられる石が出土, 燃焼部奥の右寄りに大型壁が正立状態で出土, その左脇からは小型壁出土, 燃焼部中央の焼土上から倒立状態の高杯 (0945) 出土 (支脚転用), カマド~貯蔵穴間から掘出土, 燃焼部は住居壁の内側にある
貯蔵穴	二段に掘り込む, 底面は略円形, 掘形: 小穴多数検出, 凹凸著しい
その他	西半は重複住居により破壊, 南辺195・北辺60 (いずれも楕円の計測値), プラン不明確, 主柱穴不明
遺物	土器断片, 遺物の出土多い, 須恵器なし, カマド周辺に20~30cm大の石散乱, 0938・0939・0940・0941・0942・0943・0944・0945・0946・0947・0948・0949
時期	古墳中期, 5世紀末



第444図 4区127・128号住居跡



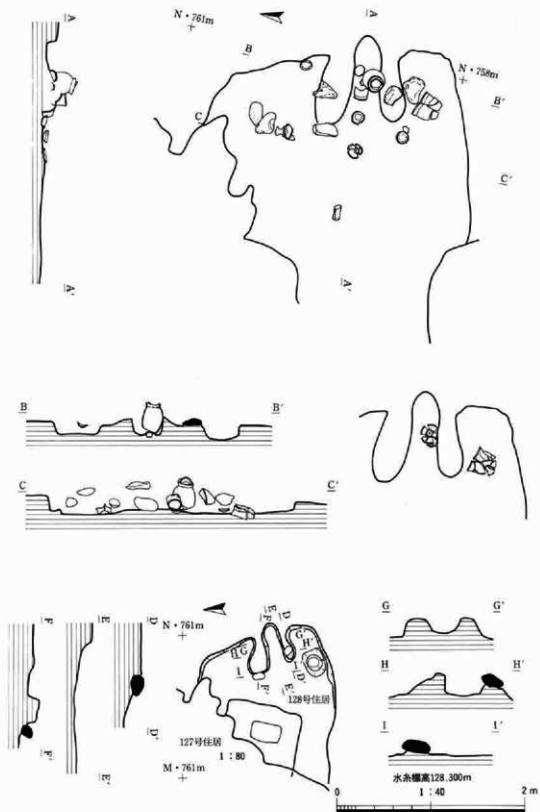
第445図 4区128号住居跡遺物出土状態 (西から)



第446図 4区128号住居跡カマド遺物（西から）



第447図 4区128号住居跡カマド遺物（北から）



第448図 4区128号住居跡カマド 遺物



三ツ寺II 4区129号住居跡 (第449・712図, 図版287・501)

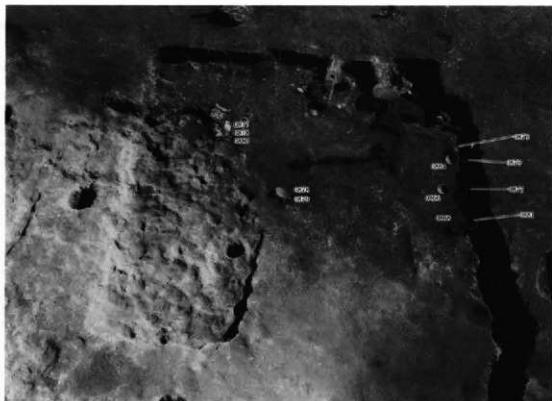
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北406×東西437, 面積 (17.7) m <sup>2</sup> , 壁高 11~27, 長軸方位 N72度E				
壁溝	幅 10~20, 深さ 2~10				
主柱穴	1 (楕形)	2 (楕形)	3 (楕形)	4	主柱穴間の距離 (下ノ中心)
上ノ径	29	45×40	21×25	26×30	1-2 : 189
下ノ径	16	12×9	7×12	15	2-3 : 206
深さ	30	42	47	39	3-4 : 186
					4-1 : 214
					(ピット3の深さは129住から)
カマド	不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 略方形, 上ノ南北55×東西49, 下ノ30×32, 深さ 41				
その他	(状況の記録)				
確認	土: 黒色土, 6層		検出位置: Kライン・774m付近		
重複関係	129住→46住→126住→42住		覆土: 黒褐色系の土		
壁	浅い, 斜めに立ち上がる		床: 凹凸あり, 貼床, 北東部やや低い?		
主柱穴	14号住居内を含めて4本検出		壁溝: 検出内全周		
カマド	南辺または東辺か?				
貯蔵穴	中から完形の小型壺出土, 壁は直線的に張り込む, 底面角張る				
掘形	凹凸著しい, 小穴多数検出				
その他	南辺中央部は46号住居により破壊, 北東部は14号その他の住居により破壊, 南西隅に24号土坑が上層から張り込む,				
遺物	土器74片, 覆土から土師器半球杯・模倣杯・須恵器長頸瓶・杯・高杯出土, 1021・1022・1023				
時期	古墳中期, 5世紀末				



第449図 4区129号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	方形	規模	南北389×東西390	面積	(15.2) m <sup>2</sup>	壁高	5~27	長軸方位	N92度E
壁溝	幅	12~18	深さ	2~8					
主柱穴	1	2	3	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下ノ中心)				
上ノ径	16	24×16	24×19	21×16	1-2 : 160		2-3 : 147		
下ノ径	11	11	12	12×9	3-4 : 172 (掘形)		4-1 : 145 (掘形)		
深さ	31	22	33	20					
カマド	位置	東辺中央や南寄り, 対称軸方位 N104度E, 構築材 粘土・土器, 支脚 高杯 (+壁?)							
貯蔵穴	位置	南東隅, 平面形 長方形, 上ノ46×27, 下ノ18×14, 深さ 54							
その他 (状況の記録)									
礎	礎面	黒色土, 6層			検出位置 : L~Mライン・745m付近				
重複関係	130住→155住, 130住→33住→34住→32住→31住								
覆土	黒褐色系の土, 壁 : 薄い								
床面	カマド~中央部のみ検出, 貼床, 主柱穴 : ビット4は掘形検出								
壁溝	南辺のみ検出								
カマド	左袖部は先端に土器器壁 (0876, 底部打ち欠き) を直立状態に据え粘土で固める, 燃焼部中央に土器器高杯 (0871) を倒立状態に据え支脚とする, この高杯にかかる小室壁 (0875) も支脚としたか?, 燃焼部は住居壁の内側にある, 右袖基部の右端から土器器壁底部 (0874, 割れ口 厚紙著しい) 出土								
貯蔵穴	周囲は長方形に床面から10cmほど低い, 掘形 : 凹凸著しい, 小穴多数検出								
その他	北西部は重複住居により床面破壊, 南東隅未検出								
遺物	土器282片, 南東部から完形品に近い土器が多数に出土, 炭化物 (棒状) 出土, 覆土から模倣杯・須恵器高杯脚部出土, 0880の接合しない底部あり, 0864・0865・0866・0867・0868・0869・0870・0871・0872・0873・0874・0875・0876・0877・0878・0879・0880・0881								
時期	古墳中期, 5世紀末								



第450図 4区130号住居跡遺物出土状態 (西から)



第451図 4区130号住居跡カマド遺物(西から)



第452図 4区130号住居跡カマド支脚

## 三ツ寺II 4区131号住居跡 (第284図, 図版199)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 東西565×南北(520), 面積 - , 壁高 7~21, 長軸方位 N89度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: N~Pライン・775m付近
重複関係	121・140住→131住→132住, 119住→131住
覆土	黒褐色系の土, 壁: 遺存不良, 北西隅深さ20
床面	不明確, 主柱穴: 121号住居と同一か?
壁溝	東辺北半が溝状
カマド	121号住居と認定したものか?, 焼土を検出したが痕跡のみ
貯蔵穴	北半の掘形検出不整形土坑は浅い
掘形	北東隅・北西隅で不整形の掘り込み検出, カマド痕跡の可能性もあるが焼土・灰等未検出
その他	南東隅未検出, 121・140号住居の拡張か?
遺物	覆土から横椀杯出土, 遺物図掲載なし, 時期: 古墳後期

## 三ツ寺II 4区132号住居跡 (第284図, 図版199)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北420前後×東西300~350, 面積 -, 壁高 2~17, 長軸方位 N12度E前後
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N129度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: Oライン・774m付近
重複関係	121・140住→131住→132住, 149住→132住, 148A住→132住
覆土	- , 壁: 浅い
床面	不明掘り込みあり, 広がり不明確, 主柱穴: -
壁溝	南辺の一部で検出, カマド: 煙道部は南東へ延びる
貯蔵穴	- , 掘形: 121・140号住居検出
その他	北辺未検出, 南東隅の形状不明確, 東辺は121号住居東辺と同じ位置
遺物	土器36片, 覆土から土師器ケズリ壺体部片・形脚高杯・横椀杯口縁部(カマド)出土, 遺物図掲載なし
時期	不明, 古墳~奈良?

## 三ツ寺II 4区133号住居跡

実体なし, 欠番とする

## 三ツ寺II 4区134号住居跡 (第284図, 図版290)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北438×東西248(掘形), 面積 -, 壁高 7~39, 長軸方位 N2度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: O~Pライン・762m付近
重複関係	138住→136住→137住→134住
覆土	黒褐色系の土, 壁: 直に近い
床面	平坦, 薄い粘床, 主柱穴: -
壁溝	-
カマド	袖先端部のみ検出, 本編版(第1次)調査の東壁直下で検出, 焼土少量確認
貯蔵穴	- , 掘形: 黄褐色土面に達する, 細かい凹凸あり
その他	南東隅・北東隅でビット検出, 南東隅未検出, 北東隅は掘形調査で確認
遺物	土器282片, 137号住居遺物と混入, 底部に木炭灰のある壁出土, 遺物図掲載なし
時期	不明, 古墳~奈良?

三ツ寺Ⅱ 4区135号住居跡 (第284・714図, 図版264・503)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

本線敷 (第1次) 調査で検出した136・137号住居と本線150号住居との中間の床面に対して付けた番号, 東側道 (第2次) 調査により本線150号=東側道149号と認定, 東側道150号は本住居と床面高さ・床面の広 がり・遺物時期がほぼ同じことから東側道150号=本線135号と認定, 遺物は注記を生かすため本住居番号で掲載, 遺構の概要は150号住居参照
その他 (状況の記録)
遺 物 : 土器77片・石2個, 45cm大の扁平な石・15cm大の直方体の石出土, 横置杯・外椀杯・高杯出土, 1092・1093
時 期 : 古墳後期, 6世紀

三ツ寺Ⅱ 4区136号住居跡 (第284図, 図版290)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

137号住居に内接する住居, 掘削調査で検出, 概要は137号住居参照, 遺物のみ本住居所属として掲載	
その他 (状況の記録)	
確 認 面 : 137号住居床下	検 出 位 置 : Oライン・763m付近
重 複 関 係 : 138住→136住→137住→134住	
壁 溝 溝 : 西辺のみ検出	
遺 物 : 土器41片, 覆土から内斜口椀杯・横置杯・裏底部出土, 遺物図掲載なし	
時 期 : 古墳後期	

三ツ寺Ⅱ 4区137号住居跡 (第453・714図, 図版290・503)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形 長方形, 規模 南北434×東西469, 面積 (20.4) m <sup>2</sup> , 壁高 21~47, 長軸方位 N92度E	
壁 幅 8~15, 深さ 2~9	
主柱穴 1 (掘形) 2 3 4 (掘形) 主柱穴間の距離 (下・中心心)	
上・下径 42 55×46 60×46 26×35 2-3 : 205 4-1 : 281	
下・下径 17 10 18×13 17×25	
深 さ 13 90 78 69	
カマド 位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N99度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明	
貯蔵穴 不明	
その他 (状況の記録)	
確 認 面 : 黒色土, 6層	検 出 位 置 : O~Qライン・763m付近, 本線+東側道
重 複 関 係 : 138住→136住→137住→134住	
覆 土 : 黒褐色系の土	壁 : 直に近い
床 面 : 平埴, 厚い粘床	主 柱 穴 : ビット1・2は東側道検出, 配置不良
壁 溝 : カマド前を除き全周	カ マ ド : 両軸部に細長い石を据え粘土で固める
貯 蔵 穴 : -	
形 形 : 凹凸著しい, 黄褐色土面に遺する, 西辺内側で136号住居の壁溝検出, 建て替えか?	
そ の 他 : 2回調査のための住居プランがズレている, 東西方向の柱穴間距離は計測しない	
遺 物 : 土器107片, 覆土から横置杯・須恵器高杯脚部出土, 134号住居遺物と混入, 1089・1090・1091	
時 期 : 古墳後期, 7世紀前半	



第453図 4区137号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 7~28, 長軸方位 -				
壁溝幅	10前後, 深さ 1~4				
主柱穴	1 (掘形)	2	3 (掘形)	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下へ中心)
上へ径	21	28×30	24	29×25	1-2 : 238 (掘形) 2-3 : 241 (掘形)
下へ径	12	12×9	12×8	16×14	3-4 : 246 (掘形) 4-1 : 256 (掘形)
深さ	13	25	14	21	
カマド	不明				
貯蔵穴	位置 南東部, 平面形 楕円形, 上へ71×65, 下へ34×27, 深さ 72				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層				検出位置: N~Oライン・767m付近
重複関係	138住→136住→137住→134住, 138住→150住				
覆土	黒褐色系の土				壁 : 浅い
床面	平坦, 一部のみ遺存, 薄い貼床				主柱穴: ビット2を除き掘形検出
壁溝	北西辺・南西辺の検出内全周				カマド: 北東辺か?
貯蔵穴	本編調査区壁直下の掘形調査で検出				
掘形	135 (=150)・137・149号住居掘形調査で住居プランを推定, 凹凸著しい				
その他	134号住居内で南東辺の床溝検出, 南西辺の床溝も掘形検出, 東半は重複住居により破壊, 北西辺220・南西辺365, 南北推定500前後か?				
遺物	土器10片, 135号住居遺物と混入, 1094・1095				
時期	古墳後期, 6世紀前半				

平面形	方形, 規模 (南北398×東西402, 掘形), 面積 -, 壁高 5~16, 長軸方位 N71度E				
壁溝幅	10前後, 深さ 6前後				
主柱穴	1 (掘形)	2	3	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下へ中心)
上へ径	38	35×25	35×41	32	1-2 : 185 (掘形) 2-3 : 201 (掘形)
下へ径	23×19	13×17	17×20	12×19	3-4 : 185 (掘形) 4-1 : 185 (掘形)
深さ	50	49	52	102	
カマド	不明				
貯蔵穴	不明				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層				検出位置: M~Nライン・772m付近
重複関係	139住→126住, 139住→150住				
覆土	黒褐色系の土				壁 : 浅い
床面	平坦, 薄い貼床, 一部検出				主柱穴: ビット1・4は掘形検出
壁溝	西側~南西辺~南東辺で検出				カマド: 東側か?, 重複住居により破壊?
貯蔵穴	149号住居掘形の略長方形の土坑か?				
掘形	凹凸あり, 北東辺の一部検出, 南西辺・北西辺東側の床溝検出				
その他	東溝・北隅未検出, 重複住居による破壊著しい				
遺物	土器5片, 小片のみ, ビット内出土, 遺物図掲載なし				
時期	古墳後期				

4区121号住居と同一の可能性高い(475頁参照), 出土遺物なし



第454図 4区138・139号住居跡掘形(北から)

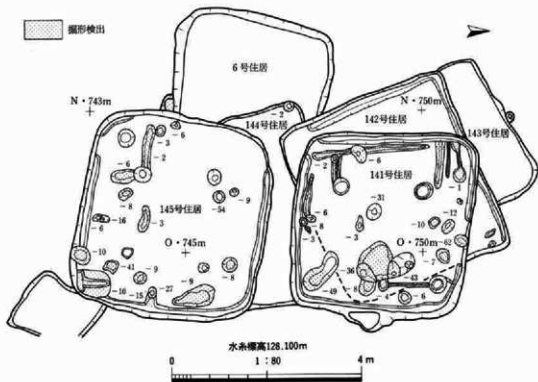
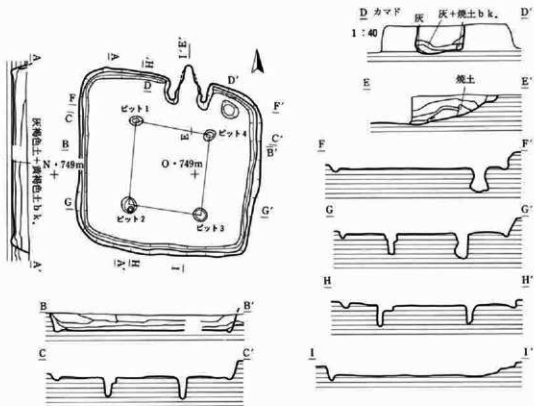
三ツ寺II 4区141号住居跡 (第455・714図, 図版291)

計測値単位cm. - ; 計測不可・不明

平面形	方形	規模	南北379×東西386	面積	(14.6) m <sup>2</sup>	壁高	6~35	長軸方位	N100度E
壁溝	幅	10~15	深さ	2~9					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下バ中心)				
上バ径	20×28	35×32	28	23	1-2	190	2-3	150	
下バ径	9×14	8	24	12×15	3-4	171	4-1	160	
深さ	40	43	52	48					
カマド	位置	北辺中央やや東寄り, 対称軸方位 N5度E, 構築材 粘土, 支脚 不明							
貯蔵穴	位置	北東隅, 平面形 不整形, 上バ41×32, 下バ23×20, 深さ 52							
その他(状況の記録)									
礎	認	面:黒色土, 6層	検出位置: N~Oライン・750m付近						
重複関係	144・143住→142住→141住								
覆	土:	黒褐色系の土, 壁:斜めに立ち上がる							
床	面:	平坦, カマド前壁く締まる, 粘床, 主柱穴:4本検出							
壁	溝:	カマド下を除き全周, カマド:燃焼部は住居壁ラインにかかる							
貯	蔵	穴:底面は楕円形を呈する							
掘	形:	内接する壁溝・床溝を検出, カマド下で径20~30cmのピット3個検出, 南辺中央壁直下で小ピット3個検出(出入口痕跡か?), 西辺・南辺の内側床溝は壁に近い, 東辺側の内側床溝は壁から50cmほど離れる, その他ピットは重複住居のものか?							
そ	の	他:全体にやや歪みをもつ, 建て替えか?, 東辺中央部で検出した掘り込みは建て替え前のカマド痕跡か?, 南東隅の掘り込みは144号住居のものか?							
遺	物:	土器165片, 南東隅から須恵器查体部片出土, 西土から土師器壺出土,							
時	期:	0849 古墳後期							



第455図 4区141号住居跡遺物出土状態(東から)



第456図 4区141号住居跡



三ツ寺II 4区142号住居跡(第284図, 図版292)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 412×370, 面積 (15.2) m <sup>2</sup> , 壁高 17~29, 長軸方位 N68度E
壁溝	幅 10~15, 深さ 2~8
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: N~Oライン・750m付近
重複関係	143・144住→142住→141住
覆土	黒褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる
床面	細かい凹凸あり, 貼床, 主柱穴: -
壁溝	検出内全周, カマド: 北東辺または南東辺か?
貯蔵穴	-, 掘形: 凹凸あり, 北東辺わずかに立ち上がる
その他	東隅未検出, 西隅・南隅は端正, 各辺は直線的, 大半は141号住居により破壊, 内部施設不明
遺物	土器11片, 覆土から内斜口縁杯・横微杯出土, 西辺寄り床面で25cm大の粗長い石(1面平滑)出土,
	0850・0851(覆土)
時期	古墳後期, 6世紀前半

三ツ寺II 4区143号住居跡(第284図, 図版292)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

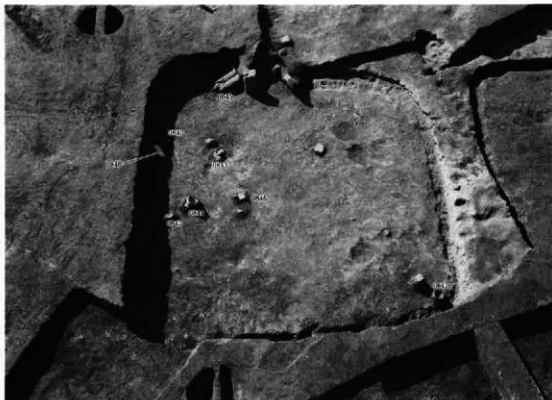
平面形	方形~長方形, 規模 東西307, 面積 -, 壁高 5~8, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: N~Oライン・751m付近
重複関係	143住→142住→141住
覆土	黒褐色系の土
壁	浅い, 床面: 平坦
主柱穴	-, 壁溝: -
カマド	-, 貯蔵穴: -
掘形	凹凸著しい, 小ピット多数検出
その他	床面が浅いため重複住居により破壊され詳細不明, 弥生住居の可能性もあり
遺物	土器13片, 小片のみ, 遺物図掲載なし
時期	重複関係・出土土器から古墳

三ツ寺II 4区144号住居跡(第284図, 図版294)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	方形~長方形, 規模 東西412(圓形), 面積 -, 壁高 6~12, 長軸方位 -
壁溝	幅 15前後, 深さ 3~4
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: N~Oライン・747m付近
重複関係	144住→142住, 144住→145住
覆土	黒色土, 壁: 浅い, 斜めに立ち上がる
床面	細かい凹凸あり, 検出面狭い範圍, 主柱穴: -
壁溝	西辺で検出したのみ, カマド: -
貯蔵穴	141号住居南東隅のピットか?, 掘形: 凹凸著しい
その他	北西隅検出, 東辺の一部検出(不明確), 北辺35・西辺180, 大半を重複住居により破壊され詳細不明, 弥生住居か?
遺物	土器1片(土師器壺体部片)のみ, 遺物図掲載なし
時期	重複関係から古墳

平面形	隅丸長方形				規模	南北394×東西420		面積	16.5㎡	壁高	5~38	長軸方位	N78度W	
壁溝幅	8~17		深さ		2~8									
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下ノ中心)									
上ノ径	29×25	26×28	28×30	35	1-2:171		2-3:159							
下ノ径	21	12	23×25	26×20	3-4:186		4-1:153							
深さ	50	53	54	62										
カマド	位置 西辺中央, 対称軸方位 N86度W, 構築材 粘土・石, 支脚 石・土器(壁底部)													
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 不整形円形, 上ノ径37×42, 下ノ径21×28, 深さ 57													
その他(状況の記録)														
礎石	面:黒色土, 5層				検出位置:N-Oライン・745m付近									
重複関係	144住→145住→26住→6住, 145住→7住													
覆土	黒褐色系の土, 壁:直に近い													
床	面:平肌, 貼床, 主柱穴:4本検出, ビット4東側も柱穴か?													
壁溝	壁直下の壁溝に内接する壁溝(東辺)検出													
カマド	両端先端部に石を据え粘土で固める。左端先端部には直方体に加工した石を据える。右端先端部には細長い石を据える。燃焼部は住居壁ラインにかかる。燃焼部中央右寄りに細長い石を起して支脚とする。支脚石の上に土器器壁底部を乗せて高さ調整を行う。左袖脇から大型壁出土													
貯蔵穴	底面は楕円形													
掘形	凹凸あり, 南東隅に不整形掘り込み検出, 南西部に床溝検出, 東辺中央部に床溝検出(短い), ビット2の南東部に検出したビットは深い, 浅い小ビット11個検出, 地割れ検出													
その他	東辺の壁溝が二重になっている。拡張建て替えか?, 南東隅は住居・土坑が重複する。													
遺物	隅丸長方形のプランは本遺跡では例が少ない 土器239片・石1個, 遺物の出土多い, 覆土から模倣杯・短脚高杯・須恵器蓋・高杯?出土, 0840・0841・0842・0843・0844(須恵器すり鉢, 床面)・0845・0846・0847・0848(礎石)													
時期	古墳後期, 6世紀後半													



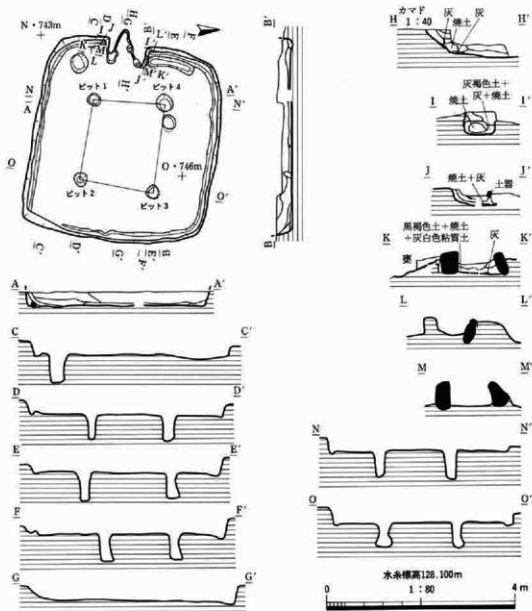
第457図 4区145号住居跡遺物出土状態(東から)



第458図 4区145号住居跡カマド遺物（東から）



第459図 4区145号住居跡遺物出土状態（東から）



第460図 4区145号住居跡



第461図 4区145号住居跡 (西から)

三ツ寺Ⅱ 4区146号住居跡 (第462・715図, 図版295・504)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 571×609, 面積 (34.8) m <sup>2</sup> , 壁高 27~69, 長軸方位 N116度E					
壁 溝 幅	12~20, 深さ 2~4					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ中心)	
上ノ径	29×27	41	49×	32×27	1-2 : 310	2-3 : 279
下ノ径	14	14×11	15	18×16	3-4 : 304	4-1 : 270
深 さ	39	50	39	59		
カマド 位置	南東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土・石, 支脚 石?					
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 長方形, 上ノ径78×62, 下ノ径32×35, 深さ 84					
その他 (状況の記録)						
礎 石	面: 黒色土, 6層		検出位置: O~Qライン・756m付近, 本線+東側道			
重複関係	146住→F A 墓		覆 土: 黒褐色系の土			
壁	直に近い		床 面: 細かい凹凸あり, 薄い粘床			
主柱穴	4本検出,		壁 溝: 北西辺北半を除き検出内全面			
カマド	同袖先端部に細長い石を据え粘土で固める, 焚口天井部の石が割れて落ち込んだ状態で検出, 燃焼部に土師器壺2個体が略正立状態で出土, カマド燃焼部の奥壁付近は調査区壁にかかると見られる。左袖部の全体は未検出, 燃焼部は住居壁の内側にある					
貯蔵穴	壁は直線的に掘り込む		掘 形: 凹凸著しい, 小穴多数検出			
その他	北東辺・北西辺・南西辺で床調検出, 北西辺のピット2につながる床溝は2本, 北東辺中央・南西辺中央付近で浅い小ピット検出, 南側小ピットは出入口痕跡か?					
遺 物	土器370・石1個・ベンガラサンブル1袋, 覆土から須恵器壺口縁部・土師器高杯底部・高杯脚接合部出土, 0982・0983・0984・0985・0986・0987・0988・0989 (フタ土)					
時 期	古墳中期, 5世紀末					



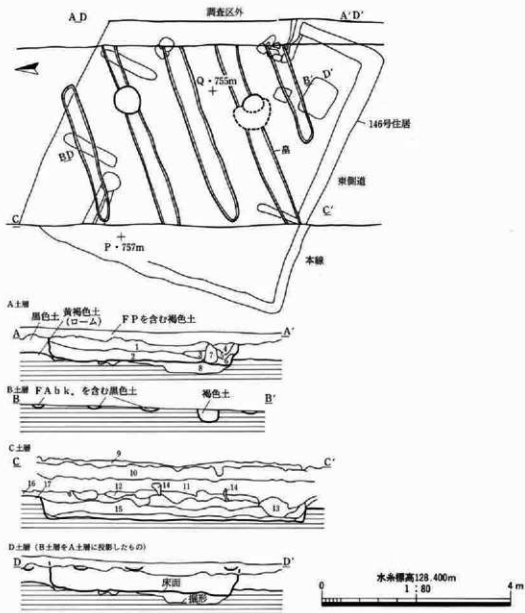
第462図 4区146号住居跡遺物出土状態 (西から)



第463図 4区146号住居跡遺物出土状態（北から）

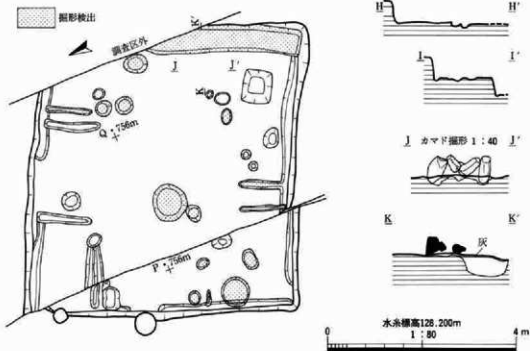
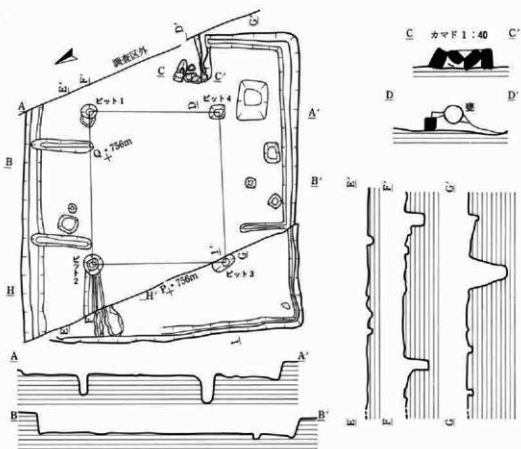


第464図 4区146号住居跡カマド遺物（西から）



- |        |                                   |   |
|--------|-----------------------------------|---|
| 1 黒褐色土 | FP・CPを多量に含み、ローム小b k、をやや多く含む。      | 9 灰褐色土+軽石   |
| 2 黒褐色土 | FP・CPを多量に含み、ローム小b k、を多く含む、焼土を少量含む | 10 灰黄褐色土  |
| 3 灰褐色土 | カマドの袖材が流れ出している                    | 11 灰黒褐色土+軽石+灰黄褐色土b k、+だいたい色粒子                               |
| 4 灰褐色土 | 焼土と黒褐色土の大小b k、がまじりあっている           | 12 灰褐色土+灰白色粘質土+軽石+炭化物                                       |
| 5 赤褐色土 | 焼土の大小b k、がまじりあっている                | 13 黒褐色土+軽石+黄褐色土(ローム)粒子                                      |
| 6 暗黒色灰 | 灰層中に焼土小b k、が少量混入                  | 14 黒色土  |
| 7 灰褐色土 | カマドの北袖、内側が焼けている                   | 15 黒褐色系の土、軽石と黄褐色土(ローム)b k、-粒子を含む、壁際では黒色土+ローム粒子が流入する〔住居の埋め土〕 |
| 8 褐色土  | ロームb k、を多量に含み、よくしまっている(掘形)        | 16 黒褐色土+黄褐色土(ローム)粒子〔地山〕                                     |
|        |                                   | 17 黄褐色土〔地山〕   |

第465図 4区146号住居跡(1)



第466図 4区146号住居跡(2)



三ツ寺II 4区147号住居跡 (第467・716図, 図版297)

計測値単位cm, -: 計測不可・不明

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 北辺, 対称軸方位 N5度E, 構築材 粘土・石・土器, 支脚 石
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	黒褐色土, 5層下位~6層, 検出位置: 1~Jライン・742m付近
重複関係	152住→147住, 覆土:-
壁	:-, 床面:-
主柱穴	:-, 壁溝:-
カマド	両端先端部に石を置える, 燃焼部中央に細長い石を置えて支脚とする, 左端石に接して土器(0925)出土, 遺物はすべてカマド内および付近から出土, 石は15cm大のもの
貯蔵穴	:-, 掘形:-
その他	カマドのみ検出, 住居プラン未検出, 遺構確認のため掘り下げたため詳細不明
遺物	土器11片, カマド内から甕底部片 (外方へ開く)・須恵器壘体部片出土, 0925・0926・0927・0928
時期	平安, 11世紀前半

三ツ寺II 4区148A号住居跡 (第284図, 図版298)

計測値単位cm, -: 計測不可・不明

平面形	方形~長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 15~24, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	1 (掘形) : 2 (掘形) : 3 (掘形) : 4 (掘形) 主柱穴間の距離 (下ノ心)
上ノ径	30×33 : 27×24 : 25 : 24 1-2:245 : 2-3:230
下ノ径	20×17 : 7×12 : 11×14 : 9×12 3-4:253 : 4-1:262
深さ	18 : 41 : 25 : 39 (いずれも掘形カマド前平坦面からの深さ)
カマド	位置 東辺北寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 (南辺東寄り), 平面形 (円形), 上ノ (46×32), 下ノ (27×30), 深さ 54
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層, 検出位置: O~Pライン・773m付近
重複関係	148A・149住→150住, 148A住→132住, 148A住→148B住
覆土	:-, 壁: 浅い
床面	カマド前のみ検出, 主柱穴: 掘形調査で4本推定
壁溝	:-, カマド: 両端先端部のみ検出, 燃焼部未検出
貯蔵穴	149号住居掘形内北辺中央のピット, 掘形:-
その他	北東隅検出, 南辺は149号住居掘形内の東西にのびる壁を推定
遺物	土器14片, 148A号と148B号とが混入, ほぼ同じ時期か?, 覆土から土器器小型壘・壘・椀椀片・炭化物が多量に付着した壘底部出土, 遺物同掲載なし
時期	古墳



第467図 4区147号住居跡カマド遺物 (南から)

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 10前後, 長軸方位 -				
壁	溝 不明				
主柱穴	1	2 (掘形)	3 (掘形)	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	-	35	22×26	25	2-3:179, 3-4:176
下バ径	-	22	12×16	12	
深さ	-	34	25	29	(掘形カマド前平面面からの深さ)
カマド	位置 南東辺南寄り, 対称軸方位 N127度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 (楕円形), 上バ55以上×40以上, 下バ×33, 深さ 13				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層			検出位置	P-Qライン・775m付近, 東側道
重複関係	148B住→120住, 148A住→148B住				
覆土	黒褐色系の土, 壁 : 残い				
床面	カマド前のみ検出, 主柱穴 : 掘形調査で3本検出				
壁溝	-, カマド : 燃焼部奥壁は住居壁のラインにのる				
貯蔵穴	調査区壁にかかるため全掘未了				
掘形	カマド左袖基部でピット検出, 貯蔵穴・主柱穴検出, ピット2・3は本線調査区で検出				
その他	本線調査の148A号住居とは別の住居, 南隅のみ検出, 南東辺150・南西辺70				
遺物	カマド燃焼部から小石出土, 土器は148A号住居と混入, 分離不可, 遺物図掲載なし				
時期	古墳				

平面形	方形, 規模 南北585×東西580, 面積 (33.9) m <sup>2</sup> , 壁高 5~13, 長軸方位 N175度E				
壁	溝 幅 11~18, 深さ 3~21				
主柱穴	不明				
カマド	不明				
貯蔵穴	位置 南東隅 (柱穴の可能性もあり)				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層			検出位置	O-Qライン・769m付近, 本線+東側道
重複関係	149住→132・150住				
壁	-, 床面 : 本線敷き調査で3枚確認				
主柱穴	掘形検出, 個別図参照, 壁溝 : 南東部を除き掘形調査で検出				
カマド	-, 貯蔵穴 : 1または2個 (南東部に並ぶ)				
掘形	中央部は不整形の掘り込みにより凹凸著しい, 東辺~北辺の壁直下に幅20~30の帯状の平坦面がある, 柱穴相当を検出したが組み合わせは不確定				
その他	東側道調査結果と合わせて内側149号・外側150号の2軒とする, 3~4回の建て替えか?, 本線150号=東側道149号, 東側道150号=本線135号を含むと認定				
遺物	土器148片, 床下土坑から土師器高杯脚部出土, 本線150号・東側道150号と混入, 1096・1097・1098・1099				
時期	古墳中期, 5世紀末				



第468図 4区149号住居跡撮影 (西から)

三ツ寺II 4区150号住居跡 (第469・717区, 図版264・505)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北807×東西748, 面積 (60.4) m <sup>2</sup> , 壁高 4~33, 長軸方位 N176度E		
壁 溝	不明		
主柱穴	確定できず		
カマド	不明		
貯蔵穴	位置 北東隅(最新), 平面形 長方形, 上×42×66, 下×28×55, 深さ 50		
その他 (状況の記録)			
礎 礎 面	: 黒色土, 6層	検出位置	: O~Qライン・769m付近, 本線+東側道
重複関係	: 138・139・149住→150住	覆 土	: -
壁	: 直に近い	床 面	: 平坦, 貼床, 本線敷き調査で3枚確認
主 柱 穴	: 149号住居内掘形で検出したピットの計測値は図の通り, 南東部の柱穴としたものは貯蔵穴の可能性あり	カ マ ド	: -
壁 溝	: -		
貯 蔵 穴	: 底面は楕円形, 南東部の149号住居掘形内で2個?検出(計3個)		
掘 形	: 149号住居検出, 東辺床溝検出, 中央部凹凸著しい		
その他: 当初149号住居と認定したが東側道調査結果と合わせて2軒とする, 3~4回の建て替えか? 本線150号=東側道149号, 東側道150号=本線135号を含むと認定, 149・150号とも建て替えか(計4軒相当)?, 南東部に貯蔵穴2個とすれば計3軒相当か?			
遺 物	: 土器267片, 覆土から須恵器蓋・土師器短脚高杯脚部・内斜口鉢杯出土, 149号住居遺物と混入, 1064・1065・1066・1067		
時 期	: 古墳後期, 8世紀		



第469図 4区150号住居跡遺物出土状態

## 三ツ寺II 4区151号住居跡 (第404図, 図版263)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北453×東西435, 面積 (19.7) m <sup>2</sup> , 壁高 42~58, 長軸方位 N7度W		
壁 溝 幅	12~15, 深さ 7~10		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	Pライン・745m付近, 本線敷+東側道
重複関係	151住→7・82住	覆土	黄褐色土 b k, を含む黒褐色系の土
壁	:直に近い	床面	:平坦, 粘床
主柱穴	: -	壁溝	:北西隅~西辺未検出
カマド	: -	貯蔵穴	: -
形状	:壁に沿って帯状に低く中央部が島状に高い, 南東隅付近検出 (ヤや内側に相当)		
その他	:82号住居と土坑により南東部を破壊, 床溝1:長さ113・幅20・深さ9~12, ベット1:27×21・深さ22, 南辺の壁ラインは一致しない		
遺物	:土器84片, 覆土から壁口縁部・外縁杯・内斜口縁杯・横縁杯・須恵器蓋口縁部出土, 北西隅付近の床面で石6個出土, 遺物図掲載なし		
時期	:古墳~奈良		

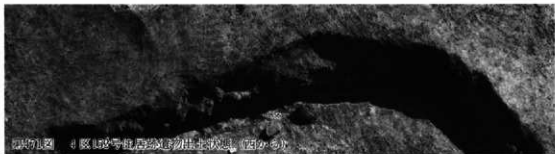
## 三ツ寺II 4区152号住居跡 (第471・717図, 図版184・505)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形~長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 22~34, 長軸方位 -		
壁 溝 幅	12~16, 深さ 4~10		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	:黒色土, 6層	検出位置	:I~Jライン・743m付近
重複関係	:152住→147住	覆土	:軽石+暗褐色系の土
壁	:直に近い	床面	:平坦, 粘床
主柱穴	: -	壁溝	:検出内全周
カマド	: -	貯蔵穴	: -
形状	: -		
その他	:南東隅を検出したのみ, 東辺350・南辺115, 大半は西側の調査区外にある, 詳細不明		
遺物	:土器14片, 東辺壁際から壁体部片出土, 図示できるのは1点のみ, 0856 (磁石)		
時期	:不明, 古墳~平安?		



跡151図 4区151号住居跡 (跡から)



跡152図 4区152号住居跡 (跡から)

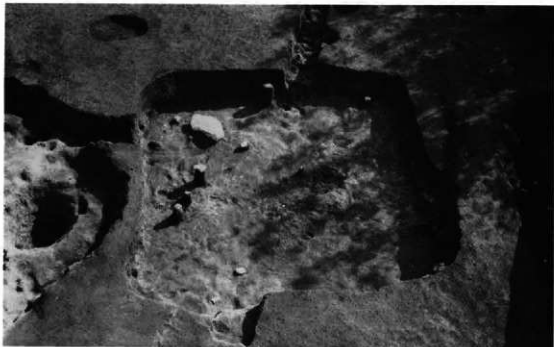
三ツ寺II 4区153号住居跡 (第472・718図, 図版302・506)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

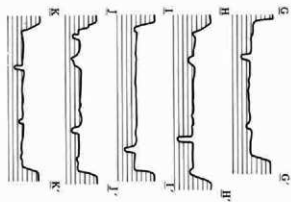
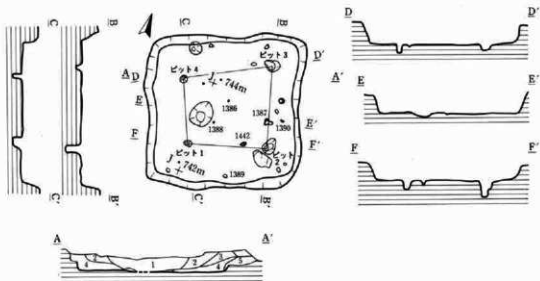
平面形	方形, 規模 319×317, 面積 (10.1) m <sup>2</sup> , 壁高 30~43, 長軸方位 N109度W				
壁 溝	-				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	12×16	33×23	26×16	12	1-2 : 169
下バ径	7	12×8	18×12	7	2-3 : 175
深 さ	20	33	15	20	3-4 : 188
					4-1 : 140
伊 位置	中央南西辺寄り, 平面形 楕円形, 上バ55×46, 下バ20×17, 深さ 12				
その他 (状況の記録)	壁 面 : 黒色土, 6層 重複関係 : 153住→31住 壁 : 斜めに立ち上がる 主 柱 穴 : 東側の掘り込みはやや大きい 伊 : 浅いすり鉢状を呈する その他 : 北西辺西寄りの壁直下に径25cmほどの浅い掘り込み検出 遺 物 : 土器32片・石3個, 覆土から灰釉陶器出土, 10cm大の石3個出土, 遺物はやや浮いている。 1386・1387・1388・1389・1390・1391・1442 時 期 : 縄磯a・黒須式, 縄文前期				
検出位置	J~Kライン・743m付近				
土	黒色土+黄褐色土粒子+だいたい色粒子				
床 面	黄褐色土面に達する, 中央部堅く締まる				
壁 溝	-				



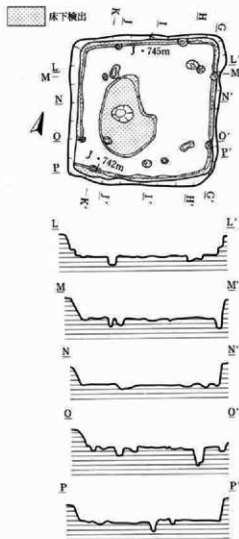
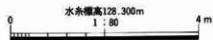
第472図 4区153号住居跡掘形 (東から)



第473図 4区153号住居跡遺物出土状態 (北西から)



- 1 黒色土+だいたい色粒子+黄褐色土(ローム)小粒子
- 2 黒色土+淡黄褐色土+ローム小粒子+だいたい色粒子
- 3 淡黄褐色土+黒色土+ローム小粒子+だいたい色粒子
- 4 黒褐色土+淡黄褐色土+ローム小粒子
- 5 黄褐色土+黒褐色土 b k.



第474図 4区153号住居跡

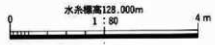
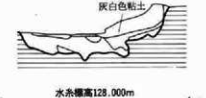
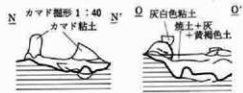
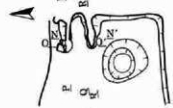
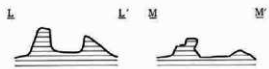
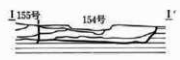
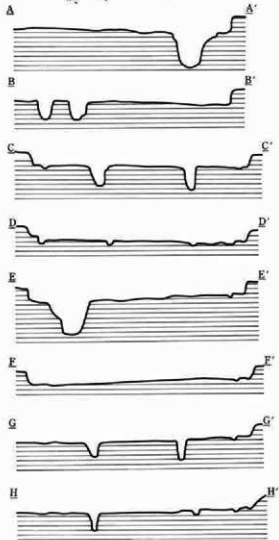
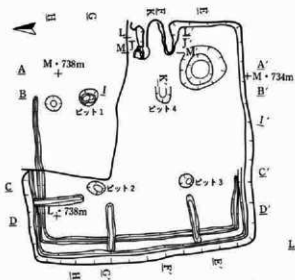
三ツ寺II 4区154号住居跡(第475・7196, 図版302)

計測値単位cm. - ; 計測不可・不明

平面形	方形, 規模 南北487×東西490, 面積 23.9㎡, 壁高 21~32, 長軸方位 N約90E					
壁溝	外側:幅 5~11, 深さ 1~4, 内側:幅 8~15, 深さ 1~7					
主柱穴	1	2	3	4(掘形)	主柱穴間の距離(下バ中心)	
上バ径	35	38×27	27	31	1-2:190	2-3:191
下バ径	13(8)	20×12	11	13	3-4:192	4-1:165
深さ	38(29)	42	48	22	ピット1( )内は南側	
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N90度E, 構築材 粘土・土器, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上バ90×92, 下バ37×36, 深さ 71					
その他(状況の記録)						
礎石	面:黒色土, 6層, 検出位置:L~Mライン・736m付近					
重複関係	154住→155住→8住, 154住→25住→B3溝					
覆土	土:浅間C軽石・黄褐色土b k, を含む黒褐色系の土					
壁	:斜めに立ち上がる, 床面:細かい凹凸あり, 薄い粘土					
主柱穴	:ピット1は底面2カ所, ピット4は掘形検出					
壁溝	:壁の内側30~40cm付近に内掘する壁溝検出, 外側の壁溝につながる床溝に切られている,					
カマド	:燃焼部は住居壁の内側にある, 左袖先端部に土器器底(口縁部下)を繋げる,					
貯蔵穴	:内部に段をもつ					
断面	形:床面検出の内側壁溝につながる壁溝を検出, 南東部を除き住居壁に平行する, 同心円的拡張か? 床面検出の床溝と20~30cmずれた位置で床溝検出, 北東部の床溝は内側壁溝につながる, ピット3北側で26×21・深さ46のピット検出, ピット1は明瞭に南北二つの底面を検出, カマド付近から南辺中央部にかけて南東側へ底面が傾く(地震によるものか?)					
その他	:床面で3カ所・掘形で4カ所の床溝検出, 掘形検出の床溝4本はいずれも内側の壁溝につながる					
遺物	:土器117片・カマド粘土サンプル1袋, 覆土から加工された要体部片・ケズリ箸・石5個出土, カマドから裏口縁部・小型箸・黒色内斜口縁杯出土, 0977・0978(覆土)・0980・0981(櫃, 単孔)					
時期	:古墳中期, 5世紀末					



第475図 4区154号住居跡遺物出土状態(西から)



第476図 4区154号住居跡



三ツ寺Ⅱ 4区155号住居跡 (第477・719図, 図版303・507)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北686×東西652, 面積 44.7㎡, 壁高 21~45, 長軸方位 N10度E				
壁 溝	幅 5~15, 深さ 1~7				
主柱穴	1	2	3	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下バ心)
上バ径	49	32×37	41	28×26	1-2 : 335 2-3 : 377
下バ径	25	17×19	10	19×16	3-4 : 329 4-1 : 383
深さ	50	26	42	(36) 床面から	
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N112度E, 構築材 粘土・石, 支脚 石				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上バ118×95, 下バ40×26, 深さ 79				
その他 (状況の記録)					
地 面	黒色土, 6層, 検出位置 : M~Nライン・730m付近				
重複関係	154住→155住→8住, 130住→155住				
覆 土	浅阿C軽石・FAを含む黒褐色系の土, 壁 : 直に近い				
床 面	平砥, 薄い粘床, 細かい凹凸あり, 南東隅は中央側に比べて10~15cm下がる				
主 柱 穴	ピット4は掘形検出, 壁 溝 : 東辺南側・北西隅未検出				
カ マ ド	両軸先端部に細長い石 (30~40cm大) を据えて粘土で固める, 燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部中央左寄りに20cm大の石を据えて支脚とする, 地割れにより両軸とも中央付近で切断, 地割れは南東側に10~15cm低い, 地割れは貯蔵穴を経て南側の154号住居に至る, 奥壁は斜めに立ち上がり煙道に連なる, 煙道部平面は略方形を呈する				
貯 蔵 穴	地割れにより歪む, 掘形では長方形を呈する				
照 形	カマド奥壁~煙道が30cmほど突出する, 東辺に沿って幅150~200の帯状に深さ10~20cmくぼむ, 東辺中央部に床溝2本追加検出, 北辺沿いに小ピット7個追加検出, 西辺側床溝の内側先端部付近に小ピット検出, 154号住居の内側壁溝を検出				
そ の 他	北辺沿いに幅90~120・長さ320ほどの狭い長方形の掘り込み検出, 南辺沿いにも長さ120cmほどの狭い溝検出, 床構造にかかわるものか?				
遺 物	土器252片, カマド内から土師器短脚高杯出土, 半球杯出土 (遺物図録掲載なし), カマド周辺から甕類の出土多い, カマド左縁・北東隅・北西部の床面から大小の石12個出土, 0961・0962・0963・0964・0965・0966・0967・0968・0969・0970・0971・0972・0973・0974・0975・0976				
時 期	古墳後期, 6世紀前半				



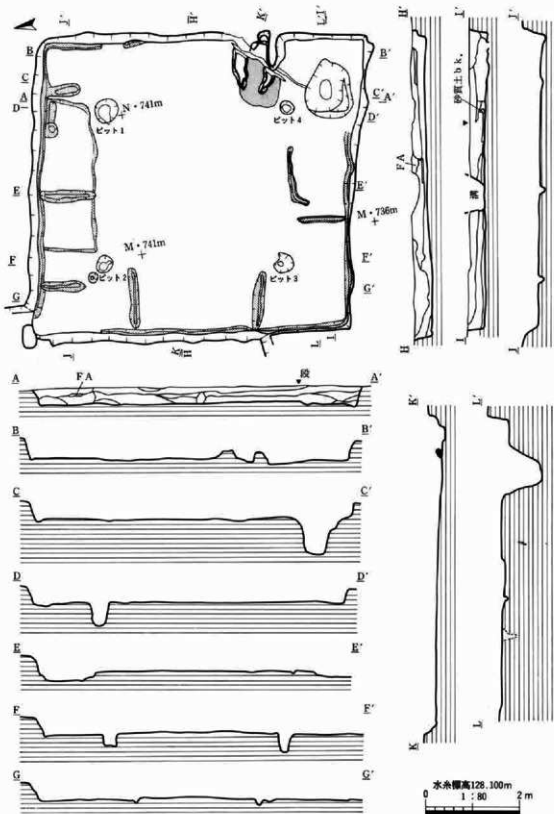
第477図 4区155号住居跡遺物出土状態 (西から)



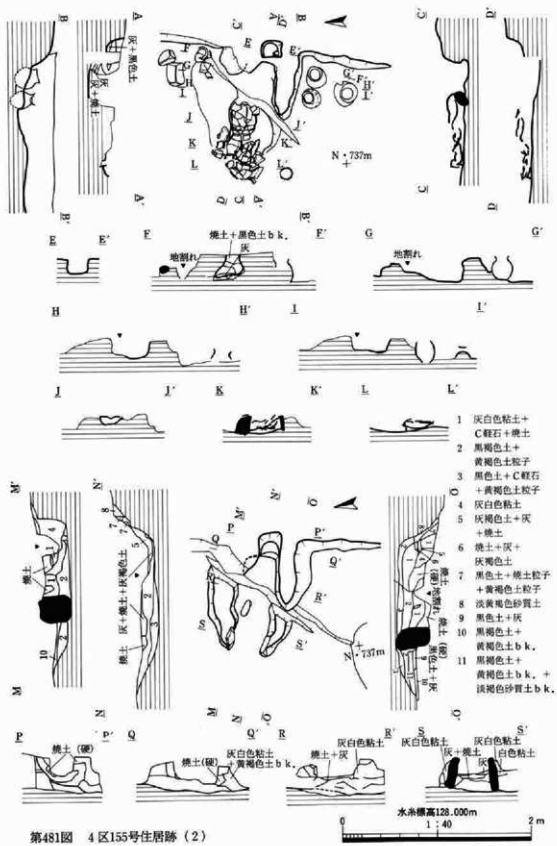
第478図 4区155号住居跡カマド遺物（西から）



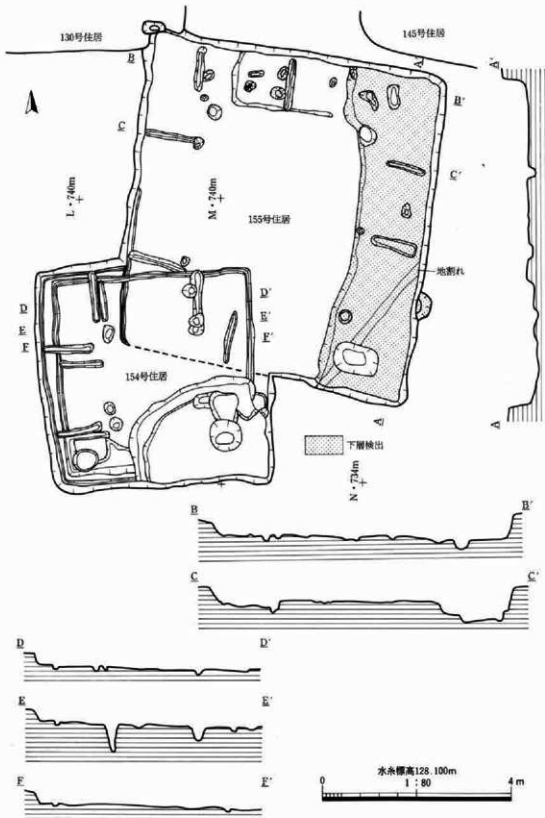
第479図 4区155号住居跡カマド遺物（西から）



第480図 4区155号住居跡(1)



第481图 4区155号住居跡(2)



第482図 4区154・155号住居跡 掘形

4区北西部のIライン・784~787m付近で畠跡とみられる溝群を検出した。調査当時にはA10・11・12・13号溝として調査し、遺物・記録等もそれらの番号で記入されている。整理の過程で、これらの溝群に「畠跡」の可能性があると考えられたため、ここに掲載する。

これらの溝群は平安時代住居と同一の面で検出し、覆土は黒褐色土に黄褐色土(ローム) b k, が混じる。下層の1・2・1・2・3号住居検出面よりも約20cm上位あり、明らかに古墳時代住居よりも新しい。方位は略東西方を示す。畠跡である確証はないが、ここではその可能性があるため、番号を付しておく。

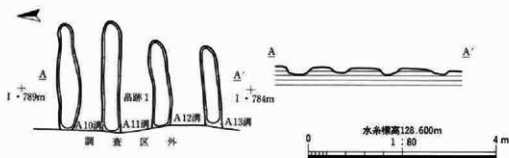
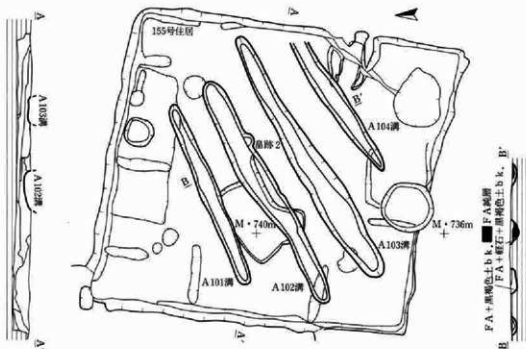
## 三ツ寺II 4区 畠跡2 (第483図)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

4区中央部のM~Nライン・737~742m付近で畠跡とみられる溝群を検出した。確認面は古墳時代住居と同一で、155号住居のプラン内に納まり、住居覆土直上に4本並んだ101~104号溝として確認した。方位はN60度Eを示す。いずれも直近近くの土層はFA+黒褐色土 b k,、その上位にFA+軽石+黒褐色土 b k, の土があり(101・102号)、103号ではそれらの中間にFA純層がはいる。104号では上位の軽石混じりの層がなく、FA純層まで遺存していた。これらのFA層が一次堆積であるかどうかは不明だが、遺構との重複関係は次のようになる。

[155号住居→(埋没→)畠→埋没(黒褐色土堆積→FA堆積→軽石混じりのFA堆積)]

155号住居内で検出した地割れは住居埋没後発生しているが、ここではFAとの関係は検証できない。



第483図 4区畠跡1・畠跡2

三ツ寺II 4区 畠跡3 (第484図, 図版309)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

4区東側道中央部で畠跡とみられる遺構を検出した。確認面はC軽石を含む黒色土(6層)である。検出位置はP-Qライン・753~758m付近である。検出した溝状遺構は北東-南西方向(N71度E)に並び、それらの間隔は65~85cm、長さ220~405cm、深さ3~8cmである。

覆土は黒色土にFAブロックが混じる。これらの溝の上からピットが2個掘り込まれ、溝の下からは146号住居を検出している。三者の前後関係は146号住居→溝群→ピットの順に新しい。出土遺物はなく、積極的な根拠はないが、本溝群の時期は古墳時代に属するとみられる。146号住居からの出土遺物は比較的豊富である。

周辺の東側道ではこれらの溝群を除き、畠跡とみられる遺構は検出していない。



第484図 4区畠跡3 (西から)



第485図 4区畠跡3 (北西から)

平面形		規模		4間×2間		長軸方位		N3度E	
桁行	cm	梁行	cm	: 桁行柱間		: 梁行柱間		: 梁	
1-5	:583	1-11	:440	1-2	:170	1-12	:211	番号	上バcm
12-6	:609	2-10	:453	2-3	:153	12-11	:230	1	23
11-7	:582	3-9	:415	3-4	:162	2-13	:224	2	38×36
平均:591		4-8	:413	4-5	:101	13-10	:230	3	33×31
		5-7	:408	12-13	:157	3-14	:214	4	28
		平均:426		13-14	:142	14-9	:203	5	38×33
				14-15	:155	4-15	:215	6	37
				15-6	:157	15-8	:200	7	42×40
				11-10	:155	5-6	:203	8	35
				10-9	:137	6-7	:205	9	32×30
				9-8	:145	平均:213.5		10	37×35
				8-7	:146			11	51×41
				平均:148.3				12	37×35
								13	35×30
								14	28
								15	35×32
								16	33
								17	31
									20×15
									24

備考

11-7:582 3 17×14

12-6:609 13 29×26

平均:591 17 20

13-14:142 15 18×16

14-15:155 19 22

15-6:157 12 25

11-10:155 4 28

10-9:137 7 42×40

9-8:145 8 35

8-7:146 9 32×30

平均:148.3 10 37×35

11 51×41

12 37×35

13 35×30

14 28

15 35×32

16 33

17 31

20×15

24

略三角形

2-3の中間位置

※計測値は $\frac{1}{2}$ 原因から起こした数値で、柱穴間の距離は下バの中心で計測した。方位は11・6・7のそれぞれの中間を結ぶ線と磁北とのなす角。

その他 (状況の記録)

礎 礎 面: 茶褐色土, 5層, 検出位置: I~Kライン・732m付近

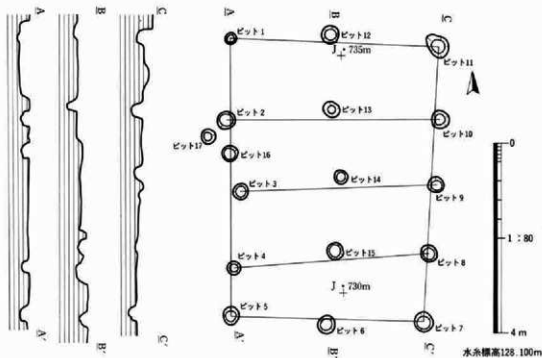
重複関係: 5・4・5・5・5・6住→1掘, 覆 土: 暗褐色土

柱 穴: 15本検出

その他: 総柱の建物跡, 西側北寄りに規模のほぼ同じピットを2本検出

遺 物: 出土遺物なし

時 期: 古墳時代住居→1掘→平安時代住居, 奈良~平安?



第486図 4区1号掘立柱建物跡



## 三ツ寺II 4区2号独立柱建物跡(第487区, 図版308)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形 長方形, 規模 2間×2間, 長軸方位 N30度E				規				
桁行 cm	梁行 cm	桁行柱間	梁行柱間	番号	上ノ寸 長径×短径	下ノ寸 長径×短径	深さ cm	備 考
1-3 :392	3-5:341	1-2:187	1-8 :189	1	39×35	24×18	24	
8-4A:417		2-3:205	3-4A:170	2	38×33	22×19	41	
			4A-5:172	3	45×38	25×21	25	
				4 A	45×35	24×20	59	
				4 B	45×35	31	17	浅い
				5	51	21	73	ビット→7 4住
				6	52×40	38×27	17	浅い, 土坑状
				7	57×51	41×38	10	浅い, 土坑状
				8	51×40	22×19	69	ビット→7 3住, 二段

\*計測値は、原因から起こした数値で、柱穴間の距離は下ノ寸で計測した。長軸方位は4A-8を下ノ寸で結ぶ線と磁北とのなす角。

その他(状況の記録)

確認 面：黒色土、6層下位, 検出位置：J～Lライン・709m付近  
 重複関係：7 3・7 4住→2層, 覆 土：黒色土+軽石  
 柱 穴：割性のみ確認, 中央未検出, 東側は7 3号住居内  
 その他：東西柱穴未検出  
 遺 物：出土遺物なし, 1 4 3号土坑から土器器ケズリ巻・織文土器(12片)出土  
 時 期：柱穴は7 3・7 4号住居に切られている。古墳

## 三ツ寺II 4区101号独立柱建物跡(第487区, 図版308)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形 長方形, 規模 2間×1間以上, 長軸方位-				規			
柱 間	1-2:152	2-3:140	1-3:290	1-6:159	2-5:164	3-4:150	
	6-5:150	5-4:135	6-4:284				
規 番号	1	2	3	4	5	6	7
上ノ寸(長径×短径)	62×59	40	68×64	61×60	55	66×63	77×70
下ノ寸(長径×短径)	47×42	22×17	50×45	39×31	38	43×41	57×55
横 深さ	29	19	31	48	26	33	19
cm 備考		やや浅い					やや浅い

\*計測値は、原因から起こした数値で、柱穴間の距離は下ノ寸で計測した。

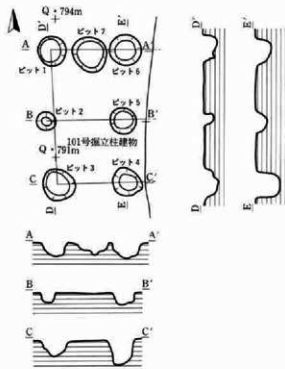
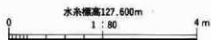
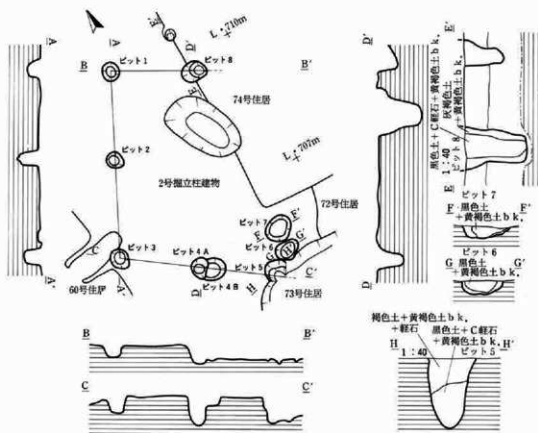
その他(状況の記録)

確認 面：黒色土、6層, 検出位置：Qライン・792m付近  
 重複関係：-, 覆 土：黒色土+軽石  
 柱 穴：2間×1間分のみ確認, 南北方向・西側には延びない  
 その他：東側調査区外へ延びるか?、本獨立柱建物付近を南限として北側へ25mほどビット群あり  
 遺 物：出土遺物なし  
 時 期：不明, 古墳?

## 三ツ寺II 4区北西部ビット群(第283区, 図版191)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

1 1 4・1 1 6～1 1 8号住居付近で、やや大型の掘り込みが並んでいる。いずれも重複する住居より新しい。  
 1 1 6～1 1 7号住居内部では2間×1間のように見えるが、周辺のビットと連続するものもある。1 1 8号住居内には、用途不明の土坑を検出している。これらが獨立柱建物の一部であるかどうか不明であり、ここではその可能性があることを挙げるに止める。遺物の出土はなく、所属時期は住居との重複関係から、古墳時代から平安時代の間である。



第487図 4区2号・101号掘立柱建物跡

## 三ツ寺II 4区 溝 (第488・721図, 図版310・510)

4区では計36本の溝を検出した。そのうちA5およびA55・56・59・65・67溝は所在が確認できない。また、A10～13号溝とA101～104号溝は畝跡の可能性が高く、それぞれ畝跡1・2として別掲した。A2・3・4号溝も畝跡の可能性が高い。

A類とB類とは、掘り下げ以前に覆土・方向とから分離した類別だが、必ずしも原則にそった結果となっていない。各溝の覆土中に「軽石」を含むものは、検出層位から、この軽石が浅間B軽石であった可能性が高く、中世以降に時期が下ることが考えられる。

4区南側(740m以南)で北東-南西の方向に走る溝は、形状が不整形で内部に凹凸をもつものが多い。B5号溝とA14・15・16号溝、B9・10号溝はほぼ平行して走る不整形な溝である。下層の地割れの影響が考えられるが、地割れの生じた時期(6世紀代)からみると隔たりが大きく、積極的な根拠はないが、人為的なものであった可能性が高い。

4区で比較的しっかりした溝はB1・B7号溝で、両者はほぼ平行して走る。その中間の南寄りにB3・4号溝がやや角度を変えて平行して走る。B1号とB7号との中間に土坑類が多く、北半部は100～200cmの円形・長方形の土坑が群をなし、南半部ではやや大きめの土坑とピット列がみられる。110号土坑・B4号溝・B3号溝はほぼ平行しており、これらの西側には柱穴が充分揃ってはいないが孤立柱建物と推定できる。また、B7号溝西端付近にはピット列がみられる。これらのことから、4区南側の720～740m付近になんらかの建物があった可能性が高い。しかし、それらがどんな性格のものかは不明である。

三ツ寺II 4区溝一覧表(1)

- : 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他	遺物	時期	備考
A1	黄褐色土 5層	N~P・ 794~800m	-	8.4・50・4~10	-		なし	平安以降	N46度E
A2	黄褐色土 5層	O・ 779m	-	3.6・20・8~15	-		土器4片	平安以降	N99度E 畝?
A3	黄褐色土 5層	O~P・ 756m	-	3.9・20~50・6	-		土器12片	平安以降	N98度E 畝?
A4	黄褐色土 5層	O・ 776m	A6溝→62坑	1.8・30・8	灰褐色土+ 黄褐色土粒		土器14片, 模倣杯	平安以降	N92度E 畝?
A5	所在不明						土器2片, 模倣杯		
A6	黄褐色土 5層	N~O・ 773m		3.1・26・16	-		なし	平安以降	N94度E 畝?
A7	黄褐色土 5層	K・ 752m		2.7・30・2	-		なし	平安以降	N96度E 畝?
A8	黄褐色土 5層	K・ 751m		2.9・35・3	灰褐色砂, 軽石多		なし	平安以降 中世?	N95度E 畝?
A9	黄褐色土 5層	J~K・ 734m		3.7+1.0・30・5	淡暗褐色土	曲がる	土器14片, 須恵器無台杯 ・蓋口縁部	平安以降	長辺 N107度 E
A10 A11 A12 A13		I~J・ 785~788m	123住より 新				なし A11~13溝分 土器65片	平安以降 平安以降 平安以降	畝1参照 畝1参照 畝1参照 畝1参照

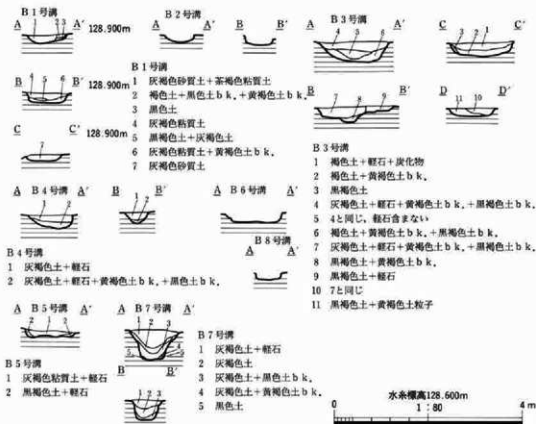
番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他	遺物	時期	備考
A 1 4	黄褐色土 5層	N~P・ 735~740m		6.8・10~80・5	灰褐色粘質土	地割れ?	なし	平安以降	N42度E
A 1 5	黄褐色土 5層	N・ 734m		1.8・35・15	—	地割れ?	なし	平安以降	N38度E
A 1 6	黄褐色土 5層	K~M・ 728~734m		6.8・35・8	灰褐色粘質土	地割れ?	土器19片	平安以降	N52度E
A 1 7	黄褐色土 5層	N~O・ 729m		1.7・30・16	褐色粘質土	地割れ?	土器4片	平安以降	曲がる
A 5 5	所在不明								
A 5 6	所在不明								
A 5 9	所在不明								
A 6 5	所在不明								
A 6 7	所在不明								
A101		L~N・ 737~741m	155住より 新					古墳	鳥2参照
A102								古墳	鳥2参照
A103								古墳	鳥2参照
A104								古墳	鳥2参照

三ツツII 4区溝一覧表(2)

—:計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他	遺物	時期	備考
B 1	黄褐色土 5層	I~P・ 767m		22・100・15~25	灰褐色粘質土+黒褐色土	東→西	土器162片, 須恵器蓋,灰 軸陶器椀	平安?	N95度E
B 2	黄褐色土 5層	I~J・ 755m		3.1・66・21	灰褐色砂質土		なし	平安以降	N93度E
B 3 a	黄褐色土 5層	J~N・ 734~737m	B5→B3溝	11・90~170・12~39	灰褐色土+ 軽石	底面凹凸, a・b・c部	3aなし 3b=土器120 片模倣杯・斐・ 須恵器高台付 椀他,3c=須 恵器杯・内黒 椀	平安以降 中世?	N103度 E
B 4	黄褐色土 5層				灰褐色土+ 軽石	a・b部	土器3片, 須恵器大型品 土器82片, 須恵器模倣 灰軸陶器椀	平安以降 中世?	N105度E
B 4 a		L~N・ 731m	B5・A16→ B4	6.5・90・16~26					
B 4 b		J~K・ 733m							
B 5	黄褐色土 5層	L~O・ 729~740m	B5→B3・B 4	14.4・40~130・ 5~16	灰褐色粘質土	a・b・c部		平安以降	N43度E
B 5 a		B5北東部					土器30片, 土器器外椀杯 土器60片, 灰軸陶器椀 土器15片, 土器器外椀杯		
B 5 b		B5中央部							
B 5 c		B5南西部							

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他	遺物	時期	備考
B 6	黄褐色土 5層	J~P・ 724m		18.3・110・20	褐色土+軽 石	西端南へ曲が る。 a・b・c・d部	6 a=土器11 片, 獣歯, 須恵 器蓋, 6b=土 器27片, 須恵 器蓋, 6c=土 器13片, 須恵 器蓋, 6d=土 器35片, 模倣 杯・瓶	平安以降 中世?	N90度E
B 7	黄褐色土 5層	I~P・ 720~723m		19.8・110・60	灰褐色土+ 軽石+黄褐 色土bk.	西端停まる a・b・c・d ・e・f部	7a~7f=土器 185片, 奈良へ 平安の土器多	平安以降 中世?	N99度E
B 8	黄褐色土 5層	L~M・ 717~721m		3.5・65・15	灰褐色土+ 軽石	B7溝につな がる	土器27片。 模倣杯・須恵 器蓋	平安以降 中世?	N5度W
B 9	黄褐色土 5層	N~O・ 717~723m	B9~B7溝	8.1・45~100・7~19	灰褐色土+ 軽石+黒褐 色土bk.	南側・北側に ズレ	土器27片。 須恵器折曲口 縁蓋・壺	平安以降 中世?	南側 N48度E
B 10	黄褐色土 5層	L~N・ 710~715m		7.0・45~145・6	灰褐色土+ 軽石+黒褐 色土bk.	不整形	土器33片。 須恵器蓋・剣 ・壺	平安以降 中世	N53度E



第488図 4区溝断面

4区では計194基の土坑を検出した。調査が二次にわたり、一次調査では4班で調査しているため、番号の途中に欠番を生じている。また、建設工事が急がれており、作業が縮減したことから、番号のみのもの、断面図のみまたは平面図のみのもの、地点不明のものなど、記録不十分な点が見られる。157～199号の間は欠番である。

以下、すべての土坑の個別図を掲載する余裕がないため、特徴的な土坑のみをとりあげ、その他の土坑については一覧表および全体図(本文編)で示す(個別図は第489～500図、図版310～313)。

125号土坑は楕円形を呈する土坑で、底面に凹凸がある。覆土に浅間B軽石を含み、焼土・灰・炭化物が多く出土した。墓の可能性はあるが、骨等は検出していない。

140号土坑は長方形を呈する土坑で、底面に小ピットがあり、周辺にもピットがいくつか検出されている。9号住居跡の下層で検出し、65号住居跡に接する状態で確認されている。用途不明。

141号土坑は62号住居跡の床下で検出した楕円形を呈する土坑である。平面的な大ききの割に深く(98cm)、縄文土器破片を出土している。縄文時代に属する遺構とみられる。

143号土坑は73号住居跡の床下から検出した。141号土坑に似た様相を呈する。中から縄文土器破片を出土している。

144号土坑は黄褐色土(8層、ローム)面で確認した略円形を呈する土坑で、縄文土器を出土している。1418・1520は本遺構から出土した深鉢である。覆土にロームブロック・ローム粒子・焼土粒子を含む。

145号土坑は71号住居跡の一部を破壊された、略円形の土坑である。覆土全体に浅間C軽石を含み、ロームブロックが混入する。出土遺物はないが、C軽石を含むことから、古墳時代前半以前の遺構とみられる。弥生にさかのぼるか。

146号土坑は79号住居跡の床下で検出した。略長方形を呈する土坑である。確認面では多量の浅間C軽石を含む層を記録している。145号土坑と同じく、古墳時代前半以前の遺構とみられる。深さは70cmほどである。

153号土坑は66号住居跡によって一部破壊されているため、それより古い遺構である。長方形プランで、底面の長辺に沿って両側に3本ずつ、計6本のピットを検出した特異な土坑である。各ピットの深さは土坑底面から50cm以上を測る。本遺跡では類例がない。

155号土坑は黄褐色土(8層、ローム)面で検出した略円形を呈する土坑で、断面がフラスコ状である。縄文土器小片・石を出土し、覆土の堆積は自然である。黒褐色土にローム粒子・焼土粒子・炭化物粒子等を含む。縄文時代に属する遺構とみられる。

221号土坑は40・41号住居跡の床下で検出した不整形の土坑である。黄褐色土(8層、ローム)を掘り込んでいる。出土遺物はないが、縄文時代に属する可能性がある。

224号土坑は155号土坑と同じく、断面フラスコ状を呈する土坑である。覆土はロームブロックを含む黒褐色土。1417の縄文土器深鉢を出土した。

#### 縄文時代土坑群 (第490・721回)

キロ程700m付近を中心に、縄文時代の遺構をいくつか検出している。3区では57号住居跡、21～32号土坑があり、4区では141・143・144・155号土坑がある。これらは新幹線中軸としたMラインよりも西側に位置し、一連の遺構群とみられる。おおむね縄文時代前期の黒浜・諸磯aの時期とみられる。これらは、西端のIラインのさらに西側の高まり(調査区外)へ向かって展開するようである。

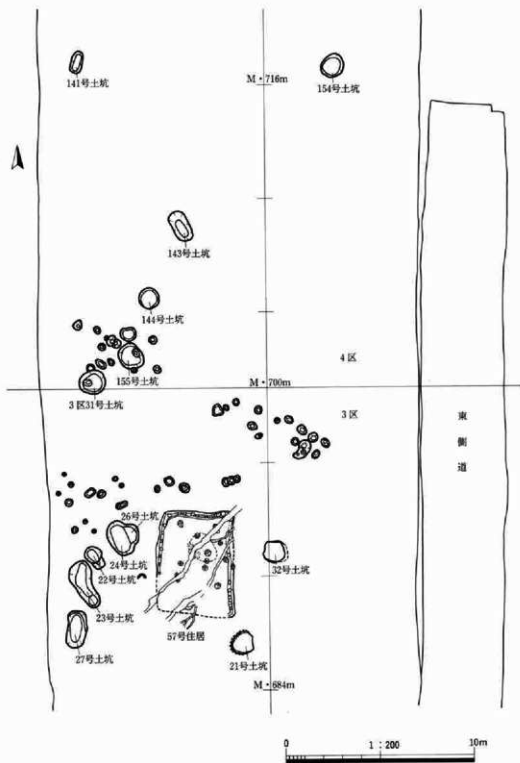
また、4区のキロ程720m以南・Mライン東側の土坑は、古墳時代以前にさかのぼる可能性があるが、積極的な根拠はない。

#### 三ツ寺II 4区ピット

4区では多数のピットを検出しているが、掘立柱建物としてまとまりをもつものは限られ、前述のとおりである。個別の記録を掲載する余裕がないため、ここでは割愛することにした。

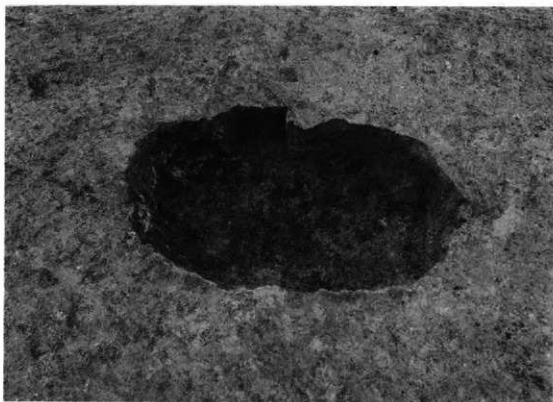


第489図 4区土坑



第490图 3～4区縄文時代土坑分布图





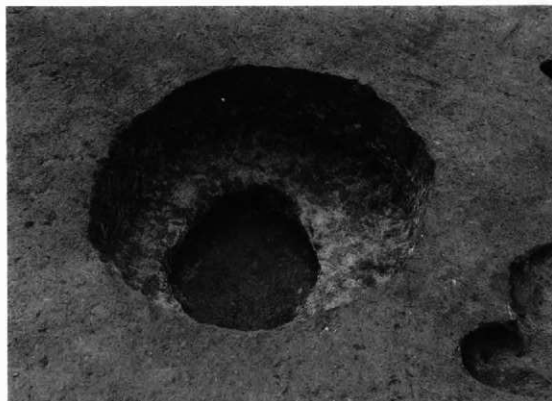
第491図 4区125号土坑（北から）



第492図 4区134号土坑（北から）



第493図 4区135号土坑（西から）



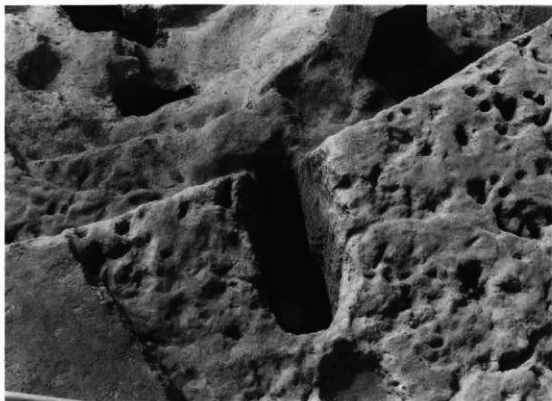
第494図 4区138号土坑（東から）



第495図 4区139号土坑（北から）



第496図 4区140号土坑（東から）



第497図 4区141号土坑(北から)



第498図 4区144号土坑遺物出土状態(西から)



第499図 4区217号土坑遺物出土状態（北から）



第500図 4区224号土坑遺物出土状態（西から）

番号	確認面	出土位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
1	黄褐色土 5層	L・ 793m		径80・30	—	円形	なし	平安以降	
2	黄褐色土 5層	M・ 792m		106×80・42	—	楕円形	土器7片, 横段杯	平安以降	
3	黄褐色土 5層	M・ 790m		108×120・47	—	円形	土器12片, 羽釜底部	平安以降	
4	黄褐色土 5層	J~K・ 792m		90×80・30	—	楕円形	土器9片, ケズリ壺底部 片	平安?	
5	黄褐色土 5層	L・ 790m		122×51・22	—	長方形	土器3片, 縄文土器1, 土師貫碗	平安以降	
6	黄褐色土 5層	J~K・ 788m		径90・26	—	円形	土器7片, ケズリ壺・ 外段杯	平安以降	
7	黄褐色土 5層	L~M・ 788m		53×161・13	—	楕円形	土器16片, 内斜口縁杯	平安以降	
8 a	黄褐色土 5層	N~O・ 791m		88×65・14	—	楕円形	土器38片, 外段杯	平安以降	
8 b	黄褐色土 5層	M・ 778m		65×242・21	—	長方形	—	—	
9	黄褐色土 5層	N・ 787m		158×40・21	灰褐色土+ 黒色土bk.	不整形	なし	中世?	
10	黄褐色土 5層	O~P・ 783m		110×88・19	灰褐色土+ 黄褐色土	長方形	土器11片, 横段杯	平安以降	
11	黄褐色土 5層	O~P・ 777m		径107・57	褐色土+軽 石	円形	土器11片, 横段杯	中世?	
12	黄褐色土 5層	N~O・ 775m		183×142・53	褐色土+軽 石	楕円形	土器50片, 外段杯・高杯 脚部	中世?	
13	黄褐色土 5層	O・ 777m		66×62・5	—	楕円形	なし	平安以降	
14	黄褐色土 5層	O・ 774m		径80・18	灰褐色土+ 黒色土bk.	略円形	土器2片, 須恵器瓶	平安以降	
15	黄褐色土 5層	N・ 771m		径90・9	暗褐色土+ 黒色土bk.	略円形	土器4片, 小片のみ	平安以降	
16	黄褐色土 5層	M・ 777m		64×55・25	—	不整形	土器4片, ケズリ壺	平安以降	
17	黄褐色土 5層	L・ 776m		110×76・21	灰褐色土+ 黄褐色土	楕円形	土器22片, 内黒横段杯	平安以降	

## 4 区 の 遺 構

三ッ守Ⅱ 4 区土坑一覧表(2)

bk.: block, 計測値単位cm, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
18	黄褐色土 5層	K~L・ 775m		106×96・16	灰褐色土+ 黄褐色土	略円形	土器10片, 土師器壺	平安以降	
19		—					なし		
20	黄褐色土 5層	J~K・ 783m		81×98・8	灰褐色土	楕円形	なし	平安以降	
21	黄褐色土 5層	K・ 782m		174×68・13	灰褐色土+ 黄褐色土 bk.	楕円形	土器3片, 便微杯・須恵 器壺	平安以降	
22	黄褐色土 5層	J・ 780m		径90・31	灰褐色土+ 黒色土bk.	円形	土器7片, ケズリ壺	平安以降	
23	黄褐色土 5層	K・ 773m		径100・9	淡黄褐色土	略円形	土器40片, 内斜口縁杯 小型壺	平安以降	
24	黄褐色土 5層	K~L・ 773m		100×104・26	暗褐色土	隅丸方形	土器9片, 灰釉陶器・ 羽釜	平安以降	
25	黄褐色土 5層	J・ 773m		100×92・7	暗褐色土	略円形	土器7片, 須恵器平底杯	平安以降	
26	黄褐色土 5層	I~J・ 773m		100×110・4	灰褐色土	楕円形	土器10片, 須恵器壺	平安以降	
27	黄褐色土 5層	J・ 772m		80×92・7	褐色土	楕円形	土器10片, 外縁杯	平安以降	
28	黄褐色土 5層	N~O・ 766m		径88・16	—	円形	なし	平安以降	
29	黄褐色土 5層	N~O・ 765m		径100・20	灰褐色土+ 黒褐色土	略円形	土器2片,	平安以降	
30	黄褐色土 5層	N・ 764m		径72・4	—	円形	なし	平安以降	
31	黄褐色土 5層	N・ 763m		径100・49	灰褐色土+ 黄褐色土	円形	土器9片, 土師貫土器碗	平安以降	
32	黄褐色土 5層	N・ 763m		80×65・15	灰褐色土+ 黄褐色土	楕円形	なし	平安以降	
33	黄褐色土 5層	N~O・ 762m		径96・25	灰褐色土+ 黒色土bk.	円形	土器6片,	平安以降	
34	黄褐色土 5層	J~K・ 779m		55×253・8	灰褐色土	長楕円形	土器11片, 1100瓿	平安以降	
35	黄褐色土 5層	N~O・ 779m		60×53・20	暗褐色土	楕円形	なし	平安以降	

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
36	黄褐色土 5層	J~K・ 770m		径98・9	暗褐色土+ 軽石	円形	土器5片,	中世?	
37	黄褐色土 5層	L・ 786m		64×86・42	黄褐色土 bk.+黒色土 bk.	長方形	土器5片, 土師器杯・ 須恵器甕	平安以降	
38	黄褐色土 5層	O~P・ 766m		81×-・4	灰褐色土+ 黄褐色土		土器11片, 甕または瓶	平安以降	
39	黄褐色土 5層	O~P・ 765m		190×90・27	灰褐色土+ 黒色土bk.	不整形	土器5片,	平安以降	
40	黄褐色土 5層	O~P・ 762m		183×83・28	灰褐色土+ 黄褐色土	長方形	土器13片,	平安以降	
41	黄褐色土 5層	O~P・ 761m		100×85・13	灰褐色土+ 黒色土bk.	二段	なし	平安以降	
42	黄褐色土 5層	N・ 761m		107×88・6	灰褐色土	楕円形	なし	平安以降	
43	黄褐色土 5層	N・ 758m		径70・5	灰褐色土	円形	土器2片,	平安以降	
44	黄褐色土 5層	M・ 760m		57×75・16	灰褐色土+ 炭化物	略楕円形	土器6片, 小片のみ	平安以降	
45	黄褐色土 5層	M~N・ 760m		110×100・18	灰褐色土+ 炭化物	楕円形	土器23片, 横飯杯・甕	平安以降	
46	黄褐色土 5層	M~N・ 756m		径65・7	黒褐色土	円形 二段	なし	平安以降	
47	黄褐色土 5層	N~O・ 756m		径96・25	灰褐色土+ 黒色土bk.	円形 二段	土器2片, 壺体部片	平安以降	
48	黄褐色土 5層	O~P・ 756m		98×110・31	灰褐色土+ 黄褐色土	楕円形	土器12片, 横飯杯	平安以降	
49	黄褐色土 5層	N・ 754m		径100・10	灰褐色土+ 軽石	略円形	土器19片, 半球杯	中世?	
50	黄褐色土 5層	N・ 752m		135×70・13	-	長方形	なし	平安以降	
51	黄褐色土 5層	N・ 749m		径92・17	淡褐色土+ 黄褐色土 bk.	円形	土器7片, 外飯杯・土師 質甕	平安以降	
52	黄褐色土 5層	M~N・ 761m		110×158・20	暗褐色土+ 黄褐色土	不整形	土器20片, 須恵器瓶	平安以降	
53	黄褐色土 5層	M~N・ 763m		132×158・32	灰褐色土+ 炭化物	楕円形	土器37片, ケズリ甕・羽 蓋	平安以降	



三ツ寺II 4区土坑一覧表(4)

bk.: block, 計測値単位cm, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
54	黄褐色土 5層	L~M・ 759m	54坑→84坑	154×176・13	灰褐色土+ 黄褐色土	不整形	土器57片, 円筒埴輪	平安以降	
55	黄褐色土 5層	M~N・ 754m		120×133・27	灰褐色土+ 黄褐色土	楕円形	土器5片, 模倣杯	平安以降	
56	黄褐色土 5層	M~N・ 753m		120×98・15	灰褐色土+ 黄褐色土	楕円形	土器19片, 灰胎陶器	平安?	
57	黄褐色土 5層	M~N・ 750m		250×100・15	灰褐色土+ 黒色土bk.	長方形	土器8片, 外轆杯	平安以降	
58	黄褐色土 5層	N~O・ 769m		130×150・23	暗褐色土+ 軽石	楕円形	なし	平安以降 中世?	
59	黄褐色土 5層	N~O・ 770m		径113・37	灰褐色土	円形	なし	平安以降	211坑と 同位置
60	黄褐色土 5層	O~P・ 768m	60坑→61坑	140×93・37	灰褐色土+ 黒色土bk.	略長方形	土器22片, 須恵器椀	平安以降	
61	黄褐色土 5層	O~P・ 769m	60坑→61坑 62坑→61坑	155×70・32	灰褐色土+ 黄褐色土	略長方形	土器13片, 陶器1	平安以降	
62	黄褐色土 5層	O~P・ 770m	A4溝→62坑 62坑→61坑	140×81・31	灰褐色土+ 黒色土bk.	略長方形	なし	平安以降	
63	黄褐色土 5層	N・ 767m	B1溝→63坑	183×110・33	灰褐色土+ 黄褐色土	不整形	土器33片, 羽釜, 縄文1	平安以降	
64	黄褐色土 5層	M~N・ 766m		140×103・13	灰褐色土+ 黄褐色土	楕円形	土器18片, くの字蓋	平安以降	
65	黄褐色土 5層	M~N・ 764m		78×107・29	-	不整形	土器9片, 埴輪1, ケズリ 罌	平安以降	
66	黄褐色土 5層	M・ 758m		120×106・33	黒褐色土+ 軽石	楕円形	土器18片, 模倣杯	平安以降 中世?	
67	黄褐色土 5層	M・ 756m		168×99・18	黒褐色土	楕円形	なし	平安以降	
68	黄褐色土 5層	L~M・ 750m		188×51・11	灰褐色土	長楕円形	土器4片, 2孔のある土 器・縄文1	平安以降	
69	黄褐色土 5層	L~M・ 750m		径97・19	灰褐色土+ 黒褐色土	円形	土器9片,	平安以降	
70	黄褐色土 5層	L・ 746m		121×62・24	灰褐色土+ 軽石	不整形	土器4片,	平安以降 中世?	
71	黄褐色土 5層	K~L・ 743m		径76・17	灰褐色土	円形	土器10片, 外轆杯	平安以降	

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
7 2	黄褐色土 5層	K~L・ 743m		径81・38	黒褐色土	円形	なし	平安以降	
7 3	黄褐色土 5層	K~L・ 743m		径95・21	灰褐色土	円形	なし	平安以降	
7 4	黄褐色土 5層	K~L・ 742m		径76・7	灰褐色土+	略円形	土器4片、 須恵刺箸	平安以降 中世?	
7 5	黄褐色土 5層	M~N・ 742m		58×54・8	黒褐色土+	不整形	土器3片、	平安以降 中世?	
7 6	黄褐色土 5層	M~N・ 739m		103×108・23	灰褐色土+	台形	土器6片、	平安以降 中世?	
7 7	黄褐色土 5層	O・ 741m		径96・29	灰褐色土+	略円形	土器8片、	平安以降	
7 8	黄褐色土 5層	O~P・ 747m		径90・4	-	円形	なし	平安以降	
7 9	黄褐色土 5層	L~M・ 763m		108×130・47	-	槽円形 二段	なし	平安以降	
8 0	黄褐色土 5層	M・ 761m		110×104・17	黒褐色土+	不整形	土器18片、 灰釉陶器鉢・ 土師質杯	平安以降 中世?	
8 1	黄褐色土 5層	J~K・ 777m		60×230・-	-	不整形	土器5片、 横紋杯・壺	平安以降	
8 2	黄褐色土 5層	I・ 772m		径101・-	黒褐色土	半掘	なし	平安以降	
8 3	黄褐色土 5層	L・ 756m		66×64・17	灰褐色砂質 土	隅丸方形	土器4片、	平安以降	
8 4	黄褐色土 5層	L~M・ 760m	54坑→84坑	123×99・31	黒褐色土+	不整形	土器4片、 くの字塞	平安以降	
8 5	黄褐色土 5層	L~M・ 756m		136×96・20	黒褐色土+	不整形	土器14片、 イブシ焼成杯	平安以降	
8 6	黄褐色土 5層	L・ 756m		111×137・35	黒褐色土+	横円形	土器25片、 羽蓋	平安以降 中世?	
8 7	黄褐色土 5層	J~K・ 758m		90×77・14	灰褐色土+	不整形	土器2片、 横紋杯	平安以降 中世?	
8 8	黄褐色土 5層	J~K・ 754m		70×103・24	灰褐色土+	略楕円形	土器11片、 0990須恵刺箸	平安以降 平安?	
8 9 A	黄褐色土 5層	J~K・ 744m		115×158・32	黒褐色土+	不整形	土器13片、 羽蓋	平安以降 中世?	89号2基

三ツ寺II 4区土坑一覧表(6)

bk.: block, 計測値単位cm, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
90	黄褐色土 5層	J~K・ 743m		61×53・12	灰褐色土+ 黒褐色土	楕円形	なし	平安以降	
91	黄褐色土 5層	J・ 735m		60×67・7	黒褐色土+ 軽石	楕円形	土器1片,	平安以降 中世?	
92	黄褐色土 5層	J・ 735m		81×72・28	黒褐色土+ 軽石	楕円形	土器1片, 羽釜	平安 中世?	
93	黄褐色土 5層	J~K・ 732m		100×67・7	黒褐色土+ 炭化物	楕円形	土器22片, 須恵器蓋	平安以降	
94	黄褐色土 5層	M・ 737m		110×116・33	-	楕円形	土器3片,	平安以降	
95	黄褐色土 5層	N・ 768m		径93・15	灰褐色土	略円形	土器31片, ケズリ壺	平安以降	
96	黄褐色土 5層	N~O・ 769m		径130以上・5	灰褐色土	-	土器3片,	平安以降	
97	黄褐色土 5層	J・ 790m		127×88・38	黄褐色土+ 小石	楕円形	なし	平安以降 中世?	
98	黄褐色土 5層	M~N・ 744m		122×97・13	灰褐色土+ 黒色土bk.	楕円形	なし	平安以降	
99	黄褐色土 5層	M~N・ 744m		62×81・33	明褐色土+ 炭化物	不整形	土器4片, 須恵器蓋カエリ	平安以降	
100	黄褐色土 5層	M~N・ 747m		径113・42	暗褐色土+ 軽石	円形	土器21片, 模倣杯・瓶	平安以降 中世?	
101	黄褐色土 5層	N~O・ 746m		90×176・25	褐色土+軽 石	不整形	土器18片,	平安以降 中世?	
102	黄褐色土 5層	O・ 747m		186×84・18	灰褐色土	長方形	なし	平安以降	
103	欠番	102坑と同					土器8片, 模倣杯・ケズ リ壺		
104	黄褐色土 5層	I~J・ 759m		径70・17	黒褐色土+ 軽石	略円形	なし	平安以降 中世?	
105	黄褐色土 5層	I・ 760m		径170・19	-	円形? 半掘	なし	平安以降	
106	黄褐色土 5層	I~J・ 759m		径102・7	黒褐色土+ 軽石	略円形	土器2片, 壺・瓶	平安以降 中世?	
107	黄褐色土 5層	I~J・ 758m		183×128・13	黒褐色土+ 軽石	楕円形	土器17片, 壺	平安以降 中世?	136坑と同

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
108	黄褐色土 5層	N~O・ 732m		106×56・4	黒褐色土+ 黄褐色土bk.	楕円形	なし	平安以降	
109	黄褐色土 5層	J~K・ 729m		320×80・28	灰褐色土+ 軽石	長楕円形	土器28片, 内彩口縁杯・ 土師貫椀	平安以降	110坑と同
110	欠番	109坑と同					土器29片, 模倣杯・外縁 杯		
111	黄褐色土 5層	L・ 727m	138坑→ 111坑	141×230・5	灰褐色土+ 軽石	不整形	土器21片, 外縁杯	中世?	
112	黄褐色土 5層	K~L・ 726m		73×80・4	黒褐色土+ 軽石	略円形	土器5片, 土師器高杯	中世?	
113	黄褐色土 5層	I・ 735m		71×-・4	-	半掘	なし	平安以降	
114	黄褐色土 5層	I・ 728m		76×60・21	褐色土	不整形	なし	平安以降	
115	黄褐色土 5層	I~J・ 727m		58×56・13	褐色土	不整形	なし	平安以降	
116	黄褐色土 5層	N・ 725m		46×61・7	黒褐色土+ 黄褐色土粒	楕円形	なし	平安以降	
117	黄褐色土 5層	N・ 766m		90×105・27	灰褐色土+ 軽石	不整形	土器18片, 縄文1須恵器 煎	平安以降	
118	黄褐色土 5層	K・ 762m		187×114・15	灰黒褐色土 +軽石	不整形	土器25片, 土師貫小皿	平安以降	
119	黄褐色土 5層	L~M・ 765m		径163・38	灰褐色土+ 軽石	略円形	土器29片, 羽釜・ケズリ 壺・杯	平安以降 中世?	
120		-					なし		
121		-					なし		
122	黄褐色土 5層	K・ 760m		径91・14	黄褐色土+ 軽石	略円形	なし	平安以降	
123	黄褐色土 5層	L・ 761m		168×131・28	灰褐色土+ 軽石+焼土	長方形	なし	平安以降 中世?	
124	黄褐色土 5層	M・ 765m		143×-・28	暗茶褐色土 +B軽石	不整形	なし	平安以降 中世?	
125	黄褐色土 5層	K~L・ 781m		110×192・27	暗褐色土+ B軽石+焼 土	楕円形	土器17片, 外縁杯	平安以降 中世?	墓? 炭化物多

## 4 区 の 遺 構

三ツ寺II 4区土坑一覧表(8)

bk.: block, 計測値単位cm, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
1 2 6	黄褐色土 5層	N・ 786m		98×85・38	灰褐色土+ 焼土	楕円形	なし	平安以降	
1 2 7	黄褐色土 5層	M~N・ 785m		86×83・53	灰褐色土+ 焼土	略円形	土器42片, 盤状杯・甕	平安以降	
1 2 8	黄褐色土 5層	J~K・ 769m	128坑→ 129坑	200×-・19	黒褐色土+ B粒石	不整形	なし	平安以降 中世?	
1 2 9	黄褐色土 5層	J~K・ 769m	128坑→ 129坑	103×-・18	黒褐色土+ B粒石	不整形	なし	平安以降	
1 3 0	黄褐色土 5層	L・ 755m	28住→ 130坑	96×113・8	灰黄色土+ 黄褐色土	楕円形	なし	平安以降	
1 3 1	黄褐色土 5層	M・ 748m		113×98・7	-	不整形	土器1片,	平安以降	
1 3 2		-			灰褐色粘質 土		土器11片, ケズリ甕		
1 3 3		-					なし		
1 3 4	黒色土 6層	J・ 734m	55住→134坑	200×160・22	灰褐色土	略長方形	なし	古墳	
1 3 5	黒色土 6層	J・ 730m	135坑→54住	96×-・33	黒色土+C 粒石	楕円形	なし	古墳以前	
1 3 6							なし		107坑と異
1 3 7	黒色土 6層	I~J・ 729m		102×112・31	暗褐色土+ 焼土	楕円形	石1	縄文	
1 3 8	黒色土 6層	L~M・ 727m	138坑→ 111坑	径155・53	灰褐色土+ C粒石	略円形	土器11片, 横俵杯1	古墳以前 縄文?	
1 3 9	黒色土 6層	M~N・ 730m	139坑→ B4溝	133×151・32	灰褐色土+ C粒石	長方形	土器13片,石1 外椀杯	古墳以前	
1 4 0	黒色土 6層	K~L・ 726m	140坑→ 9住	80×248・34	灰褐色土+ C粒石	長方形	なし	古墳以降 古墳?	
1 4 1	62住床下	I~J・ 717m	141坑→ 62住	122×54・98	-	楕円形	土器14片, ケズリ甕・縄 文1	古墳以前 縄文?	
1 4 2		-					なし		
1 4 3	黒色土 7層下位	K~L・ 708m	143坑→ 73住	170×133・92	褐色土+黄 褐色土bk.	楕円形	土器12片, 縄文5,ケズリ 甕	古墳以前 縄文?	
1 4 4	黄褐色土 8層 (ローム)	K・ 705m		径105・43	暗褐色土+ 黄褐色土bk.	略円形	土器93片, 1418深鉢 1520深鉢	縄文	

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
145	黒色土 7層下位	N~O・ 714m	145坑→ 71住	径125・45	C軽石+黄 褐色土bk.	略円形	なし	古墳以前 弥生?	
146	黒色土 7層下位	N~O・ 725m	146坑→ 79住	178×160・71	C軽石+褐 色土+黄褐 色土bk.	長方形	石1個	古墳以前 弥生?	
147	黒色土 7層下位	N~O・ 727m	75住→ 147坑	192×168・53	C軽石+褐 色土	不整形	土器5片, 須恵器壺	古墳以降	
148	黒色土 7層下位	N・ 708m		径85・54	C軽石+黄 褐色土bk.	略円形	なし	古墳以前 弥生?	
149	黒色土 7層	N~O・ 708m		径106・47	褐色土+C 軽石多	略円形	なし	古墳以前 弥生?	
150	黒色土 7層	N・ 710m		70×78・57	黒色土+C 軽石	楕円形	なし	古墳以前 弥生?	
151	黒色土 7層	N~O・ 710m		94×78・30	灰褐色土+ 軽石	楕円形	なし	古墳以前	
152	黒色土 7層	N~O・ 709m		68×110・60	灰褐色土+ ロームbk.	楕円形	土器25片, 縄文3,内斜口 縁杯	古墳以前	柱穴?
153	黒色土 6層下位	I・ 725m	153坑→ 66住	286×98・8	黒色土+C 軽石多	長方形	なし	古墳	壁際穴 6本
154	71住床下	N~O・ 717m	154坑→ 71住	径120・43	黒褐色土+ ロームbk.	略円形	なし	古墳?	扇形土坑?
155	黄褐色土 8層 (ローム)	J~K・ 702m		径104・76, 下径128	黒褐色土+ 炭化物粒+ 黄褐色土粒	略円形 フラスコ状	土器小片, 石	古墳以前 縄文?	
156	黒色土 6層下位	L~M・ 724m		145×100・24	褐色土+焼 土粒	不整形	なし	古墳以前	
157~199は欠番									
200		-					なし		
201		-					なし		
202	黒色土 6層下位	M・ 788m	117住→ 202坑	54×40・33	黒褐色土+ C軽石	楕円形	土器12片, 縄文1,内黒1	古墳以降	
203	黒色土 6層下位	M・ 787m	117住→ 203坑	82×39・44	黒褐色土+ C軽石	不整形	土器7片, 縄文1	古墳以降	
204		-					なし		
205	黒色土 6層下位	M~N・ 786m	117住→ 205坑	40×25・10	黒褐色土+ C軽石	楕円形	なし	古墳以降	

三ツ寺II 4区土坑一覧表 (10)

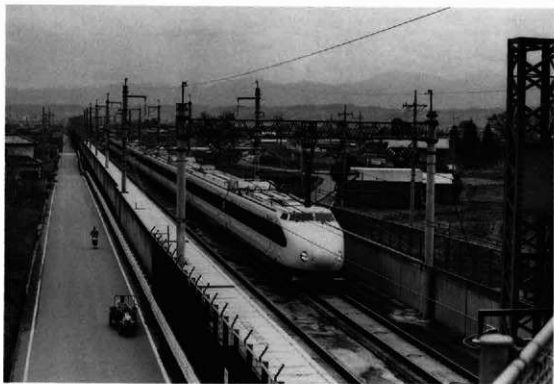
bk. : block, 計測値単位cm, - : 計測不可・不明

番号	埋蔵面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆 土	そ の 他	遺 物	時 期	備 考
206	黒色土 6層下位	M~N・ 786m	117住→ 206坑	66×78・38	黒褐色土+ C軽石	不整形	なし	古墳以降	
207	黒色土 6層	N・ 786m	117住→ 207坑	80×68・24	黒褐色土+ C軽石	楕円形	土器9片, ケズリ壺,外 饅杯	古墳以降	126坑と同
208	黒色土 6層下位	K~L・ 786m	116住→ 208坑	70×56・16	黒褐色土+ C軽石	不整形	なし	古墳以降	
209	黄褐色土 8層	K・ 789m	209坑→ 114住	140×82・16	褐色土+ 軽石	不整形 半掘	なし	古墳以前	
210		-					なし	古墳以降	
211	黄褐色土 5層	N~O・ 770m					土器26片, 模倣杯,短脚 高杯	古墳以降	59坑と同
212		-					土器2片, 須恵器杯		
213	黒色土 6層下位	O・ 777m		158×192・10	-	不整形	なし	古墳以降	11坑と同
214	欠番								
215	黒色土 6層	M・ 754m		113×82・24	灰褐色土+ 軽石	不整形	土器3片, 模倣杯,壺	古墳以降	55坑と同
216	黒色土 6層	M・ 749m		101×88・8	黒色土+C 軽石	不整形	なし	古墳以降	
217	黒色土 6層	M~N・ 749m		150×170・33	黒褐色土+ 軽石		土器5片, 略兜形の内斜 口縁杯,小型 壺	古墳以降 古墳	
218	黒色土 6層下位	O~P・ 742m		165×120・14	黒色土+ 軽石	不整形	なし	古墳以降	
219	黒色土 6層下位	M・ 737m	155住→ 219坑	径110・43	FAbk+黒 色土bk.+軽 石	略円形	土器18片	古墳以降	
220	21住下	M~N・ 765m	220坑→ 21住	150×158・41	黒色土+黄 褐色土粒	不整形	土器41, 模倣杯,外饅 杯	奈良以前 縄文?	
221	40・41住 下	L・ 765m	221坑→40 ・41住	392×290・81	-	不整形	なし	奈良以前 縄文?	
222	黒色土 6層下位	O・ 741m		114×66・12	黒褐色土+ 軽石	不整形	土器3片, 土盤	古墳以降	

番号	確認層	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
2 2 3	34住下 130住下	K~L・ 744m	223坑→ 130住	110×126・65	黒褐色土+ ローム粒	楕円形	石20個, 1416磁石	古墳以前 縄文	
2 2 4	41住下	K~L・ 762m	224坑→ 41住	径65・21	黒褐色土+ ロームbk.	略円形	土器1片, 1417深鉢	奈良以前 縄文	
2 2 5		-					なし		
2 2 6	黒色土 6層下位	N~O・ 730m		径32・25	黒色土+C 軽石	略円形	なし	古墳以降	
2 2 7	黒色土 6層下位	N~O・ 730m		径40・30	灰褐色土	略円形	なし	古墳以降	
2 2 8	黒色土 6層下位	M~N・ 778m		80×72・5	-	楕円形	なし	古墳以降	
2 2 9	117住下	L~M・ 786m	229坑→ 117住	150×82・45	黒褐色土+ 黄褐色土粒	不整形	なし	古墳以前 縄文?	覆土砂質
2 3 0	黒色土 6層下位	M・ 772m		182×138・24	黒褐色土	不整形	なし	古墳以前 縄文?	
2 3 1	黒色土 6層下位	N・ 754m		60×54・21	黒褐色土+ ロームbk.	不整形	なし	古墳以前 縄文?	
2 3 2	黒色土 6層下位	N・ 753m		164×90・15	黒褐色土	不整形	なし	古墳以前 縄文?	
2 3 3	黒色土 6層下位	K~L・ 741m		64×60・	黒褐色土+ ローム粒	不整形	なし	古墳以前 縄文?	
2 3 4	黒色土 6層下位	K~L・ 741m		70×84・5	-	不整形	なし	古墳以前 縄文?	
2 3 5	黒色土 6層下位	I・ 738m		74以上×26以上	黒褐色土+ 軽石	半圓	なし	古墳以前 縄文?	
A	黄褐色土 8層	Q・ 773m		径128・35	-	略円形	なし	古墳以前 縄文?	東側道
B	黄褐色土 8層	Q~R・ 769m		102×116・25	-	不整形	なし	古墳以前 縄文?	東側道

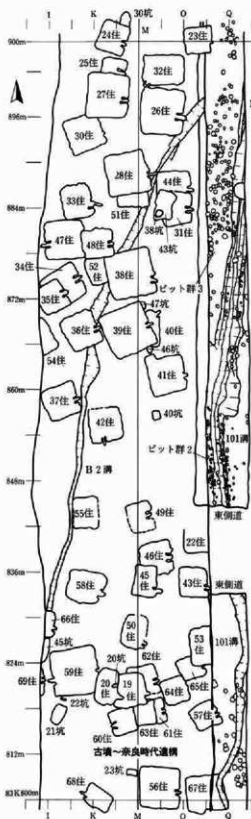


## 5 区 の 遺 構

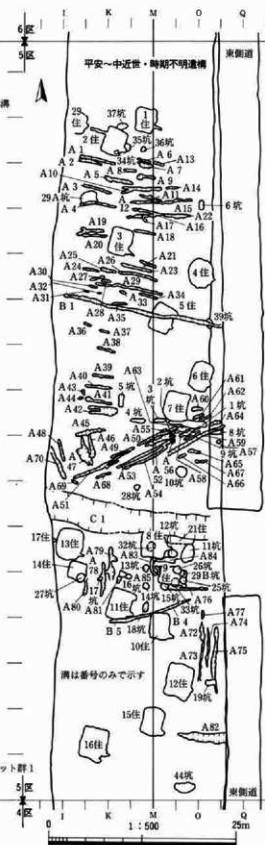


第501図 変貌する沿線(5)群馬町中里の陸橋から南を望む

東海道の新幹線付近は保渡田遺跡、その後方の高まりは三ツ寺田遺跡、さらに後方は三ツ寺II遺跡、三ツ寺I遺跡と続く。斜路の取り付いているところが三ツ寺I遺跡。中央後方は関東山地(高)・若田丘陵(低)。



第502図 5区遺構配置図



## 5 区 の 概 要

大宮を起点とする5区のキロ量は、83km800mから83km900mの範囲である。キロ程827mから838mの東側道部は、側道調査着手時点で生活道路が完成・利用されていたため、調査不可能であった。本区南端のキロ程800m付近、および北端の900m付近では、遺構の分布が連続的であり、それぞれの線上の遺構は調整して便宜的に4区・5区に帰属させた。

5区では下表の遺構を検出した。本区の遺構の重複は4区に比べてやや粗く、数軒の重複がみられるのはキロ程815m付近、830m付近、870m付近の3カ所である。キロ程890m付近から北側は6区以北につながる傾斜面で、本遺跡北側の微高地上に立地する三ツ寺遺跡との中間に位置する低地に連なる。この低地は南西部に広がって、キロ程885mの調査区西端付近に現れる。

上層で検出したA類溝は平行するものが数条のグループをなし、地点によってその走行方向が異なる等のことから、畝跡の可能性が高い。B2号溝は住居との重複関係を見直した結果、調査区内検出の住居よりも古いことが分かった。本遺跡ののる微高地の歴史にとって重要な役割を果たしたと考えられる。101号溝は東側道調査（第二次調査）で検出したもので、覆土に榛名山噴出のFPを多量に含んでいた。出土遺物には8世紀以降のものも含まれる。27号住居は遺物の遺存状態が良好で、セット関係の良い資料を提供している。

本区も、遺構検出状態からみて、さらに新幹線用地外に遺構が広がることが確実である。

表5 5区検出遺構

遺 構	時		代							欠番	小 計
	縄文	弥生	古				奈良	平安	不明		
			前期	中期	後期	(古)*1					
住 居	0	0	0	20	21	4	4**	19	-	1**	69
掘立柱建物											0
ピット群									3	3	0
井 戸											0
溝						3				88	91
土 坑									42	5	47
水 田											0
畝											0

\*1 時期分離できない

\*2 古墳～奈良と推定したもの2軒を含む

\*3 18住=欠番

平面形	長方形, 規模 308×277, 面積 8.5㎡, 壁高 2~8, 長軸方位 N10度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N104度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: 褐色土, 5層下位, 検出位置: M・889m付近
重複関係	: 2 6・2 7住→1住, 覆土: 灰褐色系の土+黄褐色土b k,
壁	: 浅い, 床面: プラン検出範囲よりも内側で検出, やや軟弱
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 袖部遺存不良, 煙道部約100cm検出, 燃焼部は壁の内面にある, 燃焼部から土器小片出土
貯蔵穴	: 床面で検出なし, 南東隅土坑または南西隅土坑か?
掘形	: 第1~4土坑検出, 第2・4土坑は上層に黄白色土が入り灰が混じる, 北東部は凹凸著しい
その他	: 北辺・南辺は掘りすぎか?
遺物	: 土器21片, カマド内から土師質羽釜底部片出土, 南辺東寄り掘形から18cm大の直方体の石出土, 1281 (灰軸陶器柄)
時期	: 平安, 10世紀後半~11世紀



第503図 5区1号住居跡遺物出土状態 (西から)

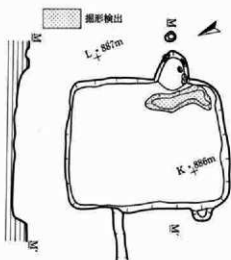
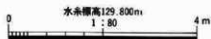
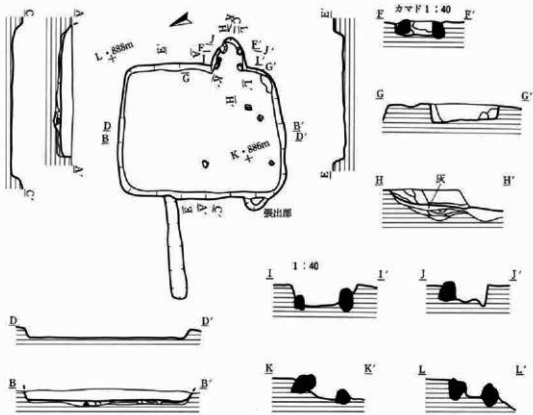
三ツ寺II 5区 2号住居跡(第504・722図, 図版331)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	台形, 規模 336×282, 面積 10.0㎡, 壁高 15~28, 長軸方位 N22度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N123度E, 構築材 粘土・石・土器?, 支那 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位
検出位置	Rライン・886m付近
重複関係	30住→2住
覆土	土: 灰褐色系の土+黄褐色土bk,
壁	: 斜めに立ち上がる
床面	: 粘土, 平垣
主柱穴	: -
壁溝	: -
カマド	: 右袖部遺存不良, 燃焼部両壁に石を据える, 表壁にも石2個を据える, 南半に散乱する石はカマド構築材か?
貯蔵穴	: -
掘形	: カマド前に140×40・深さ7ほどの不整形掘り込み検出
その他	: 西辺南寄りに径55・深さ8の掘り込み検出
遺物	: 土器20片, カマド内から羽釜口縁部出土。
	1321
時期	: 平安, 10世紀



第504図 5区2号住居跡遺物出土状態(西から)



第505図 5区2号住居跡

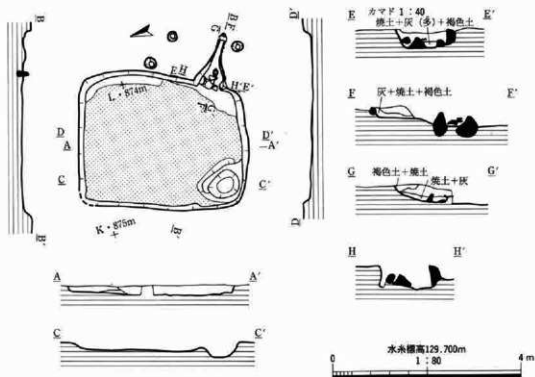
三ツ寺II 5区 3号住居跡 (測506・7228, 図版332)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	長方形、規模 360×281、面積 10.1㎡、壁高 10~18、長軸方位 N17度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り、対称軸方位 N121度E、構築材 粘土・石・土器?、支脚 石
貯蔵穴	位置 南西隅、平面形 不整形、上ノ径×54、下ノ径×30、深さ 15
その他 (状況の記録)	
確認面	略褐色土、5層下位、検出位置: K~Lライン・873m付近
重複関係	4 8住→3住、覆土: 灰褐色系の土+黄褐色土b k.
壁	斜めに立ち上がる、浅い、床面: 壁際の底面は一部黒色土が露出し軟弱、粘球
主柱穴	-、壁溝: -
カマド	燃焼部は住居壁ラインから突出する。壁ラインに20~30cm大の石出土、右袖部の石は据えた状態 で出土。燃焼部中央に15cm大の細長い石を据えて支脚とする。煙道部約70cm検出、煙道先端部に 羽釜底部片をのせる。燃焼部から羽釜口縁部出土
貯蔵穴	中央部側は土手状にやや高い、土器片出土
掘影	やや軟弱、掘影から見高期の土器出土、その他: 北西隅は掘りすぎ
遺物	土器110片、カマド内から土師管羽釜口縁部出土、覆土から須恵器壺?・羽釜底部出土、 1231 (土師貫杯)
時期	平安、10世紀



第506図 5区3号住居跡遺物出土状態(西から)



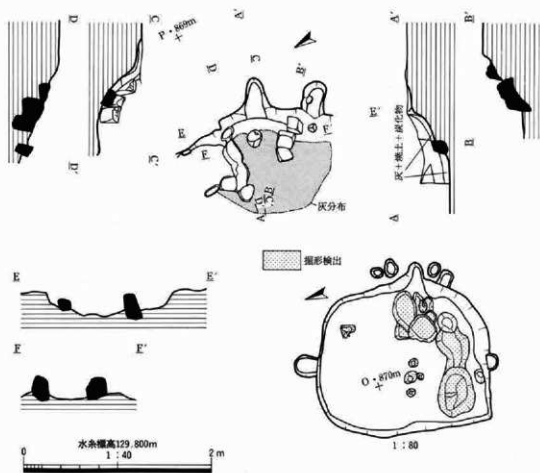
第507図 5区3号住居跡

三ツ寺II 5区 4号住居跡 (第508・722図, 図版333・512)

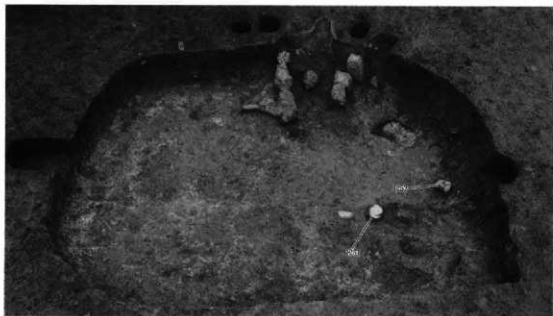
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	略楕円形, 規模 371×315, 面積 9.2m <sup>2</sup> , 壁高 33~45, 長軸方位 N12度E
壁	不明
支柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N117度E, 構築材 粘土・石, 支脚 石
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上バ51×35, 下バ19×12, 深さ 16
その他 (状況の記録)	
確 認 面	暗褐色土, 5層
検 出 位置	Oライン・869m付近
重 複 関 係	-
覆 土	灰褐色茶の土, レンズ状堆積
壁	斜めに立ち上がる
床 面	貼床, 細かい凹凸あり, 壁際凹凸
主 柱 穴	-
壁 溝	-
カ マ ド	20~30cm大の石数個で袖部を形成する, 右袖基部は直方体に加工した石を使用, 燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部中央から丸味のある石出土 (支脚?), 左袖端出土の細長い石が支脚か?
貯 蔵 穴	掘り込み不明確
掘 形	小ビット状の凹凸あり
その他: 南西隅は掘りすぎ, 楕円形に近いプランは例が少ない, 隅丸長方形か?	
遺 物	土器216片・石1個, 覆土から土師器コの字口縁の甕・須恵器折曲口縁甕・大型変型部出土, カマド左袖端から20cm大の細長い石出土, 1251 (須恵器杯, 床面)・1252 (土師器杯, 床面)
時 期	平安, 9世紀



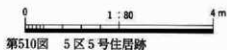


第508図 5区4号住居跡

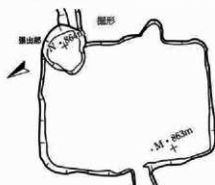


第509図 5区4号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	長方形, 規模 361×287, 面積 10.4㎡, 壁高 2~12, 長軸方位 N25度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N123度E, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: M~Nライン・863m付近
重複関係	39・40住→5住→B1溝, 覆土: 灰褐色系の土
壁	: 浅い, 床面: 粘床, 平坦
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 袖部遺存不良, 築土分布のみ, 貯蔵穴: -
掘形	: 南西部から土器片出土
その他	: 北東隅で100×90・深さ5ほどの不整形掘出部検出
遺物	: 土器115片, 床面近くから土師質杯底部・羽釜口縁部・二次火焼を受けた高台付出土, 遺物区掲載なし
時期	: 平安



第510図 5区5号住居跡

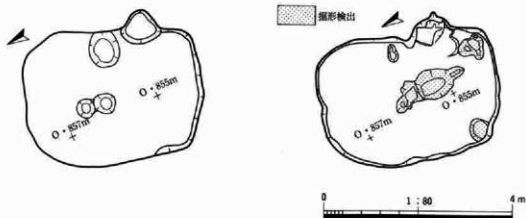


第511図 5区5号住居跡遺物出土状態 (西から)

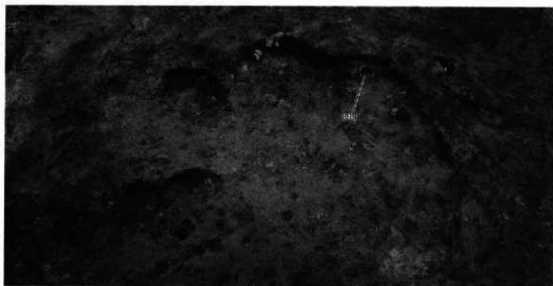
三ツ寺江 5 区 6号住居跡 (第512・722図, 図版335)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	隅丸長方形, 規模 (380) × (280), 面積 (10.6) m <sup>2</sup> , 壁高 12以下, 長軸方位 N91度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
礎 礎 面	: 暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Oライン・856m付近
重複関係	: 41住→6住, 覆 土: 灰褐色系の土
壁	: 浅い, 北半は床面範囲のみ検出, 床 面: 粘床不明確, 掘形面に近いかな?
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 遺存不良, 燃焼部から土器片出土, 貯蔵穴: カマド左脇の掘り込みかな?
掘形	: カマド前中央部・南東隅で不整形土坑検出, 南西隅で径45・深さ14の土坑産
その他	: 全体に遺存不良のため詳細不明
遺物	: 土器86片, 南東隅付近から土師貫小皿出土, カマド付近から羽釜底部 (外底「×」ヘラ記号?) 出土, 覆土から須恵御薬体部片・鉄滓1個出土, 1213 (高台付碗, 内底炭化物, 南東隅)
時期	: 平安, 11世紀

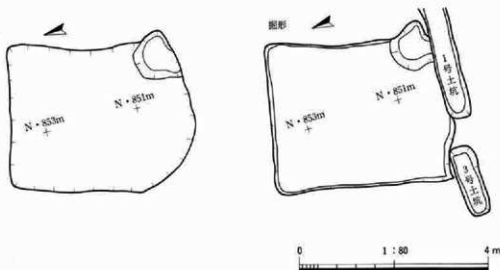


第512図 5区6号住居跡



第513図 5区6号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	不整形, 規模 (390)×(300), 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 南東隅?, 対称軸方位 -, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	増褐色土, 5層下位
重複関係	41住→7住→1坑・A類溝
壁	-
主柱穴	-
カマド	南東隅土坑はカマド前掘り込みか?
掘形	-
遺物	土器156片, 土坑内から須恵器罎付簍・羽釜出土, 遺物図掲載なし
時期	平安



第514図 5区7号住居跡

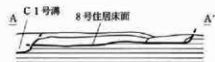


第515図 5区7号住居跡遺物出土状態 (西から)

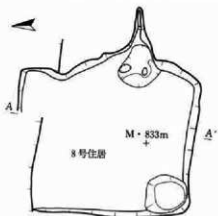
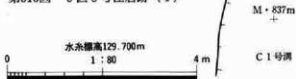
三ツ寺II 5区 8号住居跡 (第516・722回, 図版336・512)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

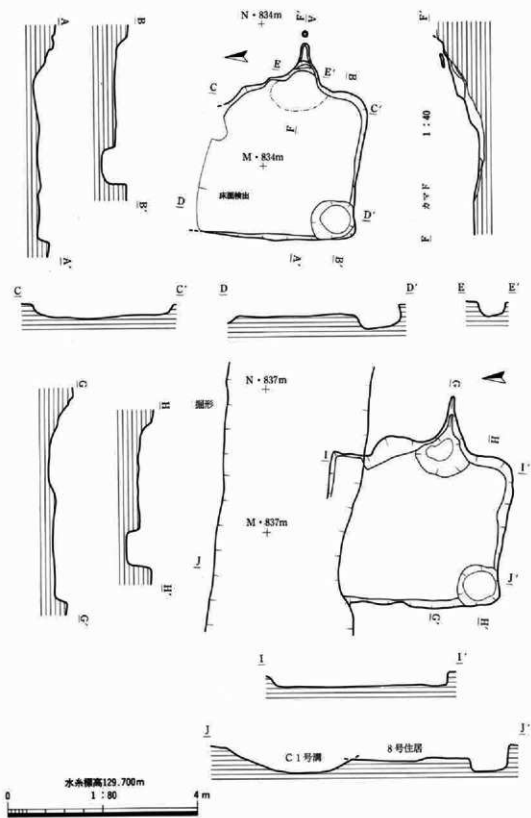
平面形	方形〜長方形, 規模 東西340×南北320以上, 面積 - , 壁高 16~28, 長軸方位 -
壁 溝	不明
支柱穴	不明
カマド 位置	東辺, 対称軸方位 N96度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴 位置	南西隅, 平面形 略円形, 上ノ径90×78, 下ノ径63×60, 深さ 35
その他 (状況の記録)	
確認 面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Mライン・834m付近
重複関係	40・49住→8住→C1溝, 覆土: 褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる, 北東部不明確, 床 面: 粘床, 平坦, 北側は溝により破壊
支柱穴	- , 壁 溝: -
カマド	袖部遺存不良, 燃焼部奥壁に段がある, 煙り出し小ビット検出
貯蔵穴	東側上ノ近くで土器出土, 掘形: カマド前張り込み検出, 北辺の一部? 検出
その他	-
遺物	土器48片・石2個, 貯蔵穴から土師質高台付検出土, カマド付近から土釜破片・羽釜破片・須恵器妻破片出土
	1177 (土師質杯, 外底静止糸切り)・1178 (灰釉陶器高台付皿, 中央床面)
時期	平安, 11世紀前半



第516図 5区8号住居跡(1)



図版336 5区8号住居跡土器出土状況 (1) (わかる)



第518图 5区8号住居跡(2)

三ツ寺II 5区 9号住居跡 (第519・722図, 図版337・512)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 370×241, 面積 8.9㎡, 壁高 19~37, 長軸方位 N99度E	
壁 溝	不明	
主柱穴	不明	
カマド	位置 南東隅, 対称軸方位 N134度E, 構築材 粘土・石?・土器?, 支脚 不明	
貯蔵穴	不明	
その他 (状況の記録)		
確 認	面: 暗褐色土, 5層下位	検出位置: Nライン・820m付近
重 複	関係: 45住・46住・29B坑→9住→25坑・26坑・A76溝・A85溝	
覆 土	土: 黒褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる	
床 面	面: 貼床, 平坦, 主柱穴: -	
壁 溝	溝: -	
カ マ ド	燃焼部・煙道は斜めに突出する, 燃焼部右壁際から須恵器大型壺破片出土, カマド前は土坑に より破壊, 奥壁は斜めに立ち上がる	
貯 蔵 穴	穴: -	
掘 形	形: 中央部石の南側で不整形土坑検出, 北東隅で29号土坑検出	
そ の 他	: 小型長方形のプラン, 類例は少ないが4区33号住居は同様のプランか?	
遺 物	: 土器115片・石2個, カマド内から須恵器大型壺体部片出土, 中央部床面から土師質高台付碗底部 出土, 中央部の石には煤付着, 1175 (土師質杯, カマド)・1176 (土釜, カマド他)	
時 期	: 平安, 11世紀前半	



第519図 5区9号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	長方形, 規模 338×262, 面積 8.9㎡, 壁高 12~24, 長軸方位 N6度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 南東隅, 対称軸方位 N101度E, 構築材 粘土・石・土器?, 支脚 石
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層
検出位置	M~Nライン・823m付近
重複関係	S0住→B5溝→?10住
覆土	土: 褐色系の土+黄褐色土粒子
壁	: 直に近い
床面	面: 粘床, 平坦
主柱穴	: -
壁溝	: -
カマド	: 20~40cm大の石を積み上げて構築する, 右袖部には大型土器の破片も使う, 燃焼部中央に石を据えて支脚とする, 燃焼部は住居東壁ラインから直角方向に突出する, 煙り出し部検出
貯蔵穴	: -
貯蔵形	形: 下層住居の一部プラン検出
その他	南辺東寄りです径20・深き5の浅いピット検出
遺物	土器357片, 覆土から小皿2枚出土, 床面近くから須恵器高台付検・羽釜口縁部出土, 南辺東寄りから須恵器壁底部出土 (砂底, 正立状態), 1157・1158・1159
時期	期: 平安, 11世紀後半



第520図 5区10号住居跡のカマド(西から)

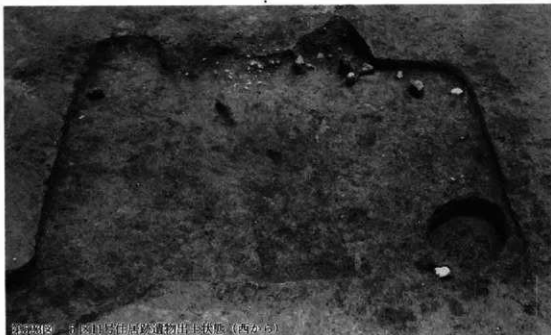


第521図 5区10号住居跡の遺物出土状態(西から)





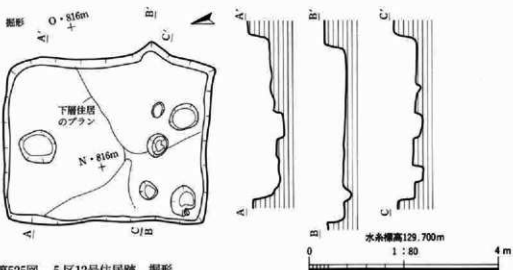
平面形	長方形, 規模 390×295, 面積 (11.5) m <sup>2</sup> , 壁高 3~11, 長軸方位 N21度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺南寄り, 対称軸方位 N120度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明
貯蔵穴 位置	南西隅, 平面形 不整形円形, 上径78×66, 下径67×46, 深さ 20
その他 (状況の記録)	
確認 面	暗褐色土, 5層
検出位置	K~Lライン・826m付近
重複関係	5・8住→11住→B5溝・A79溝
覆 土	黒褐色系の土
壁	浅い
床	貼床, 平里
主柱穴	-
壁 溝	-
カマド	遺存不良, 10~15cm大の石数個出土, 左脇では壁層露出
貯蔵穴	南西隅第1土坑
掘 形	中央部くぼむ
その他	北東隅で径80・深さ10前後の強出部検出, 北西隅はA79溝により破壊
遺 物	土器43片・石2個, 南東隅床面から須恵器甕体部片出土, 覆土から土師質小皿・高台付杯 (内黒) 出土, 1232に重なる小皿は同定できず, 1232・1233
時 期	平安, 11世紀前半



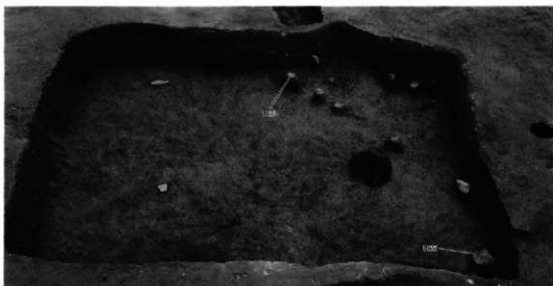
三ツ寺II 5区 12号住居跡 (第525・723図, 図版340・512)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 424×350, 面積 14.8㎡, 壁高 28~44, 長軸方位 N15度E
壁 構	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認 面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Nライン・815m付近
重複関係	6 2住・6 4住・6 5住→1 2住, 覆 土: 褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる, 床 面: 粘灰, 平坦
主柱穴	-, 壁 溝: -
カマド	軸部未検出, 遺存不良, 半径130cmほどの範囲に焼土・灰が分布, 奥壁はわずかに住居壁外に出る
貯蔵穴	-, 掘 影: 土坑敷基検出, 下層住居プランの一部検出
その他: 中央南寄りの土坑は上層からの掘り込み	
遺 物	土器353片, 覆土から土釜底部・土師貫羽釜・高台付碗出土, 接合しない刀子破片あり, 0687 (刀子茎, 覆土)・1122・1123・1124 (灰釉陶器高台付皿, 覆土)
時 期	平安, 11世紀前半



第525図 5区12号住居跡 掘形

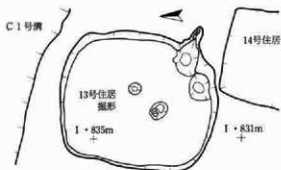
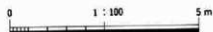


第526図 5区12号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	隅丸長方形。規模 419×355。面積 (14.9) m <sup>2</sup> 。壁高 9~32。長軸方位 N12度E
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り。対称軸方位 N111度E。構築材 粘土・石。支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土。5層下位
検出位置	1~Jライン・834m付近
重複関係	B2溝→13住
覆土	灰褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる
床面	貼床。平坦
主柱穴	-
壁	溝 -
カマド	袖部遺存不良。燃焼部はわずかに住居壁より突出する。カマド前床面に灰が分布。燃焼部から石・土器片出土。煙道部長さ約40cm検出
貯蔵穴	-
掘形	細かい凹凸検出
その他	全体に丸味のあるプラン
遺物	土器73片・石1個。カマド前左の床面から土師質小皿破片出土。カマド内から土盤破片出土。火を受けた石出土。遺物図掲載なし
時期	平安

第527図

5区13号住居跡 掘形



第528図 5区13号住居跡遺物出土状況 (西から)

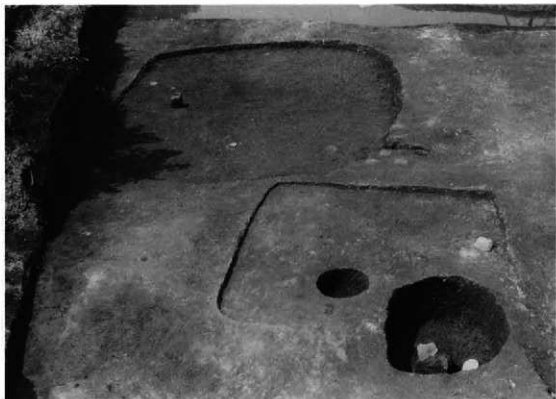
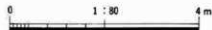
三ツ寺II 5区 14号住居跡 (第529図, 図版342)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 242×225, 面積 (5.4) m <sup>2</sup> , 壁高 3~8, 長軸方位 N106度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 南東隅?, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
壁 面	暗褐色土, 5層下位
検出位置	1~Jライン・830m付近
重複関係	B2溝→14住→27坑
覆 土	黒褐色系の土+軽石
壁 溝	浅い
床 面	平坦
主 柱 穴	-
壁 溝	-
カ マ ド	27号土坑により破壊, 詳細不明
貯 蔵 穴	-
掘 形	-
そ の 他	規模がとくに小さい, 27号土坑出土の遺物は本住居のものか?
遺 物	土器21片, 覆土から椀器杯小片・外椀杯小片・灰釉陶器碗口縁部出土, 遺物図掲載なし
時 期	平安

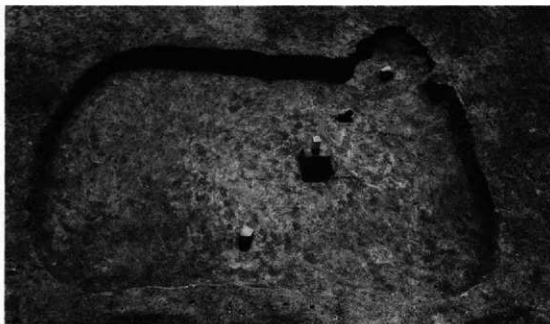
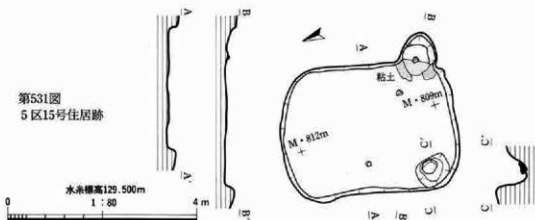
第529図

5区14号住居跡 掘形



第530図 5区14号住居跡遺物出土状態 (南から)

平面形	隅丸長方形, 規模 373×264, 面積 (9.8) m <sup>2</sup> , 壁高 15~20, 長軸方位 N15度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 南東隅, 対称軸方位 N123度E, 構築材 粘土, 支脚 石?
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 略楕円形, 上ノ69×58, 下ノ46×46, 深さ 39
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位
検出位置	Mライン・810m付近
重複関係	1 9住・6 0住・6 1住→1 5住
覆土	黒褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる
床面	粘土, 平坦, 細かい凹凸あり
主柱穴	-
壁溝	-
カマド	煙突部は住居壁外へ突出する, 袖部の痕跡らしき粘土が薄く逆ハの字状に分布, 粘土分布の内側で中央の石の西側に炭化物分布
貯蔵穴	下層床面で検出, 30cm大の石出土
屋形	-
その他	全体に丸味のあるプラン
遺物	土器312片, 覆土から須恵製甕底部・土師貫土器高台付甕出土, 遺物図掲載なし
時期	平安



第532図 5区15号住居跡遺物出土状態 (西から)

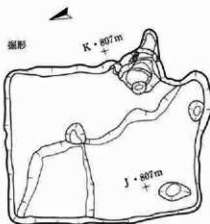
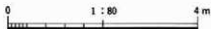
三ツ寺II 5区 16号住居跡 (第533図, 図版344)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形、規模 400×340、面積 13.6㎡、壁高 16~33、長軸方位 N17度E
壁 溝	不明
支柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り、対称軸方位 N122度E、構築材 粘土・石?、支脚 石?
貯蔵穴	位置 南辺東寄り、平面形 楕円形、上ノ54×33、下ノ21×13、深さ 22
その他 (状況の記録)	
確 認	面：暗褐色土、5層下位、検出位置：J~Kライン・806m付近
重複関係	：-、覆 土：褐色系の土+軽石
壁	：斜めに立ち上がる、床 面：粘床、平埴、壁直下は軟弱
支柱穴	：-、壁 溝：-
カマド	：燃焼部は住居壁外へ突出する、袖部未検出、燃焼部中央で小石出土、カマド前で20cm大の石出土
貯蔵穴	：底面も楕円形を呈する、小皿
掘 形	：西半は不整形に落ち込む、カマド燃焼部はくぼむ
その他	：南東隅はやや突出
遺 物	：土器69片・鉄滓1個、覆土から土釜口縁部・土師質高台付椀底部出土、遺物区間概なし
時 期	：平安

第533図

5区16号住居跡 掘形



第534図 5区16号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁	不明
支柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南辺?, 平面形 円形~楕円形, 上 $\times$ 45 $\times$ 43以上, 下 $\times$ 432 $\times$ 38以上, 深さ 4
その他 (状況の記録)	
確認面	: 暗褐色土, 5層下位
重複関係	: 17住 $\rightarrow$ ?13住
壁	: -
支柱穴	: -
カマド	: 焼土分布範囲のみ検出
掘影	: -
遺物	: 土器3片, 羽釜口縁部出土, 1282 (土師質高台付碗, 貯蔵穴)
時期	: 平安, 10世紀後半
検出位置	: H~Iライン $\cdot$ 834m付近
覆土	: 灰褐色系の土
床面	: -
壁溝	: -
貯蔵穴	: 調査区壁にかかって検出, 半掘
その他	: 確認時点で殆ど削平, プラン未検出

## 三ツ寺II 5区 18号住居跡

欠番

第535図  
5区17号住居跡

第536図 5区17号住居跡遺物出土状態 (東から)

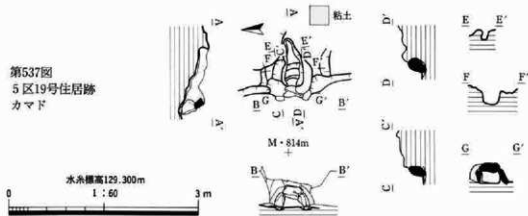


三ツ寺II 5区 19号住居跡 (第537・723回, 図版345)

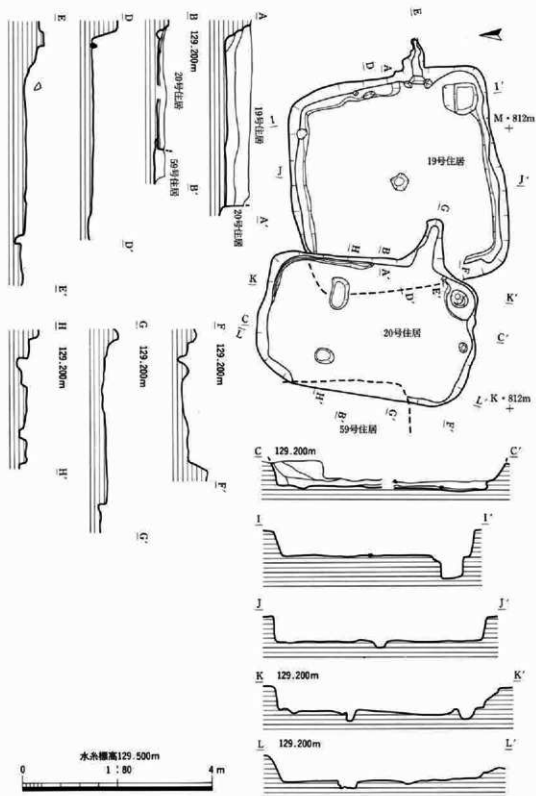
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形 (方形), 規模 南北432×東西450前後, 面積 - , 壁高 38~56, 長軸方位 -	
壁 溝 幅 20, 深さ 2	
主柱穴 不明	
カマド 位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N89度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明	
貯蔵穴 位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バ49×68, 下バ34×47, 深さ 46	
その他 (状況の記録)	
確認 面: 暗褐色土, 5層下位~6層	検出 位置: Mライン・814m付近
重複 関係: 6 2住→1 9住→2 0住	層 土: 暗褐色系の土+礫石
壁: 斜めに立ち上がる, やや深い	床 面: 黄褐色土面に達する, 堅く締まる
主 柱 穴: -	壁 調: 東辺南半を除き検出内全周
カマド: 両袖先端部に石を据え粘土で固める, 焚口天井部にも横長に石を乗せる, 奥壁は階段状を呈す, 熱放部は住居壁ライン上にある	
貯 蔵 穴: 壁は直線的に掘り込む	掘 形: 西半の凹凸著しい
そ の 他: 西辺は2 0号住居により破壊, 北西隅未検出, 略方形プランか?, 中央部に不整形掘り込み検出	
遺 物: 土器351片, カマド前床直上から土師器短脚高杯出土, 覆土から横椀杯・小型甕出土, 1154・1155	
時 期: 古墳中期, 5世紀末	

第537図  
5区19号住居跡  
カマド



第538図 5区19号住居跡遺物出土状態 (西から)

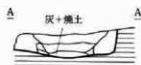


第539图 5区19・20号住居跡

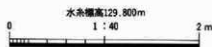
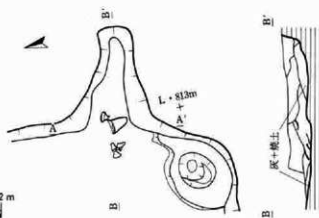
三ツ寺II 5区 20号住居跡 (第539・723図, 図版346)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	隅丸長方形, 規模 475×277, 面積 13.2㎡, 壁高 11~53, 長軸方位 N10度E	
壁溝	幅 10, 深さ 3	
主柱穴	不明	
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N11度E, 構築材 粘土, 支脚 不明	
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 横円形, 上径41×33, 下径11×12, 深さ 20	
その他 (状況の記録)		
礎石	面: 暗褐色土, 5層下位~6層	検出位置: K~Lライン・814m付近
重複関係	19住→20住, 59住→20住	覆土: 褐色系の土+黄褐色土b k,
壁	: 立ち上がり不明確な部分あり	床面: 細かい凹凸あり, 貼床
主柱穴	-	壁溝: 北東部のみ検出
カマド	: 燃焼部は住居壁ラインにのる煙道・燃焼部から土器器壁破片出土	
貯蔵穴	: 土手状に床面より高い部分がある, 掘形: 黄褐色土面に達する	
その他	: 上層の略方形の埋り込みは住居プランの誤謬による	
遺物	: 土器297片, 南西部床面近くから須恵器壁筒部出土, 覆土から外段杯出土, 1120・1121	
時期	: 古墳後期, 7世紀前半	



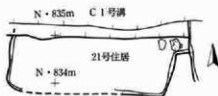
第540図  
5区20号住居跡



第541図 5区20号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	方形～長方形、規模 東西346、面積 -、壁高 14～24、長軸方位 -
壁溝	不明
支柱穴	不明
カマド	位置 東辺、対称軸方位 -、構築材 粘土・石、支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土、5層下位、検出位置: N-Oライン・835m付近
重複関係	21住→C1溝、灌土: 灰褐色系の土
壁	浅い、床面: 痕跡程度
支柱穴	-、壁溝: -
カマド	北東部で火を受けた20～30cm大の石出土、この石を中心に焼土粒子が散布、遺存不良
貯蔵穴	-、掘形: -
その他	大半はC1号溝により破壊、南平著しい、詳細不明
遺物	土器99片、小型燧石片出土、
	1174 (土蓋または羽蓋)
時期	平安

第542図  
5区21号住居跡



第543図 5区21号住居跡遺物出土状態 (西から)

三ツ寺II 5区 22号住居跡 (第544・724図, 図版347)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

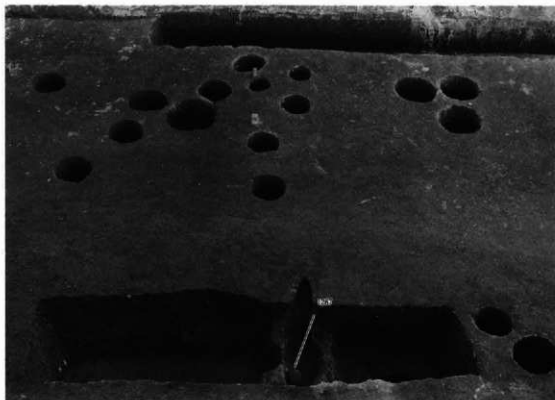
平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 12~24, 長軸方位 -		
壁 調	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
礎 礎 面	: 暗褐色土, 5層下位	検出位置	: O~Pライン・833m付近
重複関係	: 22住→C1溝	覆 土	: 黒褐色系の土
壁	: 浅い	床 面	: 粘土, やや軟弱
主 柱 穴	: -	壁 溝	: -
カ マ ド	: -	貯 蔵 穴	: -
鑑 形	: -		
そ の 他 : 南西隅を検出したのみ, 南辺298・西辺285, 北側はC1号溝により破壊, 東側は調査区外, 遺存不良で詳細不明			
遺 物 : 土器65片・石1個, 覆土から双孔帯石製品・半球杯・高杯杯部出土, 1253 (土器器半球杯)			
時 期 : 古墳中期, 5世紀末			

第544図  
5区22号住居跡



第545図 5区22号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	長方形, 規模 南北341×東西364, 面積 12.4㎡, 壁高 37~53, 長軸方位 N88度E				
壁 測 幅	8, 深さ 2				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	20	18×25	13×12	14×16	1-2 : 138, 2-3 : 136
下バ径	11	5×3	10×6	7	3-4 : 148, 4-1 : 140
深 さ	23	20	18	29	
カマド 位置	東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N96度E, 構築材 粘土, 支脚 土器?				
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 隅丸方形, 上バ51×52, 下バ27×24, 深さ 56				
その他 (状況の記録)					
確 認 面	黒色土, 6層			検出位置 : O~Pライン・900m付近	
重 複 関 係	-			覆 土 : 灰褐色系の土+軽石	
壁	直に近い			床 面 : 黄褐色土面に塗する, 壁く縛まる	
主 柱 穴	ピット1底面には石あり			壁 溝 : 南辺のみ検出, 西辺・北辺は小ピットの連続	
カ マ ド	二次調査 (東側道調査) で検出, 燃焼部は住居壁ラインの内側にある, 燃焼部から土器出土				
貯 蔵 穴	底面は長方形, 深い			形 形 : 凹凸著しい, 小ピット多数検出	
そ の 他 : 南西隅・南辺東寄りで浅い掘り込み検出, 東寄りピット内から土器器底出土					
遺 物	土器8片, カマド付近から内斜杯・横俵杯出土, 1109・1266・1267・1268				
時 期	古墳中期, 5世紀末				



第546図 5区23号住居跡遺物出土状態 (西から)

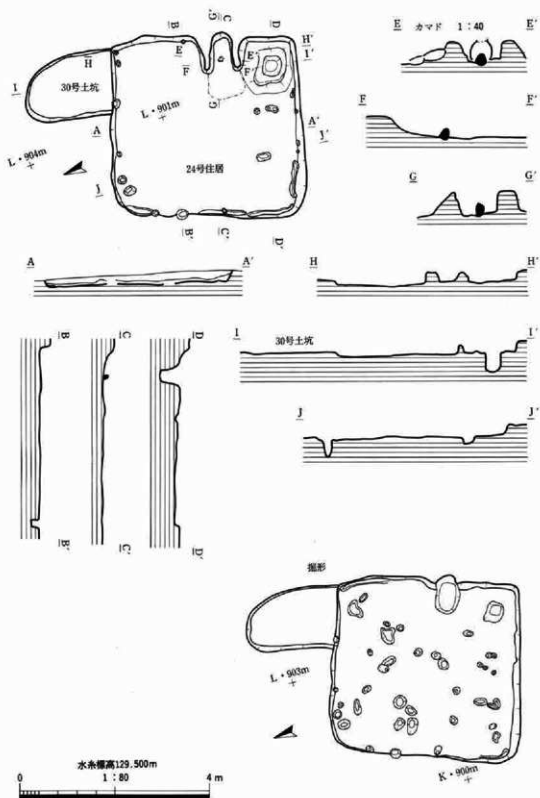
三ヶ寺II 5区 24号住居跡 (第547・724区, 図版350・513)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北405×東西373, 面積 15.1㎡, 壁高 8~25, 長軸方位 N21度E
壁 溝 幅	10, 深さ 1~3
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺中央やや南, 対称軸方位 N110度E, 構築材 粘土・石, 支脚 石
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 方形, 上ノ41×43, 下ノ23×23, 深さ 42
その他 (状況の記録)	
確認 面	黒色土, 6層, 検出位置: Lライン・900m付近
重複関係	24住→30坑, 覆土: 黒褐色系の土+軽石
壁	浅い, 床面: 中央部ややくぼむ
主柱穴	壁溝: 西半は壁溝が断続する
カマド	燃焼部は住居壁ラインの内側にある, 燃焼部中央に壁が懸かりその上から杯出土。 左袖端から小型壺口縁部+瓶が立て掛けられたような状態で出土, 右袖基部端から口縁部を下にした 壺が出土, 燃焼部中央に石を据え支脚とする
貯蔵穴	南北60・東西75の略長方形の範囲に2~3cmの深さのくぼみあり, この回りは土手状に高まり がある, 周辺に向かって低くなる
掘形	凹凸著しい, 小ビット多数検出, その他: 北西部遺存不良
遺物	土器48片, 覆土から内斜口縁杯・小型壺口縁部出土, 略完形の高杯を除き土器片は南半で多く 出土している。 1284・1285・1286・1287・1288・1289・1290
時期	古墳中期, 5世紀末



第547図 5区24号住居跡遺物出土状態 (西から)



第548図 5区24号住居跡



三ツ寺II 5区 25号住居跡 (第549・725図, 図版351・514)

計測値単位cm, - : 計画不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 東西319×南北205以上, 面積 -, 壁高 9～15, 長軸方位 -		
壁 溝	幅 9, 深さ 10		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	15×17	22×23	1-2 : 133
下バ径	8	6	
深さ	11	12	
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N105度E, 構築材 粘土, 支脚 石		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
礎 礎	面: 黒色土, 6層		検出位置: Lライン・896m付近
重複関係	25住→27住→1住		覆 土: 灰褐色系の土+軽石
壁	: 浅い		
床	面: 細かい凹凸あり, 黄褐色土面に達する, 堅く締まる		
主 柱 穴	: 南半は不明		壁 溝: 北辺東寄り・西辺の掘形調査で検出
カ マ ド	: 南半は27号住居跡により破壊, 燃焼部は住居壁クインの内側にあり, 奥壁近くから灰・壁の破片出土, 土器の下から細長い石出土 (支脚), 右袖部わずかに遺存		
貯 蔵 穴	: -		壘 形: 小ピット検出, 凹凸あり
そ の 他	: 西辺のピットの深さ20cm, 西辺205・北辺305・東辺180, 中央部床面に石が数個散布		
遺 物	: 土器76片, 中央部床面から甕・鉢破片出土, カマド内から甕口縁部出土, 覆土から内斜杯出土, 北西隅床面から10～20cm大の細長い石が9個集中して出土, 1277・1278 (壘, カマド左)		
時 期	: 古墳中期, 5世紀末		

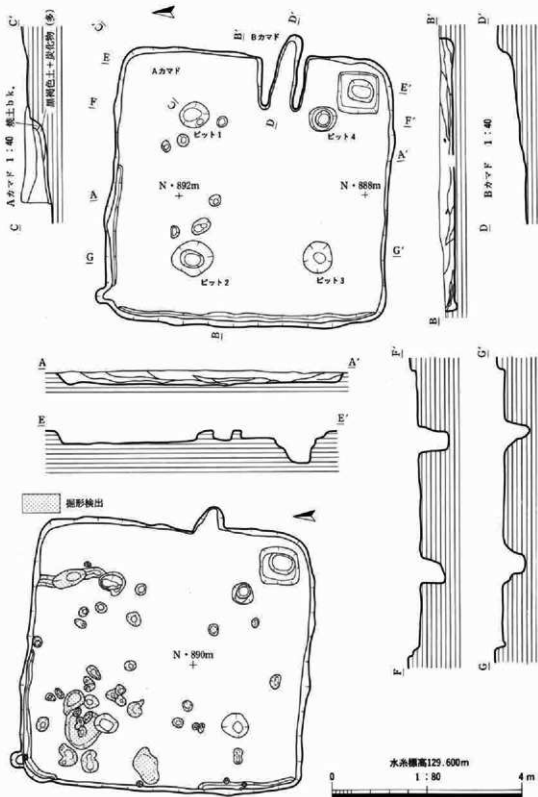


第549図 5区25号住居跡カマド遺物 (西から)

平面形	長方形, 規模 南北590×東西572, 面積 33.7㎡, 壁高 13~31, 長軸方位 N3度E				
壁 溝	幅 9~15, 深さ 2~6				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ心心)
上バ径	60×54	85×75	63×65	58×52	1-2 : 303
下バ径	39×27	33×25	25×20	23×24	2-3 : 272
深さ	54	47	51	65	3-4 : 290
					4-1 : 283
カマド 位置	Aカマド : 北東隅, 焼土・炭化物を検出したのみ, Bカマド : 東辺中央やや南, 対称軸方位 N104度E, 構築材 粘土, 支脚 不明,				
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 方形・楕円形, 上バ88×88, 下バ40×23, 深さ 53				
その他 (状況の記録)	確認 面 : 黒色土, 6層 検出 位置 : M~Oライン・890m付近 重複 関係 : 26住→1住 覆 土 : 黒褐色系の土 壁 : 直に近い 床 面 : 貼床, 細かい凹凸あり, 堅く締まる 主 柱 穴 : 4本検出, ビット4は二段に掘り込む 壁 溝 : 北辺~西辺で検出 カ マ ド : Aカマド : 破壊され詳細不明 Bカマド : 燃焼部は住居壁の内側にある, 中軸線方向は西辺と直角をなさない, 当初掘り下げ不足のためカマド調査不十分, 右袖脇から土器, 煙道は壁外へ延びる 貯 蔵 穴 : 二段, 上面方形・内部楕円形, 中段の深さは約16~20cmある 掘 形 : 凹凸著しい, 小ビット多数検出, 不整形ビット検出 そ の 他 : 当初の掘り下げ不足のため遺物番号混乱か? 遺 物 : 土器911片, 大型楕円鉢部・短脚高杯・小型壺底部・模倣杯・内黒杯出土, 覆土から丸胴壺出土, 床面近くから多量に出土しているが出土地点と遺物とが照合不能, 取り上げ番号に混乱あり, 1299・1300・1301・1302 (須恵器蓋)・1303・1304・1305 (滑石製紡錘車) 時 期 : 古墳後期, 6世紀前半				



第550図 5区26号住居跡遺物出土状態 (西から)



第551図 5区26号住居跡

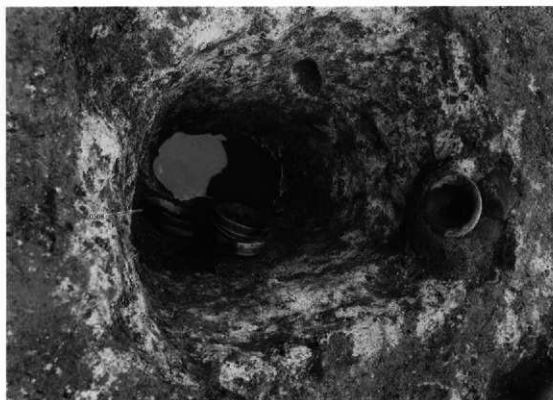
平面形	長方形, 規模 南北579×東西541, 面積 31.3㎡, 壁高 14~28, 長軸方位 N5度E				
壁溝	幅 9~17, 深さ 3~8				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノハ中心)
上ノハ径	48×39	50×43	42×26	40×25	1-2 : 306
下ノハ径	10×12	22×20	16×22	12×5	3-4 : 302
深さ	50	52	55	23	4-1 : 311
カマド	位置 東辺中央やや南, 対称軸方位 N93度E, 構築材 粘土, 支脚 石				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上ノハ61×82, 下ノハ28×44, 深さ 46				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層		検出位置: K~Lライン・893m付近		
重複関係	25住・30住→27住→1住			覆土: 褐色系の土	
壁	直に近い				
床	面: 粘床, 堅く締まる				
主柱穴	4本検出, ビット1・4は二段に掘り込む				
壁溝	カマド周辺を除き全周				
カマド	周辺に遺物が遺存, 燃焼部は住居跡の内側にある, 燃焼部中央に石を据えて支脚とする				
貯蔵穴	底面も長方形, 壁は直線的に掘り込む, 掘形: 小ビット検出, 細かい凹凸あり				
その他	遺物の遺存良好, 南西隅がやや張り出す, 北西隅壁溝内に小ビット検出, 西辺北寄りて床溝検出				
遺物	土器534片・石1個, 多量の遺物が出土した, 覆土から内斜口縁杯・鉢出土, 18cm大の石5個出土, 南西隅・カマド右袖基部・南東隅付近から板状・棒状の炭化物出土,				
	0505・0506・0507・0508・0509・0510・0511・0512・0513・0514・0515・0516・0517・0519・0520・0521・0522・0523・0524・0525・0526・0527・0528・0529・0530・0531・0532・0533・0534				
時期	古墳後期, 6世紀前半				



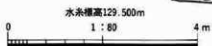
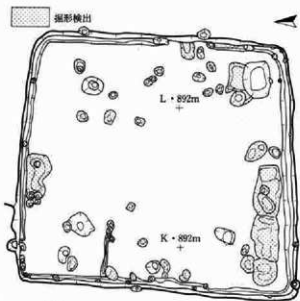
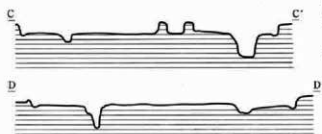
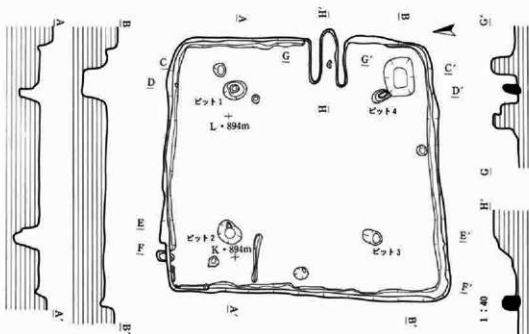
第552図 5区27号住居跡遺物出土状態 (西から)



第553図 5区27号住居跡カマド-貯蔵穴遺物（西から）



第554図 5区27号住居跡貯蔵穴遺物（南から）



第555図 5区27号住居跡

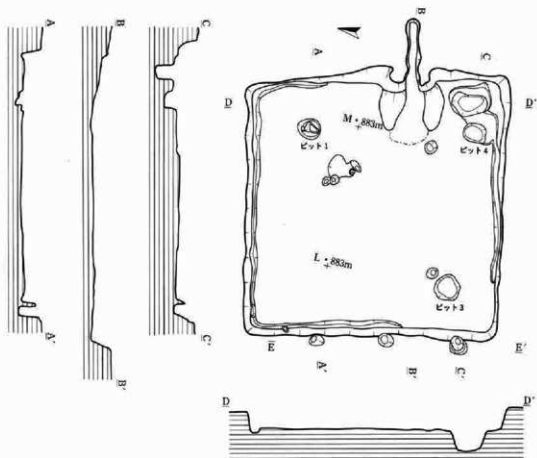
三ツ寺II 5区 28号住居跡 (第556・728図, 図版355・518)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

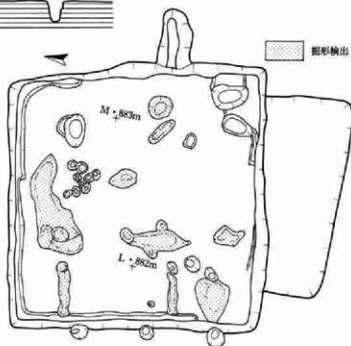
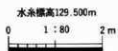
平面形	長方形, 規模 南北540×東西565, 面積 30.5㎡, 壁高 28~43, 長軸方位 N79度E				
壁 調 幅	5~15, 深さ 1~6				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノバ中心)
上ノバ径	48×45	-	53×53	48×40	2-3 : 330
下ノバ径	18×12	-	40×42	38×26	3-4 : 340
深 さ	20	-	15	28	
カマド 位置	東辺中央やや南, 対称軸方位 N79度E, 構築材 粘土, 支脚 不明				
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 略長方形, 上ノバ86×60, 下ノバ52×30, 深さ 46				
その他 (状況の記録)					
確 認 面	黒色土, 6層		検出位置: L~Mライン・881m付近		
重 複 関 係	B2溝→51住→28住→A型溝		覆 土: 黒褐色系の土+軽石		
壁	斜めに立ち上がる, やや深い				
主 柱 穴	北西部不明, 南西部は隣接するピットの方が深い				
壁 溝	カマド両脇・南西隅を除き全周				
カ マ ド	燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部は煙道に向かって緩やかに立ち上がる, 煙道部は壁外へ約120cm延びる				
貯 蔵 穴	二段に掘り込む, 底面は不整形				
掘 形	床溝2本検出, 中央部から西寄りで小ピット検出, 凹凸あり				
そ の 他	西辺壁外にピットが3本並ぶ, 本住居のものか?				
遺 物	土器195片, 覆土から壁口縁部・竈・須恵器甕体部片・高杯出土, 1275・1276 (玉, 床面)				
時 期	古墳後期, 6世紀				



第556図 5区28号住居跡遺物出土状態 (西から)



第557図  
5区28号  
住居跡





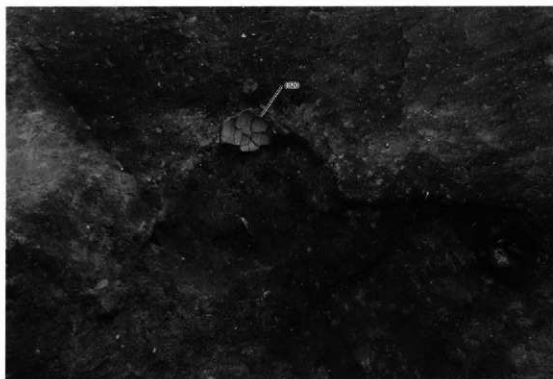
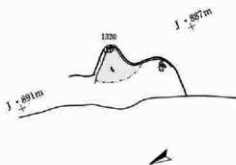
三ツ寺II 5区 29号住居跡 (第558・728図, 図版415)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 9, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N109度E, 構築材 粘土・土器?, 支脚 土器?
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Jライン・889m付近
重複関係	30住→29住, 覆土: 灰褐色系の土
壁	残: 浅い, 殆ど削平, 床面: カマド前のみ検出
主柱穴	-, 壁溝: -
カマド	: 痕跡のみ, 燃焼部中央で土器片検出, 奥壁に掘えた? 羽釜検出
貯蔵穴	-, 掘形: -
その他	: 遺存不良, 西側は地形が低くなりプラン不明, カマド検出で番号を付けた
遺物	: 土器9片, 接合しない羽釜底部片出土,
	1320 (羽釜, カマド)
時期	: 平安, 10世紀

第558図

5区29号住居跡



第559図 5区29号住居跡カマド遺物 (西から)

平面形	方形, 規模 南北445×東西456, 面積 (20.3) m <sup>2</sup> , 壁高 3~18, 長軸方位 N69度E					
壁 溝 幅	10~25, 深さ 1~7					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)	
上バ径	24	20	19×21	21×18	1-2:237	2-3:222
下バ径	15×10	9×12	9	14×10	3-4:218	4-1:235
深さ	17	21	41	26		
カマド	位置 北東辺南寄り, 対称軸方位 N71度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 東隅, 平面形 方形, 上バ52×58, 下バ34×32, 深さ 59					
その他 (状況の記録)						
壁 跡 面	黒色土, 6層			検出位置: J~Kライン・887m付近		
重複関係	30住→29住, 30住→27住			覆 土: 黒褐色系の土+軽石		
壁	浅い			床 面: 粘土, 細かい凹凸あり		
主柱穴	4本検出, 細い			壁 溝: 検出内全周, 床面側へ凹凸あり		
カマド	袖部遺存不良, 燃焼部は住居壁の内側にある, 袖部に20cm大の石3個がかかる					
貯蔵穴	壁は直線的に掘り込む, 周縁は土手状に盛り上がる					
掘 形	凹凸著しい, 小ピット多数検出					
その他	北隅は27号住居により破壊, 南東辺中央部の90×130の範囲が周辺床面よりも高い					
遺 物	土器104片, カマド周辺から杯類の出土が目立つ, カマド左袖脇から内面ハケ目を築き遺出土, 南辺東寄り床面から土師器壺または壺出土, 掘形から横敷杯出土,					
	1314・1315・1316・1317・1318・1319					
時 期	古墳中期, 5世紀末					



第560図 5区30号住居跡遺物出土状態 (西から)

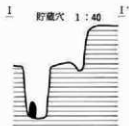
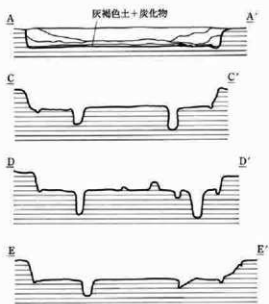
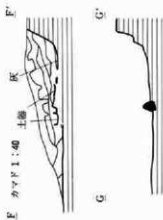
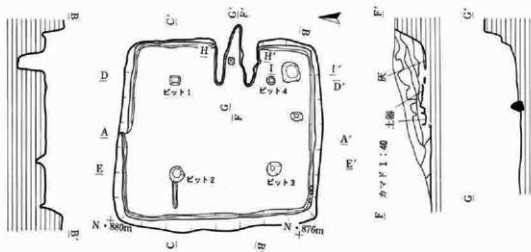
三ツ峠II 5区 31号住居跡 (第561・728図, 図版357・518)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

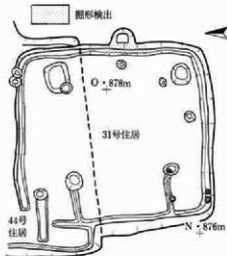
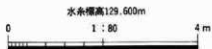
平面形	長方形, 規模 南北425×東西402, 面積 17.1㎡, 壁高 37~43, 長軸方位 N176度E					
壁 溝 幅	5~13, 深さ 1~6					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ心)	
上ノ径	22×18	31×30	30	18	1-2:196	2-3:202
下ノ径	13×12	16	8	10	3-4:184	4-1:202
深 さ	50	35	16	27		
カマド 位置	東辺中央, 対称軸方位 N91度E, 構築材 粘土・石・土器, 支脚 石					
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 略方形, 上ノ径37×41, 下ノ径22×27, 深さ 56					
その他 (状況の記録)						
礎 礎 面	黒色土, 6層				検出位置: N~Oライン・877m付近	
重複関係	44住→31住				覆 土: 褐色系の土+軽石	
壁	直に造い				床 面: 貼床, 平坦, 堅く締まる	
主 柱 穴	4本検出, ビット4底面から石				壁 溝: カマド部分を除き全周	
カ マ ド	燃焼部は住居壁の内側にある, 奥壁は壁外に突出する, 燃焼部中央やや北寄りに超長い石を置いて支脚とする, 右袖部の粘土下から石・壊破片出土					
貯 蔵 穴	底面から石出土					
掘 形	細かい凹凸あり, 西辺南側で床溝検出, 壁溝内部に小ビットあり					
そ の 他	西辺北寄りで床溝検出					
遺 物	土器382片, カマドから南辺にかけて遺物出土, 中央南寄り床面から土器器種出土 (出土位置未確定), 覆土から内斜杯・模倣杯・丸胴壺・短脚高杯脚部・須恵器壺出土 (重複する44号住居のものか?), 1306・1307・1308・1309・1310・1311・1312・1313					
時 期	古墳後期, 6世紀前半					



第561図 5区31号住居跡遺物出土状態 (西から)



第562図  
5区31号住居跡



三ツ寺II 5区 32号住居跡 (第563・729図, 図版359)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北369×東西538, 面積 19.9㎡, 壁高 2~17, 長軸方位 N89度W				
壁溝	不明				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下/中心)
上ノ径	34×32	23×20	20×16	12×7	1-2 : 213
下ノ径	10	8	11	3	2-3 : 186
深さ	24	27	3	8	3-4 : 243
カマド	位置 南西隅, 対称軸方位 N135度W, 構築材 粘土, 支脚 不明				
貯蔵穴	不明				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層		検出位置 : M~Oライン・896m付近		
重複関係	-		覆土 : 黒褐色系の土+礫石		
壁	浅い		床面 : 凹凸あり, 不明確		
主柱穴	規模・形態とも疑問あり		壁溝 : -		
カマド	遺存不良, 焼土・灰・黄白色粘土を検出したが不明確				
貯蔵穴	-		掘形 : 凹凸著しい		
その他 : 確認面は床下か?					
遺物	土器41片, 模倣杯出土, 1291 (土師器壺, カマド前床面)				
時期	古墳後期, 5世紀末~6世紀				



第563図 5区32号住居跡遺物出土状態 (東から)

平面形	長方形, 規模 南北412×東西391, 面積 16.1㎡, 壁高 3~18, 長軸方位 N170度E				
壁溝	幅 8~18, 深さ 1~3				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ心)
上バ径	18×24	18×22	17×24	46×27	1-2:149
下バ径	10	12×9	8×12	10	2-3:176
深さ	24	21	26	25	3-4:154
カマド	位置 東辺中央やや南, 対称軸方位 N92度E, 構築材 粘土, 支脚 石				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 略円形, 上バ57×66, 下バ38×30, 深さ 63				
その他 (状況の記録)					
壁	壁 面: 黒色土, 6層		検出位置: J~Kライン・878m付近		
重複関係	-		覆土: 黒褐色系の土		
壁	浅い		床 面: 細かい凹凸あり, 壁くぼまる		
主柱穴	4本検出, ビット1から石出土		壁 溝: カマド部を除き全周, 隅内は凹凸著しい		
カマド	左袖部は上層の溝により破壊, 燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部中央右寄りから石出土, 右袖部遺存不具, カマド前から杯出土				
貯蔵穴	底面近くから杯出土, 壁は直線的		照 形: 凹凸多数検出		
その他	ビット2の南側から焼土検出				
遺物	土器181片, 覆土から標張杯・甕口縁部出土, 1188・1189・1190・1191				
時期	古墳中期, 5世紀末				



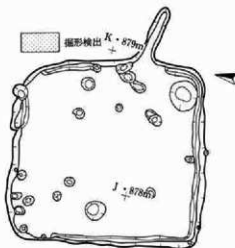
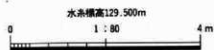
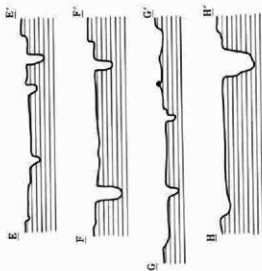
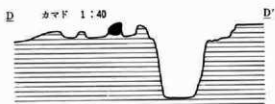
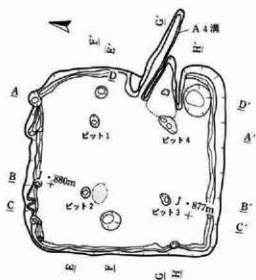
第564図 5区33号住居跡遺物出土状態 (西から)



第565図 5区33号住居跡カマド遺物(西から)



第566図 5区33号住居跡貯蔵穴遺物(南から)



第567図 5区33号住居跡



三ツ寺II 5区 34号住居跡 (第568・729図, 図版361・519)

計測値単位cm. - ; 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 506×480, 面積 24.3㎡, 壁高 20~52, 長軸方位 N58度E					
壁 溝	幅 6~16, 深さ 1~7					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)	
上バ壁	15×26	30×26	25	37×38	1-2:257	2-3:208
下バ壁	5	17×15	10×19	27×31	3-4:242	4-1:200
深 さ	14	34	24	6		
カマド	位置 北東辺中央, 対称軸方位 N65度E, 構築材 粘土, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 東隅, 平面形 楕円形, 上バ61×52, 下バ44×39, 深さ 66					
その他 (状況の記録)						
壁 面	黒色土, 6層				検出位置: Jライン・868m付近	
重複関係	34住→35住				覆 土: 黒褐色系の土+礫石	
壁	直に近い				床 面: 貼床, 細かい凹凸あり	
主 柱 穴	4本検出, カマド両脇柱穴は残い				壁 溝: カマド部を除き全周	
カ マ ド	燃焼部は住居壁の内側にある, 奥壁は急角度で立ち上がる					
貯 蔵 穴	北西部に高さ4cmの方形の痕あり				形: 南西辺北寄りで床溝検出, 小ピット多数検出	
そ の 他	北西辺・南西辺で床溝検出, 南西辺中央で90×70・深さ16の楕円形掘り込み検出					
遺 物	土器168片, カマド内から内斜杯出土, 覆土から半球杯・模倣杯・鉢形壺・内黒土器出土, 1192・1193・1194・1195・1196					
時 期	古墳中期, 5世紀末					



第568図 5区34号住居跡遺物出土状態 (南から)

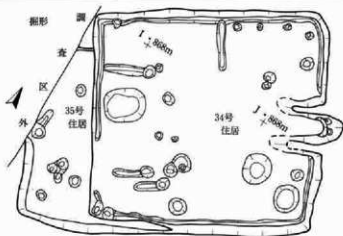
平面形	長方形。規模 389×(370)。面積 (14.4) m <sup>2</sup> 。壁高 25~30。長軸方位 N153度E
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央。対称軸方位 N65度E。構築材 粘土。支脚 土器?
貯蔵穴	位置 東隅。平面形 長方形。上ノ径56×70、下ノ径43×53。深さ 17
その他 (状況の記録)	
確認	面: 黒色土。6層。検出位置: Iライン・864m付近
重複関係	: 34住→35住。覆土: 灰褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる
床	面: 粘土。北西辺沿いに幅90・長さ230ほどの軟弱部あり
主柱穴	: -。壁 溝: -
カマド	: 粘土で形成する。燃焼部中央やや左寄りに小型壁(底部上)を据えて支脚とする
貯蔵穴	: 浅い。直面平坦。掘形: -
その他	: 西隅は調査区外にある。南辺中央に不整形の掘り込み検出(深さ20, 石出土)。
	東辺の立ち上がりは34号住居と同時期り下げのため不明
遺物	: 土器189片。カマド内から甕底部片・内黒半球杯出土。覆土から内黒横微杯・高杯出土。 1205・1206・1207・1208・1209
時期	: 古墳後部。6世紀前半

第569図

5区34・35号住居跡

掘形

0 1:80 2m



第570図 5区35号住居跡遺物出土状態(東から)

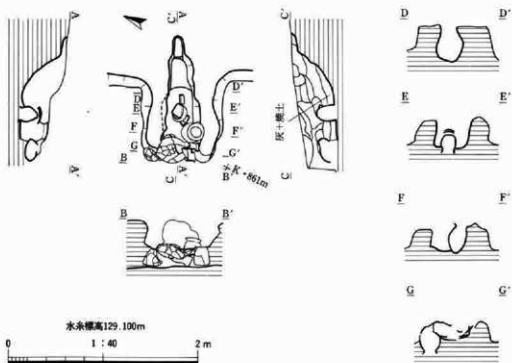
三ツ寺Ⅱ 5区 36号住居跡 (第571・730区, 図版362・520)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 471×445, 面積 21.0㎡, 壁高 35~65, 長軸方位 N62度E				
壁溝幅	7~18, 深さ 1~4				
主柱穴	1 (楕形)	2	3	4 (楕形)	主柱穴間の距離 (下バ心中心)
上バ径	22×25	19×22	22	25×28	1-2 : 221 (楕形)      2-3 : 202
下バ径	11	8	10×16	12×14	3-4 : 212 (楕形)      4-1 : 209 (楕形)
深さ	35	31	28	35	
カマド	位置 北東辺中央やや南, 対称軸方位 N64度E, 構築材 粘土・土器, 支脚 土器				
貯蔵穴	位置 東隅, 平面形 長方形, 上バ55×47, 下バ37×34, 深さ 127				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層			検出位置	J~Kライン・861m付近
重複関係	B 2溝→3 6住			覆土	黒褐色系の土+軽石
壁	直に近い, やや深い			床	面: 平坦, 貼床, 出水のため軟弱
主柱穴	ピット1・4は楕形検出			壁溝	カマド部を除き全周
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある。奥壁は急角度で立ち上がる。両袖先端部に土器器壁を倒立に据える。焚口に大型甕・小型甕を並べて天井部とする。燃焼部中央に小型甕を倒立に据え支脚とする。支脚壁の上に杯破片をのせて高さ調整を施す。燃焼部右袖寄りから正立状態で甕出土				
貯蔵穴	東隅の周辺に上バが平行しない, 深い				
型	形: カマド左脇で200×120・深さ134ほどの不整形掘り込み検出, カマド前で小ピット検出				
その他	北西辺・南東辺のそれぞれ中央部で床溝検出, 北隅寄りで不整形掘り込み検出				
遺物	土器282片・石3個, 覆土から横椀杯・短脚高杯・接合しない甕体部片出土, カマド燃焼部から焚口縁部出土, 13cm大の石2個・18cm大の石1個, 墓類の出土が多い, 道具に転用した土器多い, 1220・1221・1222・1223・1224・1225・1226・1227・1228・1229・1230				
時期	古墳中期, 5世紀末				



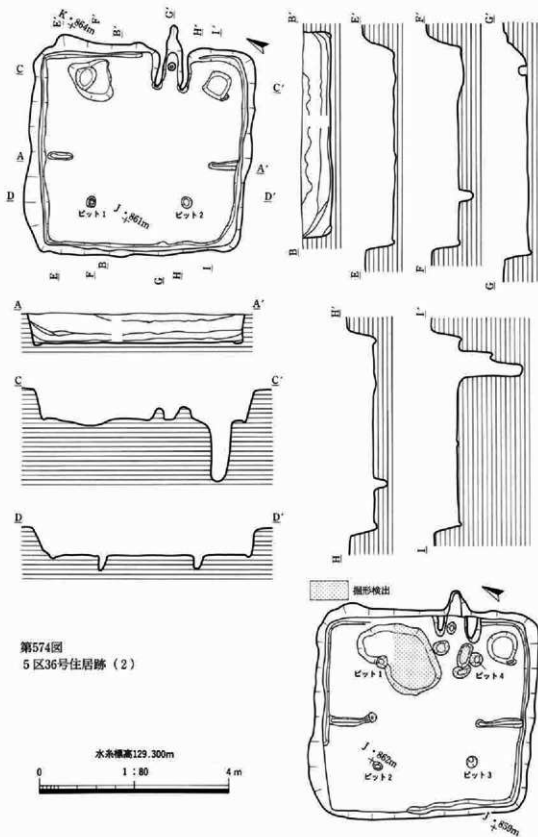
第571図 5区36号住居跡遺物出土状態 (南から)



第572図 5区36号住居跡(1) カマド



第573図 5区36号住居跡カマド遺物(西から)



第574図  
5区36号住居跡(2)

平面形	長方形, 規模 南北420×東西450, 面積 18.9㎡, 壁高 19~42, 長軸方位 N69度E					
壁 調	不明					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下ノ心中心)	
上ノ径	27×24	28×25	25	-	1-2:215	2-3:192
下ノ径	15	12	11	-		
深 さ	34	17	17	-		
カマド	位置 東辺中央やや南, 対称軸方位 N69度E, 構築材 粘土, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 略円形, 上ノ径45×44, 下ノ径20×27, 深さ 40					
その他(状況の記録)						
礎 礎 面	黒色土, 6層			検出位置	1~Jライン・852m付近	
重複関係	-			覆 土	暗褐色系の土+軽石	
壁	斜めに立ち上がる			床 面	平坦, 粘床, 壁近くはやや軟弱	
主 柱 穴	3本検出, 南東部不明			壁 調	-	
カ マ ド	燃焼部は住居壁の内側にある, 淡褐色粘土も使って形成する					
貯 蔵 穴	南東隅付近を略長方形・深さ10cmほどに掘りくぼめさらに貯蔵穴を掘り込む					
掘 形	-					
そ の 他	南辺中央やや東寄りに槽内形の浅い掘り込みを検出, 底面は細かい凹凸あり					
遺 物	土器7片・黒曜石1個, 北東隅床面から内斜杯出土, カマド内から黒曜石割片出土,					
	1279・1280					
時 期	古墳中期, 5世紀末					



第575図 5区37号住居跡遺物出土状態(南から)

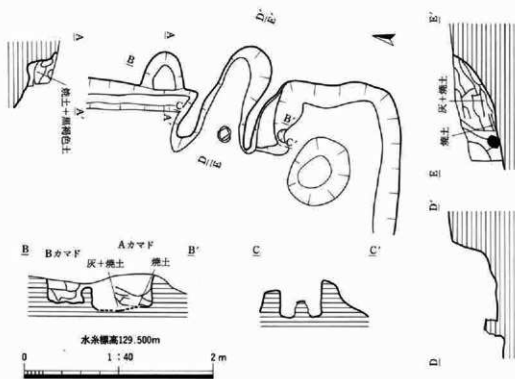
三ツ寺Ⅱ 5 区 3 8 号住居跡 (第576・731回, 図版365・522)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形, 規模 617×617, 面積 38.1㎡, 壁高 41~56, 長軸方位 N80度E					
壁 溝 幅	10~17, 深さ 2~6					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ心)	
上ノ住	39	56×69	47×40	50×64	1-2 : 295	2-3 : 252
下ノ住	23×25	22	43×21	26×36	3-4 : 300	4-1 : 295
深 さ	27	28	34	39		
カマド	Aカマド : 位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N100度E, 構築材 粘土, 支脚 土器 Bカマド : 位置 東辺南寄り (Aカマド北側), 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ径74×60, 下ノ径38×27, 深さ 51					
その他 (状況の記録)						
確認 面	黒色土, 6層, 検出位置 : L-Mライン・869m付近					
重複 関係	B 2溝→3 8住, 5 2住→3 8住→4 8住→3 住					
覆 土	褐色系の土+軽石, 壁 : 斜めに立ち上がる, やや深い					
床 面	貼床, 細かい凹凸あり, やや軟弱, 主 柱 穴 : 4本検出					
壁 溝	南辺東半・カマド部を除き全周					
カ マ ド	Aカマド : 中軸線は東辺と直角にならない, 燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部中央に小型壺を倒立させて支脚とする。 Bカマド : 住居壁より突出する煙道の一部を検出, 焼土・炭化物混じりの覆土を確認, Aカマドよりも古い					
貯 蔵 穴	底面も楕円形を呈す, 掘 形 : 小ピット多数検出, 細かい凹凸著しい					
そ の 他	南辺中央部壁直下で不整形掘り込み検出, 床溝4本検出 (北辺2本・西辺2本)					
遺 物	土器1035片・石8個, 西辺中央部壁跡球面から黒曜石剥片出土, カマド内から黒曜石剥片出土, 北東部から壺頸部出土, カマド覆土から高杯片出土, 覆土から横椀杯・半球杯・小型壺・土師器 長方形透かし高杯脚部出土, 1269・1270・1271・1272・1273・1274 (磁石)					
時 期	古墳後期, 6世紀前半					



第576図 5区38号住居跡遺物出土状態 (西から)

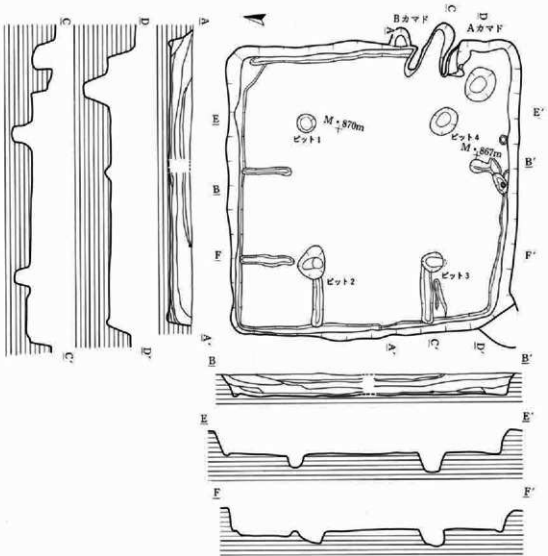


第577図 5区38号住居跡(1) カマド

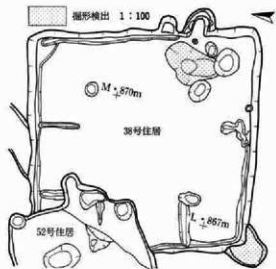
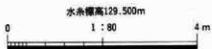


第578図 5区38号住居跡遺物出土状態(西から)





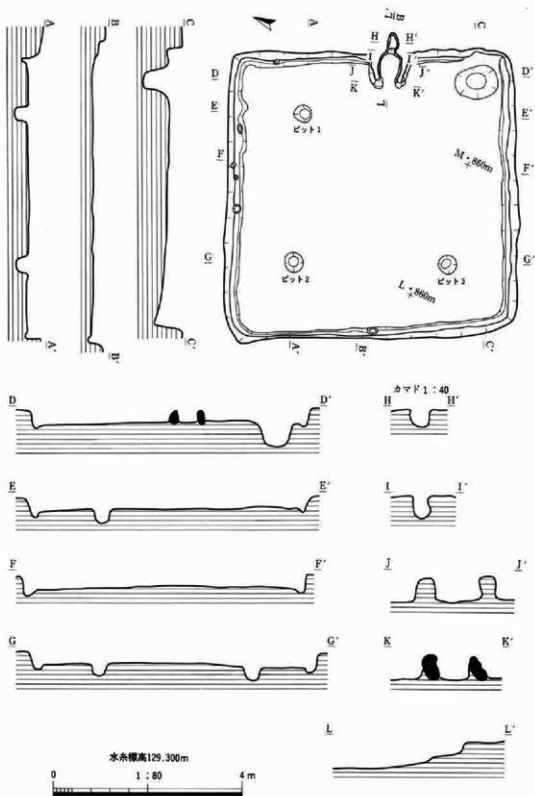
第579図  
5区38号  
住居跡(2)



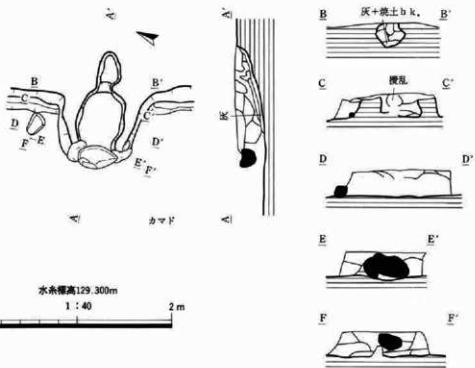
平面形	略方形、規模 南北610×東西597、面積 36.4㎡、壁高 23~37、長軸方位 N157度E					
壁 溝 幅	7~25、深さ 1~12					
主柱穴	1	2	3	4 (圓形)	主柱穴間の距離 (下バ中心)	
上バ径	36×35	40	40	31×34	1-2 : 313	2-3 : 322
下バ径	23	21	20×17	14×13	3-4 : 310	4-1 : 298
深 さ	27	25	28	46		
カマド 位置	北東辺中央やや南、対称軸方位 N71度E、構築材 粘土・石、支脚 不明					
貯蔵穴 位置	東側、平面形 楕円形、上バ90×68、下バ43×32、深さ 52					
その他 (状況の記録)						
壁 認 面	黒色土、6層		検出位置 : L~Mライン・860m付近			
重複関係	40住→39住→5住		覆 土 : 褐色系の土			
壁	直に近い		床 面 : 貼床、平坦、一部小石露出			
主 柱 穴	ピット4は楕円形検出 (二段に掘り込む)			壁 溝 : 全周、掘形調査でカマド下も検出		
カ マ ド	燃焼部は住居壁の内側にある、両袖先端部に石を据え粘土で固める、焚口天井部にも45cm大の細長い石を架ける、カマド左脇床面から25cm大の細長い石出土 (支脚か?)、奥壁は急角度で深く立ち上がる					
貯 蔵 穴	底面も楕円形を呈す、周縁は土手状に盛り上がる					
掘 形	北西辺東寄りで120×60・深さ5ほどの長方形掘り込み検出、小ピット多数検出、北西辺中央部で床溝検出					
そ の 他	北西辺東寄りの壁溝内で小ピット4本検出					
遺 物	土器236片・石1個、覆土から横飲杯・内斜杯・須恵器蓋 (口唇部凹線)・黒土土、14cm大の石出土					
	1210・1211・1212 (砺石、株名ニツ岳礫石)					
時 期	古墳後期、6世紀前半					



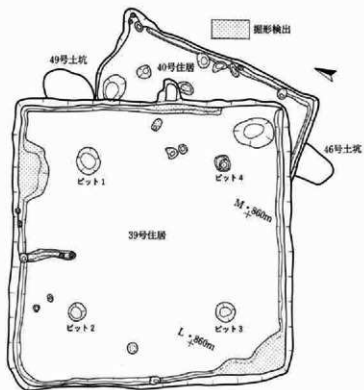
第580図 5区39号住居跡遺物出土状態 (西から)



第581図 5区39号住居跡(1)



水糸標高129.300m  
1:40  
0 2m



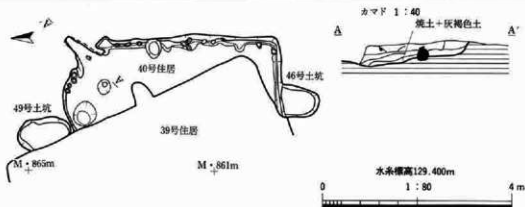
第582図  
5区39号住居跡(2)  
カマド・掘形

0 1:80 4m

三ツ寺II 5区 40号住居跡 (第583図, 図版367)

計測値単位cm. - : 計測不可・不明

平面形	方形〜長方形, 規模 南北470×東西170以上, 面積 - , 壁高 6~11, 長軸方位 -		
壁 隅 幅	7~10, 深さ 3~5		
主柱穴	不明		
カマド	位置 北東隅, 対称軸方位 N43度E, 構築材 粘土, 支脚 石		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
礎 礎 面	: 黒色土, 6層	検出位置	: M~Nライン・863m付近
重 複 関 係	: 40住→39住→5住	覆 土	: 暗褐色系の土+礫石
壁	: 浅い	床 面	: 粘床, 凹凸あり
主 柱 穴	: -	壁 溝	: 東辺のみ検出
カ マ ド	: 燃焼部は住居壁ラインにのる, 中軸線は住居対角線方向, 燃焼部中央に石を据え支脚とする, 袖部〜奥壁の内側は粘土で固める		
貯 蔵 穴	: 北辺のピットか?	輪 形	: 凹凸あり
そ の 他	: 壁溝内に小ピットが並ぶ (径10・深さ5前後, 間隔20~30)		
遺 物	: 土器44片, カマド覆土から椀燵杯・埴輪部出土, 遺物図掲載なし		
時 期	: 古墳		



第583図 5区40号住居跡



第584図 5区40号住居跡カマド遺物 (南西から)

平面形	方形, 規模 南北479×東西481, 面積 24.3 (含張出部), 壁高 21~62, 長軸方位 N77度E				
壁溝幅	5~10, 深さ 2~7				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ババ心)
上ババ径	25	30×26	35×30	29×23	1-2 : 230 2-3 : 223
下ババ径	12×15	20×16	15×12	20×10	3-4 : 224 4-1 : 194
深さ	20	19	36	19	
カマド	位置 東辺中央やや南, 対称軸方位 N87度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上ババ47×46, 下ババ28×29, 深さ 41				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層			検出位置	N-Oライン+856m付近
重複関係	41住→6住・7住			覆土	黒褐色系の土+雑石
壁	直に近い			床面	粘床, 平坦
主柱穴	4本検出			壁溝	カマド下を除き全周
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある, 両袖先端部に石を据え粘土で固める, 奥壁に小ピット検出, 煙道部は住居壁から突出する				
貯蔵穴	底面も円形を呈す				
掘形	南西隅で不整形掘り込み検出, 南辺・北辺の中央部でピット検出				
その他	北西隅で東西145×南北95の張出部検出, 床溝2本と合わせて210×100ほどの広がりをもつ, 床溝は張出部を長方形に区切る, ピット3から西辺に延びる床溝は掘形調査で検出				
遺物	土器169片, 覆土から鉄滓3個・半欠白玉3個・壺底部・大型丸胴壺・壺口縁部・横紋杯 (口唇部凹縁)・接合しない壺体部片出土, 1179・1180・1181 (滑石紡錘車, 完形)・1182・1183・1184・1185・1186・1187 (白玉)				
時期	古墳後期, 6世紀前半				



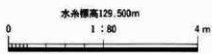
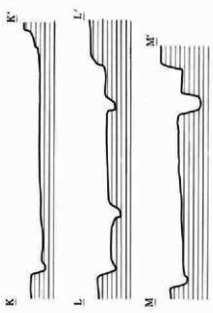
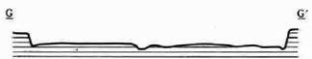
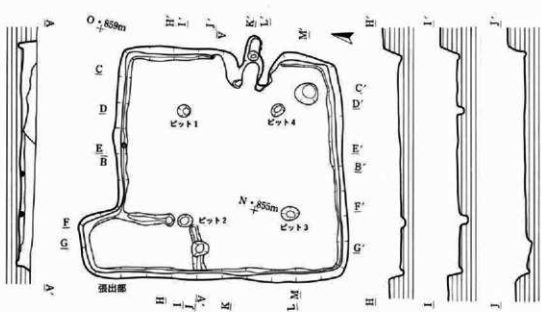
第585図 5区41号住居跡遺物出土状態 (西から)



第586図 5区41号住居跡カマド遺物(西から)

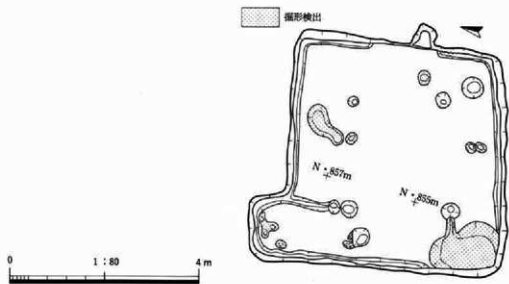
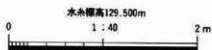
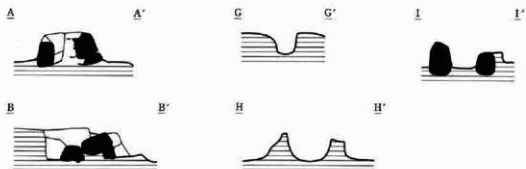
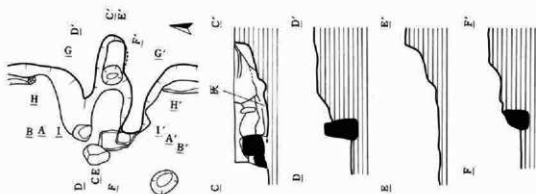


第587図 5区41号住居跡張出部遺物(南から)



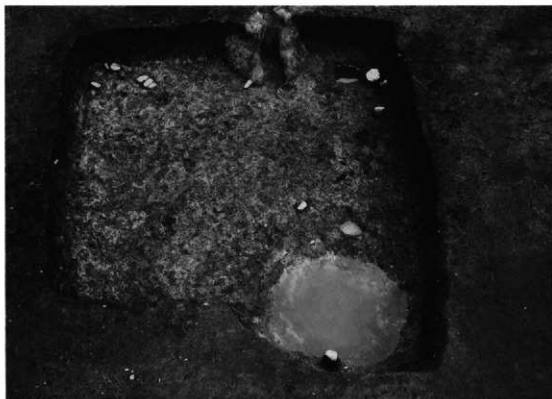
第588図 5区41号住居跡(1)



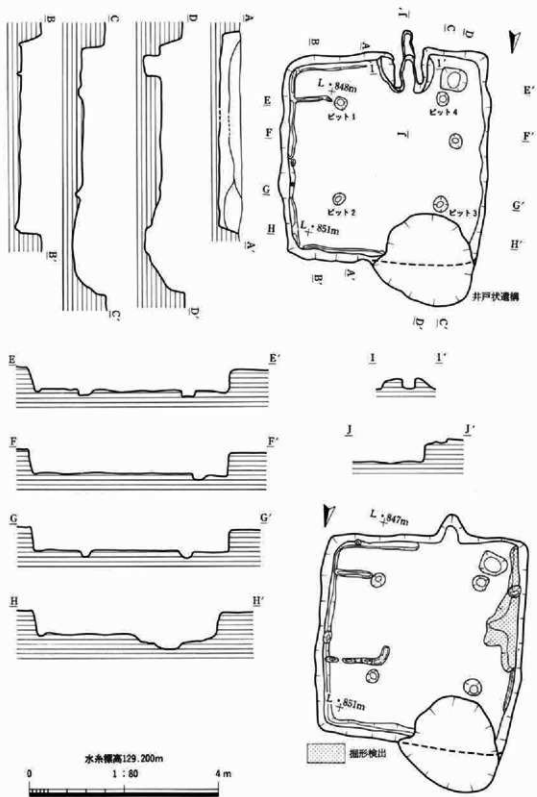


第589図 5区41号住居跡(2) カマド・掘形

平面形	方形, 規模 435×434, 面積 18.9㎡, 壁高 44~51, 長軸方位 N188度W					
壁 溝 幅	7~15, 深さ 1~12					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノバ心)	
上ノバ径	26×23	23×27	31×34	28×23	1-2 : 204	2-3 : 217
下ノバ径	14×13	7×14	10×16	13×16	3-4 : 221	4-1 : 217
深 さ	12	10	11	11		
カマド 位置	南辺中央やや西寄り, 対称軸方位 N190度W, 構築材 粘土・石, 支脚 不明					
貯蔵穴 位置	南西隅, 平面形 不整形, 上ノバ55×45, 下ノバ25×32, 深さ 33					
その他 (状況の記録)						
確認 面	黒色土, 6層		検出位置: K~Lライン・850m付近			
重複関係	42住→4坑・井戸状遺構		覆 土: 暗褐色系の土			
壁	直に近い		床 面: 細かい凹凸あり, やや軟弱			
主 柱 穴	4本検出, 残い		壁 溝: 北辺~南辺東側で検出			
カ マ ド	燃焼部は住居壁の内側にある, 煙道部約50cmを検出, 粘土で固める					
貯 蔵 穴	上面は略長方形, 底面は楕円形を呈す					
掘 形	東辺北寄りで床溝検出 (中央側は南へ曲がる), 凹凸著しい, 小ピット検出					
そ の 他	北辺西側は井戸状遺構により破壊, 南辺にカマドを設置するのは例が少ない					
遺 物	土器175片, カマド前から接合しない燻破片出土, カマド袖覆土から軽石5個出土, カマド内から須恵器小片出土, カマド掘形から横紋杯出土, 覆土から丸胴甕口縁部出土, 南東隅から15cm大の石9個がまとまって床面から出土, 1218・1219					
時 期	古墳後期, 6世紀前半					



第590図 5区42号住居跡遺物出土状態 (北から)

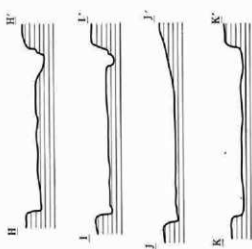
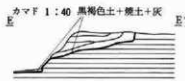
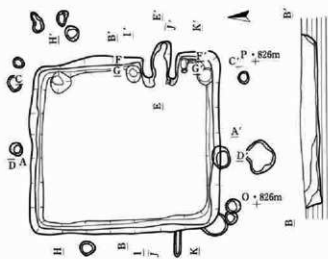


第591図 5区42号住居跡

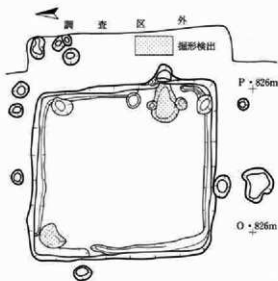
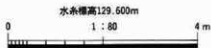
平面形	長方形, 規模 395×371, 面積 14.7㎡, 壁高 26~41, 長軸方位 N178度E
壁溝	幅 5~16, 深さ 1~7
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N95度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
礎石面	: 黒色土, 6層, 検出位置: O~Pライン・829m付近
重複関係	: 43住→A76溝, 覆土: 黒褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる, 床面: 平坦, 堅く締まる
主柱穴	: -, 壁溝: カマド部を除き全周
カマド	: 右袖前・右袖脇から石出土, 燃焼部は住居壁ラインにかかる, 両脇に径30ほどのピット検出, 両袖下から小ピット検出, 燃焼部掘形は浅く掘り込む
貯蔵穴	: 北東隅の掘り込みか? (径45・深さ17), カマド両脇のピットか?
掘形	: 細かい凹凸あり, 小ピット多数検出, 北西隅で不整形掘り込み検出 (60×40・深さ7)
その他	: 住居プラン外側にピット検出 (覆土は本住居に似る), 南西隅壁溝は不鮮明
遺物	: 土器158片, 覆土から外椀杯・須恵器薬体部片出土, 陶板遺物図は覆土出土, 床面出土遺物なし, 1197・1198
時期	: 古墳~奈良, 7世紀後半~8世紀



第592図 5区43号住居跡カマド付近遺物 (西から)



第593図  
5区43号住居跡



平面形	方形, 規模 446×(447), 面積 (19.9) m <sup>2</sup> , 壁高 17~41, 長軸方位 N1度E			
壁溝幅	10~15, 深さ 1~3			
主柱穴	1	2	3 (掘形)	4
上バ徑	26×23	19	26×21	-
下バ徑	16	13×11	13	-
深さ	15	14	39	-
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N93度E, 構築材 粘土・土器, 支脚 石			
貯蔵穴	位置 南東部 (掘形), 平面形 長方形, 上バ径50×63, 下バ径4×45, 深さ8			
その他 (状況の記録)				
確認面	黒色土, 6層		検出位置: N-Oライン・880m付近	
重複関係	44住→31住		覆土: 褐色系の土, 中位やや上にF A b k,	
壁	直に近い		床面: 平坦, 粘床	
主柱穴	ピット3は掘形検出, ピット4不明		壁溝: 東辺・北辺で一部検出	
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある, 左袖先端部に土器破片を天地逆に据え粘土で囲める, 両袖先端部とも掘り過ぎ, 燃焼部中央に石を据え支脚とする, 土器片を高さ調整に用いたか? , 右袖部は重複する31号住居により一部破壊, 煙道部は燃焼部より一段高い			
貯蔵穴	31号住居面形調査で検出			
掘形	北辺・西辺で床溝検出, 北西隅は床溝2本ずつ平行して検出, カマド前小ピット検出, 西辺南半で壁溝検出			
その他: 南東隅未検出				
遺物	土器179片, 南西隅床面から15cm大の石11個が集中して出土, 覆土から内斜杯・内斜内黒杯・高杯出土, 44・45住注記の土器113片 (注記違いか?), 1292・1293・1294・1295・1296・1297 (蓋, 底部なし, カマド左袖中)・1298			
時期	期: 古墳後期, 6世紀前半			



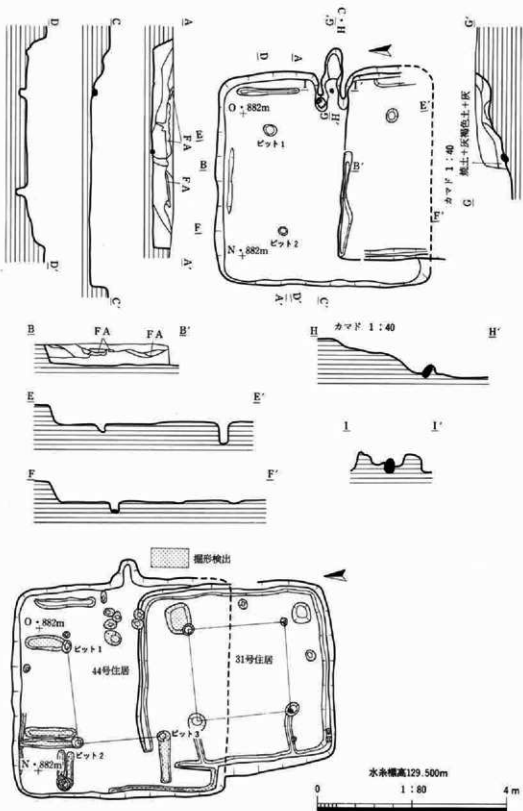
第594図 5区44号住居跡遺物出土状態 (西から)



第595図 5区44号住居跡カマド遺物(西から)



第596図 5区44号住居跡土層断面(北から)



第597図 5区44号住居跡



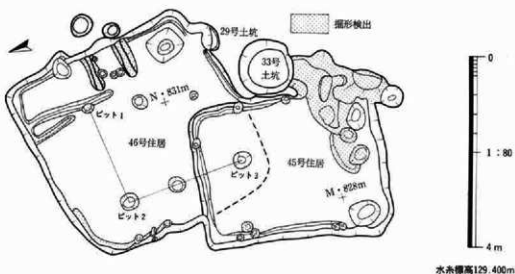
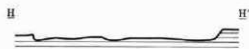
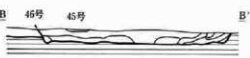
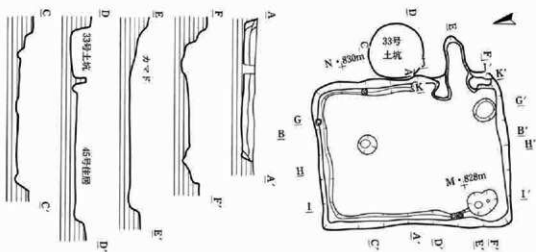
三ツ寺Ⅱ 5区 45号住居跡 (第588・733図, 図版372)

計測単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 403×314, 面積 12.7㎡, 壁高 13~46, 長軸方位 N11度E
壁 溝	幅 8~19, 深さ 1~5
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N95度E, 構築材 粘土・土器?, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 略円形, 上バ48×43, 下バ40×32, 深さ 14
その他 (状況の記録)	
壁 跡	面: 黒色土, 6層 検出位置: M~Nライン・828m付近
重複関係	4 6住→4 5住→9住 覆 土: 黒褐色系の土+黄褐色土 b k,
壁	: 斜めに立ち上がる 床 面: 細かい凹凸あり, 堅く締まる
主柱穴	- 壁 溝: 南辺不明
カマド	: 燃焼部は住居壁ラインにかかる, 燃焼部奥壁は斜めに立ち上がる, 奥壁付近から土器器壁破片出土, 両袖部遺存不良, 煙道部は壁外へ約80cm延びる
貯蔵穴	: 南西隅の掘り込みか? (不整形, 深さ12)
照 形	: 南東隅付近(カマド部含む)は不整形に掘り込む, 床面に凹凸あり, 小ピット多数検出, 黄褐色土面に達する (堅い)
その他	: 南東隅掘形は不整形に広がる
遺 物	: 土器90片, カマド煙道部から土器器壁出土, 南半からの出土がやや多い, カマド前出土の土器は浮いている, 覆土から須恵器平底杯・蓋 (カエリ)・土器器ケズリ壺・外椀杯・くの字壺 (口唇部凹縁) 出土, 1254・1255・1256
時 期	: 奈良, 8世紀前半



第598図 5区45号住居跡遺物出土状態 (西から)



第599図 5区45号住居跡

三ツ寺II 5区 46号住居跡 (第600・733図, 図版373・523)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

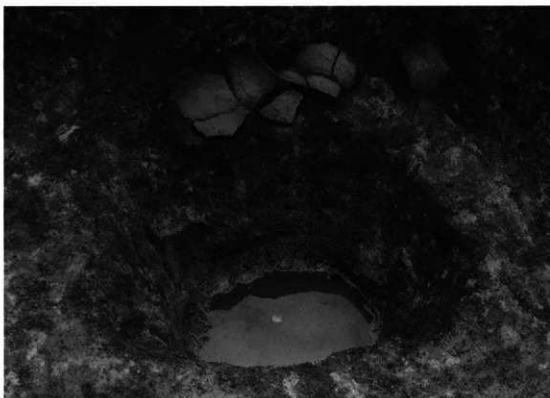
平面形	略方形, 規模 南北437×東西428, 面積 (18.7) m <sup>2</sup> , 壁高 11~34, 長軸方位 N171度E				
壁溝	幅 7~14, 深さ 1~4				
主柱穴	1 (掘形)	2	3 (45住)	4	主柱穴間の距離 (下/上心)
上ノ径	25×19	36×30	49×35	-	1-2 : 221 (掘形) 2-3 : 252
下ノ径	16×12	27×22	16	-	
深さ	11	13	9	-	
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N84度E, 構築材 粘土, 支脚 土器 (土師器小型甕, 倒立)				
野鼠穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上ノ径70×64, 下ノ径43×42, 深さ 31				
その他 (状況の記録)					
確認面	黒色土, 6層		検出位置 : Nライン・832m付近		
重複関係	46住→45住→9住, 46住→8住, 46住→21住				
覆土	暗褐色系の土, 壁 : 斜めに立ち上がる				
床面	細かい凹凸著しい				
主柱穴	ピット4相当不明, ピット1は掘形検出, ピット4は45号住居内検出				
壁溝	北東隅~南辺で検出, 掘形では北東隅も検出				
カマド	袖部は掘り残しまたは突き固めた黄褐色土を芯にして粘土で固める, 燃焼部は住居壁ラインの内側にある, 燃焼部中央に土師器小型甕を倒立状態で据え支脚とする, 右脇から土師器杯出土 (高さ調整用か?)				
貯蔵穴	掘形上面長方形・底面楕円形・二段に掘り込む, 東辺壁際から土師器破片出土				
掘形	黄褐色土面に達する, 小ピット多数検出, 北辺寄りには凹凸著しい, 北辺東寄りでは床溝検出, カマド燃焼部下で小ピット4個検出, 北西隅で壁溝検出, 西辺隅では小ピット検出				
その他	中央床面の東西に径25~30・厚さ10~15のピットを各1本検出, 西側ピットはピット2-3を踏ぶ線上にある, 東辺北寄り壁際で径30・深さ10のピット検出, 北辺東寄りで壁からカマド左袖前に延びる浅い溝 (床溝状) 検出 (北東隅と合わせて略70×170の長方形を形成する), 南西隅は重複する45号住居により破壊				
遺物	土器203片, 遺物出土量やや多い, 覆土から半球杯・ミガキの甕底部・短頸高杯・小型甕・須恵系瓦出土, 1257・1258・1259・1260・1261・1262・1263 (小型甕, カマド中央倒立)・1264・1265				
時期	古墳中期, 5世紀末				



第600図 5区46号住居跡遺物出土状態 (西から)



第601図 5区46号住居跡カマド遺物(西から)



第602図 5区46号住居跡貯蔵穴付近(西から)

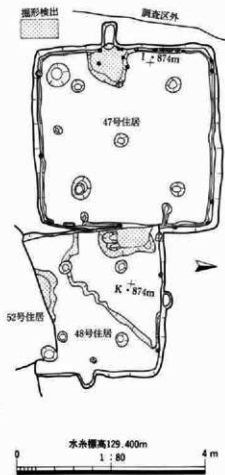
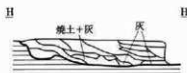
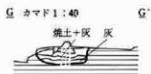
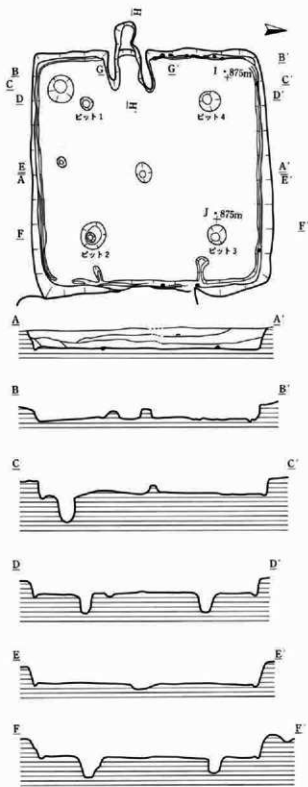
三ツ寺II 5区 47号住居跡 (第603・734図, 図版375)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形, 規模	南北508×東西518, 面積	26.3m <sup>2</sup> , 壁高	23~47, 長軸方位	N96度W	
壁	調	幅	5~12, 深さ	3~7		
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下/上中心)	
上ノ径	27	50×59	38×41	48×43	1-2 : 280 2-3 : 266	
下ノ径	18×18	12	19×16	20	3-4 : 290 4-1 : 259	
深さ	46	45	32	42		
カマド	位置	西辺中央やや南寄り, 対称軸方位	N96度W, 構築材	粘土, 支脚	土器?	
貯蔵穴	位置	南西隅, 平面形	円形, 上ノ径	53×58, 下ノ径	30×28, 深さ	60
その他(状況の記録)						
遺	器	面	黒色土, 6層	検出位置	1~Jライン・873m付近	
重	複	関係	47住→48住	覆	土: 黒褐色系の土+軽石	
			壁	直に近い	床	面: 粘床, 平坦
主	柱	穴	4本検出, 床面中央に浅いピットあり	壁	溝: カマド部を除き全周	
カ	マ	ド	燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部奥壁は5~6cmの段をもち煙道部へつながる, 両袖部は粘土で固める, 煙道部形状は長方形を呈する, 全面に散乱する石はカマド構築材の一部か?			
貯	蔵	穴	底面も略円形を呈する			
掘	形	カマド袖部下は浅く掘り込む(小ピット検出), 壁溝内小穴を追加検出				
そ	の	他	床面中央に径は主柱穴と同じ浅いピット検出, 南辺中央壁近くで深さ6の小ピット検出, 西辺北寄りで壁溝内小穴を検出(間隔15~25cm), 東辺で床溝2本検出(主柱穴につながらない)			
遺	物	土器	585片, 土器片・石の出土が多いが床面から浮いたものが大半, 覆土から内黒横椀・煮・壺口縁部・高杯(土師器, 長方形一段透かし)出土, 1199・1206・1201・1202・1203(須恵器壺口縁部, 中央床面)・1204			
時	期	古墳後期, 6世紀前半				



第603図 5区47号住居跡遺物出土状態(東から)



第604図 5区47号住居跡

三ツ寺II 5区 48号住居跡 (第605・734図, 図版376・524)

計測値単位cm, - : 計画不可・不明

平面形	長方形, 規模 373×400, 面積 14.9㎡, 壁高 24~40, 長軸方位 N84度E					
壁溝	幅 6~12, 深さ 1~8					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ中心)	
上ノ径	45×51	45×47	45×51	40×44	1-2 : 194	2-3 : 156
下ノ径	20×24	12×20	18	13	3-4 : 186	4-1 : 165
深さ	44	43	38	37		
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N85度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 略楕円形, 上ノ径7×62, 下ノ径48×37, 深さ 27					
その他 (状況の記録)						
礎石	面: 黒色土, 6層			検出位置: K-Lライン・873m付近		
重複関係	52住→38住→48住→3住			覆土: 黒褐色系の土+軽石		
壁	直に近い			床面: 平坦, 粘床		
主柱穴	4本検出			壁溝: 東辺を除き検出		
カマド	燃焼部は住居壁ラインの内側にある, 両袖先端部に細長い石を据え粘土で固める, 焚口天井部にも45cm大の細長い石を架ける					
貯蔵穴	底面は不整形, 中から石出土, 西側床面から細長い石出土					
形状	中央部で小ピット多数検出, 凹凸著しい, 中央部で北東-南西の段検出, 北西隅で略長方形の掘り込み検出 (145×75・深さ13前後)					
その他	床面中央で径38×44・深さ10のピット検出, 北辺西寄りピット2から床溝が延びる, 北辺中央の壁外で半円形の掘り込み検出 (階段状), 南東隅は52号住居により破壊, 北西隅は48号住居と同時に掘り下げにより破壊					
遺物	土器215片, 中央部からの出土が多い, 覆土から内斜口縁杯・短脚高杯・丸胴壺底部・壺底部出土, カマド前の床面から浮いた状態で30cm大の石出土 (表面に金属線痕跡あり), 南辺東寄り床面から20cm大の細長い石出土, 0518 (高杯) は二次火熱を受けている (支脚転用か?), 0518・1241・1242・1243・1244・1245 (胎形土器)・1246・1247・1248・1249 (壺)・1250 (くの字口縁, 単孔)					
時期	古墳後期, 6世紀前半					



第605図 5区48号住居跡遺物出土状態 (北から)

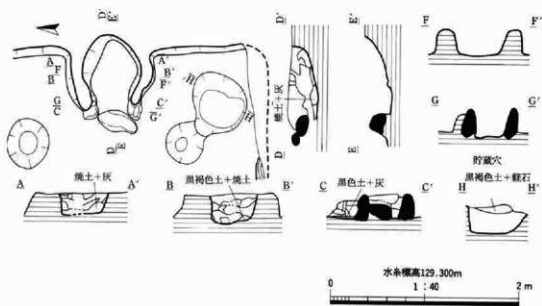


第606図 5区48号住居跡遺物出土状態(西から)



第607図 5区48号住居跡遺物出土状態(西から)





第608図 5区48号住居跡 カマド

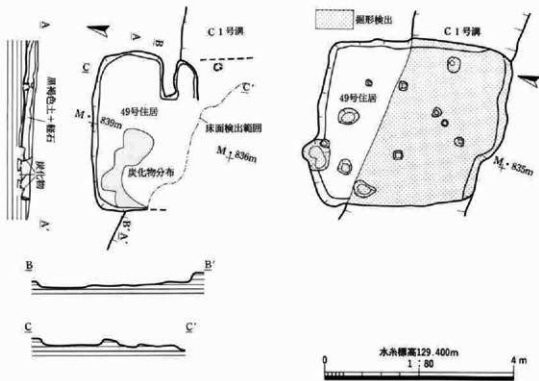


第609図 5区48号住居跡カマド遺物 (西から)

平面形 (長方形), 規模 東西332×南北402 (矩形), 面積 (13.3) m <sup>2</sup> , 壁高 9~19, 長軸方位 N164度E
壁 溝 不明
主柱穴 不明
カマド 位置 東辺, 対称軸方位 N73度E, 構築材 粘土・土器?, 支脚 不明
貯蔵穴 不明
その他 (状況の記録)
確認 面: 黒色土, 6層, 検出位置: Mライン・837m付近
重複関係: 49住→8住→C1溝, 覆土: 黒褐色系の土+軽石
壁: 浅い, 斜めに立ち上がる
床 面: 北辺寄り西半は掘り過ぎ, 貼床, 北西隅付近は炭化物分布, 南東部の一部は床面検出
主柱穴: -
カマド: 遺存不良, 燃焼部は住居壁の内側にある, 右袖部不明
貯蔵穴: -
振形: 凹凸著しい, 小ピット多数検出, 南辺検出, プランおよび確認
その他: C1溝により南半を破壊, 長軸方位は掘り検出プランによる, 詳細不明
遺物: 土器172片, 床面から炭化物出土, カマド左袖脇から土師器高杯胴部片出土, 壺形 (C1溝中) から小型甕出土, 覆土から半球杯・梗飯杯・ケズリ甕体部片出土,
1169・1170・1171・1172・1173
時期: 古墳中期, 5世紀末



第610図 5区49号住居跡遺物出土状態 (北から)



第611図 5区49号住居跡

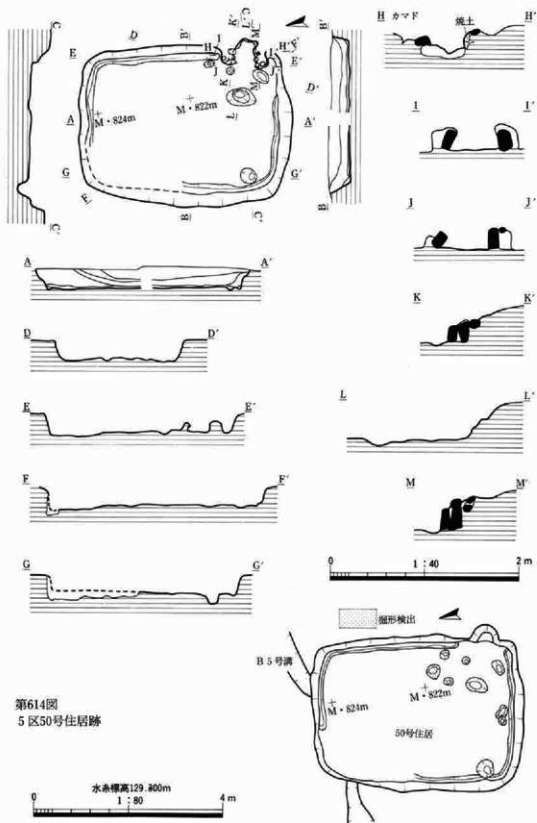


第612図 5区49号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	隅丸長方形, 規模 454×341, 面積 15.5㎡, 壁高 38~46, 長軸方位 N12度E
壁 溝 幅	7~23, 深さ 2~4
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺南寄り, 対称軸方位 N112度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明
貯蔵穴 位置	南西隅, 平面形 円形, 上ノ径34×34, 下ノ径12×15, 深さ 22
その他 (状況の記録)	
確認面	: 黒色土, 6層
検出位置	: Mライン・821m付近
重複関係	: 50住→10住
層 土	: 暗褐色系の土+軽石
壁	: 直に近い
床 面	: 黄褐色土面に達する, 堅く締まる, 小ピット多数検出
主柱穴	: -
壁 溝	: カマド部を除く, 北西部は掘り過ぎ
カマド	: 燃焼部は住居壁の内側にある, 奥壁は急角度で立ち上がる, 両袖先端部は直方体に加工した軽石を割れ粘土で固める, 10~20cm大の丸石を数個積み上げ粘土で固めて燃焼部両袖を形成する, カマド前に浅い掘り込み検出 (底面壁く締まる)
貯蔵穴	: スリ鉢状を呈する
掘 形	: 凹凸著しい, 小石露出
その他	: カマド両袖側に小ピット検出, 北西隅床面は掘り下げ過ぎて破壊
遺 物	: 土器206片, 覆土から外椀杯・くの字口縁甕・須恵器杯出土, 床面検出遺物なし, 1156 (須恵器杯, 外底ヘラ切り, 南辺東寄り壁際)
時 期	: 古墳~奈良



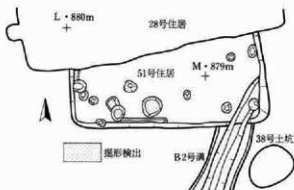
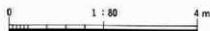
第613図 5区50号住居跡カマド遺物 (西から)



第614図  
5区50号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 東西418×南北195以上, 面積 - , 壁高 13～25, 長軸方位 -
壁溝	幅 7～19, 深さ 2～9
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土, 6層
重複関係	B 2溝→51住→28住→A類溝
壁	直に近い
主柱穴	-
カマド	-
掘形	南辺際の凹凸著しい, 小ピット多数検出, 南東隅床下でB 2号溝底面検出
その他	東辺180・南辺415・西辺130, ピット1 : 径28×36・深さ19, 壁溝内小ピット検出, 北半を28号住居により破壊され詳細不明
遺物	土器7片, 覆土から土師器壺・壺口縁部出土, 遺物図掲載なし
時期	古墳

第615図  
5区51号住居跡  
掘形



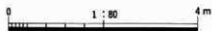
第616図 5区51号住居跡 (西から)

三ツ寺II 5区 52号住居跡 (第617・736図, 図版380)

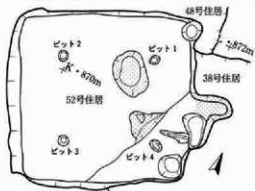
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 390×410, 面積 16.0㎡, 壁高 5~60, 長軸方位 N65度E				
壁溝	幅 5~15, 深さ 1~7				
主柱穴	1	2	3	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下ノ中心)
上ノ径	19×16	16	24×23	20×28	1-2 : 200
下ノ径	11	10	10×12	10×20	3-4 : 195 (掘形)
深さ	13	19	21	10	4-1 : 180 (掘形)
カマド	位置 北東辺中央, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明				
貯蔵穴	位置 東隅, 平面形 不整形, 上ノ径60×72, 下ノ径39×27, 深さ 42				
その他 (状況の記録)					
礎 礎 面	黒色土, 6層		検出位置: Kライン・869m付近		
重複関係	52住→38住→48住→3住		覆土: 黒褐色系の土+軽石		
壁	直に近い, 南西部深い		床面: 平坦, 貼床, やや軟弱		
主柱穴	ピット4は掘形検出		壁溝: 北東辺不明確		
カマド	焼土b k, 灰を含む掘り込みを38号住居床下で検出, 袖部等は破壊されて遺存なし				
貯蔵穴	南東辺側に不整形に広がる, 底面は楕円形を呈す, 掘形では略円形				
掘形	中央北寄りで砂質土に埋まった略楕円形の掘り込み検出 (95×70・深さ50), 東隅付近でピット4検出, 東隅付近がやや高く中央部はくぼむ				
その他	北隅は48号住居床下で検出, 東隅は38号住居床下で検出, 東半遺存不良				
遺物	土器242片・石3個, 北隅床面から18cm次の細長い石出土, 中央覆土から裏底部出土, 中央東寄り覆土・貯蔵穴覆土から短脚高杯出土, 覆土から内黒内斜口縁杯・丸脚裏底部出土				
	1234・1235				
時期	古墳後期, 6世紀前半				

第617図  
5区52号住居跡  
掘形

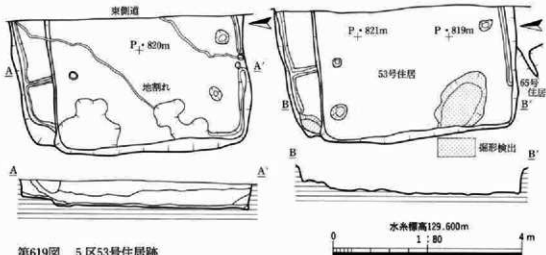


掘形検出



第618図 5区52号住居跡遺物出土状態 (北から)

平面形	方形～長方形	規模	南北498×東西284以上	面積	-	壁高	33～60	長軸方位	-
壁溝	幅5～15, 深さ1～5								
主柱穴	不明								
カマド	不明								
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)									
確認面	黒色土, 6層	検出位置	Pライン・820m付近						
重複関係	65号住→53住・64住	覆土	褐色系の土+軽石						
壁	直に近い, やや深い	床面	黄褐色土面に達する。緊く締まる						
主柱穴	北寄りピット; 径17・深さ9で浅い	壁溝	北辺・南辺で検出						
カマド	-	貯蔵穴	-						
掘形	北西隅付近で掘り込み検出, 西辺南寄りで径150×100・深さ8・略楕円形の掘り込み検出								
その他	東半は調査区外にある。東側遺調査では確認できず, 北辺267・西辺452・南辺260, 西辺寄りの床面に不整形の浅いくぼみ検出, 北辺沿いに幅50～60・長さ215・比高12の平坦な高まりを検出 (ベッド状遺構?, 地山掘り残し), 床溝はこれを掘り込んでいる。北東-南西方向の地割れが住居中央部を2本走る								
遺物	土器41片, 遺物少ない。覆土から黒色土器模倣杯・手球杯・模倣杯 (口唇部凹線)・内割口織杯出土。								
	1125 (黒色土器, 模倣杯)・1126・1127								
時期	古墳後期, 6世紀後半								



第619図 5区53号住居跡



第620図 5区53号住居跡遺物出土状態 (西から)



三ツ寺II 5区 54号住居跡 (第621・736図, 図版381・525)

計測値単位cm, -: 計測不可・不明

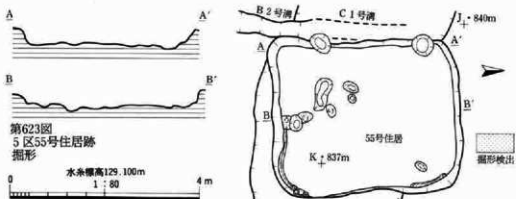
平面形	方形～長方形, 規模 南北470前後×東西270以上, 面積 -, 壁高 37~50, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
礎 礎 面	: 黒色土, 6層, 検出位置: Iライン・860m付近
重複関係	: -, 覆 土: 褐色系の土
壁	: 直に近い, 床 面: 平坦, 粘床, やや軟弱
主 柱 穴	: -, 壁 溝: -
カ マ ド	: -, 貯 蔵 穴: -
掘 形	: 凹凸著しい, 中央部に径90・深さ11の掘り込み検出, 小ピット多数検出
そ の 他	: 東隅・北隅検出, 南東辺255・北東辺440, 北隅付近の掘り込みは上層から掘り込んだ土坑底部, 西側は調査区外にあり詳細不明
遺 物	: 土器182片・石1個, 南東部に遺物多い, 床面からやや厚いた状態で高杯・模造杯・壺・甕・小型壺出土, 須恵器の出土なし, 南東隅床面から20cm大の細長い石出土, 1214・1215・1216・1217
時 期	: 古墳後期, 6世紀前半

第621図  
5区54号住居跡  
掘形



第622図 5区54号住居跡遺物出土状態 (南から)

平面形	長方形, 規模 400×340 (南辺寄り), 面積 (13.6) m <sup>2</sup> , 壁高 13~37, 長軸方位 N178度E		
壁 溝	幅 3~10, 深さ 1~4 (掘形)		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	: 黒色土, 6層	検出位置	: J~Kライン・838m付近
重複関係	: B2溝→55住→C1溝	覆土	: 褐色系の土
壁	: 斜めに立ち上がる	床面	: 遺存不良, 凹凸あり
主柱穴	: -	壁溝	: 掘形調査で北東隅・南東隅に検出
カマド	: -	貯蔵穴	: -
形状	: 凹凸著しい, 小ピット多数検出		
その他: C1号溝により中央部破壊, 西側の壁際ピットは主柱穴か?, 各隅検出, 詳細不明			
遺物: 土器19片, 覆土から外椀杯出土, 小片のみ, 遺物図掲載なし			
時期: 不明, 古墳~奈良?			



第624図 5区55号住居跡遺物出土状態 (西から)

三ツ寺II 5区 56号住居跡 (第625・736図, 図版383・526)

計画値単位cm, - : 計画不可・不明

平面形	方形, 規模	521×522, 面積	27.2㎡, 壁高	17~33, 長軸方位	N93度E	
壁溝	幅	9~20, 深さ	1~12			
主柱穴	1	2	3	4 (楕形)	主柱穴間の距離 (下バ心)	
上バ径	32×36	39×42	37	35×32	1-2 : 246	
下バ径	11×6	15×22	12	17×14	3-4 : 266 (楕形)	
深さ	55	25	47	43	4-1 : 255	
カマド	位置	東辺中央寄り, 対称軸方位	N85度E, 構築材	粘土, 支脚	石+土器	
貯蔵穴	位置	南東隅, 平面形	長方形, 上ノ径	55×70, 下ノ径	21×32, 深さ	75
その他 (状況の記録)						
確認	面	黒色土, 6層		検出位置	M-Oライン・802m付近	
重複	関係	56住→44坑		覆土	黒褐色系の土+軽石	
壁		直に近い, 浅い		床面	細かい凹凸あり, 粘床, 堅く締まる	
主柱穴		ピット3は二段に掘り込む, ピット4は掘形調査で検出				
壁溝		カマド下を除き全周				
カマド		燃焼部は住居壁の内側にある, 左袖先端部から土器器小壁燻出土 (構築材の一部か?), 燃焼部中央やや左寄りに細長い石を据え支脚とする, 石支脚の上に高杯側部・土器片2枚を乗せて高さ調整を施す, カマド前から土器器燻出土, 掘形調査では両袖部下に各2個・両脇に各1個の小ピット検出				
貯蔵穴		底面は略楕円形を呈する, 掘形調査では端正な長方形の上バとなる				
掘形		ピット4検出, ピット2の北西にほぼ同じ大きさのピット検出, 中央部に小ピット検出, 南辺中央やや東寄りで小ピット検出, 南辺寄りピットとピット4を結ぶ線上に細い溝検出, 北辺・西辺で計9本の床溝検出, 東辺・南辺の壁溝は不明となる, 貯蔵穴西側から壁溝が約50cm西側へ延びる				
その他		掘形検出の床溝分布状況と貯蔵穴西側の溝とを合わせると建て替え1~2回か?				
遺物		土器331片・石1個, カマド前から完形に近い土器が出土, カマド中央の高杯+南辺中央の破片が接合, 南辺中央壁際から丸胴燻底部出土, カマド左袖部から小型燻出土, 1102・1103・1104・1105・1106 (高杯, カマド中央)・1107・1108 (砥石)				
時期		古墳後期, 6世紀前半				



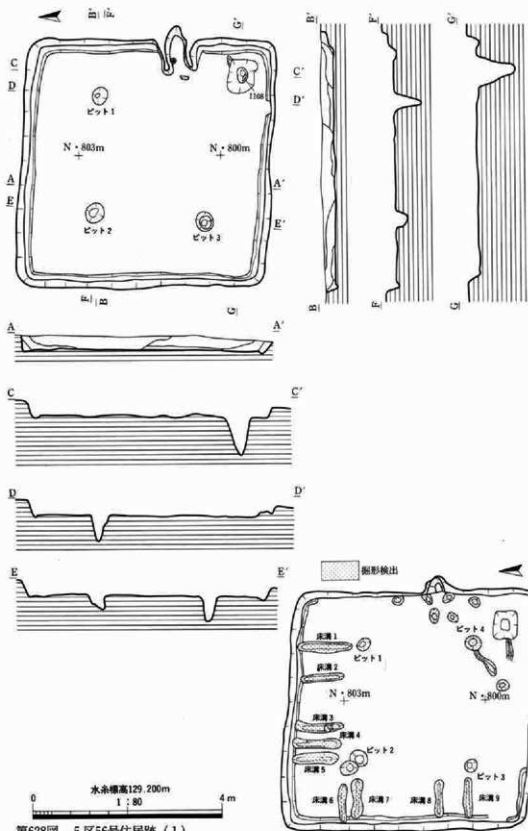
第625図 5区56号住居跡遺物出土状態 (西から)



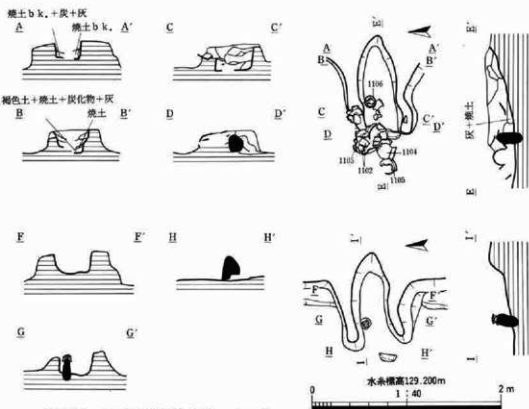
第626図 5区56号住居跡カマド遺物（西から）



第627図 5区56号住居跡遺物出土状態（北から）



第628図 5区56号住居跡(1)



第629図 5区56号住居跡(2) カマド



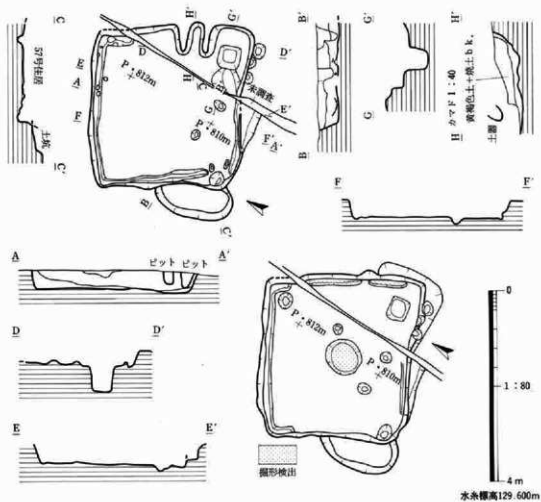
三ツ寺II 5区 57号住居跡 (第631・737図, 図版385・526)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 344×327	面積	(11.2) m <sup>2</sup> , 壁高 20~41, 長軸方位 N62度E
壁 溝	幅 8~25, 深さ 1~11		
主柱穴	不明		
カマド	位置 北東辺中央やや南, 対称軸方位 N68度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明		
貯蔵穴	位置 東隅, 平面形 方形, 上バ48×49, 下バ28×28, 深さ 50		
その他 (状況の記録)			
壁 面	黒色土, 6層	検出位置	O~Qライン・810m付近, 本線+東側道
重複関係	(本線) 57住→土坑	覆 土	黒褐色系の土+礫石
壁	:直に近い	床 面	細かい凹凸あり, 貼床
主 柱 穴	-	壁 溝	西半のみ検出
カ マ ド	東側道調査で検出, 燃焼部は住居壁の内側にある, カマド前の右袖部寄りで30~40cm大の石3個を検出 (カマド構築材の一部か?), カマド前の床面からやや深い状態で鉢形甕が出土		
貯 蔵 穴	底面も方形を呈する, 壁は直線的に掘り込む		
掘 形	北東辺にそって壁溝検出, 中央部で径80×72・深さ7の掘り込み検出, 北隅で30×35・深さ8の掘り込み検出, 凹凸著しい		
そ の 他	北隅ピットと南隅ピットはほぼ同じ大きさ, 南西辺に沿って段があったか?		
遺 物	土器149片, 覆土から大型甕・横紋杯・半球杯・管口縁部・須恵器蓋受け付き高杯出土, 1116・1117・1118 (鉢形甕, 単孔)・1119		
時 期	古墳中期, 5世紀末		



第631図 5区57号住居跡遺物出土状態 (北から)



第632図 5区57号住居跡





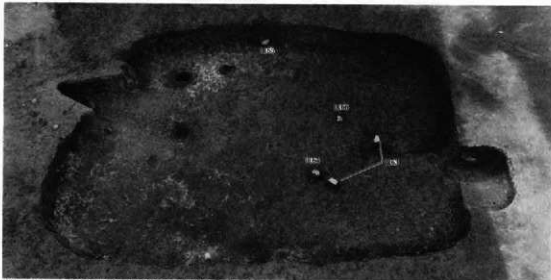
三ツ寺II 5区 58号住居跡 (第634・737図, 図版387・527)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

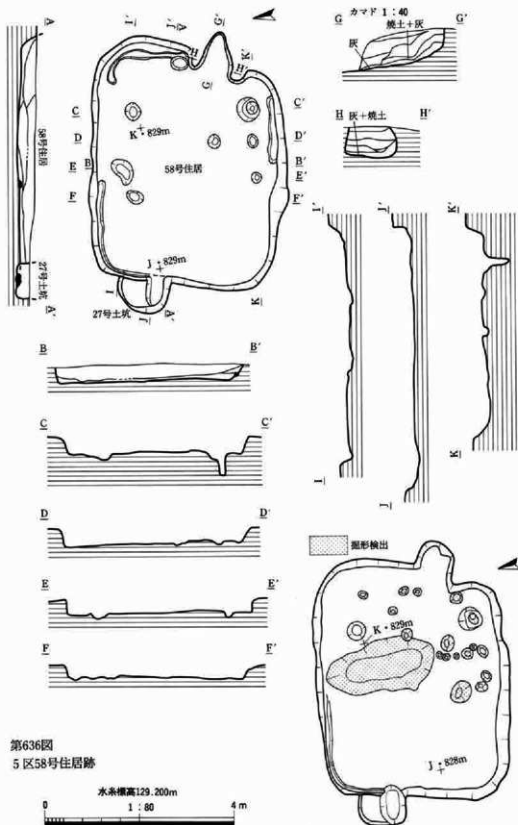
平面形	長方形, 規模 南北416×東西513, 面積 21.3㎡, 壁高 20~40, 長軸方位 N101度E
壁 溝 幅	7~18, 深さ 1~8
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺中央やや南, 対称軸方位 N110度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 円形, 上ノ径46×50, 下ノ径8×12, 深さ 55
その他 (状況の記録)	
礎 礎 面	黒色土, 6層, 検出位置: J~Kライン・828m付近
重複関係	5・8住→1・1住・1・4住・2・7坑, 覆 土: 黒褐色系の土+軽石
壁	斜めに立ち上がる, 床 面: 平坦, 貼床, 南西隅付近は掘り過ぎ
主柱穴	- , 壁 溝: 北東隅・北西隅・南辺東寄り検出
カマド	燃焼部は住居壁ラインにかかる (楕円では壁外へ突出する), 両袖部の遺存不良, 燃焼部中央で壊破片出土, 東壁は急角度で立ち上がる
貯蔵穴	二段に掘り込む, 底面は小さい
細 形	凹凸著しい, 中央部北寄り径235×110・深さ30前後の掘り込み検出, 小ピット多数検出
その他	プランはやや歪む, 西辺北寄りは2・7号土坑により破壊, 床面東半のピットは深さ10cm前後
遺 物	土器394片, 覆土から外椀杯・須恵器無台杯 (ヘタ切り)・ケズリ出し高台杯出土, 1163・1164・1165・1166・1167 (覆土)・1168
時 期	奈良, 8世紀前半



第634図 5区58号住居跡カマド遺物 (西から)



第635図 5区58号住居跡遺物出土状態 (北から)



第636図  
 5区58号住居跡

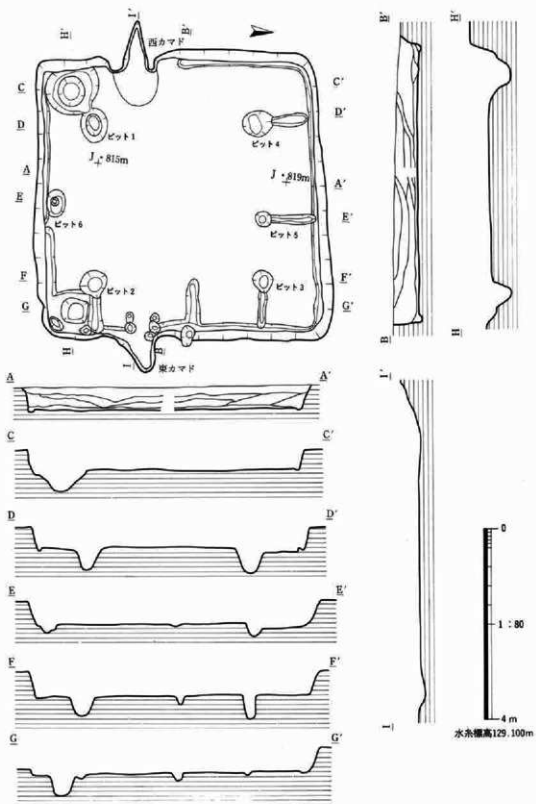
三ツ峠Ⅱ 5 区 5 9 号住居跡 (第637・738図, 図版388・527)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

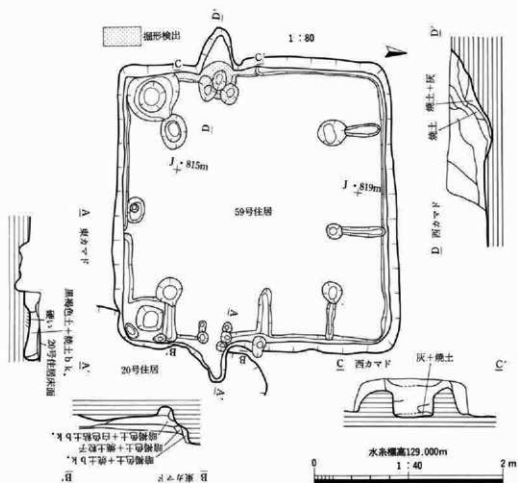
平面形 略方形, 規模 614×618, 面積 37.9㎡, 壁高 36~64, 長軸方位 N5度W					
壁 溝 幅 8~22, 深さ 1~6					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ心)
上ノ径	55×72	53×56	43×45	65×55	1-2 : 341
下ノ径	20×30	30	17×27	24×40	3-4 : 355
深さ	41	39	50	54	4-1 : 340
西カマド : 位置 西辺中央南寄り, 対称軸方位 N92度W, 構築材 粘土, 支脚 不明					
東カマド : 位置 東辺中央南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明					
西貯蔵穴 : 位置 南西隅, 平面形 略円形, 上ノ径110×94, 下ノ径33×37, 深さ 44					
東貯蔵穴 : 位置 南東隅, 平面形 方形, 上ノ径56×51, 下ノ径31×35, 深さ 43					
その他 (状況の記録)					
確認 面 : 黒色土, 6層					
重複関係 : 5 9 住→2 0 住					
壁 : 直に近い, やや深い					
主柱穴 : 4本検出, 底面楕円形のもの3本					
カマド : 西カマド : 燃焼部は住居壁ラインからやや突出する, 袖部遺存不良, カマド前に炭化物分布, 面形では燃焼部に小ピット3個検出。					
東カマド : 袖部遺存なし, 覆土に粘土b k, を含んでいるのみ, 燃焼部は住居壁ラインから突出する, カマド前に小ピット5個検出, 東辺壁溝は小ピットに接する。					
東カマド→西カマドの順に作り替えたか?					
貯蔵穴 : 西貯蔵穴 : 内部は二段に掘り込む, 底面も略円形を呈する, 掘り込みは南西隅壁に接する。					
東貯蔵穴 : 底面は不整形, 北東側・南東側に小ピット検出, 西側に約3mの段が平行する。					
西貯蔵穴→西カマド・東貯蔵穴→東カマドにそれぞれ併うか?					
掘形 : 西カマド小ピットを含む浅い掘り込みは西側壁溝に接する					
その他 : 南辺中央ピット5 : 径35・深さ28, ピット3-5, 132, ピット5-4, 203, 床溝4がつながる。					
南辺中央壁間ピット6 : 径39×53・深さ18, 二段に掘り込む, 入り口階段の痕跡か?					
床溝 : 東辺3本, 北辺2本, 主柱穴底面が楕円形を呈することから建て替えをしたか?					
遺物 : 土器273片, 床面からの出土遺物なし, 中央東寄り覆土から石・炭化物がまとまって出土, 覆土から横飯杯・半球杯 (外面ワルシ?)・高杯脚部・須恵器蓋 (口唇部凹縁) 出土, 0688 (刀子切先, 覆土)					
時期 : 古墳					



第637図 5区59号住居跡 (東から)



第638図 5区59号住居跡(1)



第639図 5区59号住居跡(2)

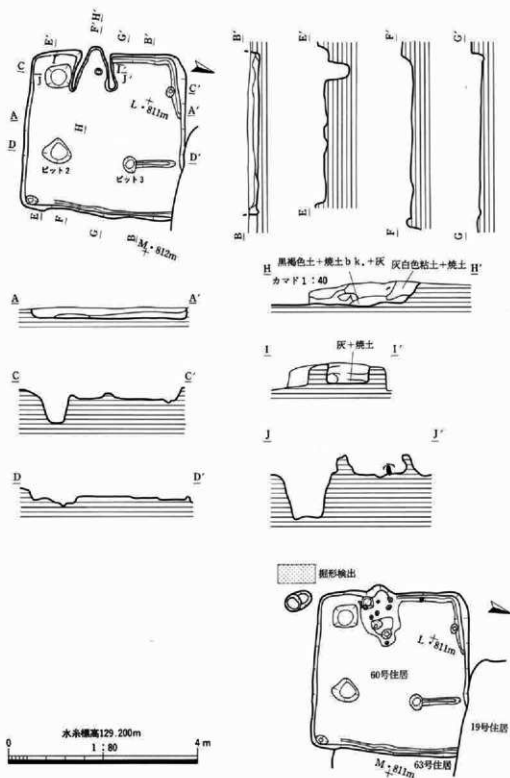


第640図 5区59号住居跡カマド(東から)

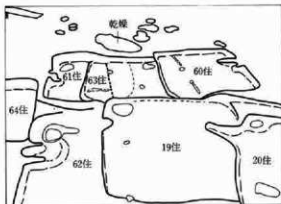
平面形 略方形, 規模 342×336, 面積 11.9㎡, 壁高 15~27, 長軸方位 N107度W				
壁 溝 幅	7~18,	深さ	1~10	
主柱穴	1	2	3	4
主柱穴間の距離(下バ心)	2-3: 155			
上バ径	60×50	27×33	-	
下バ径	34	17×16	-	
深さ	18	6	-	
カマド 位置	西辺中央, 対称軸方位 N104度W, 構築材 粘土, 支脚 石+土器(杯)			
貯蔵穴 位置	南西隅, 平面形 長方形, 上バ55×47, 下バ35×34, 深さ 54			
その他(状況の記録)				
壁 認 面	黒色土, 6層		検出位置: L~Mライン・810m付近	
重複関係	61住→63住→60住→19住		覆 土: 黒褐色系の土+軽石	
壁	直に近い		床 面: 平坦, 粘床, 固く締まる	
主 柱 穴	ビット1・4不明		壁 溝: 北西溝・東辺で検出	
カ マ ド	燃焼部は住居壁の内側にある, 袖部遺存不良, 燃焼部中央右寄りに細長い石を据え支脚とする, 石の上に土製酒杯(1129)を口縁部を下にかぶせる, 奥壁は急角度で立ち上がる			
貯 蔵 穴	底面は凹形を呈する		掘 形: 凹凸著しい, 黄褐色土面に達する	
そ の 他	ビット3につながる床溝検出, 床溝は下層住居(番号なし)または63号住居の西辺となるか?, 南東隅・北辺西寄りの壁脚で小ビット検出, 本住居~63号住居の下に別住居があった可能性あり(第643図)			
遺 物	土器73片, カマド周辺から完形に近い杯類の出土が多い, 壁類の出土少ない, 覆土から短脚高杯出土, カマド覆土から壺口縁部出土, 1128・1129(半球杯, 略完形, カマド, 天地逆)・1130・1131・1132・1133・1134			
時 期	古墳中期, 5世紀末			



第641図 5区60号住居跡遺物出土状態(北から)

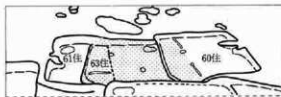
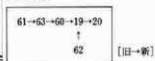


第642図 5区60号住居跡



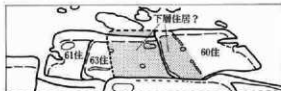
推定1 (調査時)

遺構の前後関係は次の通り。63号住居の中央部に61号住居の西辺を推定。



推定2

60号住居の「床溝」が63号住居の西辺痕跡と推定。63号住居南辺は掘り下げ不十分とみる。



推定3

63号住居西側と60号住居東側との下層は周辺と比較して濃度が異なり、両者の「床溝」に囲まれた略方形の位置に下層の住居を推定。南辺は掘り下げ不十分で、斑点状の乾燥部北端まで下層住居が広がるとみる。

第643図 5区60・61・63号住居の推定



第644図 5区60号住居跡下層の推定 (北から)



三ツ寺II 5区 61号住居跡 (第645・738図, 図版390・527)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

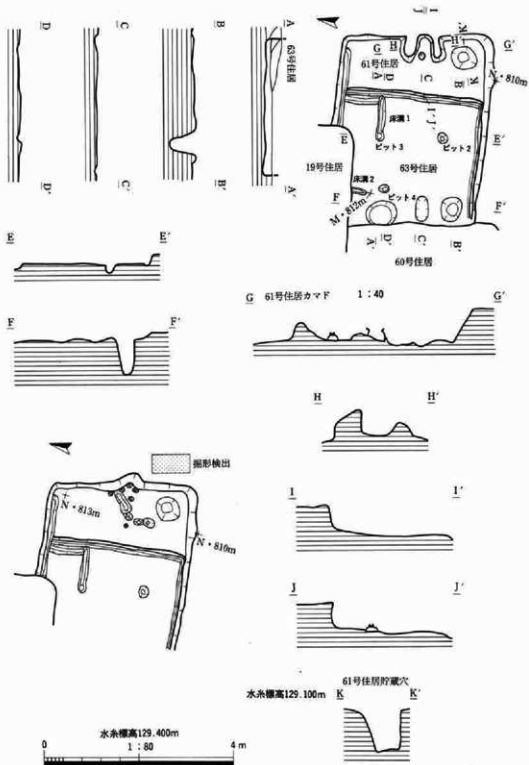
平面形	方形～長方形, 規模 南北328×東西140以上, 面積 - , 壁高 28~35, 長軸方位 -
壁 溝 幅	13, 深さ 2
主柱穴	不明
カマド 位置	東辺中央, 対称軸方位 N80度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 土器または石?
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 隅丸方形, 上バ49×47, 下バ21×21, 深さ 48
その他 (状況の記録)	
環 礎 面	黒色土, 6層
掘 出 位置	M~Nライン・811m付近
重 複 間 隔	61住→63住→60住→19住
覆 土	黒褐色系の土+軽石
壁	直に近い
床 面	凹凸あり, 貼床
主 柱 穴	壁 溝: 北辺で検出したのみ
カ マ ド	燃焼部は住居壁ラインの内側にある, 燃焼部中央から土器器高杯(脚部欠)が倒立状態で出土, カマド前から石出土(支脚?), 両袖部から土器器壁出土, 右袖部側壁は下半欠・一部袖に中, 左袖部側は先端部で割れた状態の出土, 北東部で出土した不整形の石はカマド構築材の一部か?
貯 蔵 穴	壁は直線的に掘り込む, 底面略方形, 掘 形: カマド付近で小ビット検出, 凹凸著しい
そ の 他	床面は63号住居よりも5~6cm高い, 63号住居出土遺物の一部は本住居のものか?
遺 物	土器208片, カマド周辺から貯蔵穴にかけて土器出土, カマド内から土器器壁高杯出土, 須恵器の出土なし, 1145・1146・1147・1148・1149
時 期	古墳中期, 5世紀末



第645図 5区61号住居跡カマドと貯蔵穴の状況 (北から)



第646図 5区61号住居跡カマド掘形 (西から)



第647図 5区61・63号住居跡

三ツ寺II 5区 62号住居跡(第648・738図, 図版391・528)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	略方形, 規模 南北392×東西(北寄り)385, 面積 (15,1), 壁高 27~43, 長軸方位 N165度E					
壁溝幅	7~15, 深さ 1~6					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下々中心)	
上径	25	24×21	18×22	-	1-2:174	2-3:189
下径	12	11	11×16	-		
深さ	9	33(床面)	28(床面)	-		
カマド位置	東辺中央やや南, 対称軸方位 N78度E, 構築材 粘土, 支脚 不明					
貯蔵穴位置	南東隅, 平面形 略方形, 上径50×49, 下径32×30, 深さ 49					
その他(状況の記録)						
確認面	黒色土, 6層		検出位置: M~Nライン・815m付近			
重複関係	62住→19住・12住		覆土: 黒褐色系の土			
壁	直に近い		床面: 平坦, 薄い粘床			
主柱穴	ピット2・3の深さは遺存床面から		壁溝: 南東隅を除き検出内全周			
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある。袖部遺存不良, 右袖部裾の壁際から完形に近い土器器壁出土。裏壁は急角度で立ち上がる					
貯蔵穴	最深部は北寄りで楕円形を呈する。周囲に床面と3~5cmの浅い段がある。西側は不整形に広がる					
洞形	黄褐色土面に達する。固い					
その他	北辺西寄りで床溝検出。南東部の壁溝は未検出か?。西半は19号住居により破壊。カマド南側には64号住居が接する。前後関係不明					
遺物	土器120片, 覆土から半球杯・小型壺口縁部・須恵器本体不明の把手出土, 1150・1151・1152・1153					
時期	古墳中期, 5世紀末					



第648図 5区62号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	方形〜長方形, 縦横 南北326×東西275以上, 面積 - , 壁高 20~32, 長軸方位 -					
壁 溝	幅 5~12, 深さ 1~7					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下/中心)	
上/径	-	21×24	16	21×17	2-3:133	3-4:114
下/径	-	8×11	10×14	11×7		
深 さ	-	23	24	24		
カマド	位置 西辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 楕円形, 上/径41×52, 下/径22×26, 深さ 75					
その他 (状況の記録)						
壁 溝	面: 黒色土, 6層		検出位置: Mライン・81m付近			
重複関係	61住→63住→60住→19住		覆 土: 黒褐色系の土+礫石			
壁	: 浅い		床 面: 凹凸あり, 薄い粘床			
主柱穴	: ビット1不明, 小さい		照 溝: 北東隅〜南辺で確認, 東辺北寄りには2本検出			
カマド	: 西側南寄りで灰土・灰を検出したのみ, 袖部等不明, 60号住居により破壊されたか?					
貯蔵穴	: 深い, 南東側の床面で完形に近い土器出土					
掘形	: 黄褐色土面に達する, 凹凸著しい, 下層に別住居があったか?					
その他	: 東辺北寄り・北辺で床溝検出, 西側北寄りで浅い円形掘り込み検出, 東辺北寄りで検出した西側の壁溝 (床溝1につながる) は61号住居の床溝か?, 西辺は60号住居により破壊					
遺物	: 土器33片, 中央部から南西部にかけて土器出土, 中央から内面ハケ目の壺体部片出土, 1236・1237・1238・1239・1240					
時期	: 古墳中期, 5世紀末					

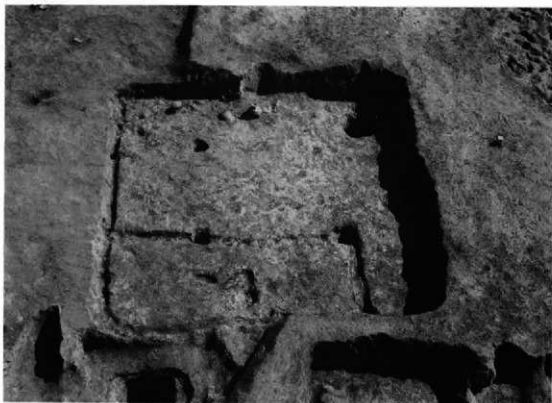


第649図 5区63号住居跡貯蔵穴付近遺物 (東から)

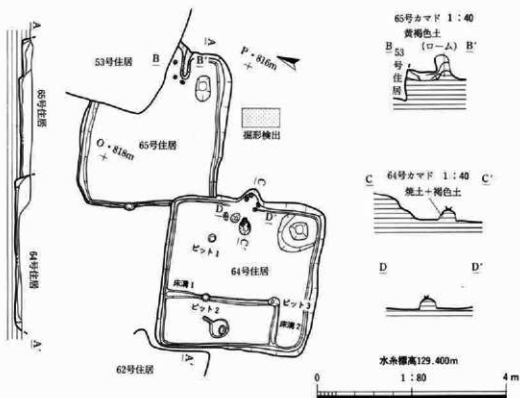
三ツ寺II 5区 64号住居跡 (第650・740図, 図版292・529)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

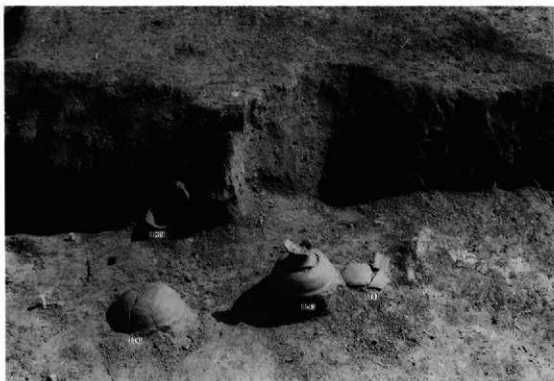
平面形	略方形, 規模 317×324, 面積 10.3㎡, 壁高 8~35, 長軸方位 N73度E					
壁溝	幅 5~8, 深さ 2~7					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ心)	
上ノ径	15×17	15	23×20	-	1-2:125	2-3:142
下ノ径	8×11	11×13	7	-		
深さ	33	25	23	-		
カマド	位置 北東辺中央, 対称軸方位 N78度E, 構築材 粘土, 支脚 土器?					
貯蔵穴	位置 東隅, 平面形 五角形, 上ノ径37×36, 下ノ径16×17, 深さ 65					
その他 (状況の記録)						
礎	礎面:黒色土, 6層			検出位置:	N-Oライン・814m付近	
重複関係:	65住→64住→12住			覆土:	黒褐色系の土+軽石	
壁	:直に近い			床面:	貼床, 細かい凹凸あり	
主柱穴:	ビット4不明			壁溝:	検出内全周	
カマド:	袖部遺存不良, 燃焼部は住居壁の内側にある, 奥壁は急角度で立ち上がる, 燃焼部底面からやや厚いた状態で土師器高杯が倒立状態で出土 (支脚転用?), 周辺から杯類出土					
貯蔵穴:	周囲の径80cm前後の範囲が低くその回りは土手状の高まりをもつ, 底面は略円形を呈する					
形状:	カマド付近で小ビット検出					
その他:	北西辺西寄り・南西辺南寄りで床溝検出, 床溝1はビット2につながり直線的に延長してビット3に接する, 床溝1-ビット3-床溝2で南北230×東西90の長方形を形成する, 南西辺中央付近で不整形ビット検出 (45×37・深さ6, 二段)					
遺物:	土器30片・石1個, 金属残跡のある軽石出土, カマドから黒色土器内斜口縁杯出土, 覆土から模倣杯 (口唇部凹線) 出土, 1129・1140・1141・1142・1144 (土師器壺, 頸部に段, 覆土)					
時期:	古墳中期, 5世紀末					



第650図 5区64号住居跡遺物出土状態 (西から)



第651図 5区64・65号住居跡



第652図 5区64号住居跡カマド遺物(西から)

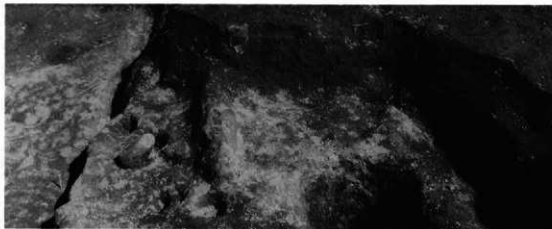
三ツ寺II 5区 65号住居跡 (第651・740図, 図版394・529)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 307×324, 面積 (10.0) m <sup>2</sup> , 壁高 2~3m, 長軸方位 N74度E
壁 溝	幅 5~16, 深さ 1~5
主柱穴	不明
カマド	位置 北東辺中央, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 東隅, 平面形 不整形, 上バ129×54, 下バ16×19, 深さ 60
その他 (状況の記録)	
確認面	: 黒色土, 6層
検出位置	: O~Pライン・817m付近
重複関係	: 65住→64住→12住, 65住→53住
覆土	: 黒褐色系の土+礫石
壁	: 直に近い
床面	: 貼床, 平坦
主柱穴	: -
壁溝	: 検出内全周
カマド	: 右袖部のみ遺存, 北半は53号住居により破壊, 燃焼部は住居壁の内側にある, カマド内から脚部に炭化物の付着した高杯出土 (支脚転用?), 右袖部は地山を直線的に掘り残し粘土で固める
貯蔵穴	: 上バの南西部やや突出, 底面は長方形を呈する
掘形	: カマド付近で小ビット検出, カマド燃焼部で細長い石出土
その他	: 南隅は64号住居により破壊, 柱穴不明
遺物	: 土器56片・石1個, 北西隅付近床面から13cm大の石出土, カマド覆土から壺口縁部出土, 覆土から壺底部出土, 1135・1136・1137・1138
時期	: 古墳中期, 5世紀末

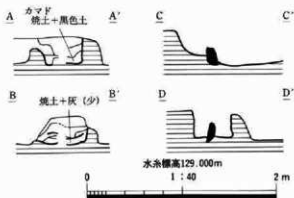


第653図 5区65号住居跡遺物出土状態



第654図 5区65号住居跡カマド掘形 (西から)

平面形	方形～長方形, 規模 南北338×東西130以上, 面積 -	壁高	25～35, 長軸方位 -
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	位置 東辺中央やや南, 対称軸方位 N105度E, 構築材 粘土, 支脚 石		
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ径25×36, 下ノ径14×21, 深さ 40 (彫形)		
その他 (状況の記録)			
発掘面	黒色土, 6層	検出位置	Iライン・823m付近
重複関係	B2溝→66住	覆土	黒褐色系の土+軽石
壁	直に近い	床面	平組, 粘床
主柱穴	南寄りでピット4相当検出	壁溝	-
カマド	燃焼部は住居壁ラインにかかる, 袖部遺存不良, 燃焼部中央に細長い石を据え支脚とする, 石は奥壁側へ傾く, 奥壁は急角度で立ち上がる, 支脚前から土師器甕出土		
貯蔵穴	彫形検出, 長軸は南辺と平行にならない		
掘形	細かい凹凸あり	その他	西半は調査区外にある, 詳細不明
遺物	土器43片, カマド前床面から下那れの甕出土, 覆土から模造杯・酒志器杯出土, 1160・1161・1162		
時期	古墳後期, 7世紀前半		



第655図 5区66号住居跡



第656図 5区66号住居跡遺物出土状態 (北から)



三ツ寺II 5区 67号住居跡 (第657・740図, 図版397・530)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北448×東西(487), 面積 (21.8) m <sup>2</sup> , 壁高 32~41, 長軸方位 N85度E					
壁 溝	幅 10~17, 深さ 2~4					
主柱穴	1	2 (掘形)	3	4	主柱穴間の距離 (下バク心)	
上バク径	32×29	26×23	33×28	30×28	1-2 : -	2-3 : 221 (掘形)
下バク径	11	12	14×7	13×8	3-4 : -	4-1 : 202
深 さ	64	38	100	64		
カマド 位置	東辺中央, 対称軸方位 N86度E, 構築材 粘土, 支脚 土器?					
貯蔵穴 位置	南辺東寄り, 平面形 長方形, 上バク46×61, 下バク18×26, 深さ 72					
その他 (状況の記録)						
確 認	面: 黒色土, 6層		検出位置: O~Qライン・801m付近, 本線+東側道			
重複関係	67住→101溝, 67住→A1溝		覆 土: 黒褐色系の土+軽石			
壁	: 直に近い		床 面: 貼床, 細かい凹凸あり			
主 柱 穴	: ビット3は掘形検出, ビット1-2・ビット3-4間の距離は実測図ズレのため計測不可					
壁 溝	: 南辺東半(本線調査)・西辺は未検出, 掘形ではカマド下にも検出					
カ マ ド	: 東側道調査で検出, 燃焼部は住居壁の内側にある, 燃焼部中央やや左寄りで土師器高杯が倒立状態で出土(支脚転用?), 奥壁は急角度で立ち上がる, 右袖部脇から土器出土					
貯 蔵 穴	: 底面も長方形を呈する, 東辺からやや離れる					
形 状	: 凹凸著しい, 小ビット多数検出, 西辺・南辺で床溝検出					
そ の 他	: 北辺沿いに幅50~60cmの平坦な高まり検出, 高まりの南端は壁溝状を呈する(拡張痕跡か?), 高まりの西寄りを南北に床溝が回り込まれる, 西辺直下は小ビット状の凹凸著しい, 南辺西寄りで不整形土坑状の段を検出(直下の床面で浅い円形掘り込み検出, 入り口複数か?), 北辺床溝のみ床面検出					
遺 物	: 土器151片・石1個, 覆土から短脚内斜口縁高杯・小型甕・須恵器杯(蓋受け付)出土, 掘形から11cm大の石出土, 1110・1111・1112・1113・1114・1115					
時 期	: 古墳中期, 5世紀末					



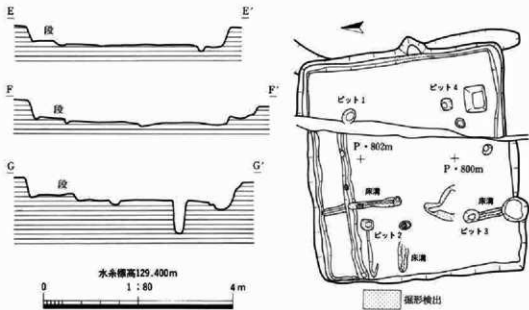
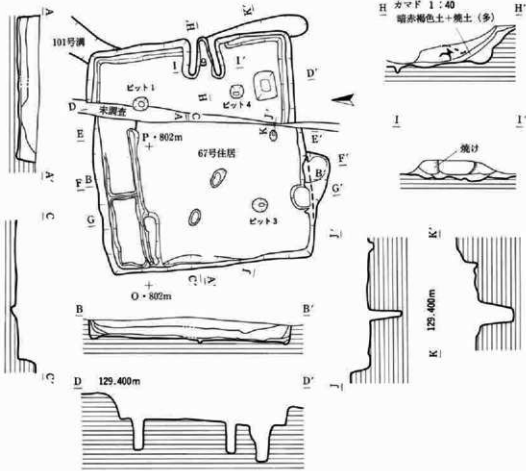
第657図 5区67号住居跡遺物出土状態(北から)



第658図 5区67号住居跡遺物出土状態（西から）

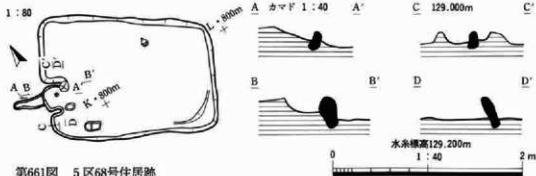


第659図 5区67号住居跡カマド遺物（西から）



第660図 5区67号住居跡

平面形	長方形, 規模 377×257, 面積 9.7㎡, 壁高 11~28, 長軸方位 N57度W		
壁 調	不明		
主柱穴	不明		
カマド 位置	北西辺南寄り, 対称軸方位 N68度W, 構築材 粘土・石, 支脚 石?		
貯蔵穴 位置	南西辺西寄り, 平面形 長方形, 上ノ18×35, 下ノ14×31, 深さ 40		
その他 (状況の記録)			
確認面	黒色土, 6層	検出位置	Kライン・801m付近, 4区-5区の境
重複関係	4区110住→5区68住→4区1住	覆土	黒褐色系の土
壁	直に近い, 浅い	床面	中央部くぼむ, 壁際凹凸あり
主柱穴	-	壁 調	-
カマド: 燃焼部は住居壁の内側にある, 右袖先端部に20cm大の石を据え粘土で固める, 左袖部遺存不良, 南東部床面近く出土の石はカマド構築材の一部か?, 左袖先端部のくぼみは石抜き跡か?, 燃焼部中央右寄りで6cm大の丸い石出土 (支脚?), 煙道部長さ65cm検出			
貯蔵穴: 上ノ西側は丸みをもつ, 壁は直線的に掘り込む			
掘形: 小ピット多数検出, 凹凸著しい, 西隅で不整形の掘り込み検出, カマド前は溝状にくぼむ			
その他: 長方形・北西向きカマドをもち本遺跡では期別が少ない			
遺物: 土器90片, 覆土から模倣杯・嬰口縁部・鉢形瓶底部出土, 中央南東寄りで20cm大の石出土, 1283			
時期: 古墳後期			



第661図 5区68号住居跡

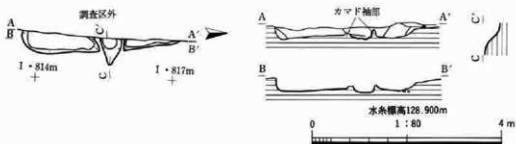


5区68号住居跡の遺物出土状況 (複製品)

三ツ寺II 5区 69号住居跡 (第663図, 図版401)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北340以上, 面積 -, 壁高 14~23, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	黒色土, 6層	検出位置	Iライン・816m付近
重複関係	-	覆土	黒褐色系の土+軽石
壁	直に近い	床面	検出内平坦, 貼床
主柱穴	-	壁溝	-
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある, 両袖の一部を検出, 奥壁は急角度で立ち上がる, 59号住居のカマドと向き合う, 調査区西壁に軸部断面観察		
貯蔵穴	-	掘形	比較的平相
その他	大半は西側の調査区外にある, 南東隅を検出したのみ, 南辺40・東辺330, 詳細不明		
遺物	土器9片, 覆土から横線杯小片・埴輪部片出土, 遺物図掲載なし		
時期	古墳		



第663図 5区69号住居跡



第664図 5区69号住居跡 (南から)

三ツ寺II 5区 ビット群 (第665図, 図版406)

5区東側道の調査(第2次調査)で多数のビットを検出した。確認面は暗褐色土(5層下位~6層)である。とくに集中して検出しているのは、4区から5区にかけての南端(ビット群1)、キロ程845m付近の101号溝両岸(ビット群2)、キロ程880m付近の101号溝西岸(ビット群3)の3カ所であった(以下、群番号で呼ぶ)。

出土遺物はいずれも小片であるが、これらと検出層位・住居との重複関係を勘案すると、ビット群は古墳時代までさかのぼる可能性がある。

ビット群1では4区北端の101号掘立柱建物を境として、その北側20m(キロ程815m)付近までビットが分布し、それらは蛇行する101号溝の両岸から検出している。溝内から検出したビットは少なく、溝外のビットはおおむね規模が揃っている。掘立柱建物として組み合わせの可能なものはない。これらのビット群1から北側の約10mの範囲はビットの空白部である。

なお、101号溝南端は5区67号住居と重複し、住居の方が古いことを確認している。

ビット群2は東側道のキロ程838~850m付近に分布し、101号溝の両岸・内部から検出している。両岸に近いところに分布していること、小ビットが多いこと、北側に接して101号溝の幅が広がっていることなどから、101号溝に関連した施設があったことが考えられる。

なお、キロ程827~838mの間は、付け替えられた地元の生活道路として機能していたため、調査することができなかった。

ビット群3は東側道のキロ程872~893m付近に分布し、これらは101号溝の西岸にあたる。ビットの規模はおおむね揃っているが、掘立柱建物として組み合わせの可能なものはない。これらのビット群の北側にあたるキロ程900~906m付近(5区23号住居の東側)からもビット群が検出されているが、狭い範囲の調査であるため、掘立柱建物として組み合わせることはできない。これらを境として、以北の6区東側道は地山が低くなり、遺構を検出していない。キロ程906m付近が本道跡のビット検出の北限であり、住居検出の北限である。これより以北は低地となり、本線敷調査(第1次調査)西側で検出した浅間川経石下の水田跡が広がるとみられる。



第665図 5区ビット群2 (南から)



第666図 5区ピット群1 (南から)

三ツ峠 5区 溝 (第667・741回, 図版402・531)

5区では91本の溝を検出した。A類の溝は5区第1遺構検出面(5層上位)で確認した平行する直線的な溝群で、計85本を検出している。B類の溝は5層下位～6層で検出し、蛇行したり、やや深いもの、A類とは覆土が異なる溝等を指し、B1～5号(そのうちB3号はB2号と同じ)の番号を付けている。C類の溝はA類と同じ面で検出し、1本のみである。以上は、第一次調査検出の溝群である。

第二次調査(東側遺構調査)では、調査区内を蛇行するやや大型の溝を検出し、101号溝とした。その北端に接する細い溝は102号溝と呼んで区別した。

A類溝は平行する溝群のまとまりをもって分布する。5区北半では若干の違いはあるもの、おおむね東西方向の方位で走行し、隣あった溝群はほぼ平行するものが多い。覆土は暗褐色～黄褐色系のしまりのない土である。中央部のA53号溝を代表とする溝群は北東-南西方向に走行し、以北の溝群とはまったく異なった方位を示す。覆土は黒褐色系のものが多い。中央部西端のA48号溝を代表とする溝は、A53号溝と略直角の方位を示す。南半の溝群は北半のものとは異なり、東西または南北の方位をもつ。覆土は黄褐色系で、北半の溝群に近い。

遺物は古墳～平安時代の土器小片が出土し、A46号溝からは陶器1片が出土している。

以上のA類溝群は一部に不整形のものを含み、長さに長短があり、地点による走行方位のまとまりをもっていること等から、畷跡の可能性が考えられる。図では代表的な溝の走行方位を示した。時期は平安時代以降で、中世～近世のものと考えられる。

B類溝はB2号溝を除き、A類溝に似る。B1号溝は北半にあり、A23号溝とほぼ同じ走行を示す。覆土は南半のA類溝に似て、黄褐色系の土である。5号住居→B1号溝の順に新しい。

B4・5号溝は1本の溝の東半・西半にそれぞれ番号を付けたもので、中央部のA53号溝の走行に近い。周辺住居との前後関係は50号住居→B4・5号溝であるが、10号住居との関係は明確ではない。溝の方が古い可能性がある。

B2号溝は5区の北東部から南西部へ斜めに横切る溝で、幾つかの住居・溝と重複する。それぞれの遺構との関係を注意して見直したところ、B2号溝の方が古いことを確認した。北東部からB2号溝→51号住居、B2号溝→38号住居、B2号溝→36号住居、B2号溝→13・14号住居、B2号溝→66号住居の順に新しい。52号住居との直接的関係は、38号住居により破壊され不明である。B1号溝・C1号溝はいずれもB2号溝を切っている。覆土は黒褐色系の土に浅間C軽石を含んだ土である。出土遺物は1326・1327の手づくね土器(B3号溝の注記、36号・37号・42号の3軒に囲まれた地点から出土)がある。出土土器の破片には重複する住居から落ち込んだと推定できるものも含まれるが、おおむね遺構の前後関係と矛盾はない。

3～5区の遺構が分布する高まりは、おおむね北東-南西の方向で帯状に広がる微高地で、B2号溝はその北西縁にほぼ平行する溝である。調査区北西側は現在低くなっており、水田が営まれている。



第667図 5区A類溝、C1号溝(南から)



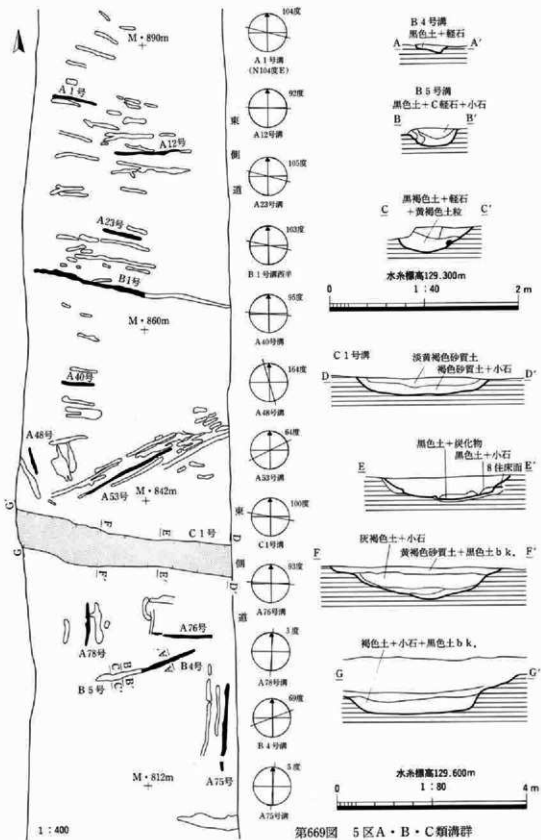
三ツ寺II 5区溝一覧表

—: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他	遺物	時期	備考
101	黒色土 6層	P~R・ 798~889m	67住→ 101溝	96・60~380・13~46	FPを含む 砂質土	底面二段	1322・1323 1324・1325 須置器大型甕 長頸甕・蓋、 土器632片	古墳	東側道
102	黒色土 6層	Q~R・ 886~894m	102溝→ 101溝?	8.1・32・13	—	細い	—	古墳	東側道
B1	暗褐色土 5層	I~P・ 863~869m	5住→B1溝	22・25~54・9~18	淡黄褐色土	西半やや深い	土器59片、高 杯・丸胴甕・ 模倣杯・外披 杯	平安以降、 中世?	略東西
B2	暗褐色土 5層下位	I~P・ 824~829m	重複多	71・41~158・30前後	黒褐色土+ C軽石	蛇行あり	土器31片、石1 個、内斜杯・小 型甕・丸胴甕 土器6片、 1326・1327、 模倣杯・高杯	古墳	北東~南 西
B3	B2溝と 同								
B4	暗褐色土 5層下位	K~O・ 823~826m	50住→? B4溝→10住	11.3・30~55・3~21	黒褐色土+ C軽石	50住の東側	土器10片、半 球杯・丸胴甕	古墳~平安 古墳?	略東西、 B4溝→ 50住?
B5	B4溝と 同					50住の西側	土器26片、小 型甕・甕		
C1	褐色土 5層	I~P・ 835~841m	住居・B2溝→ C1溝	24・270~410・35~60	黄褐色砂質 土	西流	土器506片、石 3個、0689・ 1328・1329・ 1330、灰輪陶 器・ケズリ甕 石白小片	平安以降、 中世?	略東西



第668図 5区A類溝群北半(北から)



第669图 5区A·B·C类满群



C1号溝は5区中央部をほぼ東西に横切る、幅の広い溝である。覆土は淡黄褐色・褐色系の砂質土で、下位の褐色土には小石・黒色土ブロックを含んでおり、水流のあったことを示す。底面の傾斜では、西へ向かって流れたとみられる。平安時代の21号住居を破壊して掘り込まれており、平安時代以降のもと考えられる。遺物には0689(鏝)・1328(土師質土器高台付柄)・1329(羽釜)・1330(丸瓦または埴輪)のほか、灰釉陶器・石臼小片等がある。

101号溝は第二次調査の東側道で検出した溝で、上位にF Pを含む灰褐色系の砂質土(砂利を含む)が堆積する。調査区内をゆるやかに蛇行し、4区-5区の境となるキロ程800m付近で浅くなって消える。キロ程818m付近では調査区壁下に東岸が推定できるが、この付近で分流する可能性もある。キロ程853m付近は東西5m・南北4mほどの略長方形に広がり、東岸は浅くなっている。なんらかの施設があったことが推定される。この長方形部分の南側に、前記のピット群2がある。北側の西岸ではピットの分布が少ない部分があり、さらにその北側にピット群3が位置する。101号溝は微高地を南北に貫く方向で掘り込まれている。

102号溝は101号溝の北端に位置し、101号溝に合流している(重複関係不明)。幅30cm前後の細い溝で、深さ13cmと浅いが、底面の傾斜は北側が高く、南流する溝と考えられる。101号溝の一部か?

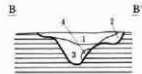
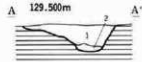
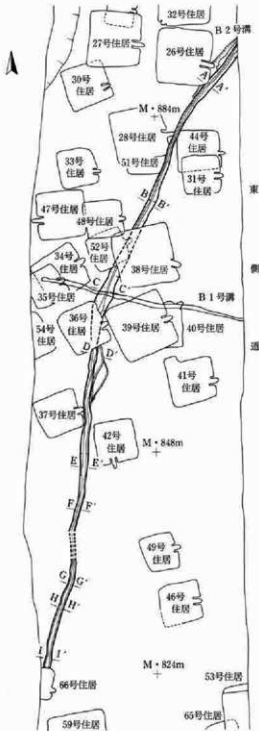
以上の5区の溝のうち、B2号溝と101号溝とは古墳時代に掘り込まれた溝とみられ、住居との重複関係および地名山二ツ岳噴出のテフラとを勘案すると、B2号溝の方が古いと考えられる。101号溝は底面近くから検出面までF Pを含む層が堆積し、3回の粗い砂利層の流入がみられることから、F P降下前後には掘り込まれていたと推定される。両者は5区-6区の境としたキロ程900m付近の調査区外東側で交差することが予想でき、B2号溝+101号溝の合流(より高位地点からの分流)、またはB2号溝→101号溝のつづかえが考えられる。両者は南側約500mに位置する三ツ寺1遺跡を含め、周辺の開発と本道跡の成立に密接な関連をもつ遺構であろう。



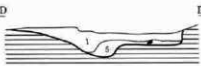
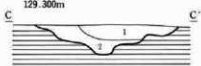
第671図 5区B2号溝(南から)



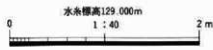
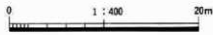
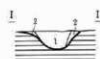
第672図 5区B2号溝遺物出土状態(西から)



- 1 黒褐色土+C礫石+黄褐色土粒子 (ローム)
- 2 黒褐色粘質土+褐色土 b k, +礫石
- 3 茶褐色粘質土
- 4 黒色土+礫石



- 5 黒褐色土+礫石+黄褐色土 b k, +小石



第673図 5区B 2号溝



第674図 5区C1号溝（北から）



第675図 5区C1号溝 イ区遺物出土状態（北から）



第676図 5区C1号溝 ロ区遺物出土状態（北から）



第677図 5区C1号溝 ハ区遺物出土状態（東から）

## 三ツ寺II 5区 土坑 (第502・742図, 図版531)

5区では7基の掘り込みに土坑番号がつけられたが、そのうち7・2・4・3・1・4・1・4・2号の5基は欠番である。2・9・A号より小さい番号の土坑はおおむね上層の5層(褐色土)で確認し、2・9・B号以降は下位の6層(黒〜黒褐色土)で検出した。いくつかの土坑には浅間山噴出の軽石を含んでいたが、B軽石かA軽石か判断できないものもあり、この場合の覆土層は単に「軽石」と記入した。

キロ西830m付近の9号住居と重複する土坑類は、住居上層で検出したものと住居の床下から検出したものが分布する。4・3号土坑は、掘り下げ前に遺物が見えていたため、土坑番号を付けて掘り下げたが、次第に不整形となり、略長方形を呈する掘り込みとなった。あるいは、下層の住居(31号)を掘り下げていたとも考えられる。

遺物は古墳〜平安時代までの小片が大半で、掲載したのは2・3号土坑出土の1331、4・3号土坑出土の1332・1333の3個体である。その他の土層片は紙面の都合により割愛した。

時期を限定できるものはきわめて少ない。以下、一覧表で各土坑の規模等を示す。

三ツ寺II 5区土坑一覧表

bk.: block, 計測値単位cm, - : 計測不可・不明

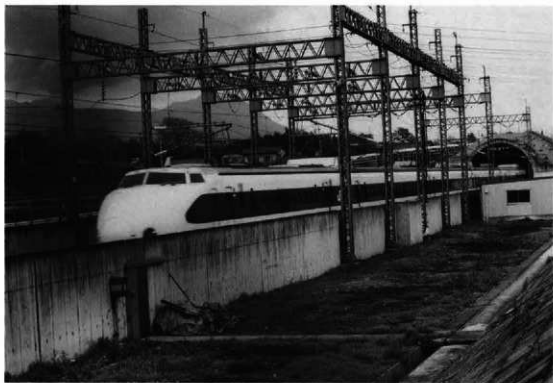
番号	確認層	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
1	褐色土 5層	N~O・ 850m	A63溝→ 1坑	462×55・49	灰褐色土	溝状	土器4片,内斜 杯・羽蓋	平安以降	
2	褐色土 5層	N・ 848m	A53溝→ 2坑	133×48・8	灰褐色土	楕円形	土器6片,小片 のみ	平安以降	
3	褐色土 5層	M~N・ 850m	7住→3坑	53×150・21	暗褐色土+ 黄褐色土 bk.	長方形	-	平安以降	
4	褐色土 5層	L~M・ 850m	42住→4坑	57×192・7	黄褐色土 パサパサ	長方形	-	平安以降	
5	褐色土 5層	K~L・ 853m		163×62・14	黄褐色土	長方形	土器2片,小片 のみ	平安以降	
6	褐色土 5層	O~P・ 879m	31住→6坑	123×61・12		長方形	土器32片,須 恵器蓋	平安以降	
7	欠番								
8	褐色土 5層	P・ 849m		52×155以上・19	褐色土	長方形	-	平安以降	
9	褐色土 5層	P・ 847m		48×57・9	褐色土	円形	-	平安以降	
10	褐色土 5層	N~O・ 843m		145×140・16	黄褐色土, 軟	円形	土器8片,土釜	平安以降	
11	褐色土 5層	N~O・ 833m	46住→ 11坑	245×155・5	黒褐色土+ B軽石	不整形	土器8片,須恵 器高台付杯	平安以降	
12	褐色土 5層	N・ 833m	8住→12坑	88×118・27	黄褐色土+ 軽石	不整形	土器15片,須 恵器高台付杯	平安以降 近世?	
13	褐色土 5層	L~M・ 831m		96×71・13	黄褐色土	楕円形	土器11片,外 種杯	平安以降	
14	褐色土 5層	L~M・ 828m	45住→ 14坑	82×75・6	黄褐色土+ B軽石	円形	土器3片,小片 のみ	平安以降	



番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆 土	そ の 他	遺 物	時 期	備 考
1 5	褐色土 5層	M~N・ 827m	A76溝?	85×98・25	褐色土+黒 褐色土	円形	土器37片,外 椀杯	平安以降	
1 6	褐色土 5層	K~L・ 830m		63×162・20	黄褐色土	不整形	土器7片,須恵 恵壽高台付椀	平安以降	
1 7	褐色土 5層	J~K・ 830m	58住→ 17坑	65×41・15	—	不整形	—	平安以降	
1 8	褐色土 5層	L~M・ 826m		122×65・19	—	楕円形	—	平安以降	
1 9	褐色土 5層	O~P・ 815m	A75溝→ 19坑	262×68・30	暗褐色土+ 炭化物	長方形	土器11片,模 倣杯	平安以降	
2 0	褐色土 5層	K~L・ 814m	20住?	83×94・16	—	円形	土器7片,壺	古墳?	
2 1	褐色土 5層	I~J・ 812m		254×154・13	—	不整形	—	古墳~平安	
2 2	褐色土 5層	I~J・ 813m		26×60・19	淡黄褐色土	長方形	土器17片,須 恵壽無台杯	古墳~平安	
2 3	褐色土 5層	L~M・ 804m		70×130・13	灰褐色土	長方形	土器30片,壺 1331	古墳~平安	
2 4	欠番								
2 5	褐色土 5層	N~O・ 829m	9住→ 25坑	75×98・13	暗褐色土+ B軽石	円形	土器6片,羽蓋	平安以降	
2 6	褐色土 5層	N・ 830m	9住→ 26坑	100×94・36	暗褐色土+ B軽石	円形	土器15片,土 師質椀	平安以降	
2 7	褐色土 5層	J~K・ 829m	14住→ 27坑	105×80・30	灰褐色土	楕円形	土器1片,須恵 器底片	平安以降	灰輪陶器 は14住か
2 8	褐色土 5層	L・ 841m		70×67・30	—	円形	土器3片,土師 質羽蓋・石	平安以降	
2 9 A	褐色土 5層	J・ 879m	A3溝?	175×209・17	褐色土+軽 石	長方形	土器2片,内斜 杯・石	平安以降	
2 9 B	9住床下	N~O・ 830m	29B坑→ 9住→25坑	61×73・13	—	不整形	—	平安以前	
3 0	黒色土 6層	L~M・ 903m	24住→ 30坑	180以上×135・8	—	楕円形?	—	古墳以降	
3 1	欠番								B1 溝西 端
3 2	暗褐色土 5層下位	M・ 833m	32坑→ 8住	102×93・9	—	不整形	—	平安以前	

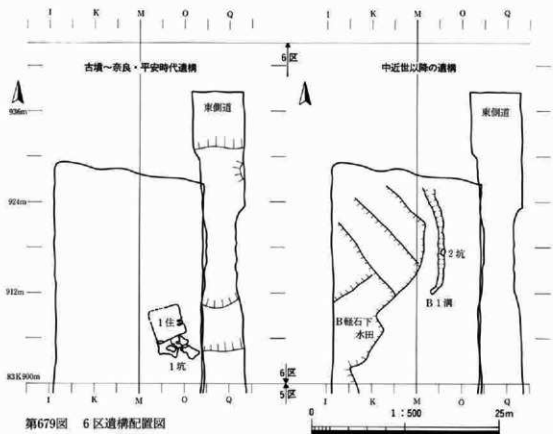
番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
33	9住 床下	N・ 828m	33坑→9住	115×122・46	—	円形	土器6片,羽釜 須恵器壺	平安以前	
34	黒色土 6層	K~L・ 885m	34坑→ 2住	53×67・26	—	楕円形	—	平安以前	
35	黒色土 6層	K~L・ 886m	35坑→ 2住	113×89・12	—	楕円形	—	平安以前	
36	黒色土 6層	L~M・ 886m		57×52・23	—	円形	—	平安以前	
37	黒色土 6層	K~L・ 889m		80×140・19	—	楕円形	—	平安以前	
38	黒色土 6層	M~N・ 877m		76×98・20	—	楕円形	土器6片,土師 貫輪	古墳以降	
39	黒色土 6層	O~P・ 863m	39坑→ B1溝	108×87・26	—	楕円形	—	平安以前	
40	黒色土 6層	N・ 851m	40坑→7住 →1坑	120×96・12	—	楕円形	—	古墳以降	
41	欠番								
42	欠番								
43	黒色土 6層	M・ 878m	31住→ 43坑	(230×380)・—	—	住居の一部 か?	土器15片, 1332・1333	古墳	不整形
44	褐色土 5層	N~O・ 802m	56住?	122×265・21	黄褐色土+ 軽石	不整形	土器17片,内 斜杯	平安以前	
45	黒色土 6層	I・ 820m		315×—・10	黒褐色土+ 軽石	不整形	土器2片,模倣 杯	古墳	溝の一部 か?
46	黒色土 6層	M~N・ 860m	39住→ 46坑	—×66・8	暗褐色土+ 軽石	楕円形	土器2片,小片 のみ	古墳以降	
47	黒色土 6層	M~N・ 865m	47坑→ 39住	110×—・9	淡黄褐色土	楕円形	—	古墳以降	

## 6 区 の 遺 構



第678図 変貌する沿線(6)群馬町中里の陸橋から北西を望む

榛名トンネルを出て南へ向かう上越新幹線。  
このあたりに中里天神塚古墳があった。後方は  
榛名山。



第679図 6区遺構配置図

## 6 区 の 概 要

大宮を起点とする6区のキロ程は、83km900mから83km939mの範囲である。本区南端のキロ程900m付近では、遺構の分布が連続的であり、900mにかかる2軒の住居は5区の23・24号住居とした。

6区では下表の遺構を検出した。本区は南北約40mの区間で、1～5区に比べて狭い。これより以北の新幹線建設用地には調査着手時点で、すでに橋脚が完成していたため、低地の調査を延長することができなかった。

キロ程906m・Pライン付近を境として、これより以北の調査区は低地となり、三ッ寺III遺跡との中間にあたる低地に連なる。この低地との境は5～6区の調査区内で北東-南西方向の段をなし、Iライン・865m（5区内）付近まで延びる。段の北側では浅間B軽石下の水田跡と溝、段の南側では住居跡1軒を検出した。以下、住居を除く個別遺構の説明もここで記述する。

水田跡は調査区内で計5枚を検出した。アゼは北西-南東方向およびこれに直行する方向で検出し、北東側から階段状を呈する。アゼの高さは10cm前後で、全体は浅間B軽石の純層（砂質土）で覆われていた。従ってこれらの水田はB軽石の降下年代にさわめて近い頃に営まれたものとみられる。

水田跡とその東側を区切るように、同じ遺構検出面でB1号溝を検出している。M～Nライン・912～926mの範囲で弧状を呈し、東側に凸である。掘り込み面は北端の調査区壁が崩壊したため、確認することはできなかったが、水田跡との相互の位置関係から、水田と密接に関連する遺構とみられる。

表6 6区検出遺構

遺 構	時 代									欠番	小 計
	縄文	弥生	古 墳				奈良	平安	不明		
			前期	中期	後期	(古) <sup>*1</sup>					
住居	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	1
独立柱建物											0
ピット群											0
井戸											0
溝									1		1
土坑								1	1		2
水田									1 <sup>*2</sup>		1
溝											0

\*1 時期分離できない

\*2 一面5枚

1号土坑はOライン・905m付近で検出した不整形の掘り込みである。いくつかの不整形掘り込みをまとめて1号土坑とした。西側最深部から土器片が出土しており、奈良～平安時代の土坑とみられる。微高地先端部に位置することから、水田跡と関連する可能性もあろう。

2号土坑は前述のB1号溝にかかる円形の土坑で、略長方形・70×50・深さ24cmである。

1号住居は前述の段に北半がかかる状態で検出し、本遺跡検出の住居としては北端に位置する。東側調査（第2次調査）でも6区1号住居・5区23号住居の東側では住居を検出していないことからみて、6区1号住居が本遺跡ののる微高地調査区内の北端限界を占めていると考えられる。

5区で検出したB2号溝は、6区1号住居のかかる段の走行とほぼ平行し、段の南西側に展開する現在の水田を含めた周辺地形と考え合わせれば、水は南西方向へ向かって流れていたことが推定できる。調査区外北東側の水は微高地を縦断する5区B2号溝によって、調査区外南西部へ抜けることが可能となる。5区B2号溝は、いわばバイパスとして掘削されたものか。

5～6区の遺構分布状態からみると、5区北半から6区にかけては、調査区外の南東側へ遺構が広がり、遺跡ののる微高地の走行は、北東～南西の方位をとるものと考えられる。この方位は3～4区の境付近（キロ程700m前後）の、地割れを伴う段の走行方位と調和的である。



第680図 6区B軽石面全景（南から）

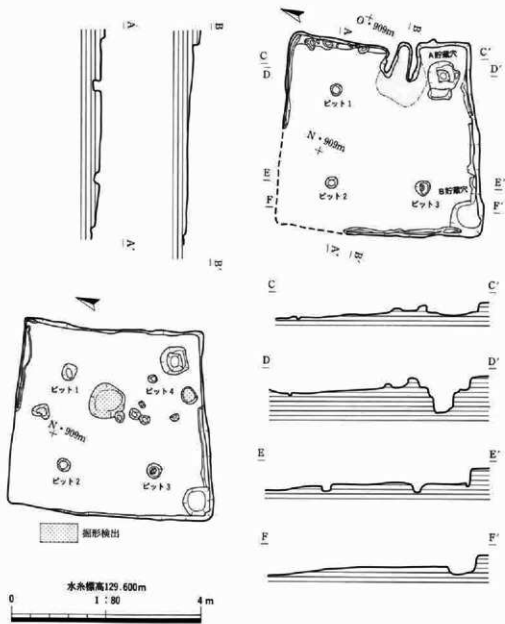
三ツ峠II 6区 1号住居跡 (第681・744図, 図版417)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

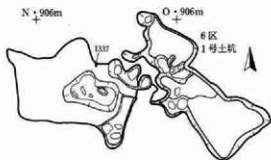
平面形	方形, 規模	408×400, 面積	(16.3) m <sup>2</sup> , 壁高	2~33, 長軸方位	N163度E
壁 溝	幅	5~15, 深さ	1~5		
主柱穴	1	2	3	4 (掘形)	主柱穴間の距離 (下ノ中心)
上ノ径	23	26	31×32	18	1-2 : 197
下ノ径	17×15	13	7	11×13	3-4 : 200 (掘形)
深さ	15	11	20	9	4-1 : 179 (掘形)
カマド	位置	東辺中央やや南, 対称軸方位	N83度E, 構築材	粘土, 支脚	不明
A貯蔵穴	位置	南東隅, 平面形	不整形, 上ノ55×78, 下ノ14×15, 深さ	54	
B貯蔵穴	位置	南西隅, 平面形	略方形, 上ノ472×70, 下ノ445×48, 深さ	16	
その他 (状況の記録)					
確認	面	暗褐色土, 5層下位		検出位置	N~Oライン・909m付近
重複	関係	-		覆土	黒褐色系の土+軽石
壁		直に近い, 浅い (地山傾斜)		床 面	平坦, 粘床, 北西部は不明確
主柱	穴	ピット4は掘形検出		壁 溝	北西隅付近不明, 東辺・南辺で小穴検出
カマド		燃焼部は住居壁の内側にある, 軸線は東辺と直角にならない, 遺存不良			
貯蔵	穴	A : 内部は二段に掘り込む, 西側は浅い段をもつ, 掘形の中段は長方形・底面は楕円形を呈する			
		B : 浅い, 掘形は楕円形を呈する			
掘	形	中央部の南北に大小の掘り込み検出, 中央円形の掘り込み : 75×76・深さ31			
その他		北西隅は推定, 斜面に立地しているため北半は浅い			
遺物		土器36片, 覆土から横飯杯・内斜口羅杯・須恵器壺体部片出土,			
		1336			
時期		古墳			



第681図 6区1号住居跡カマド (西から)

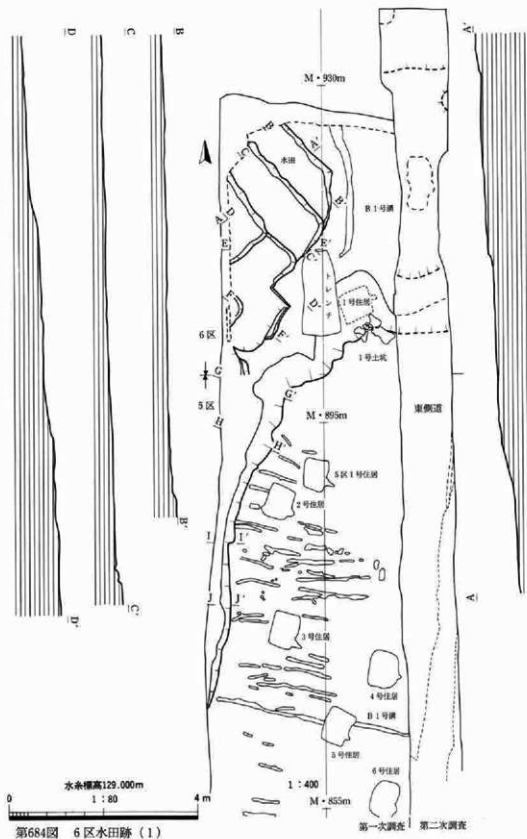


第682図 6区1号住居跡

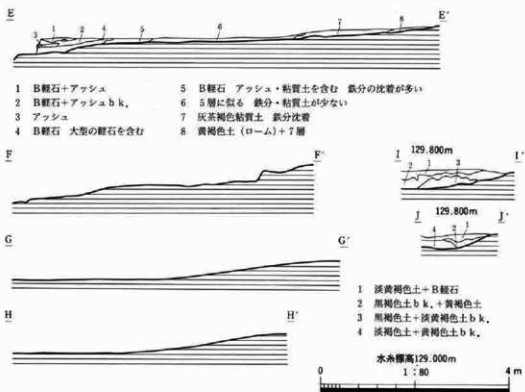


第683図 6区1号土坑・B1号溝





第684図 6区水田跡(1)



第685図 6区水田跡(2)



第686図 5-6区東側道(北から)

# 出土遺物図

- \* 1 遺物の整理番号は4桁の通番とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真中の遺物番号・実測図中の遺物番号・遺物計測値表中の遺物番号・写真図版中の遺物番号はすべて同じ遺物を指す。
- \* 2 整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号は、原則として連続しない。
- \* 3 遺物実測図は出土遺構優先で掲載しており、4→5→6区の順である。また、各区ごとに1号住居→2号住居→・・・の番号順に前読めとし、ひとつの区ごとに住居→溝→土坑→遺構外出土遺物の順に掲載した。
- \* 4 遺物実測図中の番号末尾につけた英文字は、H=土師器、S=須恵器、H'=土師質土器、K=灰輪陶器を示す。
- \* 5 弥生～平安時代の土器類の縮小率は写、縄文土器写、金属製品・石製品は写、玉類は写を原則としたが、一部に原則から外れるものもある。それぞれスケールを付した。
- \* 6 実測図の表現は次の原則による。
  - ① 図形を表現する線のうち、凸線線は実線、凹線線は1カ所破線で現す。
  - ② 文様は実線で表現する。
  - ③ 器面・器表の調整痕のうち、
    - ◇ケズリ系の調整は破線
    - ◇ミガキ系の調整は実線
    - ◇ナゲ系の調整は一点鎖線
    - ◇ハケ系は実線
    - ◇工具・道具を使わない指痕系は点線で表現する。

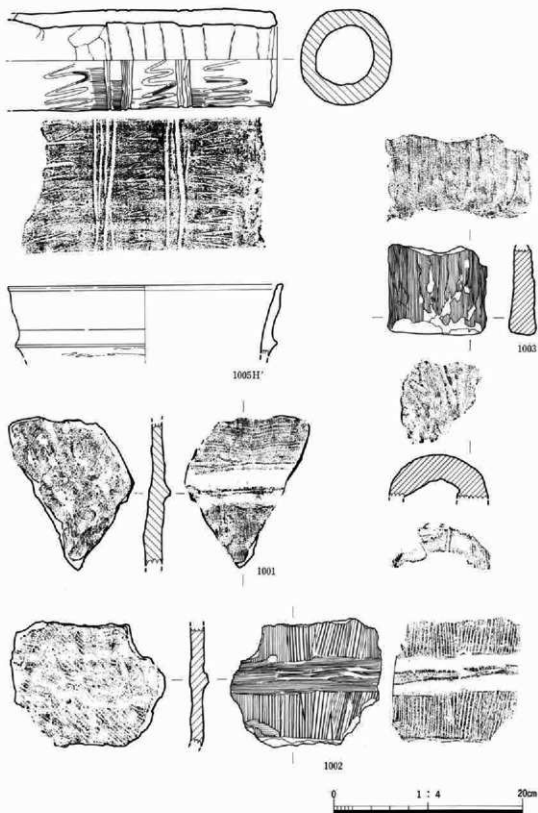
# 遺物図 遺構別 目次

区	遺構番号	掲載頁
4	1住	681
	2住	682
	3住	683
	4住	683
	6住	683
	7住	683
	8住	683
	9住	683
	11住	684
	12住	684
	13住	684
	14住	684
	15住	685
	16住	685
	17住	685
	18住	685
	19住	685
	21住	686
	22住	686
	23住	686
	24住	686
	29住	686
	30住	687
	32住	687
	33住	687
	34住	688
	35住	688
	36住	688
	37住	688
	38住	689
	40住	689
	41住	689
	43住	689
44住	689	
45住	690	
54住	690	
55住	690	
56住	692	
57住	692	
58住	692	
59住	693	
60住	693	
62住	693	
63住	694	
65住	694	
68住	694	
70住	694	
71住	695	
72住	695	
73住	695	
75住	695	
74住	696	
76住	696	
77住	696	

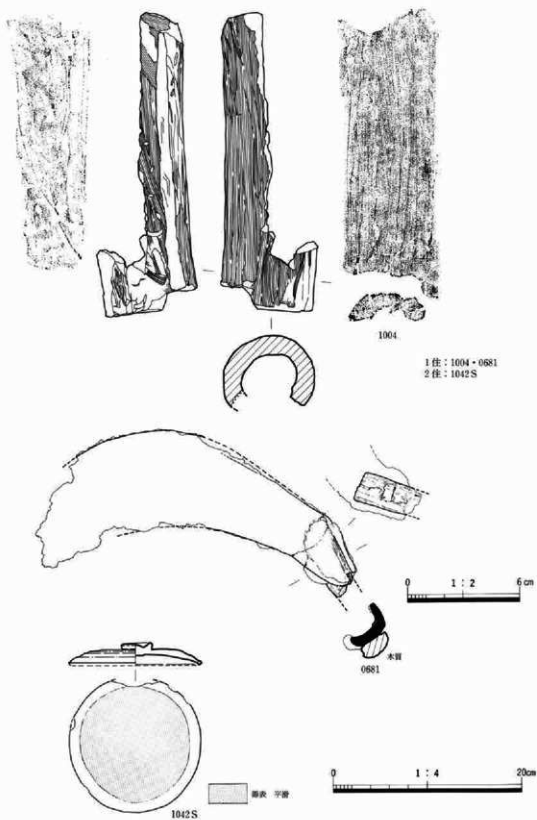
区	遺構番号	掲載頁
4	78住	697
	80住	698
	81住	698
	84住	698
	85住	698
	86住	699
	101住	701
	102住	701
	103住	701
	104住	702
	105住	702
	106住	702
	107住	703
	109住	703
	110住	703
	111住	703
	112住	703
	113住	703
	114住	704
	117住	704
	119住	704
	120住	704
	121住	705
	122住	705
	127住	705
	128住	706
	129住	706
	130住	707
	135住	708
	137住	708
	138住	708
	141住	708
	142住	708
145住	709	
146住	709	
147住	710	
149住	711	
150住	711	
152住	711	
153住	712	
154住	713	
155住	713	
34坑	715	
88坑	715	
144坑	715	
223坑	715	
224坑	715	
5	1住	716
	2住	716
	3住	716
	4住	716
	6住	716
	8住	716
	9住	716

区	遺構番号	掲載頁
5	10住	716
	11住	717
	12住	717
	17住	717
	19住	717
	20住	717
	21住	717
	22住	718
	23住	718
	24住	718
	25住	719
	26住	719
	27住	719
	28住	722
	29住	722
	30住	722
	31住	722
	32住	723
	33住	723
	34住	723
	35住	723
	36住	724
	37住	725
	38住	725
	39住	726
	41住	726
	42住	726
	43住	726
	44住	727
	45住	727
	46住	727
	47住	728
	48住	728
49住	729	
50住	730	
52住	730	
53住	730	
54住	730	
56住	730	
57住	731	
58住	731	
59住	732	
60住	732	
61住	732	
62住	732	
63住	733	
64住	734	
65住	734	
66住	734	
67住	734	
68住	735	
101溝	735	
B2溝	735	
C1溝	736	

区	遺構番号	掲載頁
5	23坑	736
	43坑	736
	遺構外	737
6	1住	737
	1坑	737
	遺構外編文	738

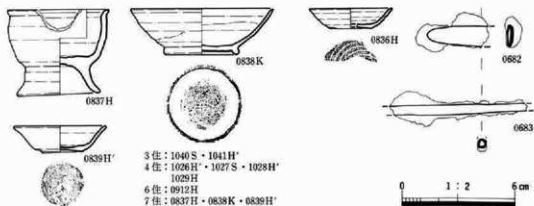
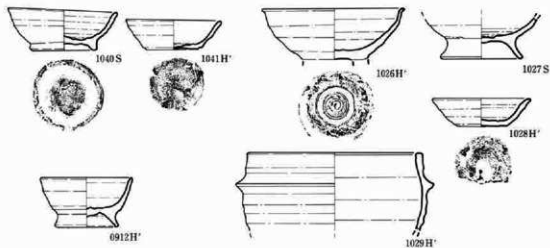


第687图 4区1号住居跡出土遺物



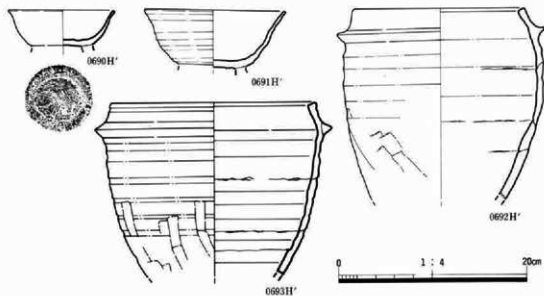
第688圖 4区1・2号住居跡出土遺物

## 4区出土遺物



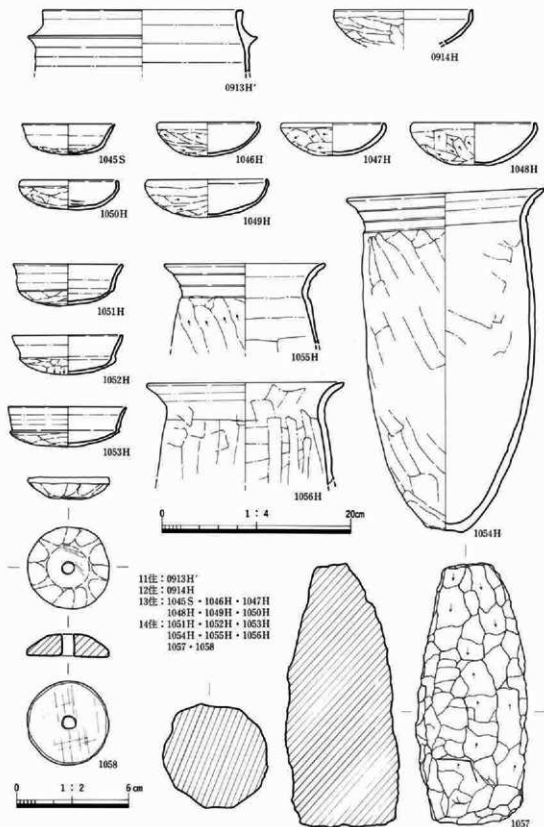
3住：1040S・1041H'  
 4住：1026H'・1027S・1028H'  
 1029H  
 6住：0912H  
 7住：0837H・0838K・0839H'  
 8住：0836H・0682・0683  
 9住：0692H'・0690H'・0691H'  
 0693H'

0 1:2 6cm



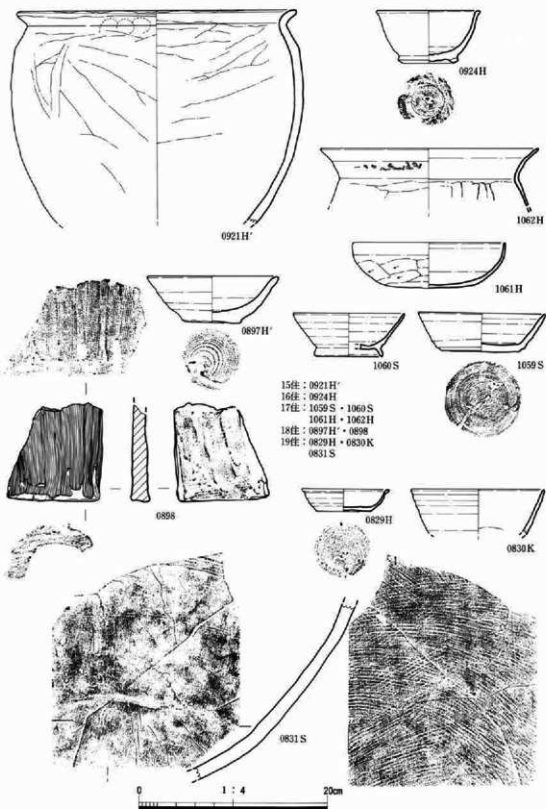
0 1:4 20cm

第689図 4区3・4・6・7・8・9号住居跡出土遺物

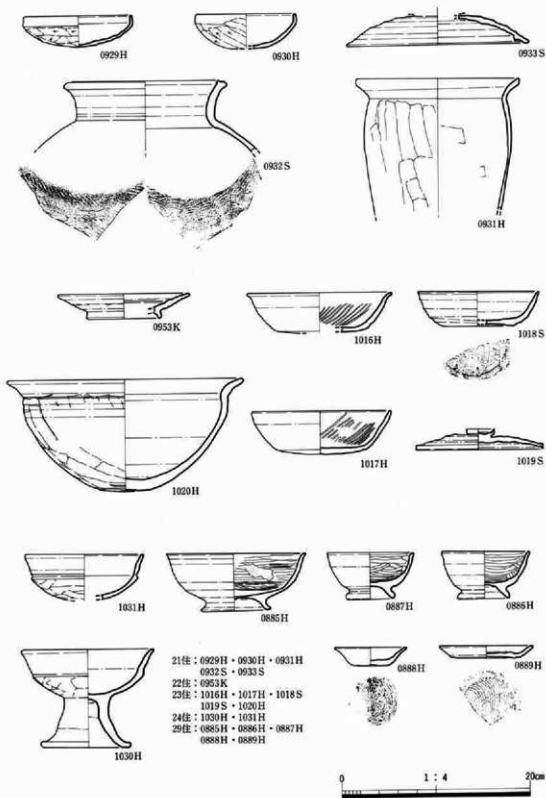


第690図 4区11・12・13・14住居跡出土遺物

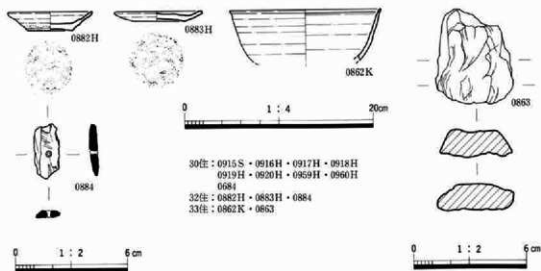
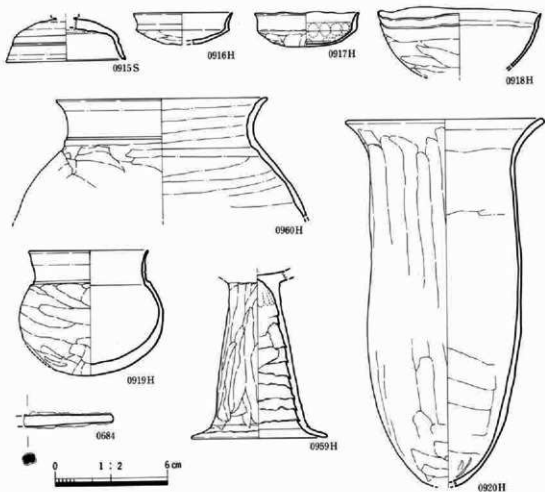




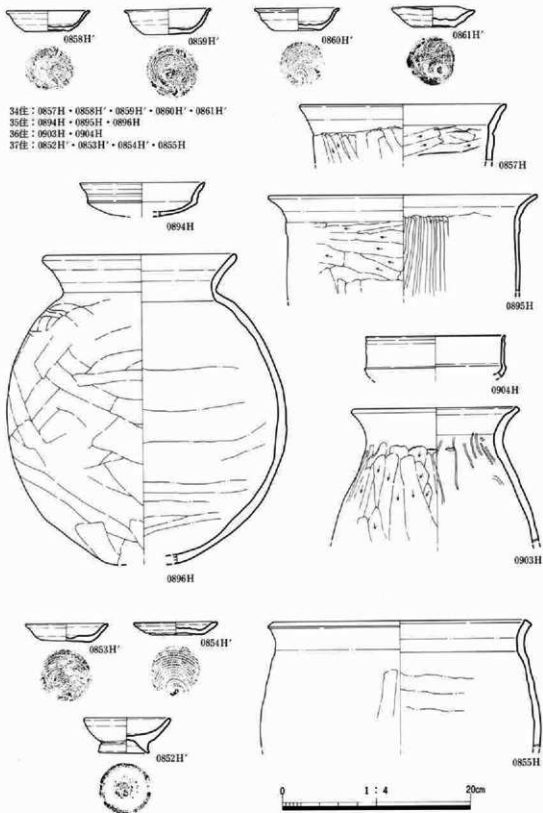
第691图 4区15・16・17・18・19号住居跡出土遺物



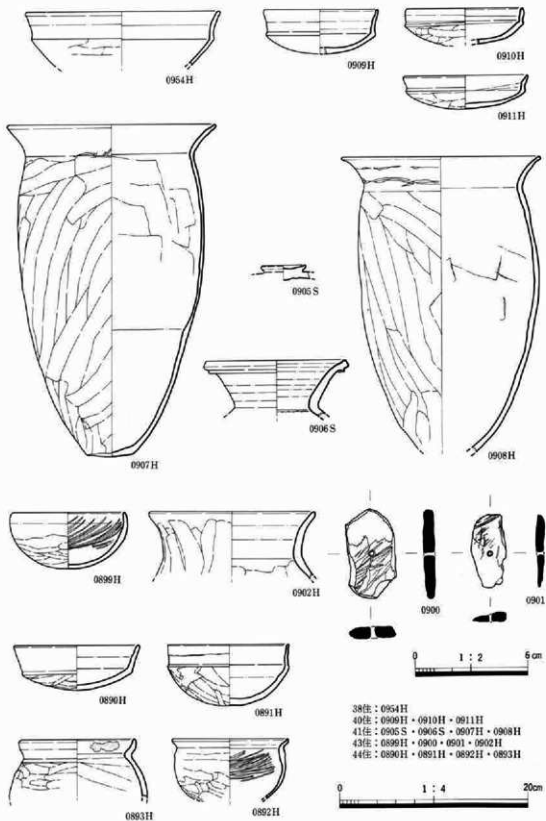
第692图 4区21・22・23・24・29号住居跡出土遺物



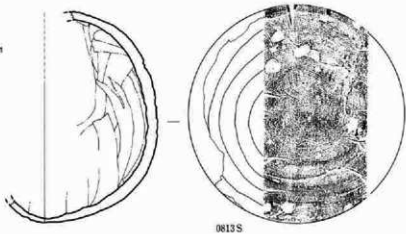
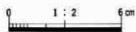
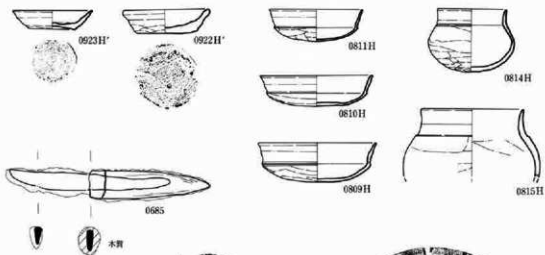
第693图 4区30・32・33号住居跡出土遺物



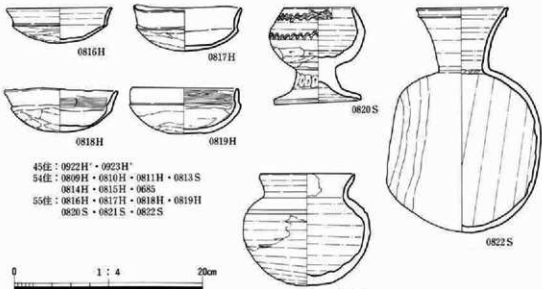
第694图 4区34・35・36・37号住居跡出土遺物



第695图 4区38・40・41・43・44号住居跡出土遺物



0813 S

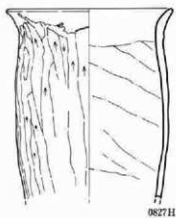
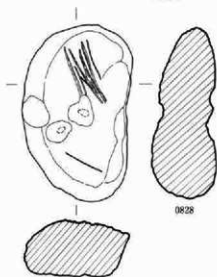
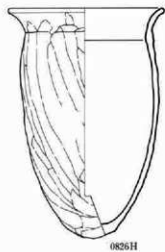
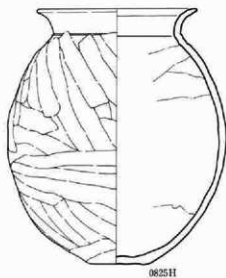
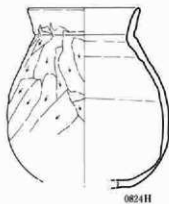
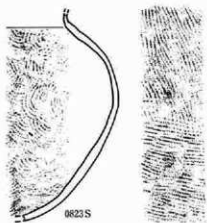


45住: 0922H\*・0923H\*  
 54住: 0809H・0810H・0811H・0813S  
 0814H・0815H・0685  
 55住: 0816H・0817H・0818H・0819H  
 0820S・0821S・0822S



0821 S

第696図 4区45・54・55号住居跡出土遺物



第697图 4区55号住居跡出土遺物



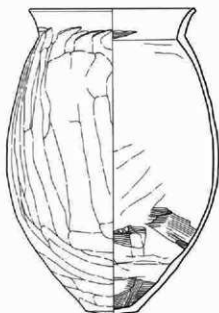
0812S



0834H



0835H



0832H



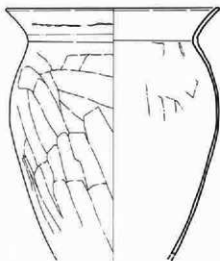
0833H

56住：0812S・0832H・0833H

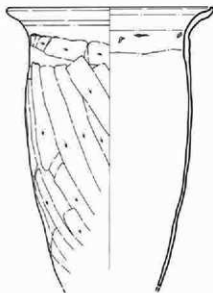
0834H・0835H

57住：0710H

58住：0708H・0709H



0708H



0710H

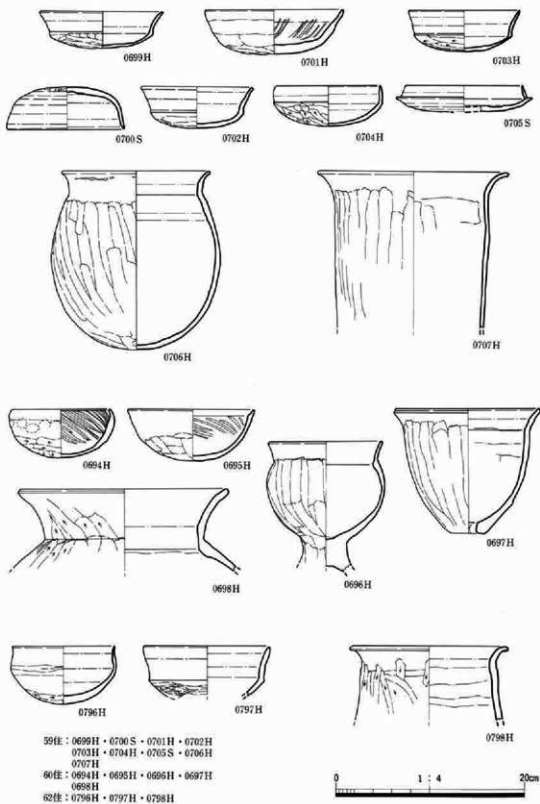


0709H

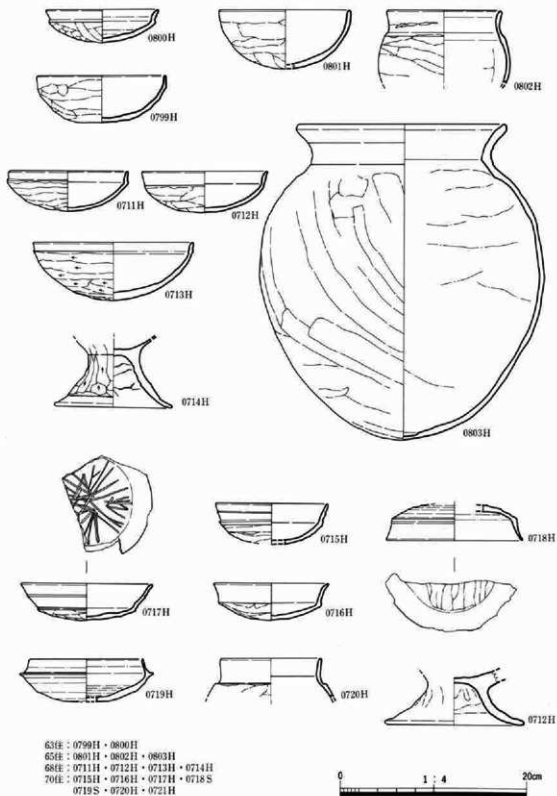


第698图 4区56・57・58号住居跡出土遺物

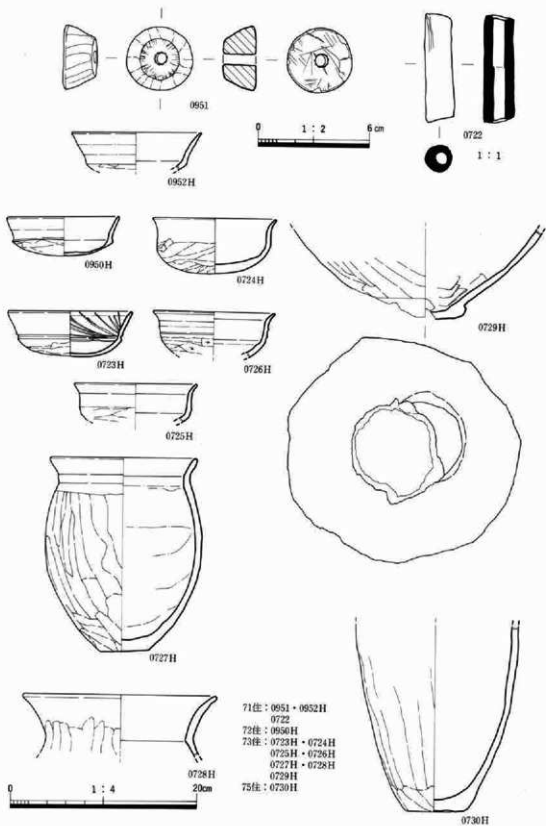




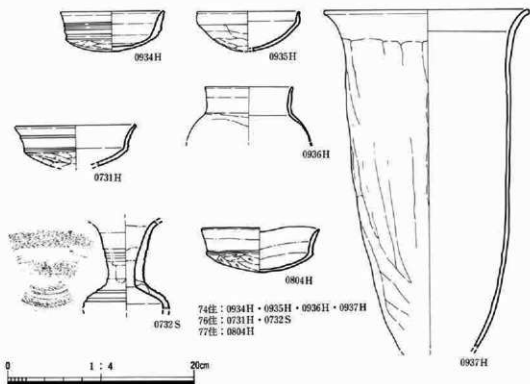
第699图 4区59・60・62号住居跡出土遺物



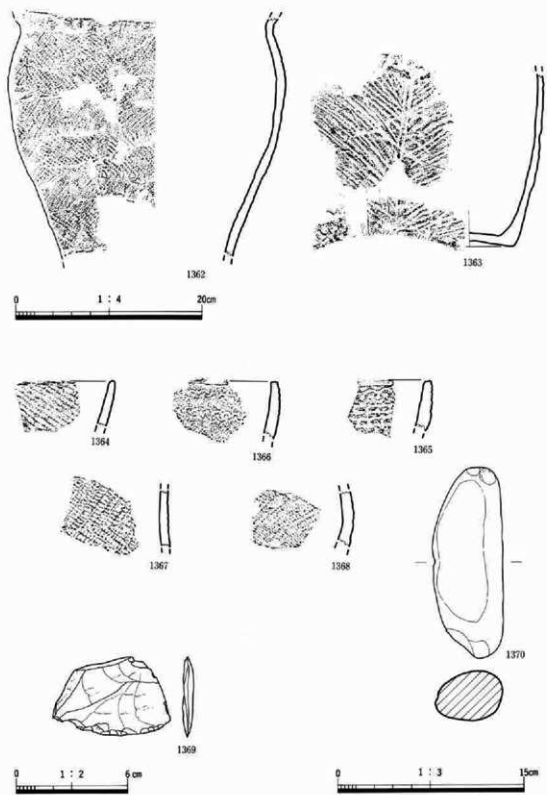
第700图 4区63·65·68·70号住居跡出土遺物



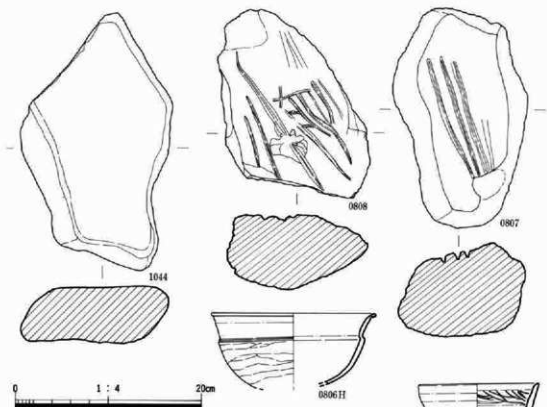
第701图 4区71・72・73・75号住居跡出土遺物



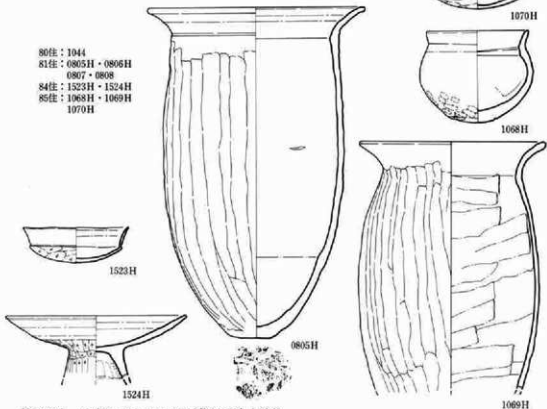
第702図 4区74・76・77号住居跡出土遺物



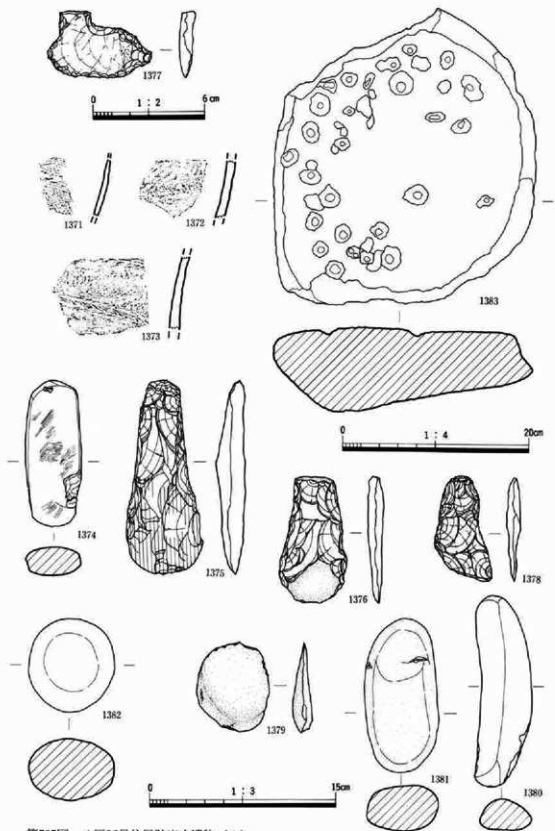
第703图 4区78号住居跡出土遺物



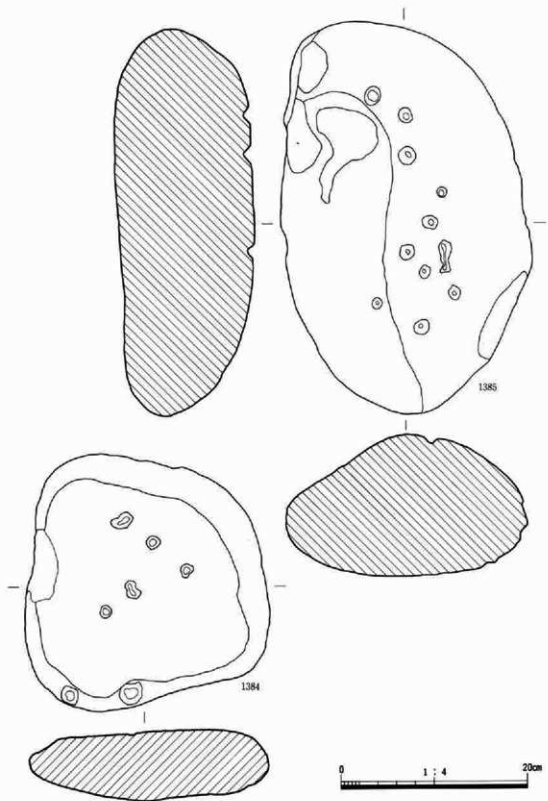
80住: 1044  
 81住: 0805H・0806H  
 0807・0808  
 84住: 1523H・1524H  
 85住: 1068H・1069H  
 1070H



第704图 4区80・81・84・85号住居跡出土遺物

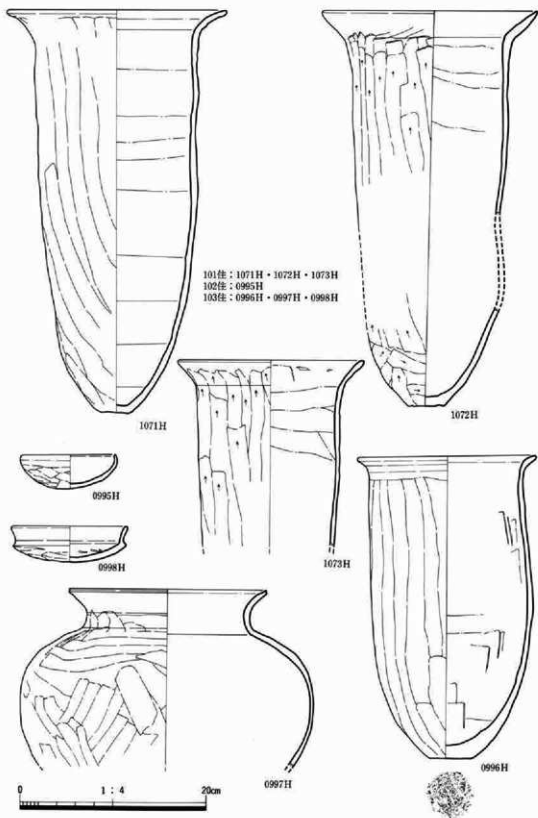


第705图 4区86号住居跡出土遺物(1)

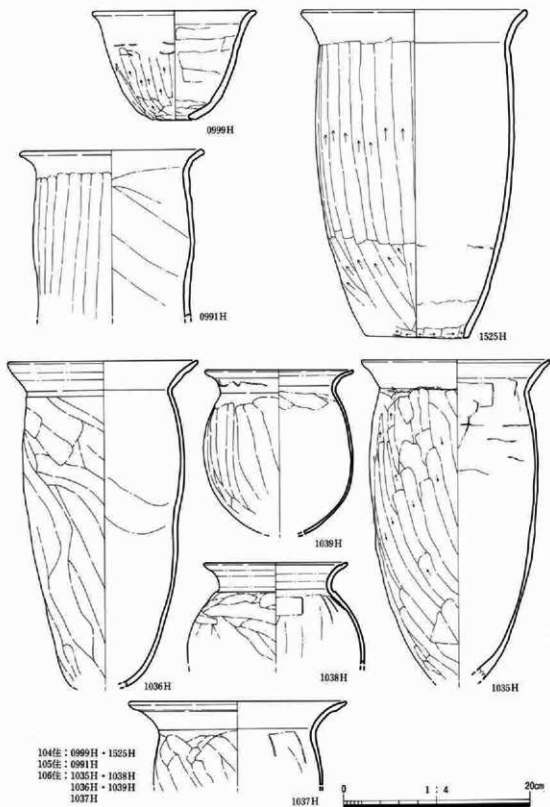


第706图 4区86号住居跡出土遺物(2)

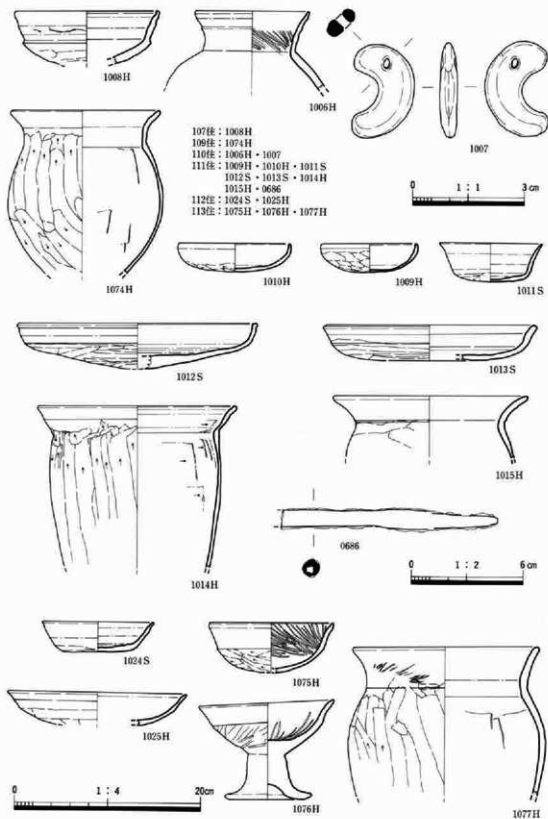




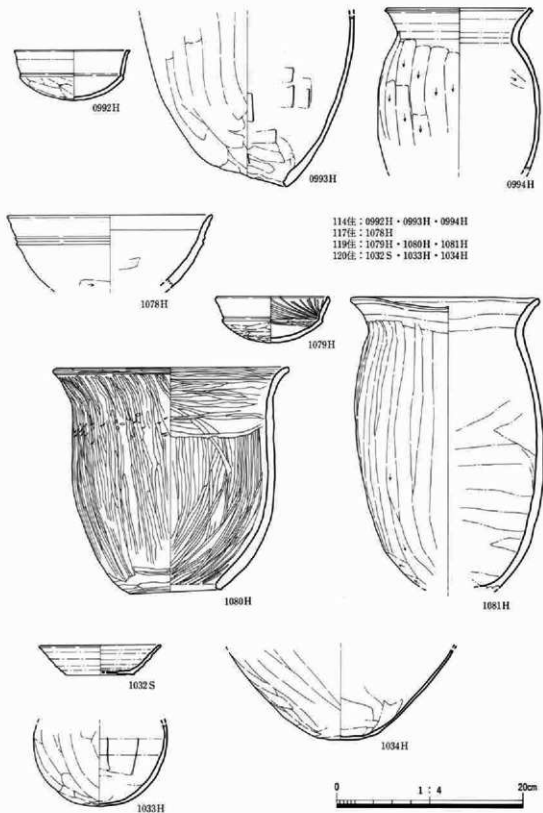
第707图 4区101・102・103号住居跡出土遺物



第708图 4区104・105・106号住居跡出土遺物



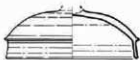
第709図 4区107・109・110・111・112・113号住居跡出土遺物



第710图 4区114・117・119・120号住居跡出土遺物



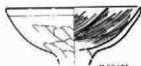
1043H



1082S



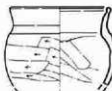
1083H



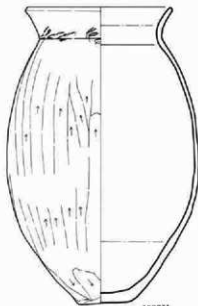
1084H



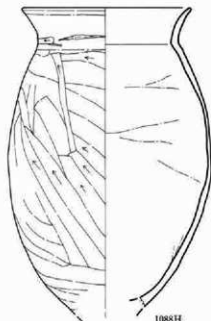
1085H



1086H



1087H



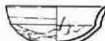
1088H



0955S



0956H



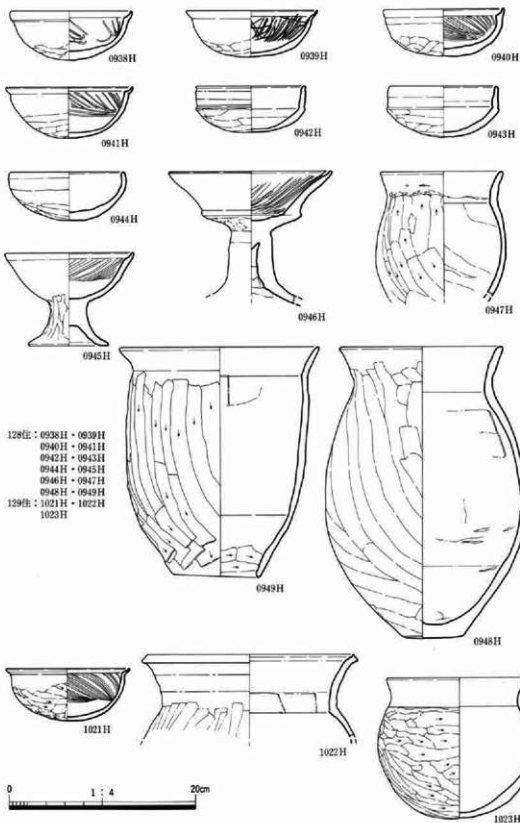
0957H



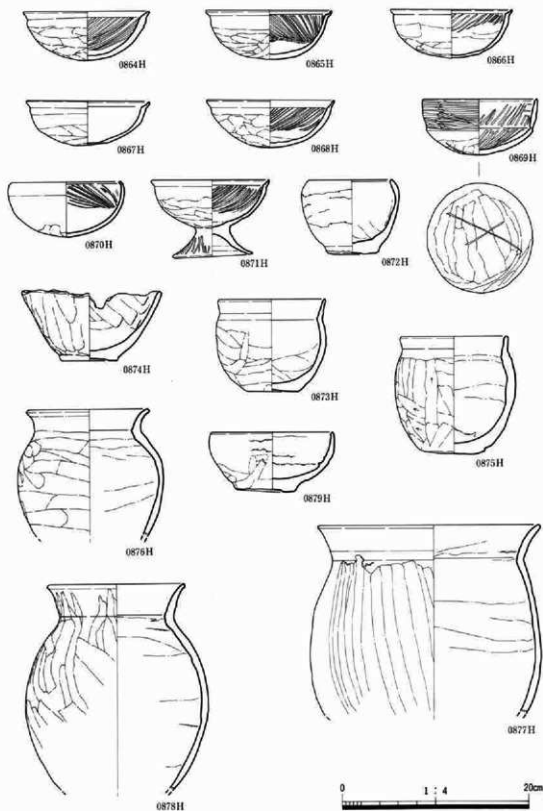
0958S

121住：1043H  
 122住：1082S・1083H・1084H・1085H  
 1086H・1087H・1088H  
 127住：0955S・0956H・0957H・0958S

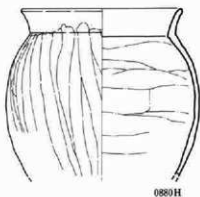
0 1 : 4 20cm



第712图 4区128·129号住居跡出土遺物



第713圖 4区130号住居跡出土遺物



0880H

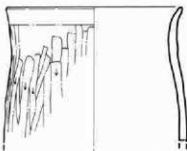


0881H



1092H

130住 : 0880H・0881H  
 135住 : 1092H・1093H  
 137住 : 1089H・1090H  
 1091H  
 138住 : 1094H・1095H  
 141住 : 0849H  
 142住 : 0850H・0851H



1093H



1089H



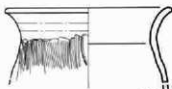
1090H



1091H



1094H



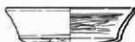
1095H



0850H



0849H

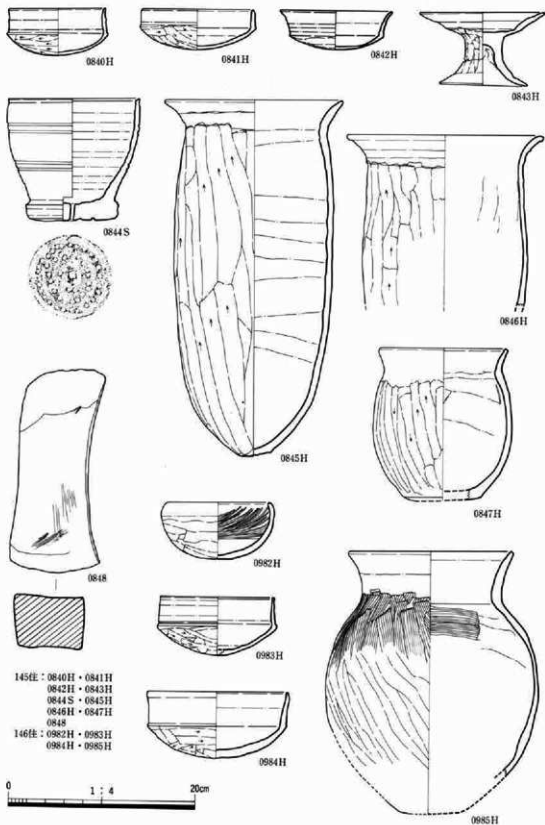


0851H

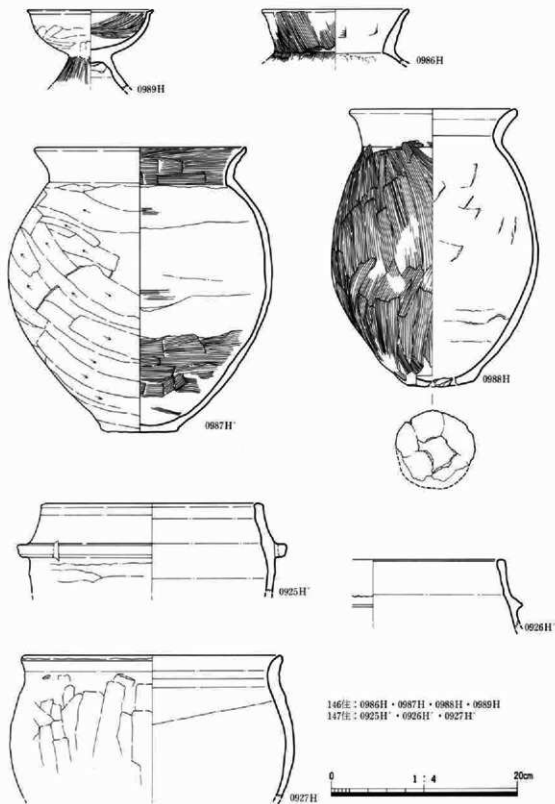


第714図 4区130・135・137・138・141・142号住居跡出土遺物



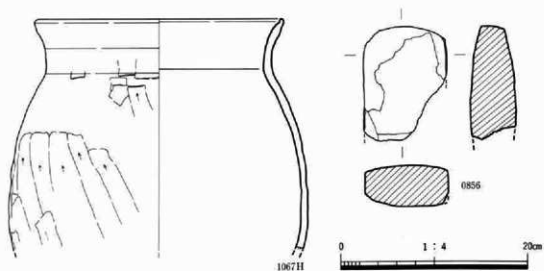
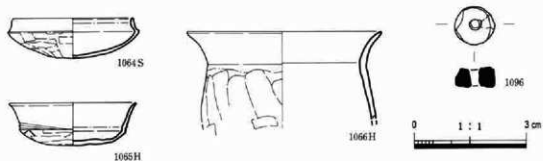
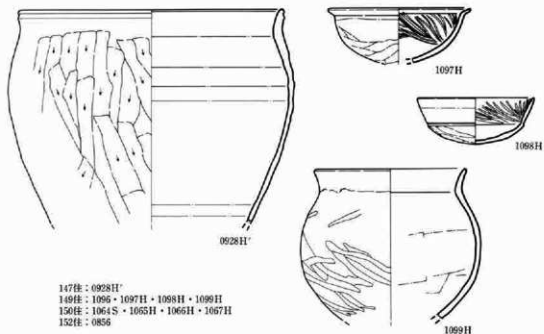


第715图 4区145・146号住居跡出土遺物

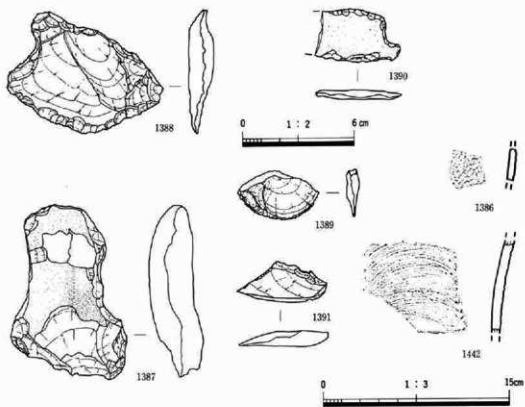


146住：0986H・0987H・0988H・0989H  
 147住：0925H・0926H・0927H

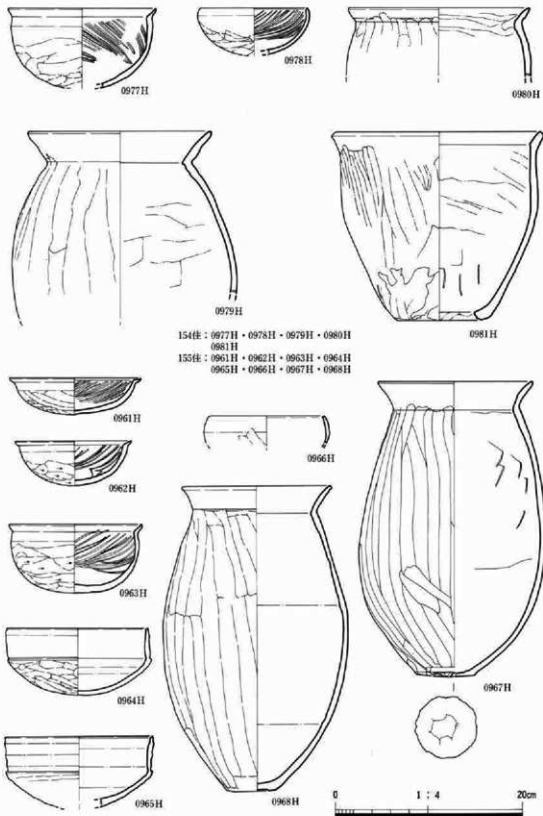
第716图 4区146・147号住居跡出土遺物



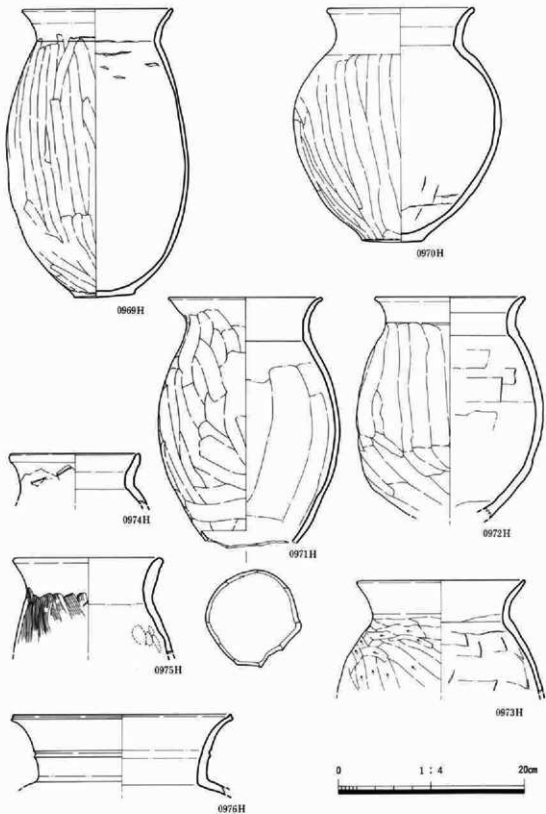
第717図 4区147・149・150・152号住居跡出土遺物



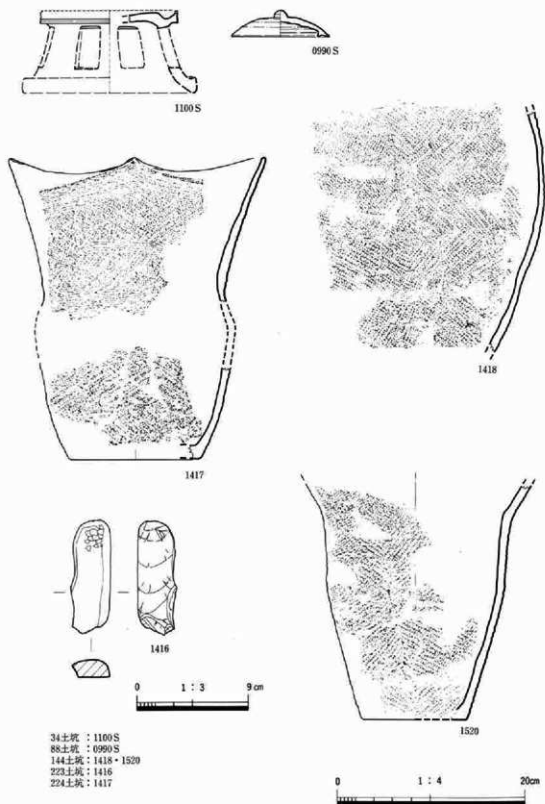
第718图 4区153号住居跡出土遺物



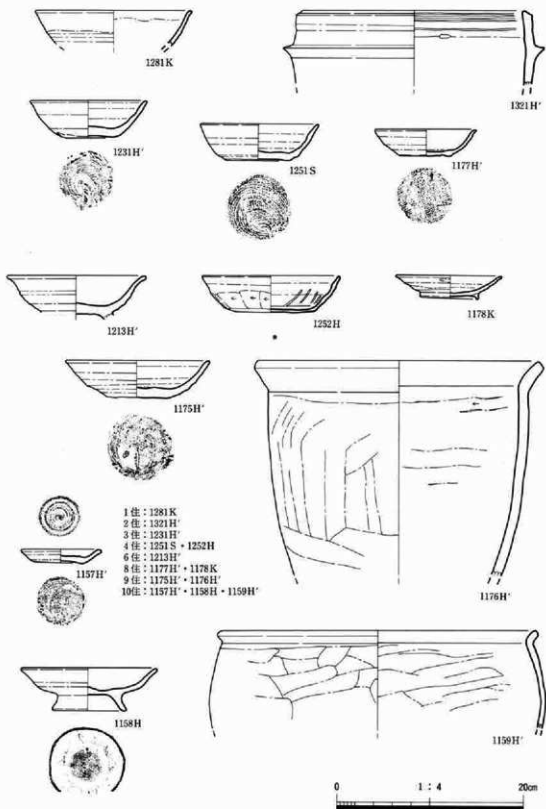
第719图 4区154・155号住居跡出土遺物



第720图 4区155号住居跡出土遺物

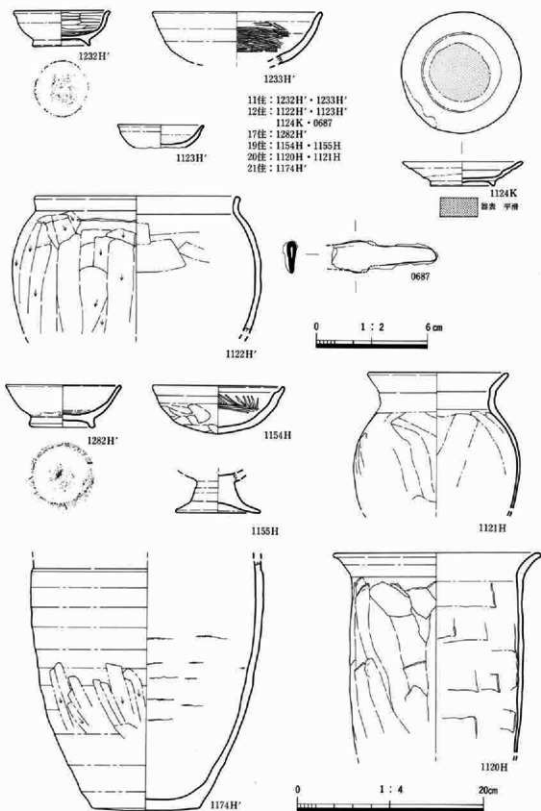


第721图 4区34・88・144・223・224号土坑出土遺物

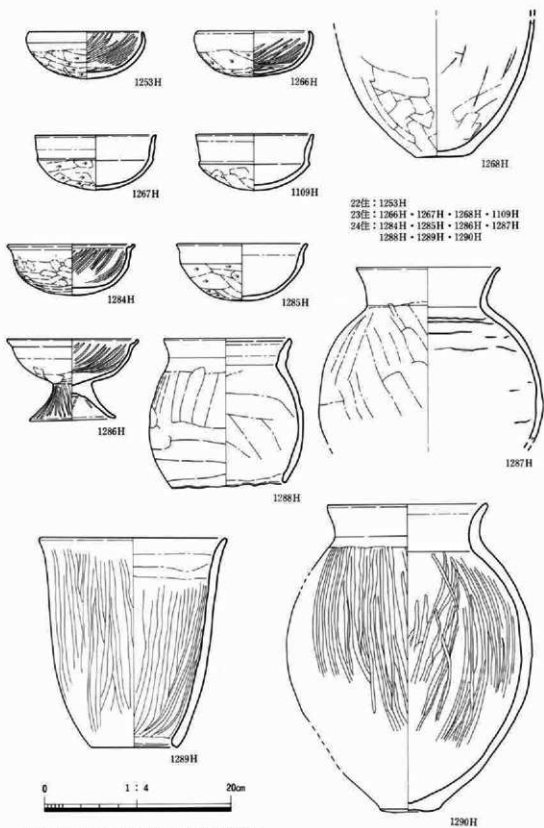


第722团 5区1・2・3・4・6・8・9・10号住居跡出土遺物

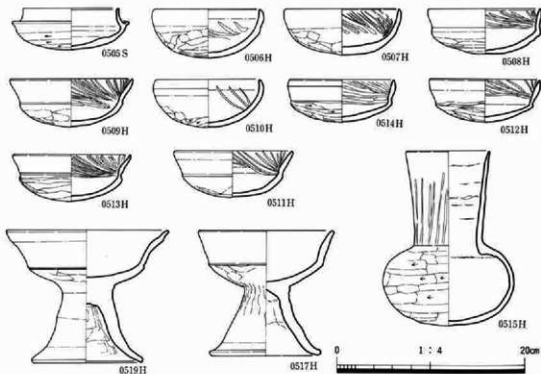
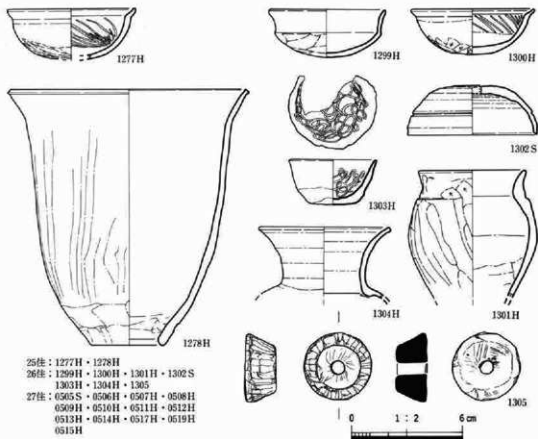




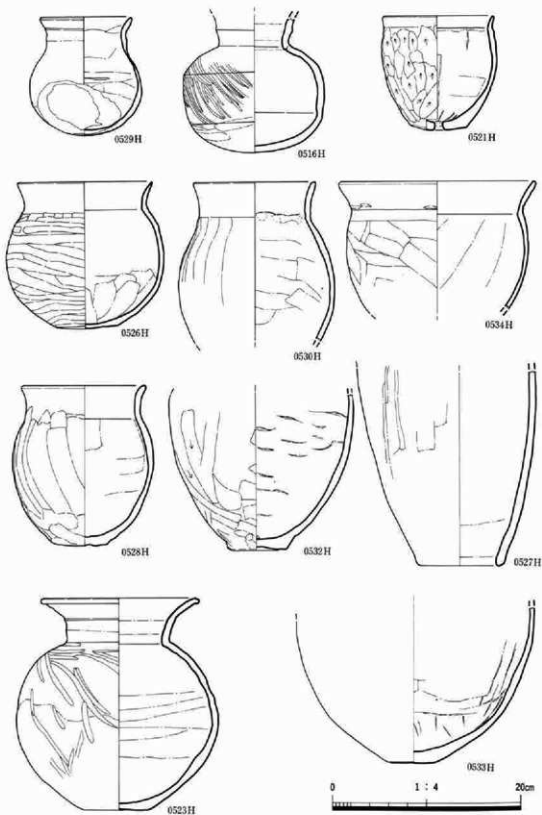
第723図 5区11・12・17・19・20・21号住居跡出土遺物



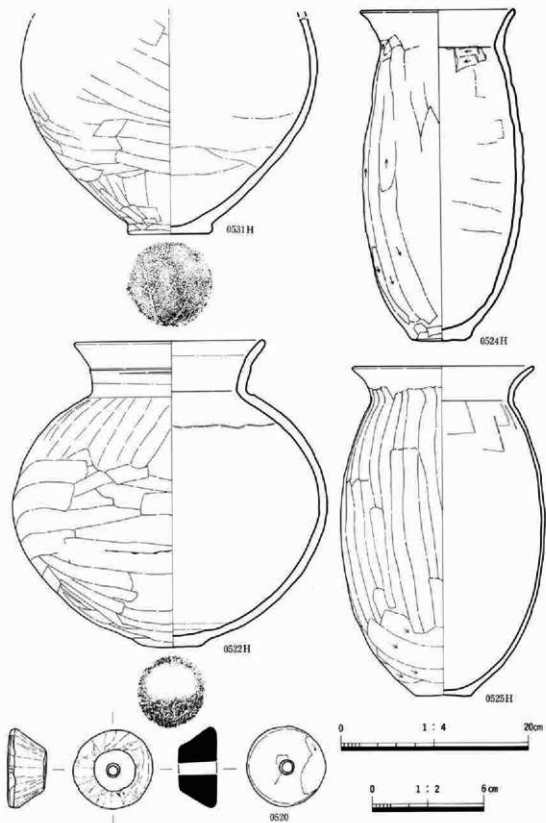
第724图 5区22・23・24号住居跡出土遺物



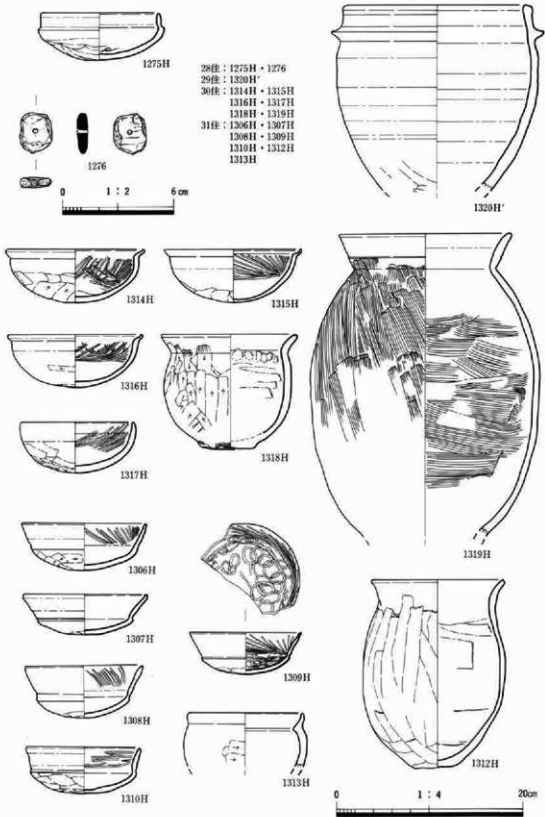
第725図 5区25・26・27号住居跡出土遺物



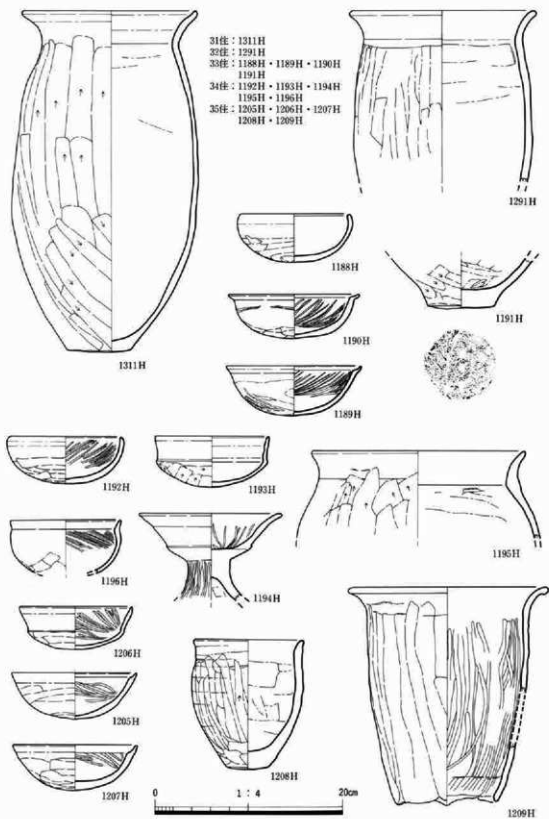
第726图 5区27号住居跡出土遺物(1)



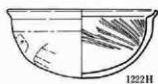
第727图 5区27号住居跡出土遺物(2)



第728図 5区28・29・30・31号住居跡出土遺物



第729図 5区31・32・33・34・35住居跡出土遺物



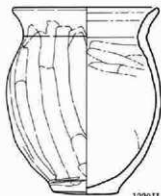
1222H



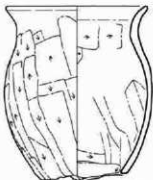
1221H



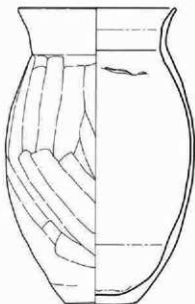
1223H



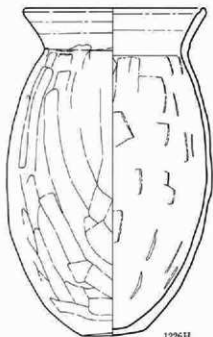
1220H



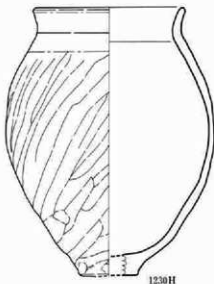
1227H



1225H



1226H

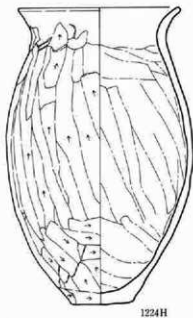


1230H

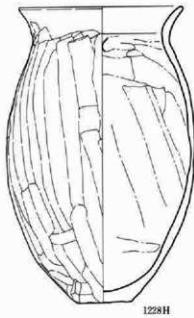


第730图 5区36号住居跡出土遺物

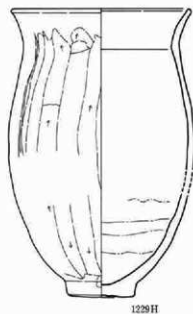




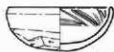
1224H



1228H



1229H



1279H



1280H



1269H



1271H



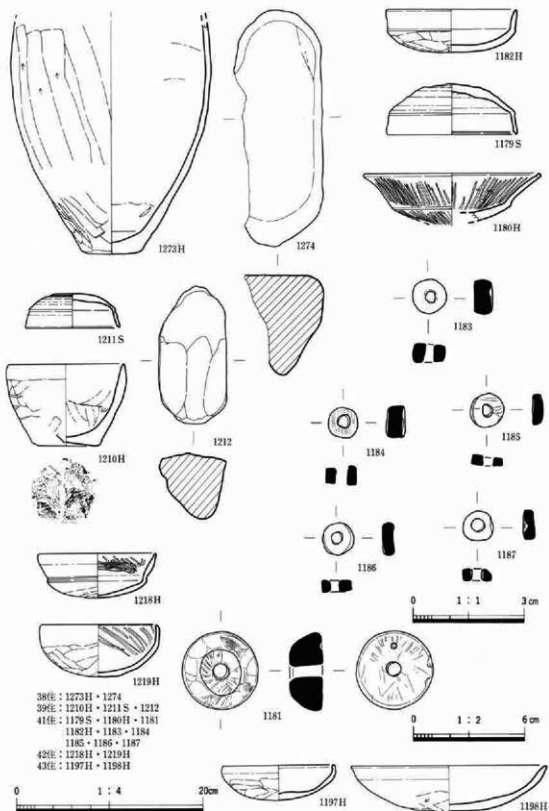
1270H



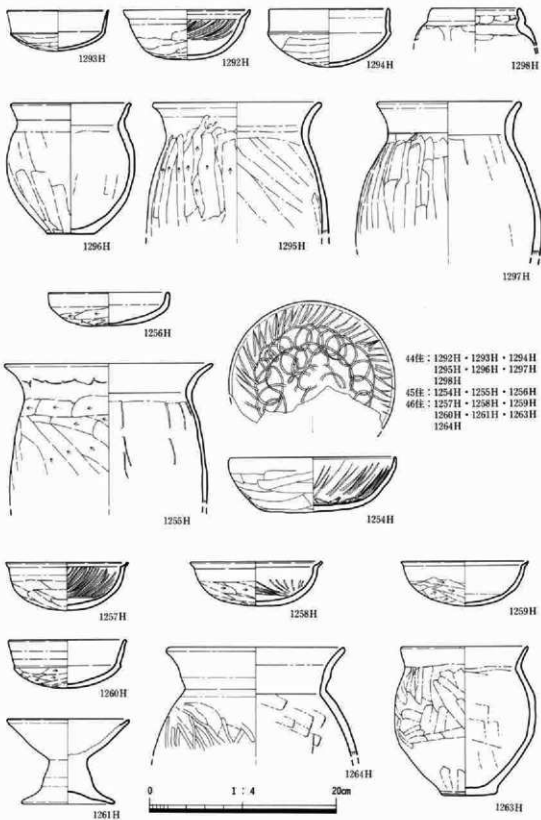
1272H

36住:1224H・1228H・1229H  
 37住:1279H・1280H  
 38住:1269H・1270H・1271H・1272H

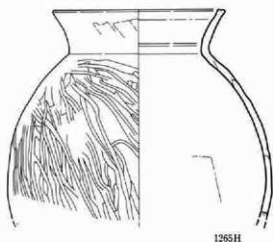




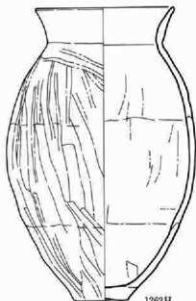
第732図 5区38・39・41・42・43号住居跡出土遺物



第733図 5区44・45・46号住居跡出土遺物



1265H



1262H

46住 : 1262H・1265H  
 47住 : 1199H・1200H・1201H・1202S  
 1203H・1204H  
 48住 : 0518H・1241H・1242H・1243H  
 1244H・1245H・1246H



1199H



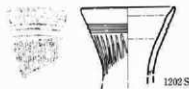
1200H



1201H



1203H



1202S



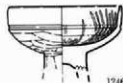
1204H



1241H



1244H



1246H



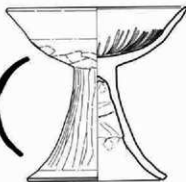
1242H



1243H



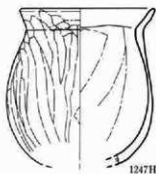
1245H



0518H

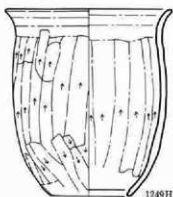


第734图 5区46・47・48号住居跡出土遺物

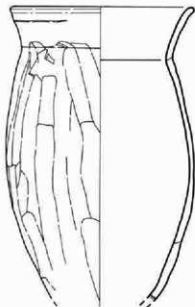


1247H

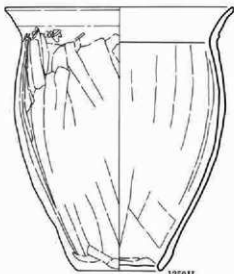
48住: 1247H・1248H  
1249H・1250H  
49住: 1170H・1171H  
1172H・1173H



1249H



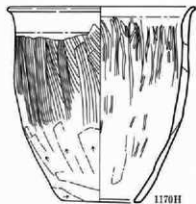
1248H



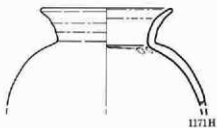
1250H



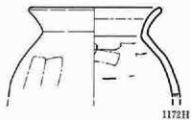
1173H



1170H



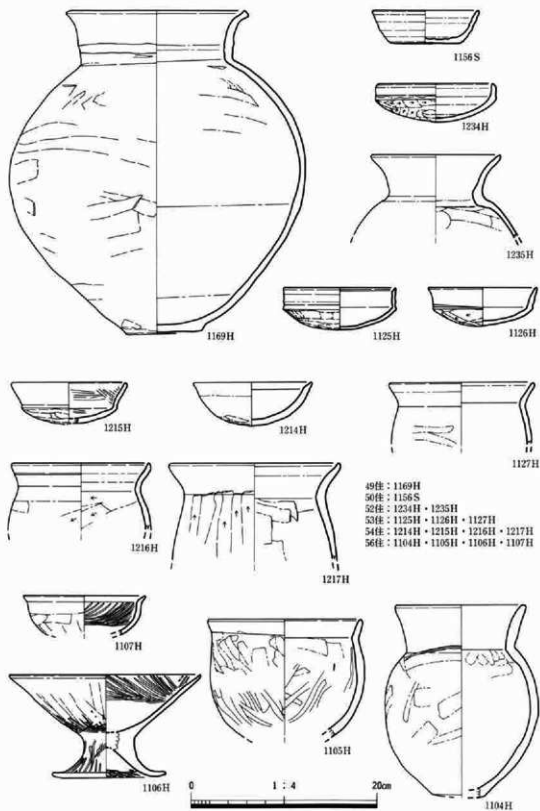
1171H



1172H

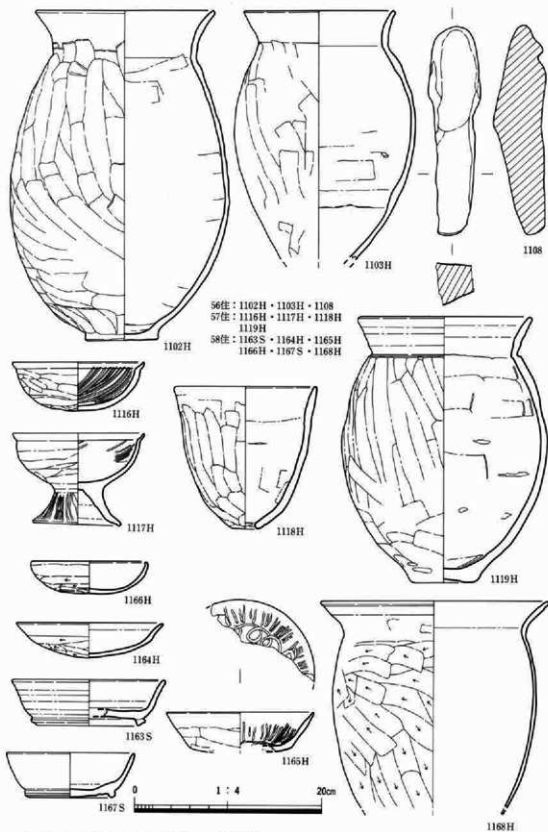


第735图 5区48・49号住居跡出土遺物

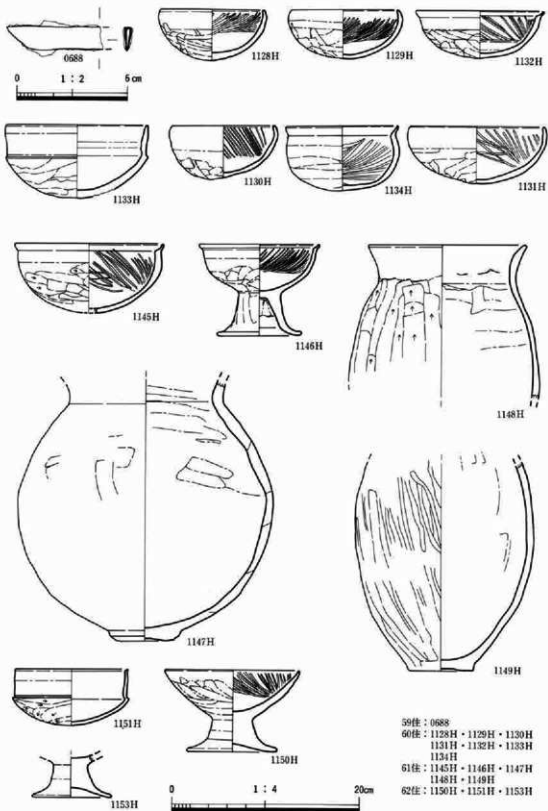


49住: 1169H  
 50住: 1156S  
 52住: 1234H・1235H  
 53住: 1125H・1126H・1127H  
 54住: 1214H・1215H・1216H・1217H  
 56住: 1104H・1105H・1106H・1107H

第736图 5区49・50・52・53・54・56号住居跡出土遺物

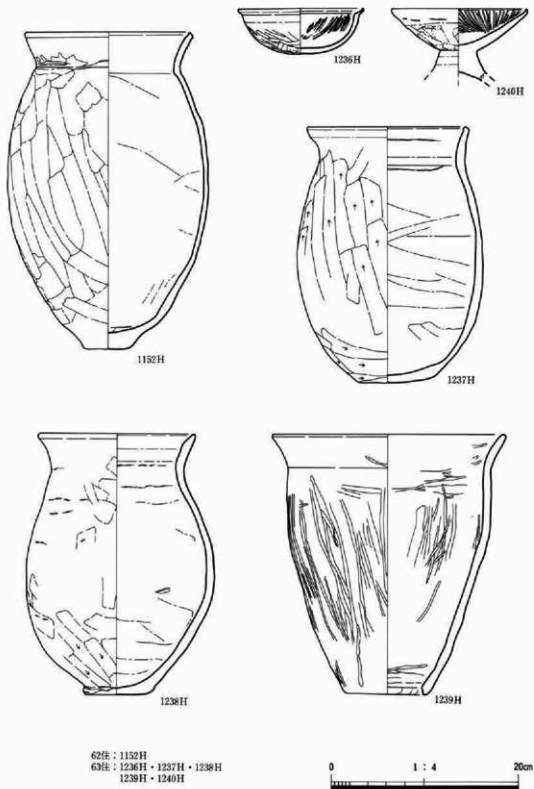


第737图 5区56·57·58号住居跡出土遺物

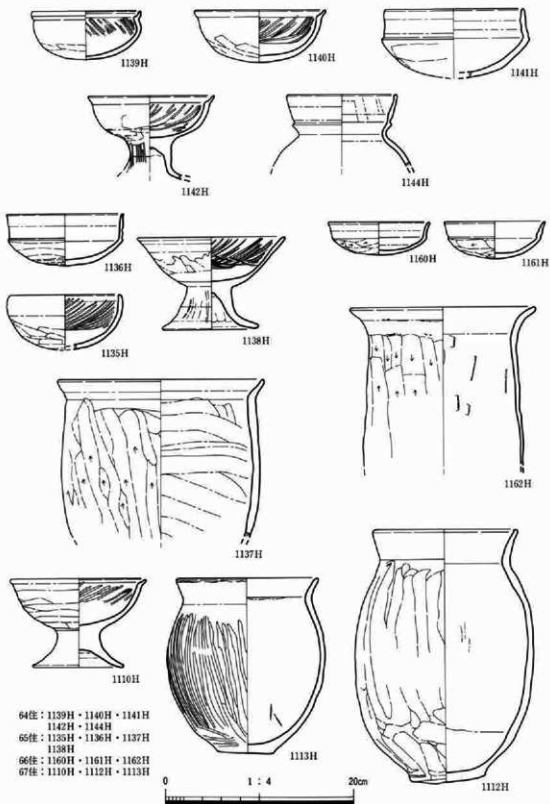


第738图 5区59·60·61·62号住居跡出土遺物

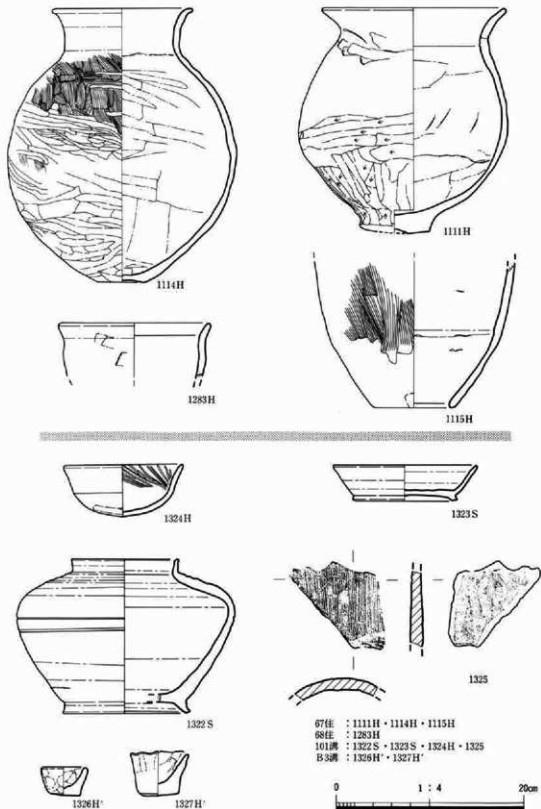




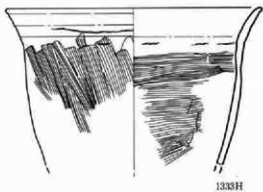
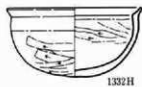
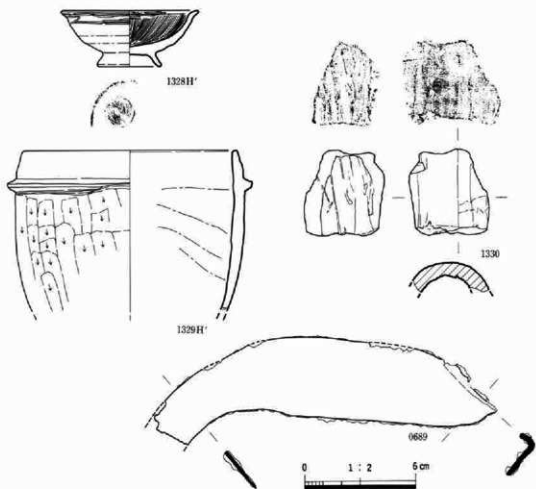
第739図 5区62・63号住居跡出土遺物



第740图 5区64・65・66・67号住居跡出土遺物



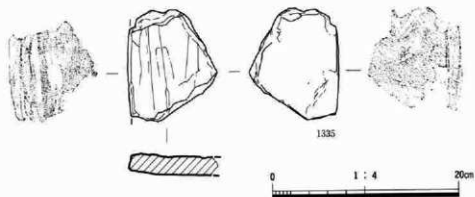
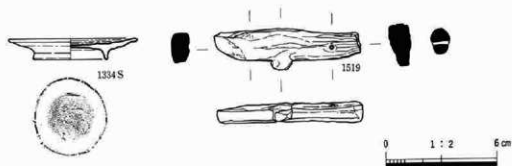
第741图 5区67・68住居跡、101・B2号溝出土遺物



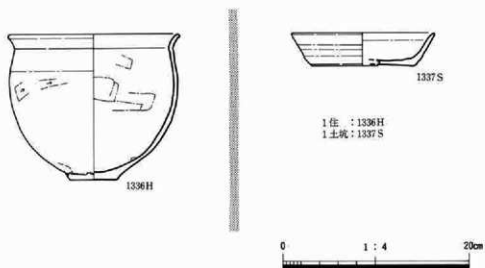
C 1 溝：0689・1328H'・1329H'・1330  
 23土坑：1331S  
 43土坑：1332H・1333H

0 1 : 4 20cm

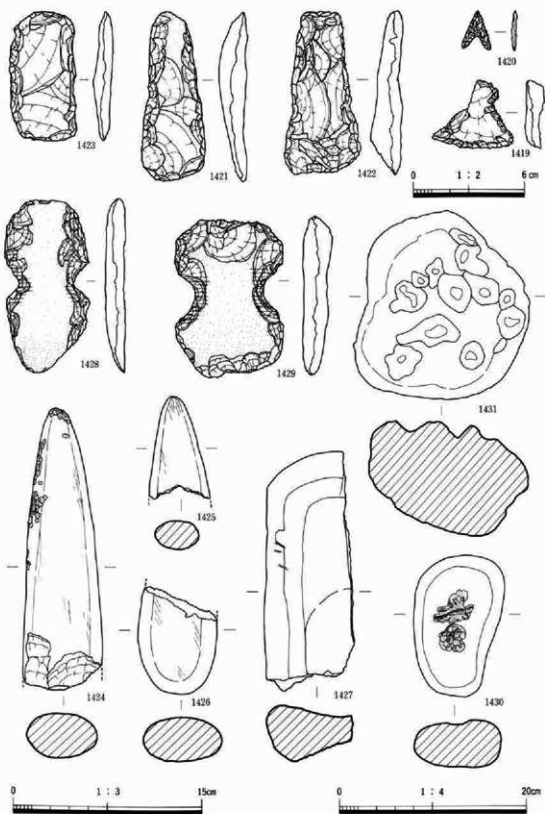
第742图 5区C 1号溝、23・43号土坑出土遺物



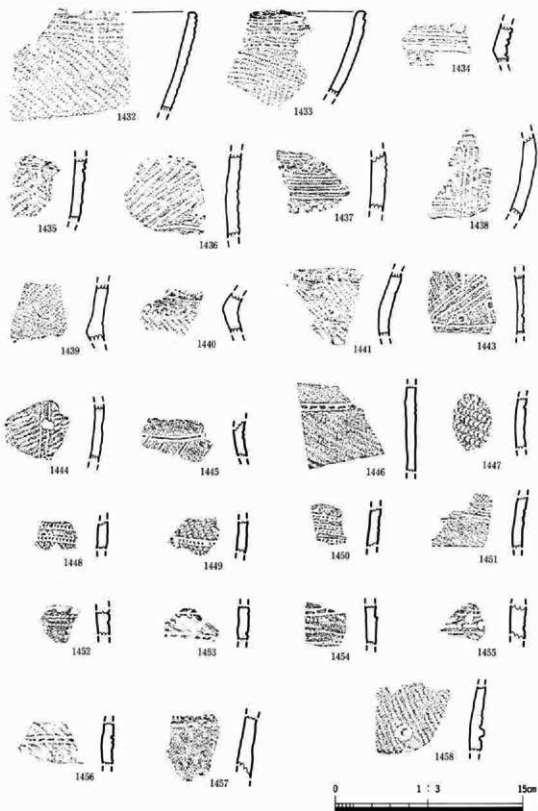
第743図 5区遺構外出土遺物



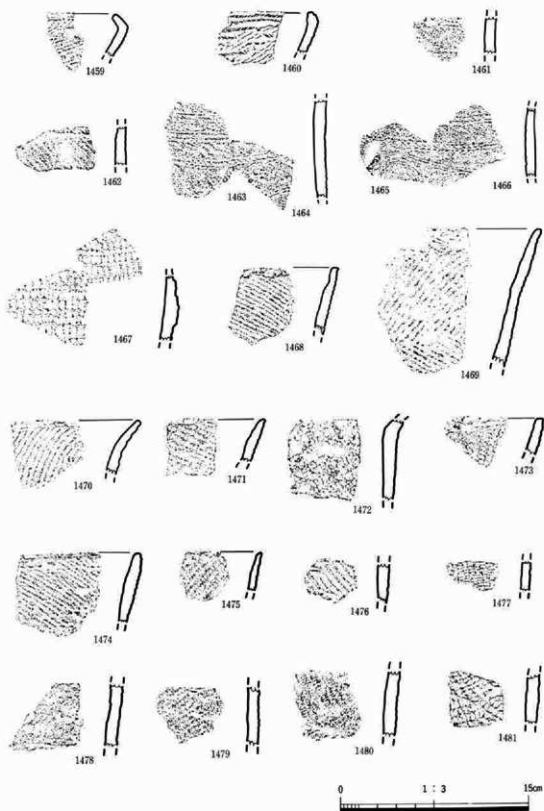
第744図 6区1号住居跡、6区1号土坑出土遺物



第745図 遺構外出土縄文時代遺物(1)

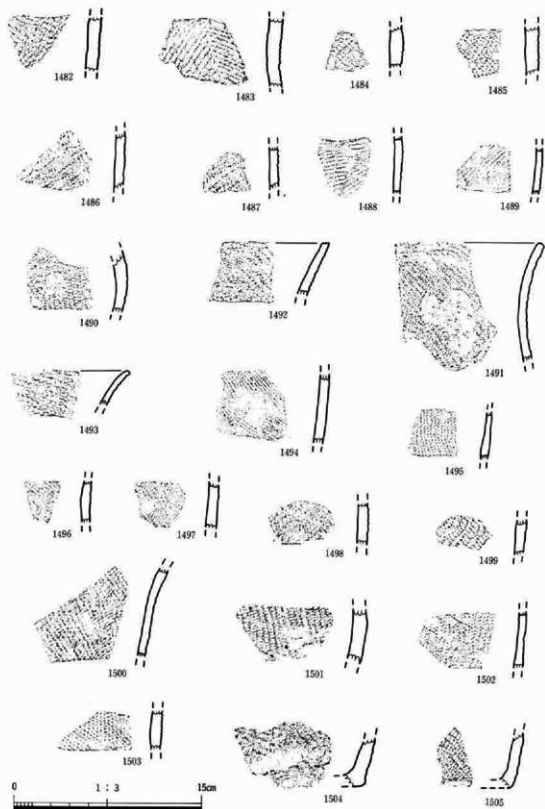


第746図 遺構外出土縄文時代遺物(2)

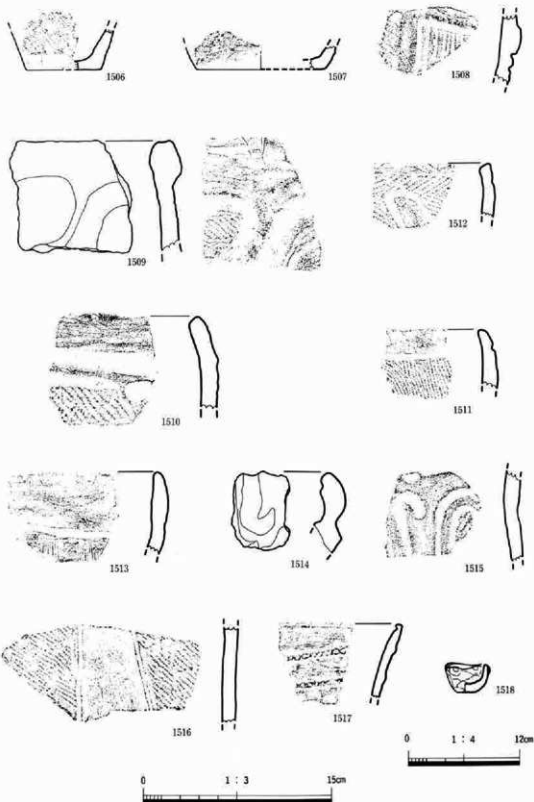


第747図 遺構外出土縄文時代遺物（3）





第748図 遺構外出土縄文時代遺物(4)



第749圖 遺構外出土縄文時代遺物 (5)

# 遺物計測値表

- \*1 遺物の整理番号は4桁の通番とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真の遺物番号・実測図の遺物番号・遺物計測値表の遺物番号・写真図版編の遺物番号は、それぞれ同じ遺物を指す。
- \*2 整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号は、原則として連続しない。
- \*3 遺物計測値は出土遺構ごとに掲載しており、4→5→6区の順である。また、各区ごとに1号住居→2号住居→・・・の番号順に前詰めとし、ひとつの区ごとに住居→溝→土坑→遺構外出土遺物の順に掲載した。
- \*4 器形・調整等の特徴を観察した記述は割愛した。
- \*5 土器の計測値のうち、徳類等で備考欄④「割」としたのは割部最大径を示す。その他は適宜表現した。
- \*6 計測値の口=口径、高=器高、底=底径を表し、底部が●であるものは丸底、-は計測不可、口径値・器高値・底径値を（ ）でくくったものは、それぞれ復原口径、現存高、復原底径を示す。
- \*7 出土位置は水平位置-垂直位置で示し、認定された床面からの高さ10cm以内を「床面」とした。住居内部の水平位置は中央・各辺・各隅・内部施設と方向とを併用して表現した。単に「カマド」としたものは、カマド覆土出土も含む。
- \*8 備考欄⑤土器の色調は「標準土色帖」（農林省農林水産技術会議事務局監修、1970年）を用いて表したが、個人差・光源の違い等により、現物の色調と一致しない場合がある。
- \*9 整理番号をもつ登録遺物は、発掘調査記録図（遺物分布図）と同定可能な遺物取り上げ番号（=遺物法記）、及び整理作業中に撮影した写真番号を遺物台帳に記録してある。未掲載遺物（土器片等）については、所見の一部を遺物台帳に記録した。

# 遺物計測値表 遺構別 目次

区	遺構番号	掲載頁
4	1住	745
	2住	745
	3住	745
	4住	745
	6住	746
	7住	746
	8住	746
	9住	746
	11住	747
	12住	747
	13住	747
	14住	747
	15住	748
	16住	748
	17住	748
	18住	748
	19住	749
	21住	749
	22住	749
	23住	749
	24住	750
	29住	750
	30住	750
	32住	751
	33住	751
	34住	752
	35住	752
	36住	752
	37住	752
	38住	753
	40住	753
	41住	753
	43住	753
	44住	754
	45住	754
	54住	754
	55住	755
	56住	756
	57住	756
	58住	756
	59住	756
	60住	757
	62住	758
	63住	758
	65住	758
	68住	758
	70住	759
	71住	759
	72住	759
	73住	759
	74住	760
	75住	760
	76住	760
	77住	761

区	遺構番号	掲載頁	
4	78住	761	
	80住	761	
	81住	762	
	84住	762	
	85住	762	
	86住	762	
	101住	763	
	102住	764	
	103住	764	
	104住	764	
	105住	764	
	106住	764	
	107住	765	
	109住	765	
	110住	765	
	111住	765	
	112住	766	
	113住	766	
	114住	766	
	117住	766	
	119住	767	
	120住	767	
	121住	767	
	122住	767	
	127住	768	
	128住	768	
	129住	769	
	130住	769	
	135住	771	
	137住	771	
	138住	771	
	141住	771	
	142住	771	
	145住	771	
	146住	772	
	147住	773	
	149住	773	
	150住	773	
	152住	774	
	153住	774	
	154住	774	
	155住	775	
	34坑	776	
	88坑	776	
	144坑	776	
	222坑	776	
	224坑	777	
	5	1住	777
		2住	777
		3住	777
		4住	777
		6住	777
		8住	777
		9住	778

区	遺構番号	掲載頁
5	10住	778
	11住	778
	12住	778
	17住	779
	19住	779
	20住	779
	21住	779
	22住	779
	23住	779
	24住	780
	25住	780
	26住	780
	27住	781
	28住	783
	29住	783
	30住	783
	31住	784
	32住	784
	33住	785
	34住	785
	35住	785
	36住	786
	37住	787
	38住	787
	39住	787
	41住	787
	42住	788
	43住	788
	44住	789
	45住	789
	46住	789
	47住	790
	48住	791
	49住	791
	50住	792
	52住	792
	53住	792
	54住	792
	56住	793
	57住	793
	58住	794
	59住	794
	60住	794
	61住	795
	62住	795
	63住	795
	64住	796
	65住	796
	66住	797
	67住	797
	68住	797
	101溝	797
	B2溝	798
	C1溝	798

区	遺構番号	掲載頁
5	23坑	798
	43坑	798
遺構外		
6	1住	799
	1坑	799
遺構外編文		
		799

## 4区第1号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0681	鍍鉄製	切先欠木質遺存	遺存長17.3 刃部最大巾5.1	中央西寄床面	④基部と柄との角度44度
1000	円筒形土製品土師貫	瓦?	口 ー 高 (28.3) 底 10.1	東辺中央壁際床面	①褐色粒、細砂②酸化③赤色
1001	円筒埴輪	小片	高 15.6 底 10.9	カマド右脇	①細砂②酸化③橙褐色
1002	円筒埴輪	小片	高 13.0 底 ー	カマド右脇	①白色小粒多②酸化③明赤褐色
1003	円筒形土製品土師貫	小片	高 9.5	東辺中央壁際床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色
1004	円筒形土製品土師貫	瓦?	高 31.5	カマド	①細砂多②酸化③橙褐色④支脚に転用
1005	瓶土師貫	口縁部小片	口 29.3 高 7.9 底 ー	カマド	①黒色小粒多②酸化③鈍い黄褐色

## 4区第2号住居跡

1042	蓋須恵器	略完	口 13.8 高 2.4 ツマリ 3.0	南東寄床面	①黒色小粒②還元③灰白色④口唇部磨減
------	------	----	----------------------------	-------	--------------------

## 4区第3号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1040	高台付椀須恵器	瓦	口 11.5 高 4.6 底 7.1	南西隅床面	①細砂②還元③オリーブ黒色
1041	杯土師貫	瓦	口 (10.1) 高 3.2 底 5.5	北西隅床面	①細砂②酸化③橙褐色

## 4区第4号住居跡

1026	高台付椀土師貫	瓦	口 15.0 高 5.0 底 (7.0)	カマド右前床面	①砂粒②酸化③緑黄色
1027	高台付椀須恵器	底部	口 ー 高 (4.2) 底 4.8	カマド右前床面	①細砂②酸化気味③灰色

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1028	杯 土 師 貫	片	口 10.6 高 3.0 底 5.0	カマド	①砂粒多②酸化③淡黄色
1029	羽 蓋 土 師 貫	口縁部	口 18.8 高 (8.2) 底 -	中央床面	①砂粒②酸化③淡黄色・オリーブ灰色

4区第6号住居跡

0912	高台付椀 土 師 貫	片	口 (10.1) 高 5.3 底 (7.2)	中央南寄 床面	①細砂②酸化③褐色
------	---------------	---	------------------------------	------------	-----------

4区第7号住居跡

0837	高台付椀 土 師 器	略完	口 11.0 高 9.0 底 9.2	カマド右 脇床直上	①精良②酸化③淡黄色④古い片口状の割
0838	高台付椀 灰軸陶器	片	口 15.4 高 4.9 底 8.0	カマド左 前床直上	①精良②還元③灰黄色
0839	杯 土 師 貫	略完	口 10.0 高 3.8 底 4.6	南西辺中 央フク土	①砂粒多②酸化③橙色

4区第8号住居跡

0682	鉄 製	先端部	遺存長 3.9 最大幅 1.1	北東寄床 面	④0683と接合しない
0683	鉄 製	茎?	遺存長 7.3 断面0.5角	北東隅フ ク土	
0836	杯 土 師 器	片	口 9.0 高 2.2 底 4.8	カマド前 床面	①黒色小粒多②酸化③灰白色

4区第9号住居跡

0690	高台付椀 土 師 貫	片	口 10.5 高 4.0 底 6.8	北西隅床 面	①細砂②酸化③鈍い橙色④高台割
0691	高台付椀 土 師 貫	高台欠	口 14.8 高 (6.2) 底 -	北西隅床 面	①細砂多②酸化③鈍い橙色
0692	羽 蓋 土 師 貫	口縁部 ～体部	口 18.3 高 (20.2) 底 -	北西隅床 面	①砂粒②酸化③鈍い橙色④割21.6

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0693	羽蓋土師質	口縁部 ～体部 瓦	口 22.0 高 18.3 底 —	北西隅床面	①砂粒②還元③鈍い黄褐色④解23.2

## 4区第11号住居跡

0913	羽蓋土師質	口縁部	口 21.6 高 6.7 底 —	カマド内	①細砂多②酸化気味の還元③淡黄色
------	-------	-----	------------------------	------	------------------

## 4区第12号住居跡

0914	杯土師器	瓦	口 15.1 高 3.7 底 —	東辺北寄壁際床面	①褐色粒②酸化③褐色
------	------	---	------------------------	----------	------------

## 4区第13号住居跡

1045	杯須恵器	略完	口 10.0 高 3.3 底 ●	西辺北寄壁際床面	①砂粒②還元③灰色
1046	杯土師器	瓦	口 11.1 高 3.7 底 ●	カマド前床面	①細砂②酸化③褐色
1047	杯土師器	略完	口 11.3 高 3.5 底 ●	南辺東寄床面	①細砂②酸化③褐色
1048	杯土師器	略完	口 13.2 高 4.5 底 ●	南辺東寄壁際床面	①細砂②酸化③褐色
1049	杯土師器	瓦	口 12.7 高 4.0 底 ●	南辺東寄床面	①細砂②酸化③褐色
1050	杯土師器	瓦	口 10.3 高 3.2 底 ●	カマド内	①細砂②酸化③褐色

## 4区第14号住居跡

1051	杯土師器	瓦	口 11.8 高 4.4 底 ●	南西中央床面	①細砂②酸化③褐色
1052	杯土師器	略完	口 11.9 高 4.2 底 ●	貯蔵穴	①褐色粒②酸化③褐色
1053	杯土師器	瓦	口 12.6 高 4.4 底 ●	カマド右壁際床面	①褐色粒②酸化③褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1054	壺 土師器	瓦	口 21.0 高 36.0 底 4.0	西辺カマ ド前床面	①砂粒多②酸化③淡黄色④割18.4
1055	壺 土師器	口縁部	口 17.0 高 8.6 底 -	南西臥床 面	①砂粒②酸化③明赤褐色
1056	壺 土師器	口縁部 小片	口 11.0 高 (10.0) 底 -	南西部ピ ット内	①砂粒多②酸化③淡黄色
1057	支脚?	完形	長 28.5 高 11.5	西辺カマ ド前床面	③白灰色④軽石(ニツ品)、重さ2.09kg
1058	紡錘車 滑石製品	完形	径 4.4 孔 0.6 高 1.2	偏形	③暗青灰色④重さ32.4g

4区第15号住居跡

0921	壺 土師質	口縁部 ～体部	口 30.1 高 22.4 底 -	カマド	①砂粒②酸化③黒褐色④割31.5
------	----------	------------	-------------------------	-----	------------------

4区第16号住居跡

0924	高台付 土師質	瓦	口 (11.1) 高 5.6 底 (5.4)	中央北東 寄床面	①細砂②酸化③黄灰色
------	------------	---	------------------------------	-------------	------------

4区第17号住居跡

1059	杯 須恵器	略完	口 13.5 高 4.0 底 8.2	南東寄床 面	①砂粒②還元③灰色
1060	高台付 杯須恵器	瓦	口 (12.0) 高 4.6 底 (7.3)	南東寄床 面	①精良②還元③灰色
1061	杯 土師器	瓦	口 (16.5) 高 5.0 底 ●	南東寄床 面	①白色粒、細砂②酸化③橙色
1062	壺 土師器	口縁部	口 (23.1) 高 (6.5) 底 -	カマド左 脇床面	①砂粒多②酸化③橙色

4区第18号住居跡

0897	杯 土師質	瓦	口 14.2 高 14.8 底 6.1	北辺東寄 壁際	①細砂多②酸化③橙色
------	----------	---	---------------------------	------------	------------



番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0898	円筒形土製品？ 土師器		口 — 高 10.4 底 —	南辺中央床面	①細砂②酸化③灰黄色④地輪？

## 4区第19号住居跡

0829	杯土師器	略完	口 9.5 高 2.4 底 5.9	北辺西寄床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0830	碗 灰釉陶器	口縁部	口 (14.4) 高 (4.8) 底 —	中央東寄床面	①精良②還元③灰白色
0831	甕 須恵器	底部片	口 — 高 (18.4) 底 —	カマド前床面	①白色粒②還元③暗灰色

## 4区第21号住居跡

0929	杯土師器	瓦	口 10.5 高 3.4 底 ●	南東ピット内	①細砂②酸化③橙色
0930	杯土師器	瓦	口 (10.6) 高 (3.7) 底 ●	中央北寄床面	①細砂②酸化③橙色
0931	甕土師器	口縁部 ～体部	口 (17.9) 高 (13.9) 底 —	カマド	①細砂多②酸化③橙色④割16.0
0932	甕須恵器	口唇部	口 (17.8) 高 — 底 —	カマド前床面	①精良②還元③褐灰色
0933	蓋須恵器	瓦	口 (19.5) 高 (3.0) ツマリ —	フク土	①砂粒②還元③灰色

## 4区第22号住居跡

0953	高台付皿 灰釉陶器	瓦	口 (14.4) 高 2.7 底 (8.2)	南辺中央壁際床面	①精良②還元③灰黄色
------	--------------	---	------------------------------	----------	------------

## 4区第23号住居跡

1016	杯土師器	瓦	口 15.5 高 5.3 底 8.9	カマド左袖・カマド内	①細砂②酸化③橙色
1017	杯土師器	瓦	口 15.0 高 4.6 底 8.2	南辺東寄床面	①細砂②酸化③橙色

番号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1018	杯 須恵器 拓	片	口 3.0 高 3.6	カマド前 床面	①黒色粒多②還元③灰色
1019	蓋 須恵器	片	口 13.5 高 2.2 フタミ 3.0	カマド右 袖前フタ 土	①白色小粒②還元③灰白色
1020	壺 土師器	片	口 25.4 高 11.7 底 ●	カマド内	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色

4区第24号住居跡

1030	高 杯 土 師 器	略完	口 14.2 高 10.4 底 9.7	カマド	①精良②酸化③極暗赤褐色④支脚
1031	杯 土 師 器	片	口 (12.7) 高 4.9 底 —	カマド掘 形	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色

4区第29号住居跡

0885	高台付碗 黒色土器	片	口 15.2 高 6.1 底 7.5	北西寄床 面	①細砂②酸化③鈍い黄褐色
0886	高台付碗 黒色土器	略完	口 9.6 高 5.1 底 5.8	北西寄床 面	①細砂②還元③淡黄褐色
0887	高台付碗 内黒土器	略完	口 9.4 高 4.9 底 5.2	中央床面	①細砂②酸化③鈍い黄褐色
0888	杯 土 師 器	片	口 8.0 高 2.1 底 (4.0)	カマド内	①細砂②酸化③淡黄褐色
0889	杯 土 師 器	片	口 (10.0) 高 1.3 底 (7.0)	中央床面	①細砂②酸化③褐色

4区第30号住居跡

0684	刀子又は 鏃 鉄製品	茎	遺存長4.8	北辺中央 床面	④断面略方形
0915	蓋 須恵器	小片	口 (13.0) 高 (4.4) フタミ —	北辺中央 壁際床面	①砂粒②還元③灰色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0916	杯土器器	小片	口 (10.7) 高 (3.4) 底 ●	カマド右 前床面	①細砂②酸化③橙色
0917	杯土器器	完形	口 11.2 高 3.6 底 ●	カマド右 脇床面	①細砂②酸化③橙色
0918	杯土器器	片	口 (17.7) 高 (5.6) 底 ●	カマド左 脇床面	①精良②酸化③橙色
0919	壺土器器	略完	口 12.8 高 13.3 底 ●	カマド左 脇床面	①細砂②酸化③橙色④割15.6
0920	壺土器器	片	口 21.3 高 39.1 底 -	カマド・ カマド前	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割16.4
0959	高杯土器器	脚部	口 - 高 (17.7) 脚 14.7	カマド (正立)	①細砂②酸化③鈍い黄褐色④支脚
0960	壺土器器	口縁部	口 22.8 高 (12.7) 底 -	カマド前 床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③鈍い黄褐色

## 4区第32号住居跡

0882	杯土器器	片	口 (9.3) 高 2.0 底 5.2	カマド左 脇床直上	①細砂②酸化③鈍い黄褐色
0883	杯土器器	片	口 (9.5) 高 1.1 底 5.7	フク土	①褐色粒, 細砂少②酸化③橙色
0884	模造品 滑石製		長 2.9 幅 1.3	フク土	③オリーブ灰色, 重さ2.4g, 刺形, 単孔

## 4区第33号住居跡

0862	碗 灰胎陶器		口 16.4 高 (5.5) 底 -	中央床面	①精良②還元③灰白色
0863	刺片 滑石		長 5.0 幅 4.15 厚 1.5	カマド	③灰白色④滑石, 重さ46.0g

## 4区第34号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②酸化 ③色調 ④備考
0857	壺 土器器	口縁部	口 22.5 高 (6.0) 底 -	カマド右 脇床面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色
0858	杯 土器質	片	口 9.0 高 2.1 底 4.5	南西隅床 面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0859	杯 土器質	片	口 9.5 高 2.7 底 5.4	北辺中央 床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0860	杯 土器質	片	口 9.2 高 2.2 底 5.0	南西隅床 面	①小石、細砂②酸化③赤褐色
0861	杯 土器質	略完	口 9.0 高 2.1 底 4.6	西辺中央 壁際フク 土	①褐色粒②酸化③明赤褐色

## 4区第35号住居跡

0894	杯 土器器	片	口 13.6 高 3.6 底 ●	Aカマド 右脇床面	①砂粒②酸化③黄灰色
0895	瓶 土器器	口縁部	口 (29.0) 高 (10.4) 底 -	Aカマド	①砂粒②酸化③黄灰色
0896	壺 土器器	片	口 21.0 高 33.0 底 6.0	中央床面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い橙色④胴30.0

## 4区第36号住居跡

0903	壺 土器器	口縁部 ～体部	口 18.0 高 (14.0) 底 -	中央床面	①砂粒②酸化③橙色
0904	杯 土器器	口縁部	口 15.0 高 (4.5) 底 -	北西隅床 面	①細砂②酸化③橙色

## 4区第37号住居跡

0852	高台付椀 土器質	片	口 9.3 高 3.6 底 5.5	北辺中央 フク土	①細砂②酸化③鈍い橙色
0853	杯 土器質	略完	口 9.0 高 2.0 底 5.0	北東隅フ ク土	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0854	杯 土師貫	完形	口 9.1 高 1.4 底 6.0	カマド	①精良、褐色粒②酸化③鈍い橙色
0855	甕 土師器	口縁部	口 (28.5) 高 (13.5) 底 -	カマド	①砂粒②酸化③暗赤褐色④割30.3

## 4区第38号住居跡

0954	杯 土師器	小片	口 (12.1) 高 (5.8) 底 -	カマド	①褐色粒②酸化③橙色
------	----------	----	----------------------------	-----	------------

## 4区第40号住居跡

0909	杯 土師器	片	口 12.6 高 4.7 底 ●	中央北寄 床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0910	杯 土師器	片	口 12.6 高 3.9 底 ●	中央北寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④内黒
0911	杯 土師器	片	口 13.5 高 4.6 底 ●	北東寄床 面・中央 南寄床面	①砂粒②酸化③橙色

## 4区第41号住居跡

0905	蓋 須恵器	フタミ	ツ径 4.8 高 (1.6)	南辺中央 壁際床面	①白色小粒②還元③灰色
0906	甕 須恵器	口縁部	口 15.0 高 (5.6) 底 -	中央南寄 床面	①白色小粒②還元③灰色
0907	甕 土師器	略完	口 22.9 高 35.3 底 5.0	カマド・ カマド前	①砂粒多②酸化③橙色④割20.5
0908	甕 土師器	片	口 21.0 高 (31.6) 底 -	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③黄褐色④割19.0

## 4区第43号住居跡

0899	杯 土師器	片	口 12.1 高 6.0 底 ●	南東壁際 床面	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色
0900	模造品 滑石製	略完	長 4.8 幅 2.5	北辺西寄 壁際床面	④重さ12.7g、刺形、単孔

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0901	模造品 番石製	略完	長 3.8 幅 1.9	北辺西寄 壁際床面	①灰色②重さ5.0g、刺形、単孔
0902	壺 土器器	口縁部	口 18.1 高 (5.1) 底 -	北東隅床 面 口唇部下	①砂粒②酸化③橙色

4区第44号住居跡

0890	杯 土器器	略完	口 13.6 高 4.8 底 ●	南辺中央 床面	①褐色粒、細砂②酸化③暗赤褐色
0891	杯 土器器	1/2	口 (13.2) 高 6.5 底 ●	中央南寄 床面	①精良②酸化③赤褐色
0892	杯 土器器	口縁部 小片	口 12.4 高 (6.3) 底 -	中央南西 寄床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0893	壺 土器器	口縁部 ～体部	口 12.4 高 (6.3) 底 -	カマド・ カマド左 袖壁	①細砂②酸化③橙色

4区第45号住居跡

0922	杯 土器質 (高台?)	完形	口 9.5 高 2.6 底 6.7	北辺東寄 壁際床面	①褐色粒、細砂②酸化③灰黄褐色
0923	杯 土器質	1/2	口 (8.5) 高 1.95 底 5.2	北辺東寄 床面	①細砂②酸化③鈍い橙色

4区第54号住居跡

0685	刀子 鉄製	略完 木質遺存	全長 11.0 刃長 4.3 幅 0.9	中央東寄 床面	
0809	杯 土器器	略完	口 12.6 高 4.2 底 ●	中央床面	①細砂②酸化③橙色
0810	杯 土器器	1/2	口 (12.1) 高 (3.2) 底 ●	中央床面	①細砂②酸化③橙色
0811	杯 土器器	1/2	口 (10.0) 高 (3.4) 底 ●	中央南寄 床面	①細砂②酸化③橙色

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0813	提 瓶 須 惠 器	体部	口 - 高 (22.0) 底 ●	南辺中央 壁際床面	①精良, 細砂②酸化気味③灰色
0814	壺 土 師 器	片	口 (7.5) 高 6.6 底 ●	中央南寄 床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色④割9.2
0815	壺 土 師 器	口縁部 ~体部	口 (11.0) 高 7.1 底 -	中央南寄 床面	①細砂②酸化③橙色④割14.6

## 4区第55号住居跡

0816	杯 土 師 器	完形	口 11.3 高 3.7 底 ●	中央西寄 床面	①精良②酸化③橙色
0817	杯 土 師 器	完形	口 11.6 高 4.6 底 ●	カマド左 脇床面	①精良②酸化③橙色
0818	杯 土 師 器	略完	口 12.3 高 4.6 底 ●	カマド左 脇床面	①細砂②酸化③橙色
0819	杯 土 師 器 内 黒	完形	口 11.4 高 4.9 底 ●	カマド左 壁	①細砂②酸化③淡黄色
0820	台付壺 須 惠 器	略完	口 7.6 高 10.0 底 9.4	カマド左 脇床面	①白色小粒②酸化気味③鈍い橙色
0821	壺 須 惠 器	完形	口 10.0 高 11.9 底 ●	北東隅床 面	①細砂②還元③灰白色④割13.8
0822	提 瓶 須 惠 器	略完	口 9.8 高 24.15 底 ●	中央南西 寄床面	①砂粒②還元③灰白色
0823	壺 須 惠 器	体部片	口 - 高 22.5 底 ●	東辺北寄 床面	①細砂②還元③褐色
0824	壺 土 師 器	片	口 12.2 高 (19.1) 底 -	カマド前 床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色④割17.6
0825	壺 土 師 器	片	口 17.4 高 27.2 底 5.5	北寄床直 上	①白色粒, 砂粒多②酸化③橙色④割23.5

番号	器種	通存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0826	甕土師器	片	口 17.0 高 24.5 底 1.2	北寄床直上	①砂粒多②酸化③暗赤褐色④割15.0
0827	甕土師器	口縁部 ～体部	口 18.0 高 20.5 底 —	カマド・ カマド前	①褐色粒、砂粒多②酸化③明赤褐色④割16.5
0828	不明石		長 19.0 幅 11.9 厚 6.1	南辺中央 壁跡床面	④重さ806.9g、軽石(ニツ岳)

4区第56号住居跡

0812	蓋須恵器	片	口 12.0 高 5.0 ツマミなし	北西隅床 面	①白色小粒②還元③灰色
0832	甕土師器	片	口 18.0 高 32.5 底 6.0	カマド左 袖先端部	①砂粒、褐色粒②酸化③褐色④割22.8
0833	甕土師器	口縁部 ～体部	口 16.0 高 (16.2) 底 —	カマド左 袖前床面	①細砂②酸化③褐色④割21.8
0834	杯土師器	片	口 12.6 高 (5.3) 底 ●	カマド左 袖先端部	①褐色粒、細砂②酸化③褐色④内面暗文
0835	高杯土師器	片	口 17.0 高 (10.8) 底 —	南西隅床 面	①褐色粒②酸化③褐色④暗文

4区第57号住居跡

0710	甕土師器	口縁部 ～体部	口 22.0 高 (30.0) 底 —	カマド右 袖前床面	①砂粒多②酸化③鈍い褐色④割17.8
------	------	------------	---------------------------	--------------	--------------------

4区第58号住居跡

0708	甕土師器	口縁部 ～体部	口 22.8 高 (26.0) 底 —	カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色④割22.2
0709	甕土師器	口縁部 小片	口 (23.2) 高 4.6 底 —	北東隅床 面	①褐色粒②酸化③褐色

4区第59号住居跡

0699	杯土師器	略完	口 13.2 高 4.0 底 ●	南辺東寄 壁跡床面	①褐色粒、細砂②酸化③褐色
------	------	----	------------------------	--------------	---------------



番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①粘土 ②焼成 ③色調 ④備考
0700	蓋須恵器	瓦	口 12.6 高 4.5 ツマミなし	南東隅床面	①砂粒少②還元③オリーブ灰色
0701	杯土師器	瓦	口 14.8 高 4.7 底 ●	カマド右前床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0702	杯土師器	小片	口 12.0 高 4.3 底 ●	カマド前床面	①褐色粒②酸化③橙色
0703	杯土師器	瓦	口 11.8 高 4.4 底 ●	カマド右脇床面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い橙色
0704	杯土師器	瓦	口 11.5 高 4.3 底 ●	カマド右脇床面	①細砂②酸化③灰白色
0705	杯須恵器	口縁部小片	口 (12.5) 高 (2.8) 底 ●	南辺東寄壁際床面	①砂粒②還元③灰白色
0706	甕土師器	瓦	口 15.8 高 18.7 底 ●	カマド右脇床面	①砂粒多②酸化③灰白色④銅18.0
0707	甕土師器	口縁部～体部	口 20.4 高 16.5 底 —	カマド右前床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色④銅16.5

## 4区第60号住居跡

0694	杯土師器	完形	口 10.6 高 5.2 底 ●	南辺中央東寄壁際	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0695	杯土師器	瓦	口 (13.8) 高 5.5 底 ●	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い橙色
0696	台付甕土師器	台部欠	口 12.4 高 (13.7) 底 —	南辺中央床面・カマド	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④銅12.7
0697	甕土師器	瓦	口 15.6 高 13.2 底 3.7	南辺中央床面・カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色④鉢形
0698	甕土師器	口縁部小片	口 (22.4) 高 8.8 底 —	カマド・カマド前床面	①砂粒多②酸化③浅黄色

## 4区第62号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0796	杯 土器器	瓦	口 11.0 高 6.1 底 ●	北東寄床 面	①精良②酸化③黒褐色
0797	杯 土器器	瓦	口 13.5 高 (5.5) 底 -	北東寄床 面	①精良②酸化③鈍い赤褐色
0798	壺 土器器	口縁部	口 (17.0) 高 (8.0) 底 -	東辺壁際 床面	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色

## 4区第63号住居跡

0799	杯 土器器	瓦	口 13.7 高 4.9 底 ●	北東寄床 面	①細砂②酸化③棕色
0800	杯 土器器	瓦	口 (12.0) 高 3.5 底 ●	中央床面	①細砂②酸化③灰褐色

## 4区第65号住居跡

0801	杯 土器器	瓦	口 (14.1) 高 6.2 底 ●	南辺中央 壁際床面	①砂粒②酸化③棕色
0802	壺 土器器	瓦	口 (12.3) 高 (7.7) 底 -	北辺中央 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③棕色④割14.0
0803	丸胴壺 土器器	瓦	口 (22.5) 高 33.2 底 ●	オマド左 前床面	①砂粒多②酸化③棕色④割30.4

## 4区第68号住居跡

0711	杯 土器器	瓦	口 12.6 高 4.3 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①細砂②酸化③棕色
0712	杯 土器器	瓦	口 13.4 高 4.3 底 ●	中央南寄 床面	①細砂②酸化③棕色
0713	杯 土器器	瓦	口 17.0 高 6.2 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①精良②酸化③棕色
0714	台付壺 土器器	台部	口 - 高 (7.0) 底 12.6	中央北西 寄床面	①細砂②酸化③淡棕色

## 4区第70号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②酸化 ③色調 ④備考
0715	杯土師器	瓦	口 11.9 高 4.4 底 ●	カマド左前床面	①細砂②酸化③橙色
0716	杯土師器	瓦	口 12.3 高 3.9 底 ●	中央北西寄床面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0717	杯土師器	瓦	口 (14.0) 高 (3.9) 底 (10.5)	カマド・中央北東寄床面	①精良②酸化③黒褐色
0718	蓋須恵器	瓦	口 (14.5) 高 (3.7) ツマミ -	中央南寄床面	①砂粒少②還元③灰色
0719	杯須恵器	瓦	口 (12.5) 高 - 底 -	北辺中央床面	①白色粒②還元③灰色
0720	甕土師器	口縁部	口 10.4 高 4.2 底 -	中央北西寄床面上	①精良②酸化③橙色
0721	台付甕土師器	台部瓦	口 - 高 (6.3) 底 (14.9)	カマド	①砂粒②酸化③橙色

## 4区第71号住居跡

0722	管玉	完形	長 2.9 径 0.75	北東ピット北側床面	④暗緑灰色④重さ2.4g。碧玉?
0952	杯土師器	瓦	口 (14.0) 高 (4.0) 底 -	中央北寄床面	①褐色粒②酸化③暗赤褐色

## 4区第72号住居跡

0950	杯土師器	瓦	口 12.2 高 4.1 底 ●	貯蔵穴・カマド	①精良②酸化②橙色
0951	紡錘車帶石製	完形	長 3.4 幅 3.5 厚 1.3	西辺北寄床面	③暗青灰色④重さ29.4g

## 4区第73号住居跡

0723	杯土師器	瓦	口 13.4 高 4.8 底 ●	中央北西寄床面	①砂粒②酸化③赤色
------	------	---	------------------------	---------	-----------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①粘土 ②焼成 ③色調 ④備考
0724	杯土師器	略完	口 13.2 高 5.9 底 ●	貯蔵穴内	①精良②酸化③鈍い赤褐色
0725	杯土師器	口縁部小片	口 (13.1) 高 (4.0) 底 ●	カマド右脇壁床面	①精良②酸化③鈍い赤褐色
0726	杯土師器	口縁部小片	口 (13.0) 高 (4.7) 底 ●	東辺中央床面	①精良②酸化③鈍い赤褐色
0727	壺土師器	略完	口 15.7 高 20.5 孔 5.2	東辺中央床面	①砂粒②酸化③橙色④割16.7
0728	壺土師器	口縁部	口 20.6 高 6.5 底 -	貯蔵穴内	①白色粒②酸化③灰黄色
0729	壺土師器	底部	口 - 高 9.7 底 (9.5)	東辺南寄壁際床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色

4区第74号住居跡

0934	杯土師器	略完	口 11.3 高 4.3 底 ●	東辺北寄壁際床直上	①細砂②酸化③浅黄橙色
0935	杯土師器	片	口 11.2 高 4.3 底 ●	東辺北寄壁際床直上	①細砂②酸化③橙色
0936	壺土師器	口縁部	口 (9.5) 高 (5.7) 底 -	中央南寄床面	①精良②酸化③橙色
0937	壺土師器	底部欠	口 22.1 高 (36.2) 底 -	カマド	①砂粒多②酸化③橙色④割17.7

4区第75号住居跡

0730	壺土師器	底部	口 - 高 19.7 底 6.1	カマド	①褐色粒、砂粒多②酸化③明赤褐色
------	------	----	------------------------	-----	------------------

4区第76号住居跡

0731	杯土師器	片	口 13.0 高 4.4 底 ●	北辺東寄壁際床面	①褐色粒、精良②酸化③橙色
------	------	---	------------------------	----------	---------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0732	施須志器	頸部 ～体部	口 高 (9.2) 底	北東寄床 面	①精良②還元③灰色④口縁部打欠?

## 4区第77号住居跡

0804	杯 土師器	略完	口 12.6 高 4.6 底 ●	北東寄床 面	①褐色粒、細砂②酸化③棕色
------	----------	----	------------------------	-----------	---------------

## 4区第78号住居跡

1362	深鉢	口頸部 ～体部	中央床面	①繊維②棕色④RL・LRの附加条1種、黒沢、胴29.5
1363	深鉢	胴下半 部～ 底部	中央北寄床面	①繊維②鈍い褐色④黒沢
1364	深鉢	口縁部 小片	中央床面	①繊維②褐色④RL、黒沢
1365	深鉢	口縁部 小片	中央東寄床面	①繊維②鈍い黄褐色④コンパス爪形RL、黒沢
1366	深鉢	口縁部 小片	フク土	①繊維②オリブ黒色④コンパス、RL、黒沢
1367	深鉢	体部	中央北寄床面	①繊維②鈍い黄色④RL・LR羽状縄文、附加条1種、黒沢
1368	深鉢	体部	中央東寄 床面	①繊維②黒褐色④LR、黒沢
1369	製片石器		南隅床面	④黒色頁岩
1370	ナリ石		フク土	④粗粒安山岩、長15.0、幅4.3、厚4.0

## 4区第80号住居跡

1044	不明 石	略完	長 28.5 幅 16.0 厚 6.2	北西寄床 面	④輝緑岩、重さ3.9kg
------	---------	----	---------------------------	-----------	--------------

## 4区第81号住居跡

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0805	壺 土 師 器	略完	口 23.2 高 35.0 底 4.1	南東隅床 面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴19.0
0806	杯 土 師 器	瓦	口 17.7 高 7.9 底 -	南東寄フ ク土	①精良②酸化③橙色
0807	甌石?		長 23.2 幅 14.3 厚 10.0	北寄床面	③灰白色④軽石(ニツ岳)、重さ15.2kg
0808	甌石?		長 21.0 幅 16.2 厚 8.0	北寄床面	③灰白色④軽石(ニツ岳)、重さ15.1kg

## 4区第84号住居跡

1523	杯 土 師 器	完形	口 11.5 高 3.8 底 ●	土層断面 内床面	①細砂②酸化③黄褐色
1524	高 杯 土 師 器	脚部欠	口 19.5 高 (6.4) 底 -	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い橙色

## 4区第85号住居跡

1068	壺 土 師 器	瓦	口 11.0 高 9.7 底 ●	南東隅床 面	①褐色粒、砂粒②酸化③赤色④胴12.1
1069	壺 土 師 器	底部欠	口 19.9 高 (26.3) 底 -	中央フク 土	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④胴19.3
1070	杯 土 師 器	略完	口 12.8 高 5.3 底 ●	フク土	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色

## 4区第86号住居跡

1371	深 鉢	体部 小片	-	フク土	③明赤褐色④爪形文、R L、諸磯 a
1372	深 鉢	体部 小片	-	フク土	③鈍い赤褐色④沈線刻み、L r、諸磯 b
1373	深 鉢	体部 小片	-	表土	③灰白色④沈線刻み、R L、諸磯 b

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1374	打製石斧	完形	長 11.4 幅 4.5 厚 2.3	南東隅ピット内	④変質蛇紋岩、重き191.1g
1375	打製石斧	完形	長 15.2 幅 4.9 厚 2.2	南東隅ピット内	④黒色頁岩、重き177.2g
1376	打製石斧	完形	長 9.8 幅 5.2 厚 1.3	南東隅床面	④珪質頁岩、重き70.7g
1377	石 匙	完形	長 3.5 幅 5.4 厚 0.7	フク土	④黒色頁岩、重き12.7g
1378	剥片石器	—	長 7.3 幅 4.3 厚 1.2	南東寄床面	④黒色頁岩、重き27.8g
1379	剥片石器	—	長 7.0 幅 6.7 厚 1.5	中央床面	④黒色頁岩、重き66.6g
1380	サリ石	完形	長 15.1 幅 4.1	東辺南寄壁際床面	④黒色頁岩、重き266.9g
1381	サリ石	完形	長 12.1 幅 5.8 厚 3.7	フク土	④粗粒安山岩、重き402.2g
1382	サリ石	完形	長 7.2 幅 6.9 厚 4.9	中央北寄床面	④粗粒安山岩、重き274.0g
1383	多孔石	完形	長 31.9 幅 28.1 厚 9.2	東辺寄床面	④粗粒安山岩、重き11.1kg
1384	多孔石	完形	長 27.6 幅 26.0 厚 7.4	北東隅床面	④粗粒安山岩、重き8.3kg
1385	多孔石	完形	長 41.5 幅 26.0 厚 15.0	南東寄床面	④粗粒安山岩、23.1kg

## 4区第101号住居跡

1071	壺土器	略完	口 23.6 高 41.8 底 2.8	カマド	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割17.4
------	-----	----	---------------------------	-----	---------------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1072	甕土師器	口縁部 ～体部	口 (23.0) 高 (42.0) 底 (3.8)	カマド	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴16.6
1073	甕土師器	口縁部 ～体部	口 19.9 高 (19.8) 底 -	カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色④胴15.3

4区第102号住居跡

0905	杯土師器	略完	口 10.6 高 3.6 底 ●	中央床面	①白色粒②酸化③明赤褐色
------	------	----	------------------------	------	--------------

4区第103号住居跡

0996	甕土師器	片	口 19.4 高 32.3 底 4.5	南辺西寄床面	①白色粒多②酸化③赤色④胴17.5
0997	壺土師器	口縁部 ～体部	口 18.7 高 (21.4) 底 -	南東隅床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色④胴32.0
0998	杯土師器	略完	口 12.5 高 3.8 底 ●	南東隅床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色

4区第104号住居跡

0999	甕土師器	片	口 17.9 高 11.6 孔 3.3	南東柱穴内	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色
1525	甕土師器	片	口 24.1 高 34.7 孔 10.2	南東柱穴内	①砂粒多②酸化③黄褐色④胴20.8

4区第105号住居跡

0991	甕土師器	口縁部 ～体部	口 (20.0) 高 17.7 底 -	南辺西寄床面	①砂粒多、小石②酸化③鈍い褐色④胴17.6
------	------	------------	---------------------------	--------	-----------------------

4区第106号住居跡

1035	甕土師器	底部欠	口 (20.1) 高 34.1 底 -	カマド前床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴18.0
1036	甕土師器	底部欠	口 20.3 高 (34.7) 底 -	カマド前床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴17.3



番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1037	壺 土師器	口縁部	口 23.3 高 (9.0) 底 -	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色
1038	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (15.5) 高 (10.7) 底 -	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④胴19.0
1039	壺 土師器	底部欠	口 15.9 高 (17.3) 底 -	北東寄 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色④胴16.0

## 4区第107号住居跡

1008	杯 土師器	片	口 (15.6) 高 5.6 底 -	カマド周 辺	①細砂②酸化③橙色④高杯?
------	----------	---	--------------------------	-----------	---------------

## 4区第109号住居跡

1074	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (16.1) 高 (17.3) 底 -	カマド左 脇床面	①白色粒、砂粒多②酸化③浅黄色④胴16.5
------	----------	------------	-----------------------------	-------------	-----------------------

## 4区第110号住居跡

1006	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 12.1 高 (8.4) 底 -	東辺北寄 床面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い赤褐色
1007	模造品 滑石製	完形	長 2.5 幅 1.0 厚 0.5	中央隅内	③灰白色④重さ2.7g、両面穿孔、曲玉形

## 4区第111号住居跡

0686	鉄 製	茎	遺長 11.6 外径 0.8～1.1	フク土	④中空
1009	杯 土師器	完形	口 10.6 高 3.0 底 ●	北西寄床 面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
1010	杯 土師器	片	口 (12.2) 高 3.1 底 ●	カマド・ フク土	①細砂②酸化③橙色
1011	杯 須恵器	片	口 11.0 高 4.2 底 ●	北西寄床 面	①細砂②還元③灰色
1012	皿 須恵器	片	口 25.8 高 (4.9) 底 -	北東隅床 面	①白色小粒②還元③オリーブ灰色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1013	皿 須恵器	片	口 23.0 高 (3.6) 底 —	北東隅床面	①褐色粒②還元③鈍い黄褐色
1014	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 23.4 高 (17.2) 底 —	カマド前床面	①砂粒多②酸化③橙色④割18.3
1015	壺 土師器	口縁部	口 20.8 高 (6.0) 底 —	カマド前床面	①砂粒②酸化③赤褐色

4区第112号住居跡

1024	杯 須恵器	略完	口 12.0 高 3.3 底 7.2	カマド右袖脇	①褐色粒、砂粒②還元③灰色
1025	杯 土師器	小片	口 19.2 高 (3.5) 底 —	中央南東寄床面	①細砂②酸化③橙色

4区第113号住居跡

1075	杯 土師器	片	口 13.2 高 (5.4) 底 —	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
1076	高杯 土師器	片	口 14.5 高 10.2 底 9.3	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
1077	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (20.0) 高 (15.9) 底 —	北西寄床面	①砂粒多②酸化③浅黄色④割21.1

4区第114号住居跡

0992	杯 土師器	片	口 12.4 高 5.6 底 ●	カマド・フク土	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色
0993	壺 土師器	体部 ～底部	口 — 高 (18.0) 底 8.3	南辺中央壁際床面	①砂粒②酸化③橙色④単孔
0994	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 16.0 高 (18.0) 底 —	中央北寄床面	①砂粒②酸化③橙色④割17.6

4区第117号住居跡

1078	杯 土師器	小片	口 (21.9) 高 (7.6) 底 —	カマド右脇床面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い橙色
------	----------	----	----------------------------	---------	-----------------

## 4区第119号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1079	杯 土師器	略完	口 12.3 高 5.0 底 ●	東辺中央 床面	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色
1080	瓶 土師器	略完	口 25.4 高 23.9 孔 9.3	東辺中央 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色④割21.8
1081	甕 土師器	底部欠	口 20.3 高 (30.8) 底 -	中央東寄 床面	①砂粒多②酸化③灰白色④割20.0

## 4区第120号住居跡

1032	杯 須恵器	片	口 13.0 高 3.2 底 (7.3)	カマド内	①白色小粒②還元③灰色
1033	甕 土師器	体部 ～底部	口 - 高 (8.7) 底 ●	南辺東寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割14.3
1034	甕 土師器	底部	口 - 高 9.7 底 ●	カマド右 脇前	①細砂多②酸化③褐色

## 4区第121号住居跡

1043	杯 土師器	片	口 (14.8) 高 (7.1) 底 ●	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色
------	----------	---	----------------------------	-----	----------------

## 4区第122号住居跡

1082	蓋 須恵器	片	口 14.0 高 (5.2) ツマミ -	カマド右 脇床面	①白色粒②還元③灰色
1083	高杯 土師器	略完	口 14.7 高 - 底 9.6	カマド・ カマド前	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1084	高杯 土師器	杯部	口 14.6 高 (6.0) 底 -	カマド右 脇床面	①褐色粒②酸化③褐色
1085	杯 土師器	小片	口 (13.9) 高 (4.5) 底 -	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③褐色
1086	甕 土師器	小片	口 (10.8) 高 (8.4) 底 -	カマド	①砂粒多②酸化③灰褐色④割11.8

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1087	壺 土師器	略完	口 16.0 高 31.5 底 5.6	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割20.5
1088	壺 土師器	底部欠	口 18.1 高 28.0 底 —	中央東寄 床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色④割1.7

4区第127号住居跡

0955	杯 須恵器	略完	口 11.4 高 3.4 底 ●	貯蔵穴	①白色粒②還元③灰色
0956	杯 土師器	略完	口 11.8 高 3.9 底 ●	貯蔵穴	①細砂②酸化③橙色
0957	杯 土師器	完形	口 10.8 高 4.2 底 ●	貯蔵穴	①精良②酸化③橙色
0958	壺 須恵器	口縁部	口 15.5 高 (3.7) 底 —	貯蔵穴	①白色粒②還元③灰色

4区第128号住居跡

0938	杯 土師器	略完	口 13.3 高 5.3 底 ●	カマド	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0939	杯 土師器	略完	口 14.2 高 4.9 底 ●	カマド・ 壺下	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0940	杯 土師器	略完	口 13.1 高 5.0 底 ●	カマド焚 口	①褐色粒、砂粒②酸化③暗赤褐色
0941	杯 土師器	略完	口 13.8 高 5.4 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒、細砂粒②酸化③橙色
0942	杯 土師器	完形	口 11.8 高 4.9 底 ●	カマド左 袖基部	①褐色粒②酸化③橙色
0943	杯 土師器	完形	口 11.8 高 5.4 底 ●	カマド右 袖前床面	①褐色粒②酸化③赤褐色
0944	杯 土師器	完形	口 12.2 高 5.2 底 ●	カマド右 脇床面・ 壺下	①細粒②酸化③暗赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0945	高杯 土師器	略完	口 14.0 高 9.9 底 8.7	カマド中 央(倒立)	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色
0946	高杯 土師器	頸部欠	口 17.8 高 (14.2) 底 -	カマド左 脇床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0947	甕 土師器	底部欠	口 13.3 高 13.3 底 -	カマド中 央やや上	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④割14.0
0948	甕 土師器	完形	口 17.5 高 30.9 底 6.7	カマド中 央(正立)	①砂粒②酸化③鈍い橙色④割21.5
0949	甕 土師器	略完	口 21.6 高 24.55 孔 9.0	カマド右 脇床面	①砂粒②酸化③橙色④割19.4

## 4区第129号住居跡

1021	杯 土師器	略完	口 13.3 高 5.6 底 ●	中央南西 寄床面	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色
1022	甕 土師器	口縁部	口 23.1 高 8.9 底 -	南東隅床 面	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色
1023	甕 土師器	完形	口 15.5 高 14.9 底 ●	貯蔵穴内	①細砂②酸化③橙色④割17.2

## 4区第130号住居跡

0864	杯 土師器	略完	口 13.5 高 5.2 底 ●	南辺中央 床面	①褐色粒, 細砂②酸化③赤褐色
0865	杯 土師器	略完	口 13.5 高 5.4 底 ●	カマド右 袖前床面	①褐色粒, 細砂②酸化③明褐色
0866	杯 土師器	完形	口 13.2 高 5.2 底 ●	南辺中央 床面	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色
0867	杯 土師器	略完	口 13.4 高 4.7 底 ●	南辺中央 床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0868	杯 土師器	略完	口 13.9 高 5.1 底 ●	南辺西寄 床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0869	杯 土師器	完形	口 12.4 高 6.0 底 ●	カマド右 脇床面	①褐色粒。細砂②酸化③鈍い赤褐色
0870	杯 土師器	片	口 (11.7) 高 5.8 底 ●	カマド	①細砂②酸化③明赤褐色
0871	高杯 土師器	略完	口 13.0 高 8.3 底 8.8	カマド中 央(倒立)	①褐色粒。細砂②酸化③明赤褐色
0872	壺 土師器	片	口 (9.2) 高 7.9 底 5.8	南辺中央 床面	①細砂②酸化③鈍い褐色
0873	壺 土師器	片	口 11.7 高 9.8 底 5.5	南辺中央 床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④割11.9
0874	鉢 土師器	略完	口 14.8 高 7.0 底 6.2	カマド右 袖脇	①砂粒②酸化③鈍い褐色④体部打欠
0875	壺 土師器	略完	口 11.6 高 12.5 底 (6.7)	カマド中 央(倒立)	①細砂②酸化③褐色④割13.0
0876	壺 土師器	底部欠	口 13.3 高 (13.5) 底 -	カマド左 袖先端部 (倒立)	①砂粒②酸化③鈍い褐色④割16.0
0877	壺 土師器	片	口 24.0 高 20.0 底 -	北東寄床 面	①砂粒多②酸化③明褐色④割25.1
0878	壺 土師器	片	口 14.4 高 (22.1) 底 -	中央床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④割19.6
0879	壺 土師器	片	口 13.4 高 6.1 底 6.5	南辺中央 床面	①細砂②酸化③鈍い褐色
0880	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (17.4) 高 18.0 底 -	カマド左 袖前床面	①褐色粒。砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割21.0
0881	瓶 土師器	体部	口 - 高 (11.0) 孔 (7.4)	南辺西寄 床面	①白色粒②酸化③鈍い赤褐色

## 4区第135号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1092	杯 土師器	片	口 13.6 高 40.7 底 ●	フク土	①褐色粒②酸化③褐色
1093	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (19.0) 高 (14.4) 底 -	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い褐色

## 4区第137号住居跡

1089	杯 土師器	片	口 11.0 高 4.0 底 ●	東辺北寄 土師器	①細砂②酸化③褐色
1090	杯 土師器	片	口 12.1 高 3.7 底 ●	東辺北寄 床面	①砂粒②酸化③褐色
1091	杯 土師器	片	口 (10.2) 高 (3.5) 底 ●	フク土	①細砂②酸化③褐色

## 4区第138号住居跡

1094	杯 土師器	片	口 (12.5) 高 50.3 底 ●	不明	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
1095	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (18.0) 高 8.0 底 -	不明	①細砂②酸化③鈍い褐色

## 4区第141号住居跡

0849	高杯 土師器	杯部 片	口 (19.0) 高 (3.0) 底 -	貯蔵穴	①砂粒②酸化③褐色
------	-----------	---------	----------------------------	-----	-----------

## 4区第142号住居跡

0850	高杯 土師器	杯部	口 - 高 (1.4) 底 -	北西辺西 寄床面	①褐色粒、細砂②酸化③褐色
0851	杯 土師器	片	口 (14.0) 高 (4.3) 底 -	フク土	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色

## 4区第145号住居跡

0840	杯 土師器	突形	口 10.6 高 5.0 底 ●	南辺西寄 壁際床面	①褐色粒、細砂②酸化③褐色
------	----------	----	------------------------	--------------	---------------

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0841	杯 土 器	完形	口 12.2 高 4.3 底 ●	北東隅床 面	①細砂②酸化③暗灰黄色
0842	杯 土 器	片	口 12.1 高 4.1 底 ●	南辺中央 床面	①褐色粒, 細砂②酸化③褐色
0843	高 杯 土 器	略完	口 13.6 高 8.9 底 9.9	南西寄床 面	①細砂②酸化③褐色
0844	ナリ鉢 須恵器	略完	口 14.0 高 13.1 底 10.0	中央南寄 床面	①精良, 白色粒多②還元③暗緑灰色
0845	壺 土 器	略完	口 19.4 高 37.7 底 3.5	カマド左 脇床面	①砂粒多②酸化③褐色④割17.2
0846	壺土器	口縁部 ～体部	口 (21.4) 高 18.0 底 -	中央南寄 床面	①砂粒多②酸化③褐色④割18.0
0847	壺 土 器	片	口 (14.0) 高 16.2 底 (8.4)	北西柱穴 内	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割15.0
0848	砥 石	完形	長 22.0 幅 9.5	南辺西寄 壁際床面	③鈍い黄色④砥沢石, 重さ1.76kg

4区第146号住居跡

0982	杯 土 器	片	口 (11.1) 高 6.0 底 ●	カマド右 脇床面	①細砂②酸化③暗赤褐色
0983	杯 土 器	片	口 12.2 高 (6.2) 底 ●	貯蔵穴	①褐色粒, 細砂②酸化③褐色
0984	杯 土 器	片	口 14.8 高 7.0 底 ●	カマド右 脇床面	①褐色粒, 細砂②酸化③褐色
0985	壺 土 器	片	口 (17.6) 高 28.1 底 (6.6)	カマド	①白色小粒多②酸化③灰黄色④割22.7
0986	壺 土 器	口縁部	口 15.6 高 (5.5) 底 -	カマド右 脇床面	①白色小粒多②酸化③鈍い黄褐色



番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②酸化 ③色調 ④備考
0987	壺 土師器	略完	口 22.4 高 30.7 底 8.0	南東隅床 面	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色④割28.5
0988	壺 土師器	略完	口 17.8 高 29.5 底 7.0	カマド	①砂粒②酸化③褐色④割22.4
0989	高杯 土師器	底部欠	口 13.6 高 (7.7) 底 -	フク土	①褐色粒②酸化③褐色

## 4区第147号住居跡

0925	瓶 土師質	口縁部	口 (24.0) 高 (9.5) 底 -	カマド左 軸部	①黒色小粒②酸化③鈍い黄褐色④罅穿孔
0926	羽釜 土師質	口縁部 小片	口 (28.6) 高 (7.4) 底 -	カマドフ ク土	①砂粒②酸化③鈍い褐色
0927	壺 土師質	口縁部	口 28.3 高 (15.1) 底 -	カマド	①砂粒②酸化 ③褐色④割31.0
0928	壺 土師質	口縁部 ～体部	口 29.0 高 (22.8) 底 -	カマド	①砂粒、小石②酸化③褐色④割31.0

## 4区第149号住居跡

1096	模造品 滑石製	完形	幅 (10.0) 厚 0.5	フク土	③灰色④重さ0.8g、白玉
1097	杯 土師器	片	口 15.4 高 (6.1) 底 ●	床下	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
1098	杯 土師器	片	口 12.6 高 5.0 底 ●	フク土	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色
1099	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (16.5) 高 (16.0) 底 -	床下	①白色粒②酸化③暗赤褐色④割19.4

## 4区第150号住居跡

1064	杯 須恵器	略完	口 13.0 高 4.3 底 ●	中央北寄 床面	①砂粒②酸化③黒褐色
------	----------	----	------------------------	------------	------------

番号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1065	杯 土 師 器	完形	口 13.6 高 4.5 底 ●	北東隅床 直上	①褐色粒、精良②酸化③鈍い棕色
1066	壺 土 師 器	口縁部 ～体部	口 (20.9) 高 (9.5) 底 -	中央北東 寄床面	①砂粒、小石②酸化③赤色
1067	壺 土 師 器	口縁部 ～体部	口 (26.8) 高 (24.4) 底 -	北東寄床 面	①砂粒、小石②酸化③明赤褐色④胴32.0

4区第152号住居跡

0856	砥 石		長 12.0 幅 9.0 厚 3.9	東辺中央 南寄壁際 床面	③灰黄褐色④砥沢石、重さ693.5g
------	-----	--	--------------------------	--------------------	--------------------

4区第153号住居跡

1386	深 鉢	体部小片	-	中央床面	①織維③明赤褐色④R.L., 周折
1387	打製石斧	完形	長 13.8 幅 9.3 厚 3.5	中央東寄 フク土	④細粒安山岩、重さ456.0g
1388	石 匙	完形	長 5.9 幅 8.0 厚 1.3	中央床面	④黒色頁岩、重さ61.1g
1389	剝片石器	完形	長 3.8 幅 6.4 厚 1.0	南辺中央 壁際フク 土	④黒色頁岩、重さ20.1g
1390	石 匙	先端欠	長 4.5 幅 2.8 厚 0.5	東辺中央 壁際床面	④黒色頁岩、重さ8.1g
1391	剝片石器	完形	長 7.1 幅 3.2 厚 1.1	フク土	④黒色頁岩、重さ26.7g
1442	深 鉢	胴部小片	-	中央南東 寄床面や や上	③鈍い棕色④平行比線+円形刺突諸織

4区第154号住居跡

0977	杯 土 師 器	片	口 (16.0) 高 8.5 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
------	------------	---	--------------------------	------------	-----------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0978	杯土師器	瓦	口 (11.8) 高 (5.0) 底 -	アケ土	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0979	甕土師器	口縁部 ～体部	口 (19.8) 高 20.0 底 -	カマド・ カマド前 床面	①砂粒多②酸化③橙色④割24.4
0980	甕土師器	口縁部	口 (19.5) 高 (7.3) 底 -	カマド	①細砂②酸化③鈍い橙色
0981	甕土師器	瓦	口 22.9 高 20.0 底 9.0	カマド左 袖先端部	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割21.3

## 4区第155号住居跡

0961	杯土師器	瓦	口 14.3 高 3.9 底 ●	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0962	杯土師器	瓦	口 (12.7) 高 4.8 底 ●	北西隅床 面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0963	杯土師器	略完	口 14.4 高 7.3 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0964	杯土師器	瓦	口 (15.4) 高 7.1 底 ●	南辺中央 壁跡床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0965	杯土師器	瓦	口 16.1 高 (7.6) 底 ●	西辺中央 床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0966	杯土師器	小片	口 (12.4) 高 2.9 底 -	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0967	甕土師器	略完	口 (16.7) 高 31.5 底 6.5	カマド前 床面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色④割20.0
0968	甕土師器	略完	口 16.0 高 32.3 底 5.3	カマド前 床面	①砂粒②酸化③暗赤色④割マド20.0
0969	甕土師器	略完	口 16.3 高 31.0 底 6.0	カマド前 床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色④割19.5

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0970	甕土師器	完形	口 16.0 高 25.0 底 6.5	カマド右脇床面 (西側)	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴22.1
0971	甕土師器	底部欠	口 16.6 高 (26.9) 底 -	カマド右脇床面 (東側)	①砂粒少②酸化③暗褐色④胴19.5
0972	甕土師器	底部欠	口 16.0 高 (23.7) 底 -	カマド前床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色④胴19.9
0973	甕土師器	口縁部 ～体部	口 18.3 高 (11.9) 底 -	カマド右脇床面	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色
0974	甕土師器	口縁部	口 14.2 高 (5.5) 底 -	カマド左袖基部脇	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色
0975	甕土師器	口縁部 ～体部	口 16.3 高 (10.0) 底 -	カマド前床面	①細砂②酸化③鈍い黄褐色
0976	甕土師器	口縁部 ・底部	口 (24.0) 高 (8.4) 底 -	北東床面・北西床面	①細砂②酸化③鈍い褐色④頸部凹線

4区第34号土坑

1100	硯須恵器	小片	口 (14.6) 高 (1.8)	フタ土	①細砂②還元③灰色
------	------	----	---------------------	-----	-----------

4区第88号土坑

0990	蓋須恵器	片	口 10.5 高 3.0 フタ 1.4	フタ土	①白色小粒②還元③灰白色
------	------	---	---------------------------	-----	--------------

4区第144号土坑

1418	深鉢	片	-	中央フタ土	①繊維③赤褐色④RL、LR附加、黒浜
1520	深鉢	口縁部 ～底部	-	フタ土	①繊維③橙色④RL・LR黒浜

4区第223号土坑

1416	蔵石	片	長 9.0 幅 3.2 厚 1.7	フタ土	④黒色頁岩、重き76.2g
------	----	---	-------------------------	-----	---------------

## 4区第24号土坑

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1417	深鉢	口縁部 ～底部	中央東寄 床面	①繊維③明赤褐色④膠条工具による波状比線, R L+附加条LR+附加条

## 5区第1号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1281	碗 灰胎陶器	口縁部	口 (16.8) 高 (3.7) 底 -	掘形第3 土坑西壁	①精良②還元③灰白色

## 5区第2号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1321	羽蓋 土器質	口縁部 小片	口 (25.4) 高 (7.8) 底 -	南西隅床 面	①砂粒②還元③浅黄褐色

## 5区第3号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1231	杯 土器質	片	口 (12.5) 高 4.0 底 5.2	南辺西寄 壁際床面	①砂粒少②酸化③褐色

## 5区第4号住居跡

1251	杯 須恵器	略完	口 12.7 高 3.9 底 7.0	中央南寄 床面	①砂粒少②イブシ焼成, 還元③灰白色
1252	杯 土器質	片	口 14.7 高 3.9 底 9.8	南辺中央 壁際床面	①細砂②酸化③褐色

## 5区第6号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1213	高台付 土器質	片 高台欠	口 (15.0) 高 (4.6) 底 -	南東隅床 面	①砂粒, 褐色粒②酸化③鈍い赤褐色

## 5区第8号住居跡

1177	杯 土器質	完形	口 11.0 高 2.7 底 5.5	南辺東寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④静止水切
1178	高台付皿 灰胎陶器	片	口 11.5 高 2.5 底 6.3	中央床面	①精良, 黒色粒②還元③灰白色

## 5区第9号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1175	杯 土師質	写	口 15.4 高 3.9 底 6.9	カマド	①白色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
1176	土 釜 土師質	口縁部 ～体部	口 (31.0) 高 (22.7) 底 -	南西隅床 面・カマ ド	①白色粒、砂粒多②酸化③鈍い褐色

## 5区第10号住居跡

1157	杯 土師質	略完	口 8.7 高 1.4 底 5.0	中央北寄 床面	①褐色粒②酸化③鈍い橙色
1158	高台付皿 土師質	略完	口 14.4 高 4.5 底 (7.7)	中央床面	①細砂②酸化③鈍い黄色
1159	土 釜 土師質	口縁部	口 (34.4) 高 (10.4) 底 -	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④胴36.0

## 5区第11号住居跡

1232	高台付椀 土師質 内 黒	略完	口 10.4 高 3.7 底 6.1	カマド前 フク土	①白色粒②酸化③鈍い橙色
1233	高台付椀 土師質 内 黒	口縁部 ～体部	口 (18.0) 高 (5.0) 底 -	カマド前 床面	①白色小粒②酸化③鈍い橙色

## 5区第12号住居跡

0687	刀 子 鉄 製	茎	遺長 5.7	フク土	④刃部欠
1122	土 釜 土師質	口縁部 ～体部	口 (22.0) 高 (14.5) 底 -	南西隅床 面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴26.7
1123	杯 土師質	略完	口 9.2 高 2.4 底 5.5	カマド前 フク土	①白色粒②酸化③鈍い橙色
1124	高台付皿 灰粘陶器	略完	口 12.8 高 2.5 底 6.1	フク土	①精良②湿光③灰白色

## 5区第17号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1282	高台付椀 土師質	片	口 12.2 高 4.5 底 6.3	貯蔵穴	①砂粒、白色粒②酸化③灰白色

## 5区第19号住居跡

1154	杯 土師器	片	口 (14.0) 高 5.1 底 ●	東辺北寄 壁際床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色
1155	高杯 土師器	脚部	口 — 高 (4.2) 底 9.2	中央床面	①褐色粒②酸化③橙色

## 5区第20号住居跡

1120	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 21.8 高 (21.2) 底 —	カマド前 床面	①白色粒、砂粒多②酸化③橙色④胴18.7
1121	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 14.8 高 (14.4) 底 —	カマド奥 壁	①白色粒、砂粒多②酸化③赤褐色④胴17.8

## 5区第21号住居跡

1174	土釜また は羽蓋 土師質	体部 ～底部	口 — 高 (27.0) 底 11.5	カマド付 近	①砂粒②酸化③灰黄褐色④胴25.0
------	--------------------	-----------	---------------------------	-----------	-------------------

## 5区第22号住居跡

1253	杯 土師器	片	口 12.2 高 5.0 底 ●	南辺壁際 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
------	----------	---	------------------------	------------	-----------------

## 5区第23号住居跡

1109	杯 土師器	略完	口 12.6 高 5.9 底 ●	カマド左 脇床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1266	杯 土師器	略完	口 12.0 高 4.8 底 ●	カマド左 脇床面	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
1267	杯 土師器	片	口 13.0 高 5.8 底 ●	カマド中 央	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
1268	壺 土師器	底部	口 — 高 (14.0) 底 5.5	南東ピヤ ット内	①砂粒多②酸化③鈍い褐色

## 5区第24号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1284	杯土師器	略完	口 13.6 高 5.4 底 ●	南辺中央壁際 アケ土	①褐色粒、細砂②酸化③褐色
1285	杯土師器	片	口 (14.0) 高 6.0 底 ●	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
1286	高杯土師器	片	口 14.1 高 8.6 底 9.2	中央北寄床面	①白色粒、細砂②酸化③褐色
1287	丸胴壺土師器	口縁部 ～体部	口 15.4 高 (18.5) 底 -	カマド右袖脇床面	①砂粒多②酸化③褐色④割24.0
1288	壺土師器	底部欠	口 13.8 高 (15.8) 底 -	カマド左脇床面	①砂粒多②酸化③褐色④割16.6
1289	瓶土師器	略完	口 20.0 高 22.5 底 9.0	カマド左脇床面	①白色粒②酸化③明黄褐色
1290	壺土師器	片	口 17.2 高 32.5 底 6.6	中央南寄床面	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色④割26.2

## 5区第25号住居跡

1277	杯土師器	片	口 13.7 高 (5.3) 底 ●	カマド左袖脇床面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い赤褐色
1278	瓶土師器	完形	口 25.2 高 27.0 孔 7.1	カマド左脇床面	①砂粒②酸化③褐色④割20.0、穿孔

## 5区第26号住居跡

1299	杯土師器	略完	口 12.7 高 5.1 底 ●	カマド右脇床面	①細砂②酸化③褐色
1300	杯土師器	片	口 (13.2) 高 4.2 底 ●	南辺東寄床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1301	壺土師器	底部欠	口 11.5 高 (13.6) 底 -	中央床面	①砂粒多②酸化③赤色④割13.8



番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1302	蓋 須恵器	片	口 13.8 高 (5.1) ツマミなし	フク土	①白色粒②還元③灰色
1303	杯 土師器	片	口 9.4 高 4.7 底 4.8	中央南寄 フク土	①細砂②酸化③鈍い黄褐色
1304	壺 土師器	口縁部	口 14.2 高 (7.5) 底 —	中央南寄 フク土	①褐色粒②酸化③橙色
1305	紡錘車 帶石製	完形	外径 3.6 上面径 2.3 孔径 0.7	フク土	③灰色④重さ28.5

## 5区第27号住居跡

0505	杯 須恵器	略完	口 10.3 高 4.4 底 ●	北西寄床 面	①白色粒、砂粒②還元③灰色
0506	杯 土師器	完形	口 11.3 高 5.1 底 ●	北西寄床 面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0507	杯 黒色土器	片	口 12.3 高 4.9 底 ●	北辺西寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色
0508	杯 土師器 内黒	完形	口 11.9 高 4.8 底 ●	貯蔵穴内	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0509	杯 土師器	完形	口 13.1 高 5.1 底 ●	貯蔵穴内	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0510	杯 土師器	完形	口 11.2 高 5.1 底 ●	南東隅 床面	①細砂②酸化③橙色
0511	杯 土師器	完形	口 12.7 高 4.9 底 ●	南東隅 床面	①砂粒②酸化③橙色
0512	杯 土師器	略完	口 12.0 高 4.5 底 ●	貯蔵穴内	①砂粒②酸化③鈍い橙色
0513	杯 土師器	完形	口 12.5 高 5.0 底 ●	貯蔵穴内	①砂粒②酸化③赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0514	杯土器	完形	口高底 11.2 4.5 ●	南東隅床面	①砂粒②酸化③橙色
0515	長頸壺土器	略完	口高底 8.9 18.6 ●	カマド右脇床面	①細砂②酸化③明赤褐色④割14.0
0516	壺土器	口縁部欠	口高底 - (14.3) ●	カマド右脇床面	①細砂②酸化③赤褐色④割15.1
0517	高杯黒色土器	略完	口高底 14.4 13.3 11.4	貯蔵穴内	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0519	高杯土器	片	口高底 17.1 14.0 11.7	西辺中央床面	①褐色粒。砂粒②酸化③橙色
0520	紡錘車土製	略完	上面径 2.2 底径 4.2 厚 2.1	西辺中央壁際床面	①細砂②酸化③黒褐色④重さ31.7g
0521	壺土器	完形	口高底 11.8 12.6 6.1	カマド右脇床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色④割12.4
0522	丸胴壺土器	略完	口高底 (20.1) 32.4 6.3	南辺東寄壁際床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割34.0
0523	丸胴壺土器	略完	口高底 16.9 22.6 7.0	北辺中央床面	①白色粒多②酸化③明黄褐色④割21.6
0524	壺土器	略完	口高底 16.6 31.2 6.4	北辺西寄壁際床面	①3mm大の石②酸化③鈍い黄褐色④割17.2
0525	壺土器	略完	口高底 19.0 35.2 6.0	カマド前床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割21.8
0526	壺土器	完形	口高底 14.4 15.6 6.8	南東隅床面	①砂粒②酸化③明赤褐色④割17.0
0527	壺土器	体部～底部	口高底 - (20.9) 8.5	カマド左袖	①白色粒②酸化③灰褐色
0528	壺土器	略完	口高底 13.4 16.9 5.6	カマド	①白色粒多②酸化③橙色④割15.2

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0520	甕土師器	片	口 9.9 高 12.5 底 ●	カマド内	①細砂粒②酸化③明黄褐色④胴12.0
0530	甕土師器	口縁部 ～体部	口 (13.2) 高 (16.9) 底 -	カマド右 前床面	①砂粒, 白色粒②酸化③褐色④胴16.8
0531	丸胴甕土師器	底部	口 - 高 (22.6) 底 9.2	カマド右 脇床面	①白色粒②酸化③赤褐色④胴32.0
0532	甕土師器	底部	口 - 高 (16.6) 底 6.4	中央北寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④19.8
0533	甕土師器	底部	口 - 高 (1.7) 底 5.5	カマド内	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色
0534	甕土師器	口縁部 ～体部	口 (21.2) 高 (13.7) 底 -	中央南寄 床面	①砂粒②酸化③明赤褐色④胴19.5

## 5区第28号住居跡

1275	杯土師器	片	口 12.6 高 5.0 底 ●	南東隅壁 際床面	①褐色粒, 細砂②酸化③鈍い褐色
1276	模造品 滑石製	略完	長 2.2 幅 1.8 厚 0.6	中央西寄 床面	③灰色④重さ3.6g, 孔径0.2, 不整形, 白玉?

## 5区第29号住居跡

1320	羽釜土師質	片	口 (20.4) 高 (19.5) 底 -	カマド奥 壁	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色④胴21.6
------	-------	---	-----------------------------	-----------	--------------------

## 5区第30号住居跡

1314	杯土師器	片	口 14.6 高 5.6 底 ●	カマド前 床面	①白色粒, 褐色粒②酸化③褐色
1315	杯土師器	略完	口 14.6 高 5.6 底 ●	カマド北 側床面	①褐色粒②酸化③褐色
1316	杯土師器	略完	口 14.4 高 5.6 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1317	杯 土師器	略完	口 12.0 高 5.4 底 ●	カマド左 袖基床面	①褐色粒②酸化③灰褐色
1318	壺 土師器	片	口 14.5 高 12.0 底 (5.8)	カマド前 床面	①白色粒②酸化③鈍い赤褐色④割13.7
1319	壺 土師器	片	口 (18.4) 高 (32.5) 底 —	南東両壁 基床面	①白色粒②酸化③明赤褐色④割24.3

5区第31号住居跡

1306	杯 土師器	略完	口 13.3 高 5.0 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
1307	杯 土師器	片	口 13.1 高 4.3 底 ●	カマド右 袖前床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1308	杯 土師器	片	口 12.5 高 5.5 底 ●	カマド右 袖前床面	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色
1309	杯 黒色土器	片	口 (12.0) 高 4.5 底 ●	カマド右 袖基部脇	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
1310	杯 土師器	完形	口 12.2 高 4.2 底 ●	カマド中 央	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い褐色
1311	壺 土師器	片	口 19.0 高 35.8 底 6.1	中央南寄 床面	①白色粒、砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割19.8
1312	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 14.0 高 20.0 底 5.0	カマド右 袖下	①白色粒、砂粒多②酸化③浅黄色④割15.0
1313	壺 土師器	口縁部 小片	口 (12.1) 高 (5.7) 底 —	中央北寄 床面	①褐色粒②酸化③褐色

5区第32号住居跡

1291	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (19.4) 高 (18.3) 底 —	カマド前 床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色
------	----------	------------	-----------------------------	------------	-------------

## 5区第33号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1188	杯土師器	片	口 11.6 高 5.1 底 ●	カマド前床面	①褐色粒多②酸化③橙色
1189	杯土師器	片	口 14.5 高 5.3 底 ●	貯蔵穴内	①褐色粒多②酸化③橙色
1190	杯土師器	口縁部欠	口 14.1 高 4.6 底 ●	貯蔵穴内	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1191	甕土師器	底部	口 - 高 (5.3) 底 7.3	カマド	①白色粒少②酸化③鈍い黄褐色

## 5区第34号住居跡

1192	杯土師器	略完	口 12.0 高 5.0 底 ●	カマド右袖前	①砂粒②酸化③橙色
1193	杯土師器	片	口 12.2 高 5.5 底 ●	カマド右袖	①砂粒②酸化③明赤褐色
1194	高杯土師器	片	口 (15.1) 高 (9.2) 底 -	中央北寄床面	①砂粒少②酸化③明赤褐色
1195	甕土師器	口縁部小片	口 (23.0) 高 (9.2) 底 -	中央南寄床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色
1196	杯土師器	片	口 (11.7) 高 (5.6) 底 -	フク土	①細砂②酸化③鈍い橙色

## 5区第35号住居跡

1205	杯土師器	略完	口 13.4 高 4.9 底 ●	北辺中央床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1206	杯土師器	略完	口 12.0 高 4.5 底 ●	カマド右袖前床面	①砂粒②酸化③橙色
1207	杯土師器	片	口 13.2 高 4.8 底 ●	カマド内	①褐色粒②酸化③明赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1208	壺 土師器	完形	口 13.6 高 14.7 底 4.4	カマド中 央	①砂粒多②酸化③赤褐色④胴11.8
1209	甌 土師器	片	口 20.8 高 22.9 底 10.6	カマド前 床面	①白色粒、砂粒多②酸化③浅黄色④胴17.0

5区第36号住居跡

1220	壺 土師器	完形	口 15.8 高 19.8 底 7.1	カマド中 央	①3～5mm大の石②酸化③鈍い褐色④胴16.5
1221	杯 土師器	完形	口 12.2 高 7.6 底 4.6	カマド燃 焼部	①細砂②酸化③鈍い褐色
1222	杯 土師器	片	口 (16.1) 高 7.2 底 ●	カマド中 央	①砂粒多②酸化③明赤褐色
1223	鉢 土師器	片	口 (13.9) 高 9.8 底 6.6	カマドフ ク土	①褐色粒、砂粒②酸化③赤色④胴12.8
1224	壺 土師器	完形	口 17.0 高 31.3 底 6.6	カマド燃 焼部	①砂粒多②酸化③橙色④胴19.8
1225	壺 土師器	略完	口 17.2 高 21.5 底 7.5	カマド左 袖先端	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴20.2
1226	壺 土師器	略完	口 19.7 高 34.8 底 7.2	カマド中 央焚口	①砂粒多②酸化③橙色④胴22.0
1227	壺 土師器	底部欠	口 15.3 高 (18.3) 底 -	カマド中 央焚口	①3～5mm大の石②酸化③橙色④胴16.4
1228	壺 土師器	完形	口 17.4 高 31.3 底 6.0	カマド右 袖先端	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④胴20.2
1229	壺 土師器	片	口 (19.2) 高 30.6 底 7.0	貯蔵穴	①砂粒多②酸化③橙色④胴20.0
1230	壺 土師器	片	口 (16.4) 高 28.4 底 (6.4)	カマドフ ク土	①白色粒、砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴22.3

## 5区第37号住居跡

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1279	杯 土 師 器	瓦	口 (11.0) 高 4.6 底 ●	西辺南寄 床面	①細砂②酸化③褐色
1280	杯 土 師 器	瓦	口 (13.0) 高 (4.5) 底 ●	カマド右 袖脇床面	①細砂②酸化③明赤褐色

## 5区第38号住居跡

1269	杯 土 師 器	瓦	口 13.6 高 4.8 底 ●	中央北寄 床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1270	甕 土 師 器	完整	口 14.0 高 12.8 底 6.5	カマド	①3~7mm大の石②酸化③鈍い褐色④割13.2
1271	杯 土 師 器	瓦	口 (13.6) 高 (5.1) 底 -	南辺東寄 床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1272	壺 土 師 器	瓦	口 (12.0) 高 (18.8) 底 6.2	中央床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色④割17.5
1273	甕 土 師 器	体部 ~底部	口 - 高 (24.6) 底 6.6	南東隅床 面	①3~5mm大の石②酸化③鈍い赤褐色④割21.3
1274	砥 石	略完	長 25.0 幅 9.4 厚 10.6	東辺北寄 床面	④粗粒安山岩, 重さ3.2kg

## 5区第39号住居跡

1210	甕 土 師 器	瓦	口 (12.4) 高 8.7 底 (7.0)	東隅床面	①白色粒②酸化③鈍い赤褐色④割12.8
1211	蓋 須 恵 器	瓦	口 (10.2) 高 3.6 ツマミなし	フク土	①白色粒②還元③灰色
1212	砥 石	略完	長 14.6 幅 7.3 高 7.0	南東辺中 央壁原床 面	③軽石(二ツ品), 重さ423.8g

## 5区第41号住居跡

1179	蓋 須 恵 器	瓦	口 (13.9) 高 5.3 ツマミなし	中央床面	①白色粒, 砂粒②還元③暗灰色
------	------------	---	----------------------------	------	-----------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1180	高杯土師器	杯部	口 19.0 高 (5.5) 底 -	北西派出部床面	①白色粒, 砂粒少②酸化③橙色
1181	紡錘車滑石製	完形	外径 4.2 孔径 0.6 厚さ 1.7	南西寄床面	③暗青灰色④重さ38.9g
1182	杯土師器	片	口 (14.0) 高 4.5 底 ●	フク土	①細砂②酸化③橙色
1183	模造品滑石製	完形	外径 0.9 孔径 0.3 厚さ 0.5	フク土	④重さ0.7g, 白玉
1184	模造品滑石製	完形	外径 0.9 孔径 0.3 厚さ 0.5	フク土	③鈍い黄褐色④重さ0.5g, 白玉
1185	模造品滑石製	完形	外径 0.9 孔径 0.3 厚さ 0.3	フク土	③オリーブ灰色④重さ0.3g, 白玉
1186	模造品滑石製	完形	外径 0.9 孔径 0.3 厚さ 0.3	フク土	③灰白色④重さ0.4g, 白玉
1187	模造品滑石製	完形	外径 0.8 孔径 0.4 厚さ 0.3	フク土	③灰白色④重さ0.3g, 白玉

5区第42号住居跡

1218	杯土師器	片	口 (12.8) 高 4.7 底 ●	カマド	①褐色粒, 砂粒②酸化③赤褐色
1219	杯土師器	片	口 (12.6) 高 5.5 底 ●	カマド左袖形状	①褐色粒, 砂粒②酸化③鈍い赤褐色

5区第43号住居跡

1197	杯土師器	略完	口 12.1 高 3.7 底 ●	フク土	①砂粒多②酸化③橙色
1198	杯土師器	片	口 (20.9) 高 4.8 底 ●	フク土	①褐色粒, 細砂②酸化③橙色



## 5区第4号住居跡

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1292	杯 土 師 器	略完	口 13.6 高 5.3 底 ●	西辺中央 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色
1293	杯 土 師 器	略完	口 10.8 高 4.3 底 ●	北東寄床 面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い赤褐色
1294	杯 土 師 器	片	口 (13.0) 高 (6.1) 底 ●	カマド左 袖脇床面	①褐色粒、砂粒②酸化③赤褐色
1295	壺 土 師 器	口縁部	口 18.3 高 (13.9) 底 -	カマド	①砂粒②酸化③橙色④割20.2
1296	壺 土 師 器	片	口 (13.0) 高 13.8 底 5.2	カマド左 袖脇床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色④割13.8
1297	壺 土 師 器	口縁部 ～体部	口 15.6 高 (16.4) 底 -	カマド左 袖中	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割20.0
1298	壺 土 師 器	口縁部	口 9.4 高 (3.8) 底 -	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い橙色

## 5区第45号住居跡

1254	杯 土 師 器	片	口 17.6 高 6.0 底 (12.0)	東辺中央 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色④内面暗文
1255	壺 土 師 器	口縁部 ～体部	口 (22.3) 高 (14.8) 底 -	南辺寄中 央床面	①細砂多②酸化③鈍い橙色④割21.0
1256	杯 土 師 器	略完	口 13.0 高 3.5 底 ●	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い橙色

## 5区第46号住居跡

1257	杯 土 師 器	略完	口 13.0 高 5.0 底 ●	中央西寄 床面	①褐色粒、白色粒②酸化③橙色
1258	杯 土 師 器	略完	口 14.1 高 4.7 底 ●	カマド内 右袖寄	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1259	杯 土師器	片	口 13.6 高 4.8 底 ●	カマド中央	①白色粒、褐色粒②酸化③鈍い赤褐色
1260	杯 土師器	片	口 12.6 高 5.0 底 ●	北西寄床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1261	高杯 土師器	片	口 (13.0) 高 8.0 底 (10.0)	東辺北寄 壁際床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1262	壺 土師器	略完	口 14.9 高 30.9 底 5.8	中央床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割19.4
1263	壺 土師器	略完	口 13.6 高 15.6 底 6.0	カマド中央 倒立	①砂粒②酸化③橙色④割15.5
1264	壺 土師器	口縁部	口 (18.6) 高 (11.3) 底 -	南東隅壁 際床面	①白色粒②酸化③橙色
1265	丸割壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (17.4) 高 (20.0) 底 -	中央床面	①白色粒、細砂②酸化③橙色④割28.3

5区第47号住居跡

1199	杯 土師器	片	口 (13.7) 高 4.9 底 ●	カマド左 袖	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
1200	杯 土師器	片	口 (15.0) 高 6.4 底 ●	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
1201	杯 土師器	口縁部 小片	口 (12.2) 高 5.0 底 ●	中央北西 寄床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1202	瓶 須恵器	口縁部小 片	口 (10.0) 高 (7.2) 底 -	中央床面	①白色粒、細砂②酸化気味還元③淡黄色
1203	杯 土師器	略完	口 13.4 高 4.8 底 ●	中央東寄 フク土	①細砂②酸化③橙色
1204	壺 土師器	底部	口 - 高 (7.5) 底 6.2	カマド	①白色粒②酸化③鈍い橙色

## 5区第48号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0518	高杯土師器	瓦	口 19.1 高 18.4 底 14.5	カマド右脇床面	①白色粒②酸化③鈍い褐色
1241	杯土師器	略完	口 14.7 高 5.1 底 ●	南辺東寄床面	①砂粒②酸化③明赤褐色
1242	杯土師器	瓦	口 13.2 高 4.8 底 ●	カマド左脇床面	①細砂, 褐色粒②酸化③褐色
1243	杯土師器	瓦	口 (15.2) 高 (5.3) 底 ●	南西ピット中	①砂粒②酸化③褐色
1244	杯土師器	瓦	口 11.6 高 6.6 底 ●	カマド左脇床面	①砂粒, 内黒②酸化③褐色
1245	匙形土師器		長さ 13.7 幅 10.4 器高 3.9	南辺東寄床面	①褐色粒, 砂粒少②酸化軟③明赤褐色
1246	高杯土師器	脚部欠	口 12.2 高 (6.9) 底 -	カマド前床面	①砂粒②酸化③明赤褐色
1247	壺土師器	瓦	口 (14.6) 高 (16.5) 底 -	中央床面	①3~7mmの石②酸化③褐色④割15.7
1248	壺土師器	瓦	口 19.8 高 (31.2) 底 -	中央南寄床面	①5~10mmの石②酸化③鈍い黄褐色④割20.2
1249	瓶土師器	瓦	口 (17.7) 高 20.0 孔 (8.5)	中央床面	①3~8mmの石砂粒多②酸化③浅黄褐色④割16.3
1250	瓶土師器	瓦	口 24.6 高 28.0 底 8.8	中央南寄床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③褐色④割22.5

## 5区第49号住居跡

1169	丸胴壺土師器	瓦	口 19.6 高 34.0 底 8.2	カマド左袖前床面	①褐色粒, 砂粒少②酸化③褐色④割31.5
1170	瓶土師器	略完	口 20.0 高 20.5 孔 (8.4)	中央北東寄床面	①砂粒少②酸化③赤色

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1171	甕 土 師 器	口縁部	口 14.2 高 (10.2) 底 —	左袖基部	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
1172	甕 土 師 器	口縁部 ～体部	口 (14.3) 高 (9.4) 底 —	カマド奥 壁	①砂粒②酸化③明赤褐色
1173	杯 土 師 器	片	口 (13.7) 高 4.9 底 ●	カマドフ ク土	①白色粒、細砂②酸化③鈍い赤褐色

5区第50号住居跡

1156	杯 須 志 器	片	口 (15.4) 高 3.5 底 (7.6)	南辺東寄 壁際	①白色小粒②還元③灰白色
------	------------	---	------------------------------	------------	--------------

5区第52号住居跡

1234	杯 土 師 器	片	口 12.9 高 4.0 底 ●	中央北東 寄床面	①精良②酸化硬質③褐色
1235	甕 土 師 器	口縁部 ～体部	口 13.6 高 (7.4) 底 —	中央南寄 床面	①褐色粒、砂粒多②酸化③赤褐色

5区第53号住居跡

1125	杯 土 師 器	片	口 12.0 高 4.4 底 ●	南辺壁際 床面	①細砂粒②酸化③暗赤褐色
1126	杯 土 師 器	完形	口 11.4 高 4.0 底 ●	南辺壁際 床面	①砂粒②酸化軟質③褐色
1127	甕 土 師 器	口縁部小 片	口 (15.6) 高 (6.9) 底 —	南辺壁際 床面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色

5区第54号住居跡

1214	杯 土 師 器	片	口 12.7 高 4.6 底 ●	北東隅床 面	①砂粒②酸化③赤褐色
1215	杯 土 師 器	片	口 (12.4) 高 (4.4) 底 ●	南東寄床 面	①細砂②酸化③明赤褐色
1216	甕 土 師 器	口縁部	口 15.0 高 (7.0) 底 —	南東寄床 面	①砂粒②酸化③褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1217	壺土器器	口縁部小片	口 (18.4) 高 (11.5) 底 -	南東寄床面	①砂粒多②酸化③褐色

## 5区第56号住居跡

1102	壺土器器	略完	口 18.8 高 34.8 底 7.6	カマド前床面	①白色粒②酸化③褐色④割23.4
1103	壺土器器	片	口 16.0 高 (26.2) 底 -	中央床面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割19.4
1104	壺土器器	片	口 14.0 高 (20.3) 底 (5.6)	カマド前床面	①砂粒多、白色粒②酸化③褐色④割16.4
1105	壺土器器	底部欠	口 16.3 高 (12.4) 底 -	カマド前床面	①褐色粒、細粒②酸化③鈍い赤褐色④割16.5
1106	高杯土器器	片	口 20.4 高 11.0 底 12.1	南辺中央壁際床面・カマド	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
1107	杯土器器	片	口 (13.0) 高 (4.2) 底 ●	南辺中央壁際床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1108	砥石	砥石	長 22.2 幅 5.5 高 5.1	貯蔵穴内	④変文武岩、重き913.3g

## 5区第57号住居跡

1116	杯土器器	片	口 14.2 高 5.2 底 ●	南東辺寄床面	①砂粒②酸化③明赤褐色④内外面炭化物
1117	高杯土器器	略完	口 14.1 高 9.8 脚 9.6	中央南寄床面	①白色粒、砂粒多②酸化③明赤褐色
1118	甌土器器	完形	口 15.3 高 15.0 孔 2.6	カマド前アタ土	①砂粒②酸化③鈍い褐色④鉢形穿孔
1119	壺土器器	片	口 (18.7) 高 28.1 底 (6.7)	西辺中央床面	①砂粒、白色粒②酸化③灰黄色④割22.0

## 5区第58号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1163	高台付杯 須恵器	片	口 16.4 高 4.8 底 (12.2)	中央北西 寄床面	①褐色粒②還元③灰色(内面鈍い橙色)
1164	杯 土師器	片	口 15.5 高 3.7 底 ●	中央北西 寄床面	①細砂②酸化③鈍い橙色
1165	杯 土師器	口縁部	口 15.6 高 (4.3) 底 (10.5)	南辺中央 壁際	①細砂②酸化③橙色④内面暗文
1166	杯 土師器	片	口 (12.5) 高 (3.4) 底 ●	中央西寄 床面	①細砂②酸化③橙色
1167	高台付杯 須恵器	片	口 (13.8) 高 4.7 底 (9.7)	フク土	①白色粒。細砂②還元③灰白色
1168	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 24.5 高 (23.0) 底 —	カマド	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割21.8

## 5区第59号住居跡

0688	刀子 鉄製	切先	遺存長 5.3 刃部幅 1.2 棟厚 0.4	フク土	④接合しない小片2個
------	----------	----	------------------------------	-----	------------

## 5区第60号住居跡

1128	杯 土師器	略完	口 10.8 高 5.4 底 ●	カマド左 袖障床面	①砂粒②酸化③橙色
1129	杯 土師器	略完	口 11.4 高 5.1 底 ●	カマド	①褐色粒②酸化③橙色
1130	杯 土師器	片	口 11.0 高 5.5 底 ●	カマド左 袖障床面	①褐色粒多②酸化③橙色
1131	杯 土師器	片	口 14.2 高 6.0 底 ●	カマド左 袖前床面	①褐色粒②酸化③橙色
1132	杯 土師器	略完	口 13.6 高 5.0 底 ●	南西隅床 面	①褐色粒多②酸化③橙色

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1133	杯 土 師 器	略完	口 15.3 高 7.7 底 ●	カマド右 袖前床面	①褐色粒多②酸化③褐色
1134	杯 土 師 器	片	口 12.0 高 6.8 底 ●	貯蔵穴内 ・カマド 左袖床面	①褐色粒多②酸化③褐色

## 5区第61号住居跡

1145	杯 土 師 器	底部欠	口 16.0 高 7.3 底 ●	カマド左 袖前床面	①褐色粒・細砂②酸化③褐色
1146	高 杯 土 師 器	完形	口 12.9 高 9.7 脚 9.0	カマド中 央	①褐色粒②酸化③褐色
1147	丸 胴 壺 土 師 器	片	口 — 高 (27.6) 底 (7.2)	カマド右 袖脇床面	①砂粒多②酸化③明褐色④胴27.4
1148	壺 土 師 器	口縁部 ～体部	口 16.9 高 16.2 底 —	カマド右 袖	①砂粒, 白色粒②酸化③鈍い褐色
1149	壺 土 師 器	口縁部	口 — 高 (22.2) 底 7.0	カマド左 袖脇床面	①砂粒②酸化③赤褐色④胴19.0

## 5区第62号住居跡

1150	高 杯 土 師 器	片	口 14.4 高 8.6 底 9.7	北西隅床 面	①細砂②酸化③明赤褐色
1151	杯 土 師 器	片	口 (12.0) 高 (5.8) 底 ●	カマド右 前床面	①細砂②酸化③褐色
1152	壺 土 師 器	略完	口 18.1 高 33.7 底 4.8	カマド右 脇壁際床 面	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色④胴21.5
1153	高 杯 土 師 器	胴部	口 — 高 (4.4) 底 8.5	カマド左 脇床面	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色

## 5区第63号住居跡

1236	杯 土 師 器	略完	口 13.5 高 4.8 底 —	南西隅床 面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
------	------------	----	------------------------	-----------	--------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1237	甕 土師器	略完	口 17.5 高 27.0 底 7.1	南西寄床 面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割19.7
1238	甕 土師器	片	口 17.0 高 27.7 底 7.0	南辺南寄 床面	①砂粒多, 白色粒②酸化③灰黄褐色④割20.0
1239	甕 土師器	略完	口 25.0 高 27.7 孔 9.0	南西寄床 面	①砂粒②酸化③明赤褐色④割21.6
1240	高杯 土師器	胴部欠	口 14.4 高 (17.5) 底 -	南西隅床 面	①細砂②酸化③明赤褐色

5区第64号住居跡

1139	杯 土師器	片	口 11.6 高 5.2 底 ●	カマド左 脇壁跡床 面	①黒色小粒②酸化③褐色
1140	杯 土師器	略完	口 14.1 高 5.5 底 ●	カマド左 脇床面	①砂粒多②酸化③褐色
1141	杯 土師器	片	口 15.0 高 7.2 底 ●	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色
1142	高杯 土師器	胴部欠	口 13.6 高 (8.8) 底 -	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色
1144	甕 土師器	口縁部	口 (11.9) 高 (7.6) 底 -	フク土	①砂粒少②酸化③明赤褐色

5区第65号住居跡

1135	杯 土師器	片	口 (11.6) 高 (5.8) 底 ●	カマド右 袖跡床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色
1136	杯 土師器	略完	口 12.6 高 5.4 底 ●	カマド右 袖跡床面	①白色粒, 砂粒②酸化③赤褐色
1137	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (22.0) 高 (16.7) 底 -	中央床面	①砂粒多②酸化, 硬③明赤褐色④割21.2
1138	高杯 土師器	片	口 (15.8) 高 9.7 底 10.4	カマドフ ク土	①砂粒②酸化③明赤褐色④脚部灰化物



## 5区第66号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1160	杯 土師器	略完	口 11.0 高 3.5 底 ●	南寄床面	①砂粒②酸化③橙色
1161	杯 土師器	略完	口 10.8 高 3.8 底 ●	東辺北寄 壁際床面	①白色粒②酸化③明赤褐色
1162	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (20.0) 高 (16.8) 底 —	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③橙色④割17.2

## 5区第67号住居跡

1110	高杯 土師器	略完	口 14.6 高 9.3 底 9.6	カマド中 央	①細砂、褐色粒②酸化③橙色
1111	壺 土師器	略完	口 19.2 高 24.0 底 7.6	カマド右 袖前床面	①白色粒多②酸化③橙色④割22.4
1112	壺 土師器	略完	口 15.4 高 26.8 底 8.0	カマド右 袖脇床面	①砂粒、褐色粒②酸化③灰褐色④割19.0
1113	壺 土師器	片	口 15.0 高 18.5 底 5.7	カマド右 袖基部	①砂粒、白色粒②酸化③明赤褐色④割16.8
1114	丸胴壺 土師器	片	口 (14.4) 高 (29.0) 底 5.2	カマド右 袖脇床面	①細砂②酸化③橙色④割24.4
1115	瓶 土師器	底部	口 — 高 (15.4) 底 (7.6)	北辺壁際 床面	①白色粒、砂粒②酸化③鈍い赤褐色

## 5区第68号住居跡

1283	壺 土師器	口縁部	口 (16.3) 高 (5.9) 底 —	カマド前 床面	①精良②酸化③灰褐色
------	----------	-----	----------------------------	------------	------------

## 5区大溝＝第101号溝

1322	短頸壺 須恵器	片	口 11.5 高 16.2 底 13.5	フク土	①砂粒②還元③灰白色④割23.2
------	------------	---	----------------------------	-----	------------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1323	高台付杯 須恵器	片	口 (15.5) 高 3.75 底 11.3	フク土	①白色粒少、細砂②還元③灰白色
1324	杯 土師器	片	口 (12.7) 高 5.4 底 ●	フク土	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色
1325	埴輪	小片	厚 1.4	フク土	①細砂②酸化③褐色④ヘラ文様?

5区B3号溝=B2号溝

1326	手づくね	完形	口 5.0 高 3.0 底 3.3		①細砂②酸化③鈍い赤褐色
1327	手づくね	略完	口 6.2 高 4.7 底 4.2		①砂粒②酸化③明赤褐色

5区C1号溝

0689	鎌 鉄製	切先欠	遺存長18.2 刃部幅 2.5 基部幅 4.2	フク土	④柄と基部とのなす角度37度
1328	高台付碗 土師器	略完	口 14.8 高 5.9 底 6.5	フク土	①白色小粒②酸化③褐色
1329	羽 蓋	口縁部 ～体部	口 (23.0) 高 (17.0) 底 -	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割24.5
1330	丸瓦 埴輪?	小片	縦 (9.0) 横 (8.2) 厚 1.7	フク土	①黒色小粒多②酸化③鈍い褐色

5区第23号土坑

1331	杯 須恵器	口縁部 小片	口 (15.0) 高 (4.1) 底 -	フク土	①砂粒②還元③灰色④すり鉢?
------	----------	-----------	----------------------------	-----	----------------

5区第43号土坑

1332	杯 土師器	略完	口 14.4 高 7.2 底 ●		①細砂②酸化③褐色
------	----------	----	------------------------	--	-----------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1333	瓶? 土師器	口縁部 ～体部	口 (27.4) 高 (17.0) 底 -		①白色小粒②酸化③明赤褐色

## 5区遺構外

1334	高台付皿 須恵器	略完	口 13.7 高 2.2 底 7.8	5区	①6mmの小石, 砂粒②還元③灰白色
1335	平瓦	小片	長さ(11.7) 幅 (9.6) 厚 (2.0)	5区	①白色小粒, 黒色小粒②還元③淡黄色

## 6区第1号住居跡

1336	壺 土師器	片	口 (18.3) 高 15.4 底 5.1	南辺中央 壁際床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色④調18.0
------	----------	---	-----------------------------	--------------	--------------------

## 6区第1号土坑

1337	杯 須恵器	片	口 (15.4) 高 3.4 底 (11.0)		①白色粒, 黒色小粒②還元③灰色
------	----------	---	-------------------------------	--	------------------

## 各区遺構外出土遺物

1518	手すくね	略完	口 4.5 高 3.0 底 2.0	4区86住 南土坑	①精良②酸化③橙色④地点不明
1519	模造品 帶石製	完形	長 7.9 幅 2.3 厚 1.0	5区C1 溝付近	④重さ24.3g, 地点不明, 刀子形

## 各区遺構外職文土器

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1432	深鉢	口縁部 小片	4区137坑	①織維③鈍い黄褐色④爪形文, R.L., 黒灰
1433	深鉢	口縁部 小片	5区61住	①織維③鈍い赤褐色④爪形文, R.L・L.R羽状職文, 黒灰

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土	②焼成	③色調	④備考
1434	深鉢	胴部 小片	4区34住	①織維③鈍い黄褐色④爪形、黒浜			
1435	深鉢	胴部 小片	3区	①織維③橙色④爪形文、LR・RL羽状縄文、黒浜			
1436	深鉢	胴部 小片	5区23住	①織維③鈍い褐色④平行沈線(半散竹管)、黒浜			
1437	深鉢	胴部 小片	3区14住	①織維③鈍い褐色④コンパス+沈線、黒浜			
1438	深鉢	胴部 小片	3区14住	①織維③鈍い褐色④コンパス+沈線、黒浜			
1439	深鉢	胴部 小片	4区155坑	①織維③明黄褐色④コンパス、RL、LR、附加羽状縄文、黒浜			
1440	深鉢	胴部 小片	3区6溝	①織維③鈍い褐色④コンパス、RL、黒浜			
1441	深鉢	胴部 小片	1区東表 土	①織維③鈍い赤褐色④平行沈線、RL、黒浜			
1442	深鉢	胴部 小片	4区153住	③鈍い褐色④平行沈線+円形刺突、諸磯a			
1443	深鉢	胴部 小片	4区70住	③鈍い褐色④平行沈線、円形刺突、RL、諸磯a			
1444	深鉢	胴部 小片	4区70住	③鈍い赤褐色④平行沈線Lr、諸磯a			
1445	深鉢	胴部 小片	3区28住	③鈍い赤褐色④平行沈線LR、諸磯a			
1446	深鉢	胴部 小片	4区156坑	③黒褐色④爪形文、RL、諸磯a			
1447	深鉢	胴部 小片	4区23住	③暗赤褐色④爪形を多段に施文、浮き島?			

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1448	深鉢	胴部 小片	3区696m	①織織③淡黄色④爪形文 R L, 黒浜
1449	深鉢	胴部 小片	3区北2層	①織織③橙色④爪形文, R L, 黒浜
1450	深鉢	胴部 小片	B1溝	③鈍い赤褐色④爪形, 諸磯 a
1451	深鉢	胴部 小片	5区67住	③鈍い赤褐色④刺突の平行沈線, R L, 諸磯 b
1452	深鉢	胴部 小片	注記なし	③鈍い黄褐色④巾広爪形文, 諸磯 b
1453	深鉢	胴部 小片	3区1溝	③橙色④巾広爪形文, R L, 諸磯 b
1454	深鉢	胴部 小片	4区155坑	③鈍い橙色④平行沈線+爪形文, R L, 諸磯 b
1455	深鉢	胴部 小片	3区696m	③鈍い橙色④平行沈線+爪形文, R L, 諸磯 b
1456	深鉢	胴部 小片	3区696m	③鈍い橙色④平行沈線+爪形文, R L, 諸磯 b
1457	深鉢	胴部 小片	5区20住	③鈍い橙色④ R L, 諸磯 a
1458	深鉢	胴部 小片	3区696m	③明黄褐色④円形刺突, R L, 諸磯 a
1459	深鉢	口縁部 小片	4区表土	③赤褐色③浮線, L R, 諸磯 b
1460	深鉢	口縁部 小片	4区105住	③暗赤褐色④ L R, 諸磯 b
1461	深鉢	胴部 小片	4区122住	③鈍い黄褐色④浮線, R L, 諸磯 b

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土	②焼成	③色調	④備考
1462	深鉢	胴部 小片	5区表土	③橙色④浮線, R L, 清澁 b			
1463	深鉢	胴部 小片	1区東表土	③鈍い赤褐色④浮線をモチーフした沈線, R L, 清澁 b			
1464	深鉢	胴部 小片	1区東表土	③鈍い赤褐色④1463と同一個体, 清澁 b			
1465	深鉢	胴部 小片	1区東表土	③灰黄褐色④浮線文, R L, 清澁 b			
1466	深鉢	胴部 小片	1区東表土	③灰黄褐色④1465と同一個体, 清澁 b			
1467	深鉢	胴部 小片	4区112住	③鈍い赤褐色④三角文, 浮島田			
1468	深鉢	口縁部 小片	5区表土	①織維②鈍い黄褐色④R1, 黒沢			
1469	深鉢	口縁部 小片	5区38住	①織維③橙色④R1, L rの羽状縦文, 黒沢			
1470	深鉢	口縁部 小片	4区155住	①織維②浅黄褐色④L r, 黒沢			
1471	深鉢	口縁部 小片	4区34住	①織維③明黄褐色④R L, 黒沢			
1472	深鉢	胴部 小片	4住付近	①織維②赤色④L R, 黒沢			
1473	深鉢	口縁部 小片	3区1溝	①織維②浅黄褐色④L R L, 黒沢			
1474	深鉢	口縁部 小片	4区74住	①織維②橙色④R1, 黒沢			
1475	深鉢	口縁部 小片	4区26住	①織維②橙色④L R, 黒沢			

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土	②焼成	③色調	④備考
1476	深鉢	胴部小片	3区26住	①繊維③鈍い黄褐色④R L, 0段3条, 黒沢			
1477	深鉢	胴部小片	5区26住	①繊維③明黄褐色④R L, 0段3条, 黒沢			
1478	深鉢	胴部小片	6区2層	①繊維③黄褐色④L R, 0段3条, 黒沢			
1479	深鉢	胴部小片	6区2層	①繊維③明黄褐色④L R, 0段3条, 黒沢			
1480	深鉢	胴部小片	5区52住	①繊維③橙色④羽状織文R L・L R, 黒沢			
1481	深鉢	胴部小片	5区2層	①繊維③橙色④羽状織文R L・L R, 黒沢			
1482	深鉢	胴部小片	5区2層	①繊維③鈍い黄褐色④羽状織文, R L・L R, 黒沢			
1483	深鉢	胴部小片	5区2層	③鈍い赤褐色④羽状織文R L・L R, 0段多条, 黒沢			
1484	深鉢	胴部小片	3区24住	①繊維③橙色④L R + 附加条1種, 黒沢			
1485	深鉢	胴部小片	4区表土	①繊維③鈍い黄褐色④L R + 附加条1種, 黒沢			
1486	深鉢	胴部小片	5区7住	①繊維③橙色④R L + 附加条2種, 黒沢			
1487	深鉢	胴部小片	3区696m	③橙色④R L + 附加条2種			
1488	深鉢	胴部小片	3区696m	③鈍い赤褐色④L r, 黒沢			
1489	深鉢	胴部小片	3区51住	③橙色④L r, ウスズ, 黒沢			

番 号	器 種	遺 存	出土位置	①胎土	②焼成	③色調	④備考
1490	深 鉢	胴部 小片	5区表土	③淡黄色④L R			
1491	深 鉢	胴部 小片	4区64住	③明赤褐色④R L, 諸磯 a			
1492	深 鉢	口縁部 小片	3区北端 2層	③鈍い橙色④R L, 諸磯 a			
1493	深 鉢	口縁部 小片	3区61住	③明赤褐色④R L, 諸磯 a			
1494	深 鉢	胴部 小片	3区696m	③鈍い黄褐色④R L, 諸磯			
1495	深 鉢	胴部 小片	3区34住 付近	③灰黄褐色④R L, 諸磯			
1496	深 鉢	胴部 小片	3区51住	③橙色④R L, 諸磯			
1497	深 鉢	胴部 小片	3区696m	③明褐色④R L, L Rの附加条1種, 羽状縄文, 諸磯			
1498	深 鉢	胴部 小片	4区74住	③橙色④L R + 附加条1種, 諸磯			
1499	深 鉢	胴部 小片	3区北2層	③橙色④L R + 附加条1種, 諸磯			
1500	深 鉢	胴部 小片	3区29住	③明黄褐色④R L, 諸磯 a			
1501	深 鉢	胴部 小片	3区44住	③暗赤褐色④R L, 諸磯			
1502	深 鉢	胴部 小片	4区155住	③橙色④R L, 諸磯			
1503	深 鉢	胴部 小片	3区北2層	③明赤褐色④R L, R Lを向きを変えて指文, 諸磯			



番号	器種	遺存	出土位置	①胎土	②焼成	③色調	④備考
1504	深鉢	底部小片	5~6区表土	①繊維③明褐色④R L, 黒浜			
1505	深鉢	底部小片	4区155住	①繊維③橙色④R L, 黒浜			
1506	深鉢	底部小片	3区53住 54住	③橙色④R L, 蒸硝			
1507	深鉢	底部小片	3区70住	③鈍い赤褐色④R L, 清硝			
1508	深鉢	胴部小片	4区220坑	③橙色④L R胎帯, 沈線中期中葉			
1509	深鉢	口縁部小片	5区56住	③浅黄橙色④R L, 加層利E III			
1510	深鉢	口縁部小片	5区68住	③黒褐色④R L, 加層利E III			
1511	深鉢	口縁部小片	4区214坑	③鈍い黄橙色④L R, 加層利E IV			
1512	深鉢	口縁部小片	4区2層	③鈍い黄橙色④L R, R L沈線, 加層利E IV			
1513	深鉢	口縁部小片	4区2層	③浅黄橙色④条線, 加層利E III			
1514	深鉢	取っ手小片	4区46住	③鈍い黄橙色④加層利E III			
1515	深鉢	胴部小片	4区表土	③浅黄色④L R, 加層利E III			
1516	深鉢	胴部小片	5区47住	③浅黄橙色④R L, 加層利E III			
1517	深鉢	口縁部小片	5区東表土	③鈍い黄橙色④胎帯刻み堀之内II			

各区遺構外掘文石器

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1419	石 匙	完形		3区東58・59住	④チャート
1420	石 匙 打 製	完形		5区6住	④チャート
1421	石 斧 打 製	完形		2区3坑	④細粒安山岩
1422	石 斧 打 製	完形		注記なし	④黒色頁岩
1423	石 斧 打 製	完形		3区20住	④黒色頁岩
1424	石 磨 磨 製	刃部欠		4区39坑	④緑色片岩
1425	石 磨 磨 製	片		2区 東 表 土	④変玄武岩
1426	磨 石	片		3区14住	④流紋岩
1427	石 皿	小片		5区	④緑色片岩
1428	石 斧 打 製	完形		5区2層	④黒色頁岩
1429	石 斧 打 製	完形		4区24・28 住	④硬質泥岩
1430	敲 石	完形		4区156坑	④粗粒安山岩
1431	多 孔 石	完形		5区 A 類 溝	④粗粒安山岩

群馬県埋蔵文化財調査事業団  
発掘調査報告第93集

資料編2

**三ッ寺Ⅱ遺跡** 一上越新幹線関係埋蔵文化財発掘調査報告第13集一

---

平成2年8月25日 印刷

平成2年8月31日 発行

編集・発行／財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団  
勢多郡北碓村大字下箱田784番地の2  
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社

---